城西中学校校舎新築その他本体工事

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙･図面リスト	A-31	屋内階段平面詳細図	A-61	3階･4階天井伏図	改-01	【既存1号棟校舎改修】1階 第2技術室 平面詳細図	S-21	Y1通架構詳細図
A-02	建築工事特記仕様書　５－１	A-32	屋内階段断面詳細図	A-62	家具詳細図(1)	改-02	【既存1号棟校舎改修】2階 教育相談室 平面詳細図	S-22	配膳通路　構造設計標準仕様書
A-03	建築工事特記仕様書　５－２	A-33	屋外階段平面詳細図	A-63	家具詳細図(2)	改-03	【既存1号棟校舎改修】第2技術室･教育相談室 展開図	S-23	配膳通路　鉄骨構造標準図(1)
A-04	建築工事特記仕様書　５－３	A-34	屋外階段断面詳細図(1)	A-64	家具詳細図(3)	改-04	【既存1号棟校舎改修】第2技術室･教育相談室 建具表	S-24	配膳通路　鉄骨構造標準図(2)
A-05	建築工事特記仕様書　５－４	A-35	屋外階段断面詳細図(2)	A-65	家具詳細図(4)			S-25	配膳通路　鉄筋コンクリート構造配筋詳細図(1)
A-06	建築工事特記仕様書　５－５	A-36	屋外階段進入防止柵詳細図	A-66	1階･2階サイン符号図	倉-01	【倉庫】平面詳細図･矩計図	S-26	配膳通路　梁伏図　軸組図
A-07	関係法令適用リスト	A-37	1～4階 EV･バリアフリートイレ 平面詳細図･展開図	A-67	3階･4階サイン符号図	倉-02	【倉庫】立面図･建具表	S-27	配膳通路　部材リスト
A-08	工事区分表	A-38	1～4階 男子トイレ(1)･女子トイレ(1) 平面詳細図･展開図	A-68	サイン詳細図	倉-03	【倉庫】基礎伏図･屋根伏図･軸組図	S-28	渡廊下　構造設計標準仕様書
A-09	建築概要・付近見取図・配置図	A-39	1階 昇降口(2) 平面詳細図･展開図	A-69	部分詳細図(1)	倉-04	【倉庫】部材リスト配筋詳細図	S-29	渡廊下　鉄骨構造標準図(1)
A-10	現況配置図	A-40	1階 昇降口(1) スロープ詳細図	A-70	部分詳細図(2)			S-30	渡廊下　鉄骨構造標準図(2)
A-11	日影図	A-41	2～4階 普通教室(1)～(7) 平面詳細図･展開図	A-71	部分詳細図(3)	S-01	構造設計標準仕様書	S-31	渡廊下　鉄筋コンクリート構造配筋詳細図(1)
A-12	面積算定図(1)	A-42	2～4階 学年職員室 平面詳細図･展開図	A-72	部分詳細図(4)	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	S-32	渡廊下　デッキ合成スラブ設計･施工標準
A-13	面積算定図(2)	A-43	1階 フレンドシップ教室 平面詳細図･展開図	A-73	部分詳細図(5)	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	S-33	渡廊下　梁伏図　軸組図
A-14	既存建築物面積算定図(1)	A-44	1階 生徒更衣室(男)(女) 平面詳細図･展開図	A-74	シャワーユニット詳細図	S-04	ボーリング柱状図	S-34	渡廊下　部材リスト
A-15	既存建築物面積算定図(2)	A-45	1階 配膳室 平面詳細図･展開図	A-75	エレベーター詳細図(1)	S-05	基礎,地中梁伏図		
A-16	仕上表(1)	A-46	1階 相談室･印刷室、面談室 平面詳細図･展開図	A-76	エレベーター詳細図(2)	S-06	1階･2階梁床伏図		
A-17	仕上表(2)	A-47	1階 職員更衣休憩室(男)(女) 平面詳細図･展開図	A-77	エレベーター詳細図(3)	S-07	3階･4階梁床伏図		
A-18	1階平面図	A-48	1階 体育倉庫･石灰庫 平面詳細図･展開図	A-78	エレベーター詳細図(4)	S-08	R階梁床伏図		
A-19	2階平面図	A-49	2階 屋上設備機械置場 平面詳細図	A-79	配膳通路詳細図	S-09	軸組図(1)		
A-20	3階･4階平面図	A-50	1階廊下展開図	A-80	渡り廊下平面図	S-10	軸組図(2)		
A-21	R階屋根伏図	A-51	2～4階廊下展開図	A-81	渡り廊下立面図･断面図	S-11	軸組図(3)		
A-22	地下ピット平面図	A-52	1階･2階建具符号図	A-82	外構図(現況)	S-12	軸組図(4)		
A-23	立面図	A-53	3階･4階建具符号図	A-83	外構計画図	S-13	基礎リスト(1)		
A-24	断面図	A-54	建具表(1)	A-84	雨水排水断面図	S-14	基礎リスト(2)		
A-25	矩計図(1)	A-55	建具表(2)	A-85	外構詳細図	S-15	地中梁リスト		
A-26	矩計図(2)	A-56	建具表(3)	A-86	防球フェンス詳細図	S-16	柱リスト		
A-27	矩計図(3)	A-57	建具表(4)	A-87	東門A 詳細図	S-17	大梁リスト(1)		
A-28	断面詳細図(1)	A-58	建具表(5)	A-88	東門B 詳細図	S-18	大梁リスト(2)		
A-29	断面詳細図(2)	A-59	建具詳細図	A-89	受水槽基礎詳細図	S-19	小梁リスト		
A-30	断面詳細図(3)	A-60	1階･2階天井伏図			S-20	部材リスト		

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士　第　123948　号
小原　正信

城西中学校校舎新築その他本体工事		
表紙･図面リスト		Ａ－０１
鹿児島市建設局建築部建築課		

建　築　工　事　特　記　仕　様　書

Ⅰ.工　事　概　要

1. 工　事　名　称　城西中学校校舎新築その他本体工事
2. 工　事　場　所　鹿児島市城西二丁目3番12号
3. 工　事　種　目　（ ⊙ 新築　・増築　⊙ 改築　・改修　・その他 ）
4. 工　事　期　間　令和　9　年　2　月　19　日まで

Ⅱ.建　築　工　事　仕　様

○ 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)、「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)及び「公共建築木造工事標準仕様書」(令和4年版)による。

○ 2. 特記事項の適用は次のとおりとする。
1) 項目は ○ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は ⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ◎ の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の当該項目、当該図、又は当該表を示す。
4) 形状寸法の単位は、特記なきかぎりミリメートルとする。

Ⅲ.一　般　事　項

適用	特　記　事　項
○	1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする
○	2. 前払金　※請求することができる　⊙請負代金額の10分の4の前払金の支払いを令和7年度中に請求すること
○	3. 中間前金払 1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は，契約時において中間前金払か部分払かのいずれかを選択すること。 なお，契約に当たり部分払をすることを選択した場合には，中間前金払は行わない。 2) 中間前金払を受けるための要件(全て満たすこと。) ｱ) 請負金額の10分の4の前金払がなされていること。 ｲ) 工期の2分の1を経過していること。 ｳ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 ｴ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2以内とする。ただし，中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。
○	4. 部分払　部分払については、鹿児島市契約規則による。
○	5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事　2.土工事　3.地業工事　4.鉄筋工事　5.ｺﾝｸﾘｰﾄ工事　6.鉄骨工事　7.ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 8.防水工事　9.石工事　10.ﾀｲﾙ工事　11.木工事　12.屋根及びとい工事　13.金属工事　14.左官工事　15.建具工事 16.ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事　17.塗装工事　18.内装工事　19.ﾕﾆｯﾄ及びその他の工事　20.排水工事　21.舗装工事　22.植栽及び屋上緑化工事
○	6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等に生じる損害を填補) （ ※ 火災等　※ 工事材料等の盗難等　・その他(　　)に対応したものを含むこと。） ※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。
	7 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるので注意すること。
○	8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、発注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。
○	9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務　(2)土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務　(4)その他監督職員が記載を指示した業務等
○	10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。
○	11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 （1）バックホウ　（2）ホイールローダ　（3）ブルドーザ　（4）発動発電機　（5）空気圧縮機　（6）油圧ユニット　（7）ローラ類 （8）ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。
○	12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。
○	13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のことにつき，下請契約における受注者を指導すること。

適用	特　記　事　項
○	14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例]　産業廃棄物収集運搬車　←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 ○○株式会社　←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。
○	15. 内装仕上に使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発散する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロルピリホスについて クロルピリホスを添加しないこと。 クロルピリホスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種別、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ｱ) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 ｲ) 材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ｳ) 工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。
○	16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ｱ) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 ｲ) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ｳ) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 ｴ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。
○	17. 現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の ｱ)から ｵ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、ｲ)、ｴ)、ｵ)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。 ｱ) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4，500万円未満であること。 ｲ) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ｳ) 兼任する工事は、概ね1時間以内で移動できる範囲 ｴ) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 ｵ) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。
○	18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ｱ) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。)には、専任の主任技術者等を配置すること。 ｲ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ｱ) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 ｲ) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。
○	19.「快適トイレ」の試行について 1) 本工事は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。 2) 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 3) 快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。
○	20. 枠組足場の設置について 枠組足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)によるものとする。 なお、これにより難い場合は、監督員と協議の上、決定することとする。
○	21. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。
○	22. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。 建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。
○	23. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に逸水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。
○	24. 周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。)
○	25. 本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。

適用	特　記　事　項
○	26. ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の般出入に当っては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。
○	27. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。
○	28. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。
○	29. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。
○	30. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。
○	31. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。
○	32. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとすること。
○	33. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。
○	34. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。
○	35. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
○	36. 暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
○	37. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。
○	38. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。 また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。
○	39. 本工事に伴いスラブに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。
○	40. 工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとすること。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。
○	41. 再生資材(再生クラッシャラン等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。
○	42. 法定外労災保険の付保等について 1)法定外の労災保険の付保 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 2)墜落制止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。
○	43. 営繕工事における週休2日試行工事について 1)本工事は、営繕工事における週休2日試行工事の対象である。 2)試行に当たっては、「営繕工事における週休2日試行工事実施要領(令和6年5月7日施行)(以下、「実施要領」という。)」に基づき行うものとする。なお、実施要領は鹿児島市ホームページから入手できる。
○	44. 電子納品 1)本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン(案)【建築・設備編】(以下、ガイドラインという。)」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。 2)ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD－R又はDVD－R)で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。
○	45. 架空線の防護措置について 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。
○	46. 施工体制点検等への協力 請負代金額が4，500万円(建築一式工事は9，000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4，500万円(建築一式工事は9，000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。
○	47. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は，受渡確認表の写しを添付すること。
○	48. 監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1)受注者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2)橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3)ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。
○	49. 監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1)工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2)受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。
○	50. 公共工事における現場一斉閉所の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。

永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	建築工事特記仕様書　5－1	A－02
	鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R60507	

章	適用	項目	特記事項

1 各章共通事項

○ 1. 適用基準等

⊙ 建築工事標準詳細図 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）
・ 敷地調査共通仕様書 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版)
・ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)
・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)
・ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)
・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)
・ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)
・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)
⊙ 営繕工事写真撮影要領(平成31年版)・同解説
⊙ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編) ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定
・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領 ： 関東地方建設局営繕部作成

○ 2. 電気保安技術者
※ 適用する (1. 3. 3)

3. 施工条件 (1. 3. 5)

○ 4. 技能士 (1. 5. 2)
⊙ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ⊙ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工 ⊙ 型枠施工 ⊙ とび ・ﾌﾞﾛｯｸ建築
・鉄工(・構造物鉄工作業 ・製缶作業) ・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ施工 ・石材施工(石張り作業)
・防水施工(・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ⊙ ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗装防水工事作業) ・ﾀｲﾙ張り ⊙ 建築大工 ・かわらぶき
・建築板金(内外装板金作業) ⊙ 左官 ⊙ ｻｯｼ施工 ⊙ ｶﾞﾗｽ施工 ・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工
⊙ 建具製作(⊙ 木製建具 手加工作業 ・ｱﾙﾐ製室内建具製作作業 ・木製建具 機械加工作業)
⊙ 内装仕上げ施工(⊙ ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ⊙ 鋼製下地工事作業 ⊙ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業
・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業) ⊙ 塗装(建築塗装作業) ・畳製作 ・表装 ・造園
・熱絶縁施工(吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業) ・樹脂接着剤注入施工

○ 5. 工事実績情報の登録 (1. 1. 4)
受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報ｼｽﾃﾑ(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合ｾﾝﾀｰに登録しなければならない。
また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合ｾﾝﾀｰ発行の「登録内容確認書」を、監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。
(ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない)

○ 6. 建築材料等
本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。

○ 7. 特別な材料の工法
建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

○ 8. 発生材の処理等
建設副産物の処理 (1. 3. 11)
1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(ﾘｻｲｸﾙ法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設ﾘｻｲｸﾙ法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、ﾏﾆﾌｪｽﾄｼｽﾃﾑにより適正処理を行うこと。
2. 建設発生土及び建設廃棄物にあたっては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。
3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。
4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。
5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるｺﾝｸﾘｰﾄ・ｱｽﾌｧﾙﾄ塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。
6. ﾏﾆﾌｪｽﾄ(管理票)の備考欄にせっこうﾎﾞｰﾄﾞの有無を明記するとともに、せっこうﾎﾞｰﾄﾞが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。
7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。

○ 9. 施工図等の取扱い
施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

○ 10. 設備工事との取合い
施工範囲 図示した鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ梁の貫通孔及び鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作ｽｲｯﾁ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。
なお、細部については監督員と協議する。
施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。

○ 11. 完成図等
・ 完成図等を提出する。
(1) 電子データ
i) データ提出媒体:「CD－R」又は「DVD－R」とする。
ii) データ保存形式: CADﾃﾞｰﾀ (国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ【営繕業務編】」のCADﾃﾞｰﾀ交換標準に対応したもの)及び画像ﾃﾞｰﾀ。
ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。
(2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。
・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式) ・取扱い説明書 部数 部 (建設戸数＋2戸分)

○ 12. 工事写真

区分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備考
※着工前	※カラー ・	※L版程度 ・		※1部 ・	24×36以上	
※工事中	※カラー ・	※L版程度 ・		※1部 ・	24×36以上	
※完成時	※カラー ・	※L版程度 ・キャビネ版	枚	※1部 ・	・60×90以上 ・24×36以上	外観4面 主要内部

・ 実績報告用写真(2部)を監督員に提出する。
着工前と完成時の外観4面及び完成時の主要内部その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真、その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真

○ 13. 竣工写真
竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。
撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)
・ 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。
撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)

○ 14. 既存建物との取合い
工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はﾍﾞｰｸｱｳﾄ等により濃度の低下に努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。
測定対象 ・ 住宅 (建設戸数の1割以上(10戸未満の場合は1戸以上)で，各住戸2室以上)
⊙ 非住宅 (測定対象室(保健室、普通教室(2～4階各1室)
測定項目 ・ 5項目(ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ)
⊙ 6項目(上記5項目及びﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ)

16. 部分使用
・ 有 (部分使用の場所等)

17. 指定部分
・ 有 (範囲、時期については監督員の指示による)

○ 18. 品質計画
建築基準法により定められた風速 Vo(※38 ・)
地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ⊙ Ⅲ ・Ⅳ
適用工種 ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ ・ALCﾊﾟﾈﾙ ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ・防水工事
・石工事 ・屋根及びとい工事 ・金属工事

19. 住宅性能評価
・適用する ・しない
住宅の品質確保の促進等に関する法律第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の下記項目ごとに示した等級基準を満たすこと。

性能評価項目	等級評価説明	等級
劣化の軽減	劣化対策等級(構造躯体等)	※ 3 ・( )
維持管理への配慮	維持管理対策等級	※ 2 ・( )
温熱等級	省エネルギー対策等級	※ 4 ・( )
空気環境	ホルムアルデヒド対策	※ 3 ・( )
音環境	重量床衝撃音対策 等価損失等級(外壁開口部)	※ 2 ・( )
高齢者等への配慮	高齢者等配慮対策等級	※ 3 ・( )

2 仮設工事

○ 1. 監督員事務所 (2. 3. 1)
※ 設ける(規模: ⊙ 1号(10㎡程度) ・2号(20㎡程度) ・3号(35㎡程度) ・4号(65㎡程度)
・5号(100㎡程度) ・設けない
・ 仮設便所 ・ 工事用電話 ・ 設置する備品等の種類及び数量(監督員との協議による)
仕上げは下表を標準とする。

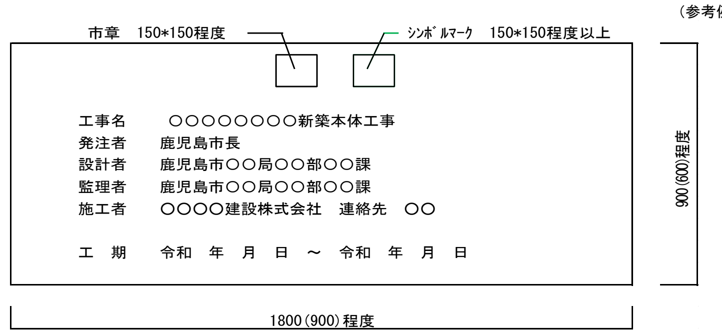
部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

○ 2. 工事用水
構内既存の施設 ※ 利用できない ⊙ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)
構内既存の給水設備を利用する場合は、水道局へ臨時給水の申請を行い、水道ﾒｰﾀｰを設置すること。

○ 3. 工事用電力
構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)

○ 4. 敷地調査
平板、周辺設備マンホール等の取り合い。

○ 5. その他
※表示板の大きさ等: ※下図による。
設置位置は監督員との協議による。また，取付けは，強風等に対し安全な工法とする。
(参考例)



3 土工事

○ 1. 埋戻し及び盛土 (3. 2. 3)(表3. 2. 1)
種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
各層厚さ ※ 300mm程度ごとに締め固める

○ 2. 地均し (3. 2. 4)
工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。
ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。

○ 3. 建設発生土の処理 (3. 2. 5)
※(㈱北建)処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、
必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。
・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し

○ 4. 山留め (3. 3. 3)
・ 存置する ※ 存置しない

4 地業工事

○ 1. 砂利地業
材料 ⊙ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利及び切込砕石 (4. 6. 2)
厚さ ※ 60 ・( ) (4. 6. 3)
再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定ﾘｻｲｸﾙ製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

○ 2. 砂地業 (4. 6. 3)
厚さ ※ 30 ・( )

○ 3. 捨コンクリート地業 (4. 6. 2)(4. 6. 4)
厚さ ※ 50 ⊙ (図示)

○ 4. 床下防湿層 (4. 6. 2)(4. 6. 5)
施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
材料 ※ ポリエチレンフィルム ・( )
厚さ ※ 0.15 ・( )
重ね合せ及び基礎梁際の折り下がりは、250mm程度とする。

5 鉄筋工事

○ 1. 鉄筋の種類 (5. 2. 1)(表5. 2. 1)
※JISG3112 ・JIS3117

種類の記号	呼び名 (mm)
⊙ SD295	D16以下
⊙ SD345	D19以上
・ SD390	D29以下
・	

⊙高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工: ( )
※ 図面による

○ 2. 溶接金網 (5. 2. 2)
・鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径: ※ 図示による

○ 3. 継手及び定着 (5. 3. 4)
柱及び梁の主筋 (※ D19以上 ・) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接
その他の鉄筋 (※ D16以下 ・) ※ 重ね継手 ・( )

○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5. 3. 5)
かぶり厚さは目地底から算定する。
※(表5. 3. 6)による ・構造特記仕様書による ・図示による
・耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ

施工箇所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)

○ 5. 帯筋 (別図2. 2)
形の種別 ・ H形 ・ W－1形 ・ SP形(ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋) ・ 丸形

○ 6. 最上階柱頭補強
※ 行う ・ 行わない

○ 7. 壁開口部の補強 (別図4. 3)(表4. 3)(表4. 4)
一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示
耐震壁 ※ B形 ・ 図示

○ 8. 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ補強
補強箇所 ⊙ 土間 ⊙ 犬走り ・( )

○ 9. 梁貫通孔の補強形式 (別図7. 1)(表7. 1～3)
補強形式 ※ H形 ・

○ 10. 圧接完了後の試験 (5. 4. 10)
検査方法 ・ 引張試験 ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験

○ 11. 各部配筋
図示のないものは、各部配筋参考図による。

6 コンクリート工事

○ 1. 一般事項
コンクリートの類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6. 2. 1)
気乾単位容積質量による種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6. 2. 1)
設計基準強度(Fc) (6. 2. 2)

種別	普通コンクリートの設計基準強度 Fc (N/㎟)						
	15	18	21	24	27	30	36
部品		捨て		躯体	躯体		

軽量コンクリートの設計基準強度 Fc(N/㎟) ・15 ・18 ・21 ・24 ・27 ・( ) (6. 2. 2)
※ 構造体強度補正値(普通ポルトランドセメント) その他のセメント種類は(表6. 3. 2)による

コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温 θ の範囲(℃)	0≦ θ <8	8≦ θ
構造体強度補正値(N/㎟)	6	3

(6. 3. 2)

○ 2. コンクリートの品質
普通コンクリート気乾単位容積質量 ※ 2.3t/m3程度 ・( ) (6. 2. 3)
スランプ (6. 2. 4)

打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁
所要スランプ(㎝)	※ 15 ⊙ 18 ・	※ 18 ・

部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※ 6. 2. 5(1) ・( ) (6. 2. 5)
合板使用打放し仕上げ種別 (6. 2. 5)(6. 8. 2)

種別	適用箇所	JAS種別	合板厚さ	塗装
⊙ A種	パラペット等	※ 表面加工品 ・ B-C	※12 ・15	※ 有 ・ 無
⊙ B種	A,,C以外	・ 表面加工品 ※ B-C	※12 ・15	・ 有 ※ 無
⊙ C種	軒裏、揚裏等	・ 表面加工品 ※ B-C	※12 ・15	・ 有 ※ 無

平たんさ ※表6. 2. 5 ・( ) (6. 2. 5)

○ 3. コンクリートの材料
セメント ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・( ) (6. 3. 1)(表6. 3. 1)
⊙ (高炉セメントB種)(適用箇所: 基礎)
・ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄは、JIS R 5210ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄに示された規定の他、右の規定に適合しなければならない。全ｱﾙｶﾘの算出は、JIS R 5210ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ(低ｱﾙｶﾘ形)による。

水和熱(J/g)	7日	352以下
	28日	402以下
全アルカリ(%)	0.75以下	
塩 素(%)	0.02以下	

骨材 フェロニッケルスラグ骨材及び銅スラグ細骨材 (・使用する ・使用しない)
アルカリシリカ反応性区分(※ A ・B) (6. 3. 1)
混和材料 ・混和剤(・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・)
・混和材(・フライアッシュⅠ種 ・フライアッシュⅡ種 ⊙ 高炉スラグ微粉末
・ｺﾝｸﾘｰﾄ用膨張材 ・) (6. 3. 1)

○ 4. 型枠
外部コンクリート打放し仕上げ打増し厚さ ※ 20mm ・( )
ひび割れ誘発目地位置等 ※ 図示による ・( ) (6. 8. 1)
床型枠用鋼製デッキプレート 建築技術評価「鉄筋コンクリートの建築物等における床型枠用鋼製ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄの開発」において評価を取得したもの又は、評価名簿によるもの。 (6. 8. 3)
MCR工法用シート ・使用する ⊙ 使用しない
スリーブ材種 ・鋼管 ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼板 (6. 8. 2)(表6. 8. 1)

5. 軽量コンクリート
種別 ・1種 ・2種 (6. 10. 1)(表6. 10. 1)
スランプ ※ 21cm以下 ・( ) (6. 10. 2)
気乾単位容積質量( )

○ 6. 無筋コンクリート
適用箇所(捨てコン (6. 14. 1)
設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・( ) (6. 14. 1)
スランプ ※ 15cm ・18cm ・( )

○ 7. 防水剤入ｺﾝｸﾘｰﾄ
施工箇所(屋根スラブ)
スランプ(㎝) ・15 ⊙ (18) 混和剤(活性進化防水剤)
製造所 (監督員の承諾を得るものとする)

7 鉄骨工事

○ 1. 鉄骨製作工場
※ 製作工場 (グレード ・H ・M ・R ・J ⊙ (7. 1. 3)
施工管理技術者 ※ 適用する ・ 適用しない (7. 1. 4)

○ 2. 材料
鋼材 (7. 2. 1)(表7. 2. 1)

種類の記号	使用箇所	規格等
SS400	図面による	※ JIS規格
SN490C	図面による	※ JIS規格
SN400B	図面による	※ JIS規格
BCR295	図面による	※ JIS規格
		※ JIS規格

高力ボルト (7. 2. 2)
※トルシア形高力ボルト(セットの種類2種(S 10 T)) ・ JIS形高力ボルト(セットの種類2種(F 10 T))
⊙ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(セットの種類1種(F 8 T相当))
径 ( )
普通ボルト (7. 2. 3)(表7. 2. 3)
ボルト(※ 六角ボルト ・)
ナット (※ 六角ナット ・)
ボルト径 ( )
アンカーボルト (7. 2. 4)
構造用材質 (※ SNR400 ・)
建方用材質 (※ SS400 ・)
形状及び寸法 ( )
ターンバックル (7. 2. 6)
ターンバックル胴の種類: ※割枠式 ・( )
ターンバックルボルトの種類: ※羽子板ボルト ・( )
デッキプレート (7. 2. 7)
構造用材質 ( )
形状及び寸法 ( )
スタッド (7. 2. 8)
種類 ( )
柱底均しモルタル (7. 2. 9)
・ 無収縮モルタル(製造所:評価名簿による)
スカラップ
※ 改良型(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」 別図3. 11) ・( )
材料試験 (7. 2. 10)
※ 規格品証明書を提出

○ 3. 工作一般
仮組 ・ 実施する ※ 実施しない (7. 3. 10)
高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による)

永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	建築工事特記仕様書 5－2	A－03
	鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R60507	

章	適用	項目	特記事項
7 鉄骨工事	○	4. 溶接接合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形　・K形　・(　　)　(7. 6. 4) 余盛り高さ　※ 鉄骨精度検査基準による　・(　　)　(7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 (　　) 溶接部の試験　(7. 6. 12) ※ 外観試験 (a)(　　) (b)(　　) ※ 超音波探傷試験　※行う AOQL(工場溶接)　※ 4.0%　・2.5% 検査水準　※第6水準　・(　　)
	○	5. 錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲(　　)　(7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲(　　) 種別　鋼製スリーブ内面(　※A種　・B種)　(7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面　(　　)　(7. 8. 4)
		6. 耐火被覆	種類(　　)　(7. 9. 2) 材料(　　) 工法(　　) 耐火性能(　　)　(7. 9. 3)
	○	7. 工事現場施工	建方精度　※ 鉄骨精度検査基準による　・(　　)　(7. 10. 2) アンカーボルト　・構造用アンカーボルト　形状(　　)寸法(　　)　(7. 10. 3) ・アンカーフレーム　形状(　　)寸法(　　) ・建方用アンカーボルト 保持及び埋込工法(・A種　※ B種　・C種)　(表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法　工法(※A種　・ B種)　厚さ(　　)
	○	8. 軽量形鋼	ボルト接合　※ 普通ボルト接合　・(　　)　(7. 11. 2)
	○	9. 溶融亜鉛めっき工法	亜鉛めっき　(7. 12. 4)(表14. 2. 2) 亜鉛めっき種別 / 材料 / 適用部位 A 種 / 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類 / B 種 / 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類 / C 種 / 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 / 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 高力ボルト接合摩擦面　・ブラスト処理　・(　　)　(7. 12. 5)
8 コンクリートブロック工事	○	1. 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類　(　建築用空洞コンクリートブロック(C種)　)　(8. 2. 2) モデュール呼び寸法(　L400×H200　) 正味厚さ　(　150　) 各部の配筋　※図示による　(8. 2. 5)
		2 コンクリートブロック帳壁及び塀	ブロックの種類　※ 表8. 3. 1　(8. 3. 2) 配筋　(8. 3. 4) 縦筋 / 横筋 / 開口補強筋(縦横) / 端部補強筋 D10−400@ / D10−400@ / 1−D13 / 1−D13 壁鉄筋の継手(　　)　定着(　　)　末端部折り曲げ形状(　　)
		3 ALCパネル	区分(　　)単位荷重(　　)厚さ(　　)幅(　　)長さ(　　)　(8. 4. 2) 耐火性能(　　) 外壁パネル構法　構法の種別:(・A種　・B種)工法(　　)目地幅(　　)　(8. 4. 3) 耐火目地材(　　)
		4 押出成形セメント板	種類(　　)形状(　　)厚さ(　　)幅(　　)　(8. 5. 2) 外壁パネル工法　工法の種別:(・A種　・B種)工法(　　)目地幅(　　)　(8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法　工法の種別:(・B種　・C種)　(8. 5. 4)
9 防水工事		1. 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9. 4. 2～3)(表9. 4. 1) 工程種別 / 適用箇所 / 仕上げ塗料塗り / 厚さ ・S−F1 / / ・カラー　・シルバー / ※1.2mm　・ ・S−F2 / / / ※1.5mm　・ ・S−M1 / / ・カラー　・シルバー / ※1.5mm　・ ・S−M2 / / / ※1.5mm　・ 機械的固定方法　建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること　(9. 4. 4) 可塑剤移行防止用シート　※ 発泡ポリエチレンシート　・(　　)
	○	2. 塗膜防水	ウレタンゴム系塗膜防水　(9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) 工程種別 / 施工箇所 / 備考 ・X-1(絶縁工法) / ※ 屋根 / ⊙X-2(密着工法) / ※ 屋根 / ゴムアスファルト系塗膜防水 工程種別 / 施工箇所 / 備考 ・Y-1 / 地下外壁 / ・Y-2 / 屋内 / 保護層　・適用する　・適用しない
	○	3. シーリング	シーリングの種類は、表9. 7. 1による　(9. 7. 2)(表9. 7. 1) 目地寸法　※ 9. 7. 3(1)(ア～ウ)　・(　　)　(9. 7. 3) 接着性試験　※ 簡易接着性試験　・引張接着性試験　(9. 7. 5)
	○	4. 屋根コンクリート防水	屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金ごて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による)
	○	5. 保証書及び期間	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。
10 石工事		1. 共通事項	石の割付け　・(　　)　・図示による　(10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合　・監督員と協議　・図示による ワックスの使用　・使用する　・使用しない　(10. 1. 5)
		2. 材料	テラゾ　(10. 2. 1) 種類及び大きさ　※ 大理石(1.5～12mm)　・(　　) テラゾブロック　形状　・平物　・役物 仕上げ面　・片面　・両面 寸法(　図示による　) 表面仕上げ　・粗磨き　・水磨き　・本磨き

章	適用	項目	特記事項
11 タイル工事	○	1. 共通事項	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地　(11. 1. 3) 位置　外壁(　※表11. 1. 1　・図示による)　屋内(　・　　) 寸法　※9. 7. 3　・(　　)
	○	2. 施工後の確認及び試験	※ 外観の確認　※ 打診による確認　・引張接着試験　(11. 1. 7)
	○	3. 材料	タイルの種類　(11. 2. 2)(11. 3. 2) 施工箇所 / 形状・寸法 / 耐凍害性 / 耐滑り性 / 役物 / 色 ポーチ / 150角 / ・有　⊙無 / ⊙有　・無 / ⊙有　・無 / ⊙標準　・特注 水飲場 / 50角 / ・有　⊙無 / ・有　⊙無 / ⊙有　・無 / ⊙標準　・特注 / / ・有　・無 / ・有　・無 / ・有　・無 / ・標準　・特注 / / ・有　・無 / ・有　・無 / ・有　・無 / ・標準　・特注 製造所　(　監督員の承諾を得るものとする。) タイル試験張り　(　・実施する　・実施しない)　タイル見本焼き(　・実施する　・実施しない)
	○	4. セメントモルタルによるタイル張り	・既調合モルタル(　　)　(11. 2. 3) ・下地及びタイルごしらえ　(　・MCR工法　・目荒し工法(高圧水洗))　(11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別　⊙(　圧着張り　)・(　　) 工法　⊙(　湿式工法　)・(　　)
		5. 有機系接着剤によるタイル張り	・外装タイルにおける目地詰め　(　・行う　・行わない　)　(11. 3. 3) ・下地及びタイルごしらえ　(　・MCR工法　・目荒し工法　)　(11. 3. 5)
12 木工事	○	1. 材料	木材　木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。　(12. 2. 1) ・地域産材の場所　(　　)地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの 指定部分　・構造材全て　⊙その他(　下地材、造作材　) 含水率　構造材　※ 20%以下とする。 下地材　※ A種　・B種 造作材　※ A種　・B種 製材 「JAS1083」による製材 下地用針葉樹製材　樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質　※ 図示による 等級　・図示による　※ 2級 造作用針葉樹製材　樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質　※ 図示による 板類における等級　※ 枠、額縁、敷居、かもい、かまちの類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上 ・図示による 広葉樹製材　樹種、寸法、保存処理及び材面の品質　※ 図示による 等級　※ 1等　・図示による　・(　　) 含水率　※ 10%以下　・図示による　・(　　) 「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材　樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理　※ 図示による 造作材の材面の品質の基準　※A種　・B種　(表12. 2. 2) 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 造作用集成材　品名、樹種、見付け材面数、寸法　※ 図示による 見付け材面の品質　※ 1等　・図示による 化粧ばり造作用集成材　品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法　※ 図示による 見付け材面の品質　※ 1等　・図示による 化粧ばり構造用集成柱　品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質　※ 図示による 「集成材のJAS」以外の造作用集成材 造作用集成材　樹種、寸法、見付け材面の品質　※ 図示による 含水率　※ 15%以下　・図示による・(　　) 化粧ばり造作用集成材　樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質　※ 図示による 含水率　※ 15%以下　・図示による・(　　) 化粧ばり構造用集成柱　樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ　※ 図示による 含水率　※ 15%以下　・図示による・(　　) 造作用単板積層材 「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理　※ 図示による 「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理　※図示による 含水率　※ 14%以下　・図示による・(　　) JAS3079(直交集成板)　品名、曲げ強度、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法　※ 図示による 合板等 下地用普通合板　品名、単板の樹種名、防虫処理　※ 図示による 厚さ　※ 5. 5mm　・図示による　接着の程度　※ 1類　・図示による 板面の品質　※ 2等以上(広葉樹)　※ C−D以上(針葉樹)　・図示による 下地用構造用合板　品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級　※ 図示による 厚さ　※ 12mm　・図示による 接着の程度　※1類(湿潤箇所を除く)　※ 特類(湿潤箇所)　・図示による 等級　※ 2級以上　・(　　) 板面の品質　※ C−D以上　・図示による 化粧ばり構造用合板　品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理　※ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度　※特類　・図示による 天然木化粧合板　厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理　※ 図示による 特殊加工化粧合板　品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理　※ 図示による パーティクルボード　表裏面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ　※ 図示による 曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※ 厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ 構造用パネル　品名、厚さ　※ 図示による MDF　表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分　※ 図示による 難燃性による区分、厚さ　※ 図示による 接合具等　(12. 2. 2) 造作材の化粧面の釘打ち　※隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質　※ 12. 2. 2(2)(ア)による　・(　　)　・図示による 諸金物の形状、寸法、材質　※ 12. 2. 2(2)(ア)による　・(　　)　・図示による

章	適用	項目	特記事項
12 木工事	○	2. 防腐・防蟻・防虫処理	しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築課監修　鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理　※ 行う(範囲:　　)　・行わない 木材処理　※ 行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く))　・行わない 防腐・防蟻処理　⊙薬剤の加圧注入による防腐　⊙防蟻処理　(12. 3. 1) ・薬剤の塗布等による防腐　・防蟻処理 防虫処理　・行う　※ 行わない　(12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみ行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。
		3. RC造等の内部間仕切軸組及び床組	木材　(12. 4. 1) 間仕切軸組に用いる製材　・杉　・松　・(　　) 床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし大引、転ばし根太)　・ひのき　・保存処理木材　・(　　) 床組に用いる製材(上記以外)　・杉　・松　・(　　)
	○	4. 窓、出入口その他	木材　窓、出入口、その他に用いる製材　吊元枠、水掛りの下枠、敷居　※ ひのき　・(　　)(12. 5. 1) その他　・松　※ 杉　・(　　)
	○	5. 床板張り	木材　(12. 6. 1) 縁甲板、上がりがまちに用いる製材　※ ひのき　・(　　)　・図示による
	○	6. 壁及び天井下地	木材　(12. 7. 1) ⊙杉　・松　・(　　)　・図示による
12 I 1 軸組構法(壁構造系)工事		1. 共通事項	※ 公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。 ※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物　木標仕(5. 1. 1)
		2. 木材	部材寸法、その他　木標仕(5. 2. 2) 柱　:　(　120*120　)　@ 950 間柱　:　(　120*60　)　@ 455 胴縁　:　(　13*45　)　@ 455 木摺　:　(　13*75　)　@ 455 天井 吊木受　:　(　45*120～150　)　@ 950 吊木　:　(　45*45　)　@ 950 野縁受　:　(　45*45　)　@ 950 野縁　:　(　45*45　)　@ 455 ※ 但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。
		3. 接合金物・接合具等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等　木標仕(5. 2. 4) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径　(　※図示　・(　　)) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・引張りを受けるボルト　(　※図示　・(　　)) ・せん断力を受けるボルト　(　※図示　・(　　)) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木標仕5章各節の規定による。 ・(　　) ※ 構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。
		4. 仕口及び継手の工法	※「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日　建設省告示第1460号)による。　木標仕(5. 4. 2)
13 屋根及びとい工事		1. 長尺金属板葺	(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1) 屋根葺き形式 / 材種(板・コイル) / 表面処理 / 板厚(mm) ・心木なし瓦棒葺 ・立て平葺 ・横葺 / ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) ・溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) ・塗装溶融亜鉛−5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318) ・溶融55%アルミニウム−亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) ・塗装溶融55%アルミニウム−亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) / ・フッソ樹脂塗装 ・亜鉛めっき塗装 ・焼付塗装 ・ / ※0.4　・0.5 ・0.6　・0.8 ・0.8　・1.0 ・1.2　・ ・鼻隠し・ケラバ / ・ / ※0.6 専門工事業者は製造所の指定業者とする 塗膜の耐久性の種類　表面　・1類　・2類　・3類　裏面　・1類　・2類　・(　　) めっき付着量　・(　　) 下葺材料　※ アスファルトルーフィング940　・改質アスファルトルーフィング下葺材 工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※ 図示による 横葺きの場合のけらば納め　・つかみ込み納め　・けらば納め
	○	2. 折板葺	材料　※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板　(板厚(mm)　・0.6　・0.8)　(13. 3. 2)(13. 3. 3) ⊙塗装溶融55%アルミニウム亜鉛めっき鋼板　(板厚(mm)　⊙0.8) 寸法　山高(　88　)mm　山ピッチ(　600　)mm 形式　※ 重ね形　・はぜ締め形　・かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料　※ 図示による 軒先面戸板　※ 有り　・無し 断熱材張り　(　種別:　厚さ:　防火性能:　) 工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※ 図示による
	○	3. とい	とい　(13. 5. 2)(表13. 5. 1) 材種等　※ 図示による 外部縦どい受け金物　※ ステンレス製　・鋼製(亜鉛めっき)　(13. 5. 2) 形状・取付間隔　※ 図示による
	○	4. 保証書及び期間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	建築工事特記仕様書　5−3	A−04
	鹿児島市建設局建築部建築課	

Ver.R60507

章	適用	項目	特記事項
14 金属工事	○	1. 一般事項	あと施工アンカー施工後の確認引張試験　・実施する　⊙ 実施しない　（14. 1. 3）
	○	2. 表面処理	

⊙ アルミニウム及びアルミニウム合金　（14. 2. 1）（表14. 2. 1）

種類	施工箇所
・AB－1種（無着色）	
・AB－2種（　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	
・AC－1種（無着色）	
・AC－2種（　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	
・BA－1種（無着色）	
・BA－2種（　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	
※BB－1種（無着色）	アルミ建具
・BB－2種（　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	
・BC－1種（無着色）	
・BC－2種（　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	
・C種	

陽極酸化皮膜着色方法　※二次電解着色（色合：　　）・（　　）

・鉄鋼の亜鉛めっき　（14. 2. 2）（表14. 2. 2～4）

表面処理方法	種類	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

章	適用	項目	特記事項
	○	3. 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類　屋内　※19形　・25形　（14. 4. 2）（表14. 4. 1） 屋外　・19形　※25形 ・野縁受、吊ボルト及びインサート間隔（屋外）（　　）　（14. 4. 3）（表14. 4. 2） ・野縁の間隔（屋外）（　　） ・ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※図示による　・（　　）　（14. 4. 4） ・天井ふところが1.5m以上の補強方法　※図示による　・（　　） ・屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強　※図示による　・（　　）
	○	4. 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類　（14. 5. 1～14. 5. 4）（表14. 5. 1）

種類	部材		施工箇所
・50形	・スタッド	・ランナ	
⊙ 65形	⊙ スタッド	⊙ ランナ	図示
・90形	・スタッド	・ランナ	
⊙ 100形	⊙ スタッド	⊙ ランナ	図示

5. 金属成形板張り　（14. 6. 2）（14. 6. 3）

形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理（14.2.1～3、表14.2.1～2 による）
・スパンドレル形	・押出し	※アルミニウム製			
	・ロール	・			
・パネル形	※プレス				

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）

6. アルミニウム製笠木　（14. 7. 2）（14. 7. 3）

種類	表面処理				備考
・250形	・AB－1種	・AB－2種	・AC－1種	・AC－2種	・隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による
・300形	・BA－1種	・BA－2種	※BB－1種	・BB－2種	
・350形	・BC－1種	・BC－2種	・C種		

※工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること

章	適用	項目	特記事項
15 左官工事	○	1. モルタル塗り	材料　（15. 3. 2） モルタル　・現場調合材料　・既調合材料（材料は監督員の承諾による） 防水モルタルの防水剤 製造所（ 監督員の承諾を得るものとする。） ・既製目地材　形状（　　）
	○	2. 仕上塗材仕上げ	材料　（15. 6. 2）（表15. 6. 1～2） JIS A 6909（建築用仕上塗材）

種類	呼び名	仕上げ形状等
・薄付仕上塗材	※外装薄塗材E	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
⊙ 複層仕上塗材	※複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材E	※ゆず肌状　・凸部処理　⊙ 凹凸状 耐候性　※耐候形3種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック

章	適用	項目	特記事項
16 建具工事	○	1. アルミニウム製建具	（16. 2. 2,4,5）（表16. 2. 1, 2）

種別		外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)
※普通ドアセット、サッシ	※コンクリート系・鉄骨下地	・A種　・B種		※ 70　・
		・C種		※ 100　・図示
	・木下地	・D種　・E種		※ 70
・防音ドアセット		遮音性の等級（　　）		
・断熱ドアセット		断熱性の等級（　　）		
・耐震ドアセット		面内変形追随性の等級（　　）		
表面処理(表14.2.1による)		※BB-1種　・	※AC-1種　・	

網戸防虫網　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス(SUS316)製　（16. 2. 3）
製造所（ 監督員の承諾を得るものとする。）

章	適用	項目	特記事項
	○	2. 鋼製建具	（16. 4. 2,4,5）（表16. 4. 1,2）

種別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性		鋼板類の厚さ
⊙ 標準型建具	・表16. 4. 1を適用する ⊙ 適用しない	・S－4 ・S－6	⊙ S－5 ・	※表16. 4. 2による ・適用しない
・標準型建具以外の建具	・表16. 4. 1を適用する ・適用しない	・S－4 ・S－6	・S－5 ・	※表16. 4. 2による ・適用しない

製造所（ 監督員の承諾を得るものとする。）

章	適用	項目	特記事項
		3. ステンレス製建具	材料　※SUS304　・SUS430J1L　・SUS443J1　・（　　）　（16. 6. 3） 表面仕上げ　※HL　・No.8（鏡面）　・#400　・No.2B　・（　　）　（16. 6. 4） 曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　（16. 6. 5） 製造所（ 監督員の承諾を得るものとする。）
	○	4. 木製建具	建具材の含水率　※A種　・B種　・C種　（16. 7. 2）（表16. 7. 1） かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　） ふすま紙の上張り　・新鳥の子　・鳥の子　・ビニル紙　・雲花紙 枠　⊙ 木製枠　・鋼製枠　・（　　） くつずり　⊙ ステンレス製（HL仕上げ）　・（　　） フラッシュ戸　表面板の厚さ　※表16.7.6　・（　　）　（16. 7. 3） 見込み寸法　かまち戸（　※36mm　・　）　ふすま戸（　※19.5　・21　・18）　（16. 7. 3） 戸ぶすま（　※30mm　・　）　紙張り障子（　※30mm　・　）
	○	5. 建具用金物	※建具製作所の仕様による　・図示による　（16. 8. 1,2,3）（表16. 8. 1） マスターキー　※製作する　・製作しない　（16. 8. 4） 鍵箱　※必要（　　組用）　・不要
		6. 重量シャッター	（16. 11. 2～5）

種類	耐風圧性能	開閉機能	シャッターケースの設置	危害防止機構
・管理用シャッター	・50　・80	※上部電動式（手動併用）	・有　・無	
・外壁用防火シャッター	・120　・		※有	※危険防止措置 ・シャッターの二段降下方式
・屋内用防火シャッター		・上部手動式		
・防煙シャッター				

章	適用	項目	特記事項
	○	7. 軽量シャッター	開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　（16. 12. 2） 耐風圧性能　・50　・65　・80　・ スラットの材質　※塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯　・（　　）　（16. 12. 3） スラットの形状　⊙ インターロッキング形　・オーバーラッピング形　（16. 12. 4）
	○	8. ガラス	JIS規格品　（16. 14. 2） ※材料、厚みは図示による
	○	9. ガラス留め材	アルミニウム製建具　※シーリング(SR-1)　（16. 14. 2,3） ・ガスケット(グレイジングチャンネル形)(窓に適用) 鋼製・ステンレス製建具　※シーリング(SR-1)　（表 9. 7. 1） 木製建具　※シーリング(SR-1)
		10. ガラスブロック積み	JIS A 5212(ガラスブロック(中空))　（16. 14. 5） 表面形状（　　）　呼び寸法（　　）　厚さ（　　） 壁用金属枠及び補強材（　　） カ骨

材質	寸法	形状
※ステンレス鋼(SUS304) ・	※径5.5mm ・	※はしご形状腹筋及び単筋 ・

シーリング材（　　）
金属製化粧カバー　材質（　　）　寸法（　　）　形状（　　）
ガラスブロックの目地幅の寸法
平積み　※8～15mm　・（　　）
曲面積み　※外側15mm以下、内側6mm以上　・（　　）
伸縮調整目地位置　※6m以下　・（　　）
目地部の力骨の補強方法　※製造所の仕様　・（　　）

章	適用	項目	特記事項
18 塗装工事	○	1. 材料	※屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は，防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。
	○	2. 素地ごしらえ	⊙ 木部　不透明塗料塗り（※A種　・B種）　（18. 2. 2）（表 18. 2. 1） 透明塗料塗り（・A種　※B種） ⊙ 鉄鋼面（・A種　⊙ B種　※C種）　（18. 2. 3）（表 18. 2. 2） （耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする） ⊙ 亜鉛めっき鋼面（・A種　・B種）　（18. 2. 4）（表 18. 2. 3） ⊙ モルタル及びせっこうプラスター面（・A種　※B種）　（18. 2. 5）（表 18. 2. 4） ⊙ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面（・A種　※B種）　（18. 2. 6）（表 18. 2. 5） （耐候性塗料塗り(DP)、2液形ポリウレタンエナメル塗り、アクリルシリコン樹脂エナメル塗り、常温乾燥形ふっ素エナメル塗りについては、表18. 2. 6による）　（表 18. 2. 6） ⊙ せっこうボード及びその他ボード面　継目処理工法（※A種　・B種）　（18. 2. 7）（表 18. 2. 7） その他（・A種　※B種）
	○	3. 塗料塗り	⊙ 錆止め塗料塗り　（18. 3. 2～3）（表 18. 3. 1～6）

下地		塗料種別	塗り種別	
鉄鋼面	SOP	※A種	見え掛り部分	※A種　・B種
	EP-G	・A種　※B種	見え隠れ部分	・A種　※B種
	DP	1回目　※C種 2·3回目　※D種	表18. 3. 4	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具	※A種　・B種
	EP-G	※C種	その他	・A種　※B種
	DP	※B種		

⊙ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
塗料種類　※1種　・2種　（18. 4. 2）
木部塗り種別　（屋外）　※A種　・B種　（18. 4. 3）
（屋内）　・A種　※B種（多孔質広葉樹の場合を除く）
鉄鋼面塗り種別　・A種　※B種　（18. 4. 4）
⊙ クリヤラッカー塗り(CL)　（18. 5. 2）（表 18. 5. 1）
塗り種別　・A種　※B種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)　（18. 6. 2）（表 18. 6. 1）
塗り種別　・A種　※B種

章	適用	項目	特記事項
			・耐候性塗料塗り(DP) ・鉄鋼面上塗り塗料の等級　・1級　・2級　・3級　（18. 7. 2）（表 18. 7. 1） ・亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級　・1級　・2級　・3級　（18. 7. 3）（表 18. 7. 2） ・コンクリート面・押出成形セメント板面上塗り塗料の等級　（18. 7. 4）（表 18. 7. 3） ・1級　・2級　・3級 ⊙ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)　（18. 8. 2～5）（表 18. 8. 1～4） ⊙ 塗り種別（下地：コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード等）　・A種　※B種 ・塗り種別（下地：鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面）　・A種　※B種 ・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)　（18. 9. 2）（表 18. 9. 1） 塗り種別　・A種　※B種 ⊙ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)　（18. 10. 2）（表 18. 10. 1） 木部塗り種別(一般木部及びフローリングは1液形)　・A種　※B種 ・オイルステイン塗り(OS)　（18. 11. 2）（表 18. 11. 1） 塗料（　　）　・図示による ・木材保護塗料塗り(WP)　（18. 12. 2）（表 18. 12. 1） 塗り別　・A種　※B種
19 内装工事	○	1. ビニル床シート、ビニル床タイル及びコム床タイル張り	接着剤　壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。　（19. 2. 2） 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。 ビニル床シート

種類	色柄	厚さ	工法	備考
※FS ・	・無地 ・模様	※2.0 ・	※熱溶接 ・突付け	・防滑性ビニル床シート ・

ビニル床タイル

種類	色柄	厚さ(mm)	備考
・単層ビニル床タイル(TT) ・複層ビニル床タイル(FT) ・コンポジションビニル床タイル(KT) ・	・無地 ・模様	※ 2 ・ 3	・防滑性床タイル

特殊機能床材
帯電防止床シート又は床タイル　種類（　　）　性能（　　）　厚さ（　　）
視覚障害者用床タイル　種類（　　）　形状（　　）
耐動荷重性床シート　種類（　　）　厚さ（　　）
ビニル幅木　厚さ（※1.5mm以上　・　）　高さ（※60mm　・100mm）　種類（　　）
ゴム床タイル　種類（　　）　厚さ（　　）　色柄（　　）　寸法（　　）
下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別　ビニル床シート、タイル（　　）
ゴム床タイル（　　）

章	適用	項目	特記事項
		2. カーペット敷き	・織じゅうたん　種別（・A種　・B種　・C種）　織り方（　　）　（19. 3. 2～3）（表19. 3. 1～2） パイル形状（・カットパイル　・ループパイル　・　） 帯電性（人体帯電圧　※3kv以下　・　） ・タフテッドカーペット　パイル形状（・カットパイル　・ループパイル　・　） パイル長（　　）　帯電性（人体帯電圧　※3kv以下　・　） 工法（・グリッパー　・全面接着） ・タイルカーペット　種類（※第1種　・　）　パイル形状（※ループパイル　・　） 寸法（※500mm角　・　）　総厚さ（※6.5mm　・　） 平場敷き方（※市松敷き　・　） 階段敷き方（※模様流し　・　） 下敷き材（※JIS L 3204 第2種2号　呼び厚さ8mm　・　） 取付け用付属品　見切り　材質（　　）　種類（　　）　形状（　　） 押え金物　材質（　　）　種類（　　）　形状（　　）
	○	3. 合成樹脂塗床	（19. 4. 2～3）（表19. 4. 4～8）

材料	種類	仕上げの種類
⊙ 厚膜型塗床材	⊙ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　⊙ 防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
	・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法（※平滑　・防滑） ・厚膜流しのべ工法（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル工法（※平滑　・防滑）
・薄膜型塗床材	・エポキシ樹脂系塗床材	・平滑仕上げ

章	適用	項目	特記事項
	○	4. フローリング張り	（19. 5. 2～7）（表19. 5. 1～5）

工法		フローリング種類		寸法等	樹種
※釘留め工法（接着剤併用）	※根太張り工法	単層	※フローリングボード	表19. 5. 1	・なら ・さくら ・
		複合	・A種 ・B種 ※C種	表19. 5. 2	
	・直張り工法	単層	※フローリングボード	表19. 5. 3	・なら ・さくら ・
		複合	・A種 ・B種 ・C種	表19. 5. 4	
⊙ 接着工法		単層	・フローリングブロック	※図示による	・なら ・さくら ・
			⊙ フローリングボード	表19. 5. 5	
		複合	・A種 ・B種 ・C種	表19. 5. 6	

章	適用	項目	特記事項
		5. 畳敷き	畳の種別　（和室）　・A種　・B種　・C種　（19. 6. 2）（表 19. 6. 1） ・D種（・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N） （柔道場）　製造所（ 監督員の承諾を得るものとする。）

永園設計株式会社
一級建築士 第 123948 号
小原 正信

城西中学校校舎新築その他本体工事	
建築工事特記仕様書 5－4	A－05
鹿児島市建設局建築部建築課	

Ver.R60507

章	適用	項目	特記事項

19 内装工事

○ 6. せっこうボード、その他ボード及び合板張り

せっこうボード、その他ボード類 (19. 7. 2～3)(表 19. 7. 1～5)

種類	種別	張り方			厚さ	備考
⊙ せっこうボード	⊙ GB-R ⊙ GB-S ⊙ GB-F ・ GB-L	⊙ 下地張り	天井	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	
			壁	⊙ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	⊙ 9.5 ◎ 12.5 ・ 15.0 ・	
	GB-D	・ 上張り	天井	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	
			壁	・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ※ 目透し	・ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・	
⊙ 化粧せっこうボード	⊙ ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 (GB-D)	直張り		※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5	※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910 ・ 910×910
	・ 木目模様 (裏桟付) (GB-D)			・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ※ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	防火認定は準不燃とし専用軽鉄下地材付き
⊙ 無石綿けい酸カルシウム板				⊙ 突付け ・ 突付けV目地 ⊙ 継目処理 ※ 目透し	◎ 6 ⊙ 8 ・ 10 ・ 12 ・	JIS A5430に準拠したﾉﾝｱｽﾍﾞｽﾄのもの
・ 木毛セメント板	・ 難燃木毛セメント板 (2級以上) ・ 断熱木毛セメント板	・ 30分耐火以上 ・ 準不燃	継目用金物		・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50	監督員の承諾による工場

合板類

材種	樹種など	厚さ(mm)	工法
⊙ 普通合板	⊙ 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 (⊙ラワン ・しな ・)	・ 5.5 ・ 9 ・ 12 ⊙図示	・ A種 ※ B種
	・ 不透明塗料塗りの場合 (・ ラワン ・しな ・)	・ 5.5 ・ 9 ・ 12	・ A種 ※ B種
・ 特殊合板	・ 天然木化粧合板の化粧単板 (・ ラワン ・しな ・)	化粧単板厚 ※ 0.3未満 ・ 板厚 ・ 4.2 ・	・ A種 ※ B種
	・ 特殊加工化粧合板の仕上げの種類 (・)	板厚 ・ 4.0 ・	・ A種 ※ B種

下地 ⊙ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ・

7. 壁紙張り (19. 8. 2～3)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	素地ごしらえ
	紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質		
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種

○ 8. 断熱・防露 (19. 9. 2～3)

種類		施行箇所	厚さ(mm)	品質等
⊙ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b	・ 一般部 ・	・ 20 ・ 45,50	特定フロンを使用しないもの
	※ 3種b	⊙ 屋根 ⊙ ピット上部	・ 20 ⊙ 図示	
⊙ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)		※ 断熱材補修部分		特定フロンを使用しないもの 難燃性 (※ 3級 ・)
		⊙ 一般部 ・ 熱橋部	・ 15 ⊙ 25,40	※A種1 ⊙A種1H
		製造所 : 監督員の承諾する製造所		

○ 9. その他

・ メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ⊙ 2.5～3.0
・ 内装プレハブ工法: 製造所の仕様による

20 ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア

床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・ (20. 2. 2)
表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ)
床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・
寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・
適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・
(中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・
(最上階) ※ 1.0以上 ・
耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・
空調用孔あきパネル 枚数 ( ) 材質 ( )
コンセント開口 適用室 ( )
ｺﾝｾﾝﾄ部分以外にﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ内からﾌﾛｱ面上へ配線取り出し開口を全ﾊﾟﾈﾙに有すること。
試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。
特記以外の仕様は製造所の仕様とする。

2. 可動間仕切(既製間仕切) (20. 2. 3)

構造形式	表面板及び厚さ	パネル仕上げ	パネル見込み
※ パネル式 ・ スタッド式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・	※ 焼付塗装(常備色程度) ・	※ 60以上 ・ 50
・ ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・ スタッド アルミニウム製 40角	※ 焼付塗装(常備色程度) ・	※ 30以上 ・

品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による

3. 移動間仕切(ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ) (20. 2. 4)

パネル操作方法 ( )
パネル表面材の材質 (※ 鋼板 ・)
パネル表面材仕上げ (・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・)
パネル圧接装置操作方法 ( ) 遮音性能 (・ 一般ﾀｲﾌﾟ(36dB未満) ・ 遮音ﾀｲﾌﾟ(36dB以上))
ハンガーレール 取付下地補強方法 (※ 20. 2. 4(3)(ｳ) ・
固定方法 (・ あと施工アンカー(材質: 、寸法:) ・
製造所 評価名簿による

○ 4. トイレブース

表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) (20. 2. 5)
・ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型
製造所 評価名簿による

○ 5. 手すり及びﾀﾗｯﾌﾟ (20. 2. 6)(20. 2. 12)

種類	材料の種別	表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)
⊙ 手すり	※ ステンレスSUS304	※ HL程度 ・ 鏡面程度 ・ #400
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(外部) ※ C種 ・ (内部) ・
	・ アルミ	(外部) ・ (内部) ・
⊙ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し ・
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(内外部) ※ C種 ・

ステンレスSUS430を使用する箇所 ( )

○ 6. 階段滑り止め

材種 ※ SUS ⊙(ノンスリップタイル) (20. 2. 7)
形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし
両端フラットエンド ・ 無 ※ 有
幅(mm) ・ 35 ※ 40
取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)

○ 7. 床目地棒

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。 (20. 2. 8)
・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製∩型(幅40 内外厚さ2)

○ 8. 黒板及びホワイトボード (20. 2. 9)

	種類	寸法(mm)	色彩	備考
⊙ 黒板	※ 研出し ⊙ 焼付け	⊙ 図示	※ 緑 ・ 黒 ※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け
⊙ ホワイトボード	※ ほうろう白板	⊙ 図示	※ 白 ※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け

黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。
(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)

9. 鏡

厚さ ※ 5mm ・ (20. 2. 10)

○ 10. 表示

・ 対人衝突防止表示 ※ 図示(市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・) ・ 無し
・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。 (20. 2. 11)
・ 室名表示 ※ 図示による

11. ブラインド (20. 2. 13)

形式	スラットの材種	開閉方式	スラットの幅(mm)	ﾍｯﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びﾎﾞﾄﾑﾚｰﾙ
・ 横形	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金	※ ｷﾞﾔ式 ・ ｺｰﾄﾞ式 ・ 操作棒式	※ 25 ・	※ 鋼製
・ 縦形	・ ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	※ 2本操作ｺｰﾄﾞ式	・ 80 ・ 100	

○ 12. カーテン及びカーテンレール

レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ・ ( ) (20. 2. 16)(表 20. 2. 1)
材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)
・ ステンレス製
工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300㎜以上 ・

21 排水工事

○ 1. 屋外雨水排水

材料 ※ 図示による

○ 2. 縁石及び側溝

材料 ※ 図示による

22 舗装工事

○ 1. 路盤

・厚さ: ※図面による (22. 3. 2)
・材料: ※ 再生クラッシャランRC-40 ・ クラッシャランC-40 ・ 図面による (22. 3. 3)
再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定ﾘｻｲｸﾙ製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

○ 2. アスファルト舗装

・構成及び厚さ: ※図面による (22. 4. 2)
・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ ( )
・ シールコートの適用: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 3)
・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ・ ( ) (22. 4. 4)
・切取り検査: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6)
・アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行う ※ 行わない

3. コンクリート舗装

・構成及び厚さ: ※図面による (22. 5. 2)
・寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22. 5. 3)
・注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ・ ( )
・溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6㎜ 網目150㎜

4. 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

・構成及び厚さ: ※図面による (22. 7. 2)
・路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする

5. ブロック系舗装

・種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22. 8. 1)
・構成及び厚さ: ※図面による (22. 8. 2)
・ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ・ ( )

6. 砂利敷き

・構成及び厚さ: ※図面による
・種別: ・ A種 ・ B種 (22. 9. 2)
再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定ﾘｻｲｸﾙ製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

章	適用	項目	特記事項

永園設計株式会社
一級建築士 第 123948 号
小原 正信

関係法令　届出・許可等リスト

法令	項目	該当	不要	番号（日付）	備考
建築基準法	計画通知	■	□		
	検査済証	■	□		
	道路位指置定	□	■		
	道路相談	□	■		
	法43条ただし書き許可	□	■		
	崖相談	□	■		
	危険宅協議会	□	■		
	仮使用承認	□	■		
	建築許可	□	■		法44･48･56ノ2･85･86
	建築認定	□	■		法55
	建築承認	□	■		令115ノ2四･県20～24及び27
	全体計画認定	□	■		
建築基準法関係規定	宅地造成	□	■		宅地造成工事規制区域内の切土(2m)・盛土(1m)又は500㎡超
	開発許可	□	■		市街化区域で開発1,000㎡以上,市街化調整区域の開発行為等
	市街化調整区域内	□	■		市街化調整区域内の建築行為
	自転車附置義務	□	■		商業･近隣商業地域で遊技場300㎡超,金融機関･店舗500㎡超
	自動車附置義務	□	■		商業･近隣･駐車場整備地区で店舗等1,500㎡超,住宅等2,000㎡超
	高度地区	□	■		城山周辺地区(建築物の高さの最高限度20m)
	臨港地区内	□	■		本港新町･中央港新町･浜町等
	都市計画施設の区域内	□	■		都市計画道路･流通業務団地･公園等
	浄化槽・汲み取り	□	■		
	屋外広告物許可	□	■	第2種禁止地域	広告物の設置
	保健所への通知	□	■		店舗・集会場等3,000㎡,学校8,000㎡
	バリアフリー法	■	□		特別特定建築物2,000㎡以上
	省エネ法	■	□		床面積300㎡以上
その他	公害防止事前協議	■	□		店舗･工場･福祉･医療施設等(物販店･事務所･倉庫は100㎡以上)
	地区計画	□	■		鵜池NT･明ヶ窪･武岡台･星ヶ峰南･南皇徳寺台･与次郎ヶ浜地区等
	城山周辺地区	□	■		城山周辺
	福祉のまちづくり届出	□	■		福祉保健施設、医療･集会･物販･飲食施設300㎡以上等
	福祉環境整備届出	□	■		病院･福祉施設･集会場･物販店･飲食店等150㎡以上
	医療法	□	■		病院･診療所
	児童福祉法	□	■		保育所
	法第51条施設	□	■		卸売市場･火葬場･と畜場･汚物処理場･ごみ焼却場等
	電波法	□	■		高さ31mを超えるもの
	風致地区内	□	■		慈眼寺風致地区･寺山風致地区
	急傾斜地崩壊危険区域	□	■		
	砂防法	□	■		砂防指定地内
	市有地内	□	■		城南町・下荒田四丁目・三和町
	公衆浴場法	□	■		公衆浴場
	ホテル・旅館	□	■		
	土地区画整理区域内	□	■		原良･吉野･宇宿･郡山･谷山地区
	河川改修計画区域	□	■		新川流域
	国道沿線	□	■		328号を除く
	高圧線近接地	□	■		
	里道(農道)・水路等	□	■		
	農地法	□	■		農地
	JR線路沿い	□	■		
	給油所	□	■		
	工場立地法	□	■		敷地9,000㎡以上又は建築3,000㎡以上
	風俗営業法	□	■		風俗営業及び風俗関連営業等の施設
	倉庫業法	□	■		倉庫業を営む倉庫
	歩道切下げ	□	■		市道における歩道への車両の乗り入れがある場合
	景観条例	▨	□		1500㎡以上又は一低･二低で軒高7m又は3階以上等
	自然公園法	□	■		霧島屋久国立公園内(吉野町,桜島等)
	駐車場法	□	■		路外駐車場500㎡超
	史跡・文化財	□	▨		遺跡範囲内等
	木材団地	□	■		東開町
	納骨堂・墓地	□	■		
	大規模小売店舗立地法	□	■		店舗床面積1000㎡超
	自主協定	□	■		星和台（喜入）
	建築協定	□	■		伊敷台1丁目
	リサイクル法	■	□		
	地球温暖化対策計画書	■	□		2000㎡以上の新築等
		□	□		
		□	□		

建築基準法　適用リスト

分類	項目		法	令	県条例	適用 有	適用 無	適用・条件緩和等根拠
集団規定	敷地の衛生・安全	崖	19	－	3	□	■	
		雨水・排水排出又は処理	19	－	－	■	□	
	道路規制	道路種別	42	－	－	■	□	市道
		道路幅員	42	－	－	■	□	8.0m
		接道義務	43	－	－	■	□	2m以上
		敷地と道路の関係	43	－	19～25	■	□	6m以上
	用途規制	用途規制	48	－	－	▨	□	第一種住居地域
	面積制限	容積率	52	－	－	■	□	200%
		建蔽率	53	－	－	▨	□	60%＋角地10%
	高さ制限	絶対高さ	55	－	－	□	■	
		北側斜線	56	－	－	□	■	
		道路斜線	56	－	－	▨	□	
		隣地斜線	56	－	－	■	□	
		日影規制	56の2	－	－	▨	□	
単体規定	構造制限	大規模建築物の主要構造部	21	－	－	■	□	
		屋根	22	－	－	▨	□	
		外壁	23	－	－	■	□	
		木造の特殊建築物の外壁	24	－	－	□	■	
		大規模木造建築物	25	－	－	□	■	
		防火壁	26	113	－	□	■	
		耐火要求のある特殊建築物	27	－	－	■	□	
		防火・準防火地域	61～64	136の2	－	□	■	
	一般構造	居室の採光	28	19・20	－	■	□	
		居室の換気	28	20の2	－	■	□	
		シックハウス 建築材料	28の2	20の5	－	■	□	
		シックハウス 換気設備	28の2	20の6	－	■	□	
		地階の居室	29	22の2	－	□	■	
		界壁の遮音構造	30	22の3	－	□	■	
		居室の天井高・床高	36	21・22	－	■	□	
		階段	36	23～27	－	■	□	
	避難規定	廊下	35	119	－	■	□	
		直通階段までの歩行距離	35	120	－	■	□	
		2以上の直通階段	35	121	－	■	□	
		避難階段	35	122・123	－	□	■	
		物販店舗の階段	35	124	－	□	■	
		避難階の歩行距離	35	125	－	▨	□	
		出口・屋上広場・手摺	35	125～126	－	■	□	
		排煙設備	35	126の2・3	－	□	■	126の2-1-2により除外
		非常用照明	35	126の4・5	－	□	■	126の4-1-3により除外
		非常用進入口	35	126の6・7	－	▨	□	
		敷地内通路	35	128	－	■	□	
		大規模木造建築物の敷地内通路	35	128の2	－	□	■	
	防火規定	内装制限	35の2	128の4	－	□	▨	
		無窓居室の主要構造部	35の3	111	－	□	■	
		面積区画	36	112	－	■	□	1,500㎡以下（主要構造部が耐火構造）
		竪穴区画	36	112	－	■	□	
		異種用途区画	36	112	－	□	■	
		防火設備	36	112	－	■	□	
		界壁・間仕切壁・隔壁	36	114	－	■	□	
	建築設備等	避雷設備	33	129の14・15	－	□	▨	
		非常用EV	34	129の3の3	－	□	■	
		防火ダンパー	36	112・114	－	■	□	
		防火区画等貫通部措置	36	129の2の5	－	■	□	
		ガス配管設備	36	129の2の5	－	■	□	
その他	県条例	共同住宅・長屋・寄宿舎	－	－	7・8	□	▨	
		ホテル・旅館・公衆浴場	－	－	9	□	■	
		劇場・映画館・集会場等	－	－	10～16	□	▨	
		自動車車庫・自動車修理工場	－	－	17・18	□	▨	
	市細則	工場・危険物調書	－	－	－	□	▨	

消防法　適用リスト

項目			適用 有	適用 無	適用・条件緩和等根拠
要件		防火対象物	■	□	
		準地下街	□	■	
		無窓階	□	■	
消防の用に供する設備	消火設備	消火器	■	□	
		簡易消火用具（水バケツ・水槽・乾燥砂等）	□	■	
		屋内消火栓設備	■	□	主要構造部が耐火構造の場合、倍読み適用1,400㎡以下不要
		スプリンクラー設備	□	■	11階以下
		水噴霧消火設備	□	■	
		泡消火合設備	□	■	
		不活性ガス消火設備	□	■	
		ハロゲン化物消火設備	□	■	
		粉末消火設備	□	■	
		屋外消火栓設備	□	■	9,000㎡以上
		動力消防ポンプ設備	■	□	
	警報設備	自動火災報知設備	■	□	地上3階　300㎡以上
		ガス漏れ火災警報設備	□	■	温泉の採取の為の施設ではないため免除
		漏電火災警報器	□	■	鉄鋼入り床・壁・天井
		消防機関へ通報する火災報知設備	□	■	消防機関へ常時通報することができる電話を設置により免除
		非常警報器具（警鐘）	□	■	自動火災報知設備設置により免除
		非常警報器具（携帯用拡声器）	□	■	自動火災報知設備設置により免除
		非常警報器具（手動式サイレン）	□	■	自動火災報知設備設置により免除
		非常警報設備（非常ベル）	□	■	自動火災報知設備設置により免除
		非常警報設備（自動式サイレン）	□	■	自動火災報知設備設置により免除
		非常警報設備（放送設備）	□	■	収容人員800人以下により免除
	避難設備	避難器具（すべり台）	□	▨	
		避難器具（避難はしご）	□	■	
		避難器具（救助袋）	□	■	
		避難器具（緩降機）	■	□	
		避難器具（避難橋）	□	■	
		避難器具（その他の避難器具等）	□	■	
		誘導灯	□	■	
		誘導標識	■	□	
消防用水		防火水槽	□	■	15,000㎥以上
消火活動上必要な施設		排煙設備	□	■	
		連結散水設備	□	■	
		連結送水管	□	■	
		非常コンセント設備	□	■	
		無線通信補助設備	□	■	
		総合操作盤	□	■	50,000㎥以上
必要とされる防火性能を有する消防の用に供する設備等		パッケージ型消火設備	□	■	
		パッケージ型自動消火設備	□	■	
		加圧坊排煙設備	□	■	

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 関係法令適用リスト 鹿児島市建設局建築部建築課	A－07

工事区分表

	項目	建築工事	電気設備工事	給排水設備工事	冷房設備工事	別途	備考
共通	仮設電力の電気料金	○	○	○	○		
	本設受電後引渡しまでの電気料金	○	○	○	○		
	仮設上下水道・ガスの使用料金	○	○	○	○		
	本設上下水道・ガスの引渡しまでの使用料金	○	○	○	○		
	電力・ガス・上下水道・電話引込負担金	○	○	○	○		
	外構・植栽	○					
機械基礎	床上機械基礎及び仕上げ（ＲＣ）	○					
	架台，アンカーボルト等		○	○	○		
躯体関係	構造体設備用貫通箱入れ及びスリーブ		○	○	○		
	同上開口補強	○					
	同上開口部補修		○	○	○		
	防水スリーブ及び防水処理		○	○	○		
	ＲＣ部分梁貫通スリーブ		○	○	○		
	同上用補強工事	○					
	梁壁貫通部補修埋戻し		○	○	○		
	ダクト，パイプ等の防水貫通部補修		○	○	○		
	ＥＰＳ，ＰＳ点検口	○					
	ベンドキャップ給排気			○			
	天井点検口・開口補強	○					
	設備器具用天井開口		○	○	○		
	同上開口補強	○					
排水工事	雨水ルーフドレイン，縦樋，横引樋	○					
	雨水桝、排水管	○					
	設備用吊ボルト		○	○	○		
ﾋﾟｯﾄ・ﾏﾝﾎｰﾙ等	屋内床点検口（補強共）	○					

	項目	建築工事	電気設備工事	給排水設備工事	冷房設備工事	別途	備考
設備工事等	冷房設備室外機				○		
	冷房設備室外機基礎・フェンス	○					
	冷房用リモコン（配管・スイッチボックス）		○				
	冷房用リモコン（配線）				○		
	冷房設備分電盤		○				
	冷房設備分電盤１次側		○				
	冷房設備分電盤２次側（分電盤～室外機配管・配線）		○				
	冷房設備分電盤２次側（分電盤～Ｐ．Ｂ間配管）		○				
	冷房設備分電盤２次側（P.B～室内機配線）				○		
	換気設備				○		
	高置水槽基礎・フェンス	○					
便所流し等	既製鏡			○			（既製品）
	特注鏡	○					
	洗面器用水石鹸入，紙巻器および取付			○			
	洗面カウンター	○					
	同上洗面器及び配管			○			
	既製手すり（便所等）			○			
	特注手すり（階段、バルコニー等）	○					
	衛生器具面台	○					
	衛生器具			○			
	水栓類			○			
	廊下、流し台	○					
	廊下、流し台排水トラップ	○					
	廊下、流し台排水管			○			
	衛生器具、手すり等の裏板			○			
	外部水飲み場等排水目皿	○					
	外部水飲み場等排水管、トラップ			○			
防火戸等	防火戸	○					
	煙感知器・レリーズ・配管配線		○				
	防火区画ダクト防火ダンパー・延焼の恐れFD				○		

	項目	建築工事	電気設備工事	給排水設備工事	冷房設備工事	別途	備考
防災設備	防災盤より連動装置までの配管配線		○				
	感知器配管配線		○				
	発信器，標示灯取付配管配線		○				
	自然排煙窓，手動開放装置	○					
	消火器					○	消火器は ABC粉末10型を想定
	消火器ボックス	○					
	発信機・表示灯・消火ポンプ起動スイッチ		○				
	非常用進入口　赤色反射マーク	○					代替進入口
	誘導標識	○					
	緩降機	○					
シャワーユニット	シャワーユニット本体一式及び据付	○					
	照明機器	○					
	電源・スイッチ・配線 及び接続		○				
	シャワー·水栓、排水トラップ	○					
	給排水配管 及び接続			○			
	天井埋め込み換気扇	○					
	換気扇用ダクト 及び接続				○		

	項目	建築工事	電気設備工事	給排水設備工事	冷房設備工事	別途	備考
家具	造付家具	○					
その他	ブラインド					○	
	カーテン					○	
	カーテンレール	○					
	カーテンボックス	○					
	サイン	○					

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士　第　123948　号
小原　正信

城西中学校校舎新築その他本体工事

工事区分表

鹿児島市建設局建築部建築課

Ａ－０８

建築概要

工事名称	城西中学校校舎新築その他本体工事	高さ制限	道路斜線:勾配1.25(適用距離20m)
地名地番	鹿児島市城西二丁目３番１２号		隣地斜線:勾配1.25＋20m
住居表示	鹿児島市城西二丁目３－１２	日影規制	5時間-3時間(測定面4m)
都市計画区域の内外	都市計画区域内	許可・認定等	-
防火地域	指定なし	容積率	60.25%
その他の区域・地域	22条区域	建ぺい率	23.62%
敷地面積	21,023.00㎡(平成6年度 建築確認整理台帳より)	延床面積	12,689.79㎡ (容積率対象面積:12,665.69㎡)
用途地域	第一種住居地域 容積率200% 建ぺい率60%＋角地10%	建築面積	4,965.21㎡
道路幅員	西側:市道 幅員8.0m(法42第1項1号)	主要用途	中学校
道路と接する長さ	139.00m	耐火建築物等	耐火建築物
		建築物の数	新設:2棟 既存:9棟 ※床面積10㎡以下の棟を除く

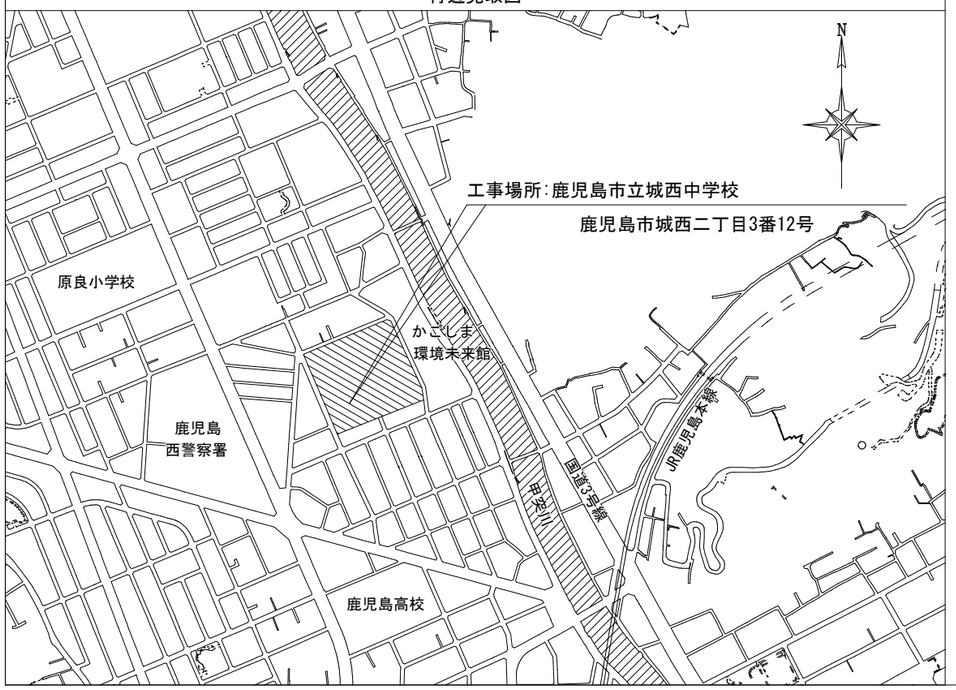
申請対象建築物概要

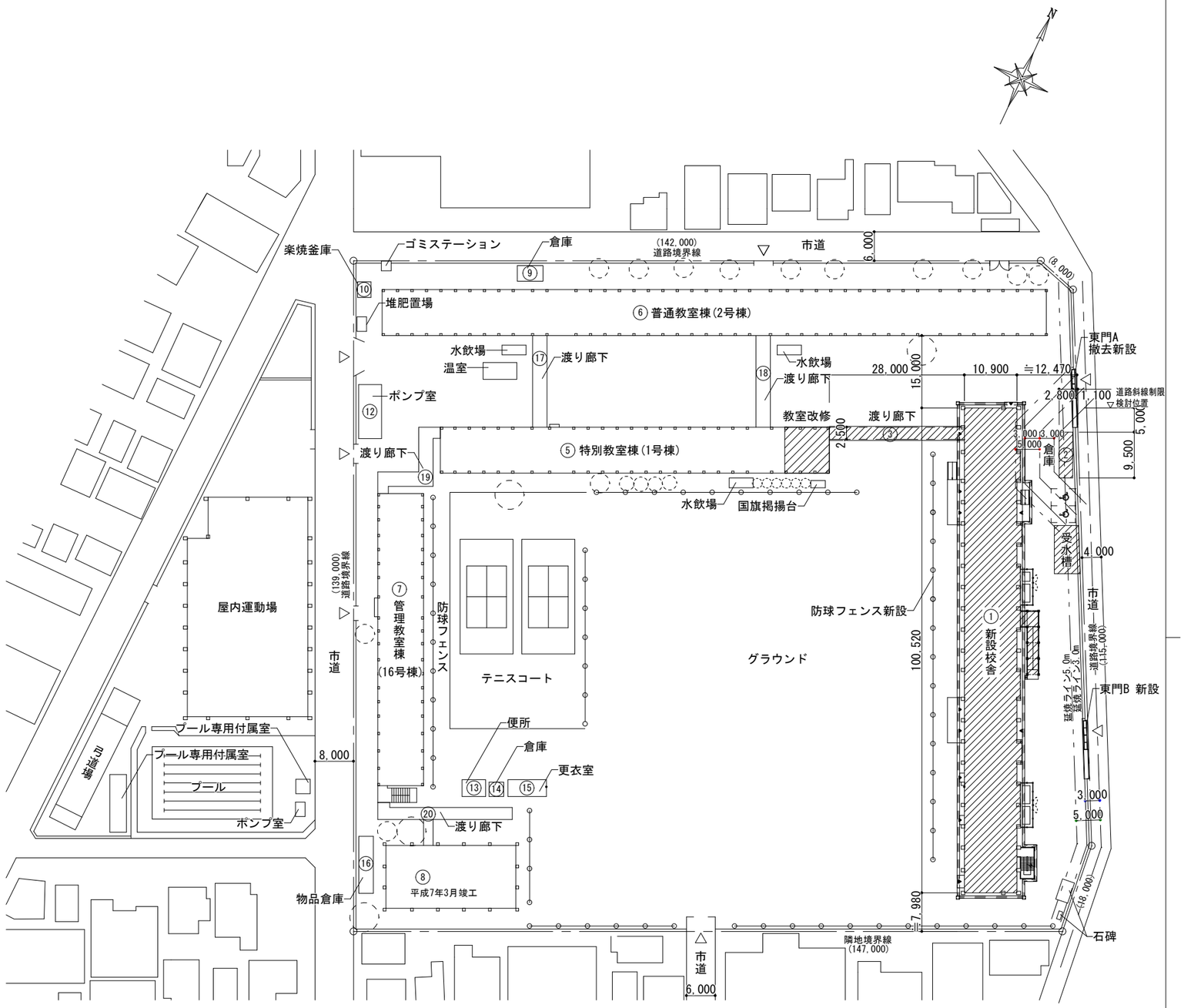
	建築物名称	構造	階数	建築面積	床面積	最高高さ	軒高
①	新設校舎	鉄筋コンクリート造	4階	1,276.34 ㎡	4,342.18 ㎡	15.900 m	15.400 m
②	倉庫	鉄筋コンクリート造	1階	30.18 ㎡	30.18 ㎡	3.037 m	2.980 m
③	渡り廊下 ※吹きさらしの廊下	鉄骨造	1階	73.14 ㎡	－ ㎡	5.270 m	3.940 m
④	－欠番－						
			合計	1,379.66 ㎡	4,372.36 ㎡		

既存建築物概要

	建築物名称	構造	階数	建築面積	床面積	最高高さ	軒高
⑤	特別教室棟(1号棟)	鉄筋コンクリート造	3階	788.38 ㎡	2,301.84 ㎡	11.300 m	11.100 m
⑥	普通教室棟(2号棟)	鉄筋コンクリート造	3階	1344.95 ㎡	3,898.48 ㎡	11.300 m	11.100 m
⑦	管理教室棟(16号棟)	鉄筋コンクリート造	3階	652.49 ㎡	1,597.76 ㎡	19.300 m	11.100 m
⑧	武道場	鉄骨造	1階	372.58 ㎡	349.70 ㎡	7.560 m	4.900 m
⑨	倉庫	鉄筋コンクリート造	1階	17.38 ㎡	17.38 ㎡	4.000 m	－ m
⑩	楽焼釜庫	鉄筋コンクリート造	1階	8.96 ㎡	8.96 ㎡	3.000 m	－ m
⑪	－欠番－						
⑫	ポンプ室	鉄筋コンクリート造	1階	53.76 ㎡	53.76 ㎡	4.000 m	－ m
⑬	便所	鉄筋コンクリート造	1階	17.15 ㎡	17.15 ㎡	2.950 m	－ m
⑭	倉庫	鉄筋コンクリート造	1階	9.00 ㎡	9.60 ㎡	3.080 m	－ m
⑮	更衣室	鉄筋コンクリート造	1階	28.00 ㎡	28.00 ㎡	3.760 m	－ m
⑯	物品倉庫	鉄筋コンクリート造	1階	35.40 ㎡	35.40 ㎡	3.000 m	－ m
⑰	渡り廊下 ※吹きさらしの廊下	鉄筋コンクリート造	3階	57.00 ㎡	－ ㎡	10.850 m	10.700 m
⑱	渡り廊下 ※吹きさらしの廊下	鉄筋コンクリート造	3階	57.00 ㎡	－ ㎡	10.850 m	10.700 m
⑲	渡り廊下 ※吹きさらしの廊下	鉄筋コンクリート造	2階	69.03 ㎡	－ ㎡	5.250 m	－ m
⑳	渡り廊下 ※吹きさらしの廊下	鉄骨造	1階	74.47 ㎡	－ ㎡	3.250 m	－ m
			合計	3,585.55 ㎡	8,317.43 ㎡		

付近見取図





配置図 S＝1/1000

▨ ：工事対象物

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	建築概要・付近見取図・配置図	A1:1/500 A3:1/1000
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－09

凡　例	
═══	仮囲い ： 成形鋼製 H=2.0m 全周長≒354m(参考数量)
∧∧∧∧∧∧	クロスゲート W=8.0m×H=1.8m 1ヶ所
⇦	工事車両搬出入口

＜特記事項＞

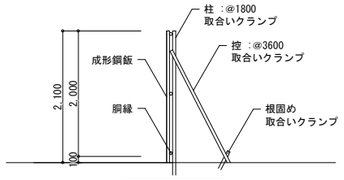
・仮設計画については参考とし、監督員及び学校管理者との協議により決定すること。

・学校敷地内では、工事車両は徐行するよう努めること。

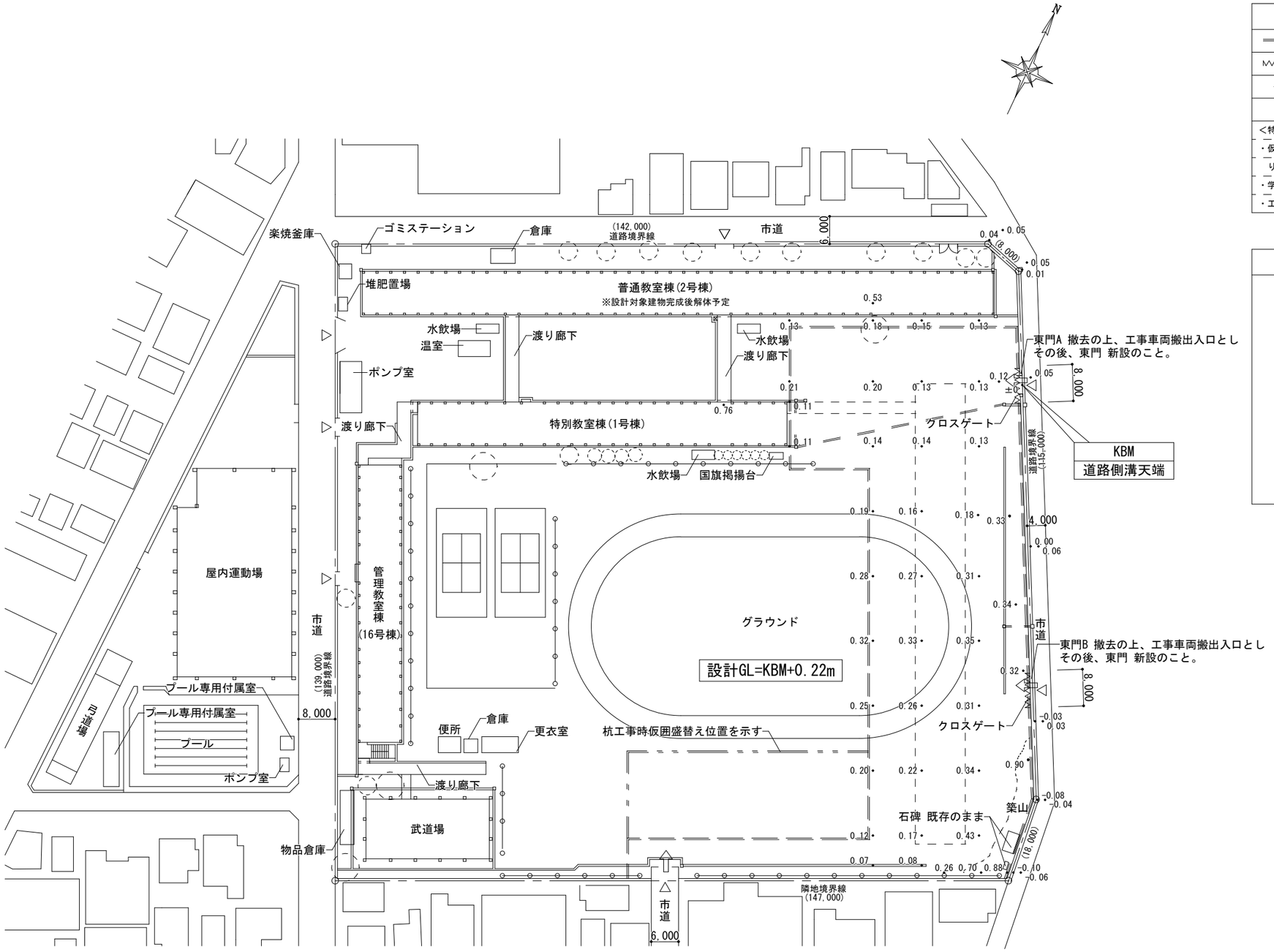
・工事車両による輪だち等は整地を行い復旧すること。

仮囲い仕様(参考)

仮囲い ： 成形鋼飯　H=2.0m
柱、控柱、胴縁共　単管パイプ φ48.6
柱 @1800、控柱 @3600
胴縁 3段　　全て取合いクランプ使用



仮囲い断面図



大型車両のみ（通常は未使用）

現況配置図　S＝1/1000

・±0.00 ： KBMとの高低差(m)を示す

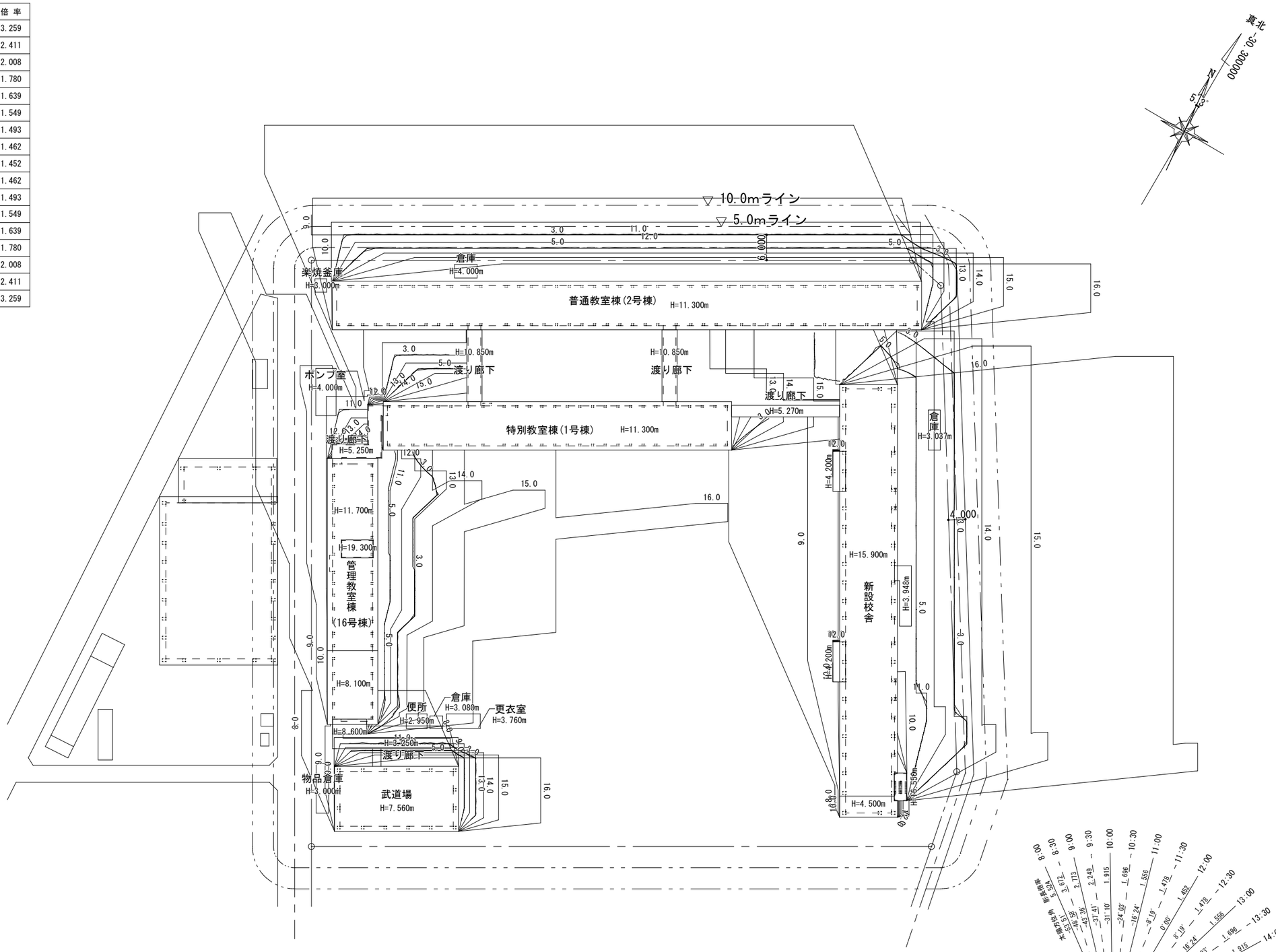
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	現況配置図	A1:1/500 A3:1/1000	A－10
	鹿児島市建設局建築部建築課		

影倍率表　[緯度 = 32°][冬至]

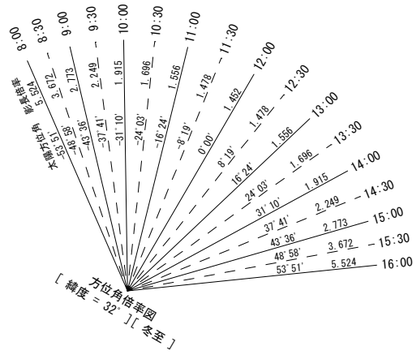
時 刻	太陽　高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	10°16'	-53°51'	5.524	-4.460	3.259
8:30	15°14'	-48°58'	3.672	-2.770	2.411
9:00	19°50'	-43°36'	2.773	-1.912	2.008
9:30	23°59'	-37°41'	2.249	-1.374	1.780
10:00	27°34'	-31°10'	1.915	-0.991	1.639
10:30	30°31'	-24°03'	1.696	-0.691	1.549
11:00	32°44'	-16°24'	1.556	-0.439	1.493
11:30	34°05'	-8°19'	1.478	-0.214	1.462
12:00	34°33'	0°00'	1.452	0.000	1.452
12:30	34°05'	8°19'	1.478	0.214	1.462
13:00	32°44'	16°24'	1.556	0.439	1.493
13:30	30°31'	24°03'	1.696	0.691	1.549
14:00	27°34'	31°10'	1.915	0.991	1.639
14:30	23°59'	37°41'	2.249	1.374	1.780
15:00	19°50'	43°36'	2.773	1.912	2.008
15:30	15°14'	48°58'	3.672	2.770	2.411
16:00	10°16'	53°51'	5.524	4.460	3.259

日影長さ表　[緯度 = 32°][冬至]
高さ＝10.000(m)　測定面高さ＝4(m)
計算高さ＝6.000(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	5.524	33.144
8:30	3.672	22.032
9:00	2.773	16.638
9:30	2.249	13.494
10:00	1.915	11.490
10:30	1.696	10.176
11:00	1.556	9.336
11:30	1.478	8.868
12:00	1.452	8.712
12:30	1.478	8.868
13:00	1.556	9.336
13:30	1.696	10.176
14:00	1.915	11.490
14:30	2.249	13.494
15:00	2.773	16.638
15:30	3.672	22.032
16:00	5.524	33.144

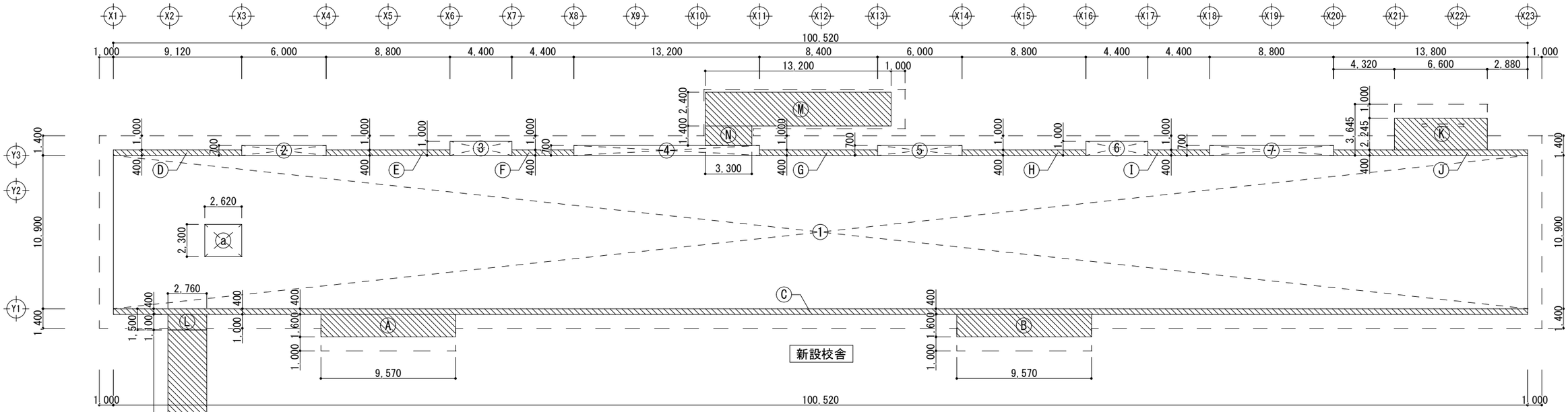


日影図　S＝1/1000

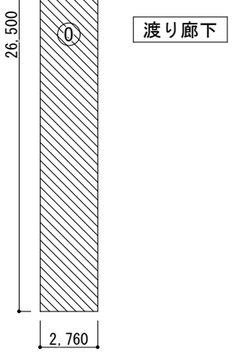


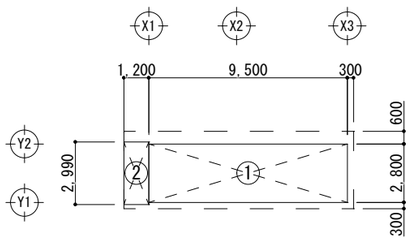
用途地域	： 第１種住居地域
境界から5m超～10m以内	： 5.0時間
境界から10m超	： 3.0時間
対象となる建築物	： 高さ10mを超える建築物
測定高さ・緯度	： 4.0m ・ 32度 0分

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	日影図	A1:1/500 A3:1/1000
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－11



1階面積求積図　S=1/300





倉庫 1階面積求積図　S=1/300

新設校舎 1階 床面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	100.520 × 10.900	1,095.6680
②	6.000 × 0.700	4.2000
③	4.400 × 1.000	4.4000
④	13.200 × 0.700	9.2400
⑤	6.000 × 0.700	4.2000
⑥	4.400 × 1.000	4.4000
⑦	8.800 × 0.700	6.1600
計		1,128.2680㎡

新設校舎 2階 床面積 求積表		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	95.520 × 10.900	1,041.1680
②	6.000 × 0.700	4.2000
③	4.400 × 1.000	4.4000
④	8.800 × 0.700	6.1600
⑤	6.000 × 0.700	4.2000
⑥	4.400 × 1.000	4.4000
⑦	8.800 × 0.700	6.1600
⑧	1.500 × 1.250	1.8750
計		1,072.5630㎡

新設校舎 3階 床面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	95.520 × 10.900	1,041.1680
②	6.000 × 0.700	4.2000
③	4.400 × 1.000	4.4000
④	8.800 × 0.700	6.1600
⑤	6.000 × 0.700	4.2000
⑥	4.400 × 1.000	4.4000
⑦	8.800 × 0.700	6.1600
計		1,070.6880㎡

新設校舎 4階 床面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	95.520 × 10.900	1,041.1680
②	6.000 × 0.700	4.2000
③	4.400 × 1.000	4.4000
④	8.800 × 0.700	6.1600
⑤	6.000 × 0.700	4.2000
⑥	4.400 × 1.000	4.4000
⑦	8.800 × 0.700	6.1600
計		1,070.6880㎡

新設校舎 延床面積 (㎡)	
4階	1,070.68
3階	1,070.68
2階	1,072.56
1階	1,128.26
計	4,342.18

新設校舎EV昇降路 1階 面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
ⓐ	2.620 × 2.300	6.0260
計		6.0260

新設校舎EV昇降路 2階 面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
ⓐ	2.620 × 2.300	6.0260
計		6.0260

新設校舎EV昇降路 3階 面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
ⓐ	2.620 × 2.300	6.0260
計		6.0260

新設校舎EV昇降路 4階 面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
ⓐ	2.620 × 2.300	6.0260
計		6.0260

新設校舎EV昇降路 延面積 (㎡)	
4階	6.0260
3階	6.0260
2階	6.0260
1階	6.0260
計	24.1040㎡

新設校舎 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	9.570 × 1.600	15.3120
Ⓑ	9.570 × 1.600	15.3120
Ⓒ	100.520 × 0.400	40.2080
Ⓓ	9.120 × 0.400	3.6480
Ⓔ	8.800 × 0.400	3.5200
Ⓕ	4.400 × 0.400	1.7600
Ⓖ	8.400 × 0.400	3.3600
Ⓗ	8.800 × 0.400	3.5200
Ⓘ	4.400 × 0.400	1.7600
Ⓙ	13.800 × 0.400	5.5200
Ⓚ	6.600 × 2.245	14.8170
Ⓛ	2.760 × 1.100	3.0360
Ⓜ	13.200 × 2.400	31.6800
Ⓝ	3.300 × 1.400	4.6200
	① ～ ⑦	1,128.2680
計		1,276.3410㎡

渡り廊下 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
⓪	2.760 × 26.500	73.1400
計		73.1400㎡

倉庫 1階 床面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	9.500 × 2.800	26.6000
②	1.200 × 2.990	3.5880
計		30.1880㎡

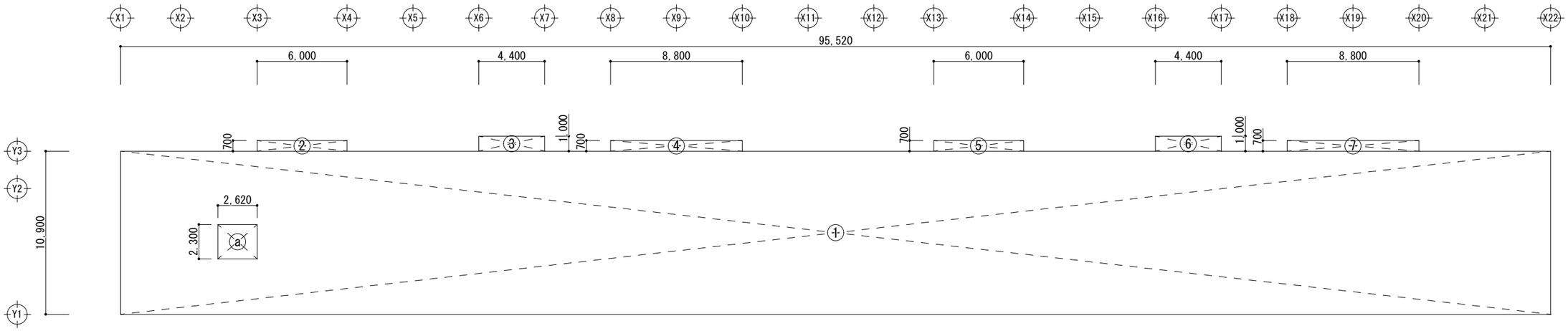
倉庫 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	9.500 × 2.800	26.6000
②	1.200 × 2.990	3.5880
計		30.1880㎡

全体建築面積	
新設校舎	1,276.34 ㎡
渡り廊下	73.14 ㎡
倉庫	30.18 ㎡
総面積	1,379.66 ㎡

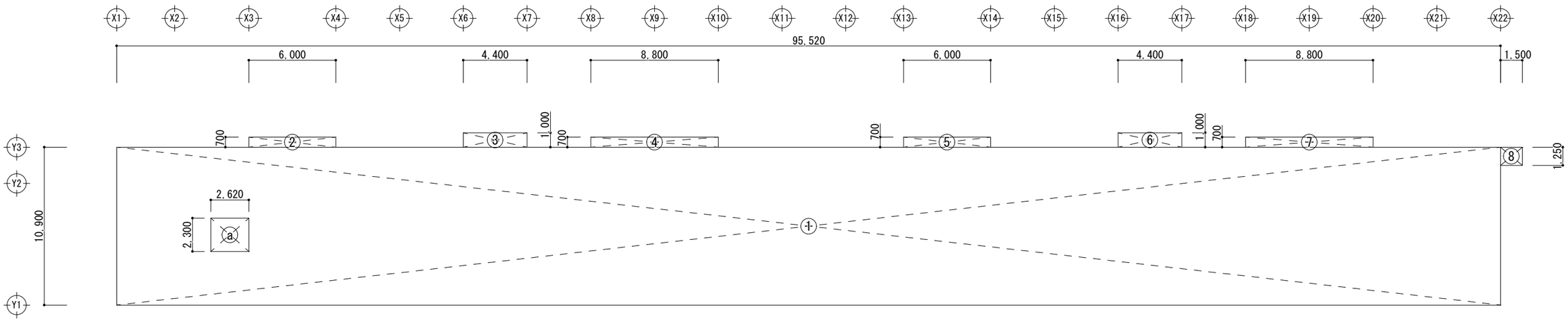
全体延床面積	
新設校舎	4,342.18 ㎡
渡り廊下	0.00 ㎡
倉庫	30.18 ㎡
総面積	4,372.36 ㎡

容積率対象面積					
申請対象建築物		既存建築物		EV昇降路	
4,372.36	＋	8,317.43	－	24.10	12,665.69 ㎡

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	面積算定図(1)	A1:1/150 A3:1/300	A－12
	鹿児島市建設局建築部建築課		



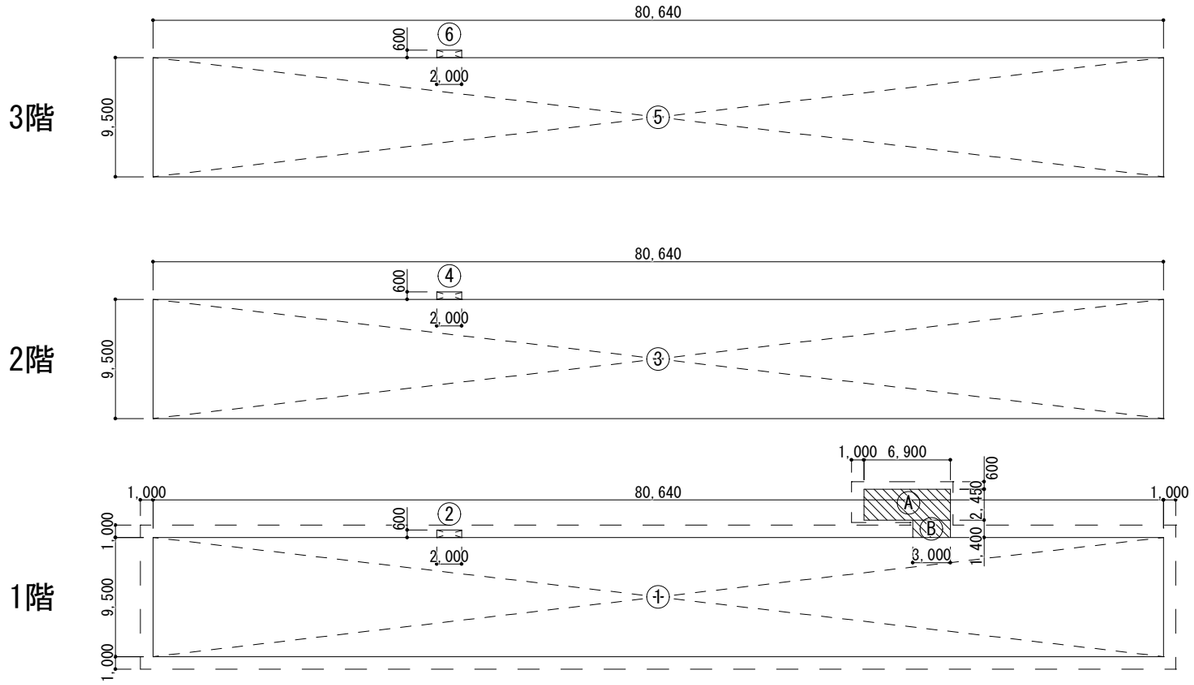
3階･4階面積求積図　S＝1/300



2階面積求積図　S＝1/300

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	面積算定図(2)	A1:1/150 A3:1/300	A－１３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

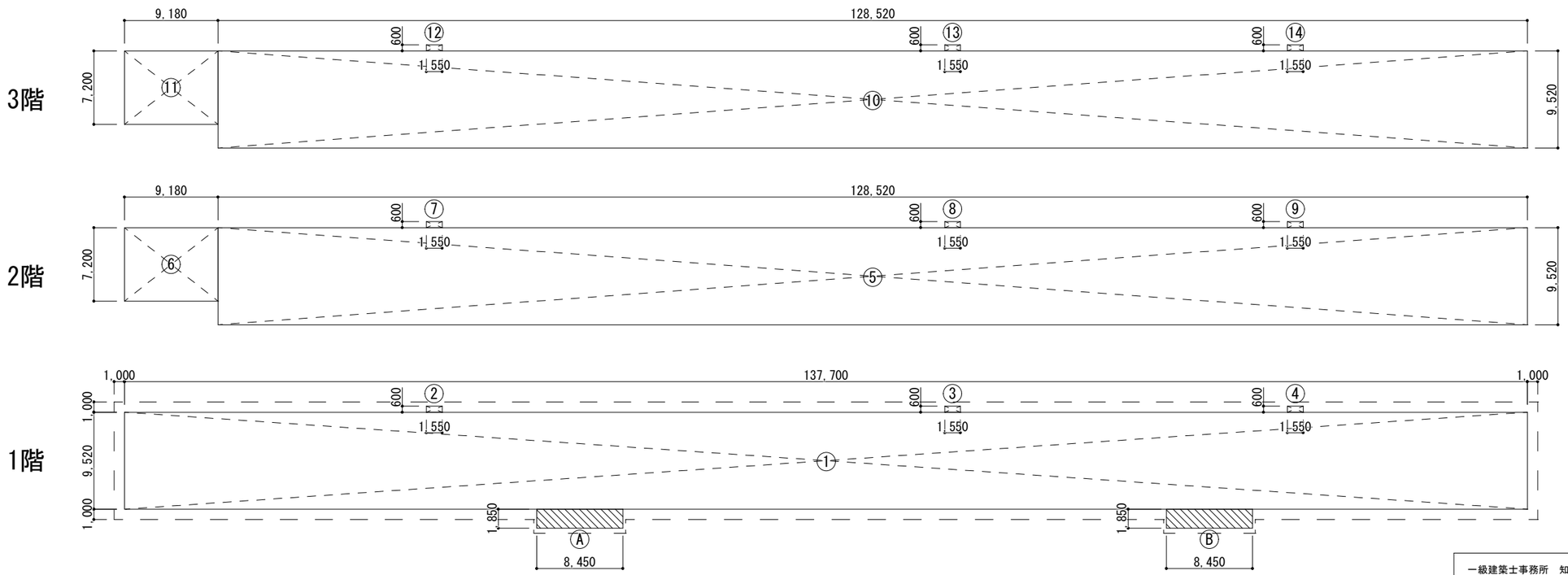
⑤ 特別教室棟(1号棟)



特別教室棟(1号棟) 床面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	80.640 × 9.500	766.0800
②	2.000 × 0.600	1.2000
③	80.640 × 9.500	766.0800
④	2.000 × 0.600	1.2000
⑤	80.640 × 9.500	766.0800
⑥	2.000 × 0.600	1.2000
計		2,301.8400

特別教室棟(1号棟) 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	6.900 × 2.450	16.9050
Ⓑ	3.000 × 1.400	4.2000
	① ～ ②	767.2800
計		788.3850

⑥ 普通教室棟(2号棟)

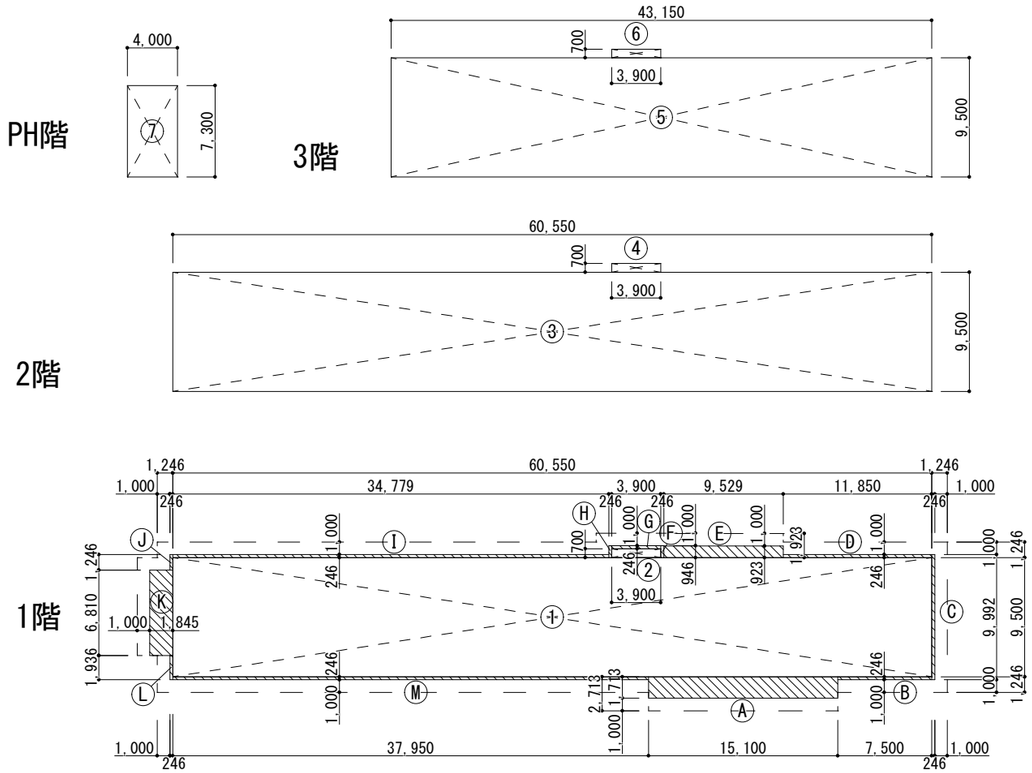


普通教室棟(2号棟) 床面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	137.700 × 9.520	1,310.9040
②	1.550 × 0.600	0.9300
③	1.550 × 0.600	0.9300
④	1.550 × 0.600	0.9300
⑤	128.520 × 9.520	1,23.5104
⑥	9.180 × 7.200	66.0960
⑦	1.550 × 0.600	0.9300
⑧	1.550 × 0.600	0.9300
⑨	1.550 × 0.600	0.9300
⑩	128.520 × 9.520	1,23.5104
⑪	9.180 × 7.200	66.0960
⑫	1.550 × 0.600	0.9300
⑬	1.550 × 0.600	0.9300
⑭	1.550 × 0.600	0.9300
計		3,898.4868

普通教室棟(2号棟) 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	8.450 × 1.850	15.6325
Ⓑ	8.450 × 1.850	15.6325
	① ～ ④	1,313.6940
計		1,344.9590

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	既存建築物面積算定図(1)	A1:1/250 A3:1/500
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－14

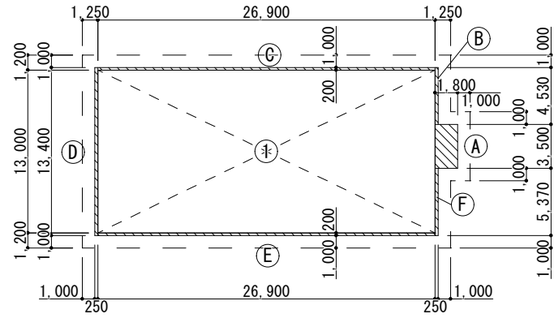
⑦ 管理教室棟(16号棟)



管理教室棟(16号棟) 床面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	60.550 × 9.500	575.2250
②	3.900 × 0.700	2.7300
③	60.550 × 9.500	575.2250
④	3.900 × 0.700	2.7300
⑤	43.150 × 9.500	409.9250
⑥	3.900 × 0.700	2.7300
⑦	4.000 × 7.300	29.2000
計		1,597.7650=

管理教室棟(16号棟) 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	15.100 × 1.713	25.8663
Ⓑ	7.500 × 0.246	1.8450
Ⓒ	0.246 × 9.992	2.4580
Ⓓ	11.850 × 0.246	2.9151
Ⓔ	9.529 × 0.923	8.7953
Ⓕ	0.246 × 0.946	0.2327
Ⓖ	3.900 × 0.246	0.9594
Ⓗ	0.246 × 0.946	0.2327
Ⓘ	34.779 × 0.246	8.5556
Ⓙ	7.570 × 1.246	0.3065
Ⓚ	1.845 × 6.810	12.5645
Ⓛ	0.246 × 1.936	0.4763
Ⓜ	37.950 × 0.246	9.3357
	① ～ ②	577.9550
計		652.4981=

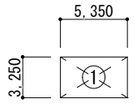
⑧ 武道場



武道場 床面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	26.900 × 13.000	349.7000
計		349.7000=

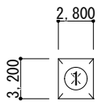
武道場 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	1.800 × 3.500	6.3000
Ⓑ	0.250 × 4.530	1.1325
Ⓒ	26.900 × 0.200	5.3800
Ⓓ	0.250 × 13.400	3.3500
Ⓔ	26.900 × 0.200	5.3800
Ⓕ	0.250 × 5.370	1.3425
	①	349.7000
計		372.5850=

⑨ 倉庫



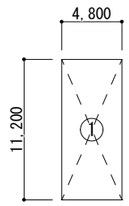
倉庫 床面積・建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	5.350 × 3.250	17.3875
計		17.3875=

⑩ 楽焼釜庫



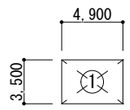
楽焼釜庫 床面積・建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	2.800 × 3.200	8.9600
計		8.9600=

⑫ ポンプ室



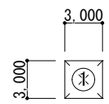
ポンプ室 床面積・建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	4.800 × 11.200	53.7600
計		53.7600=

⑬ 便所



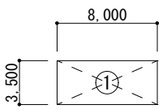
便所 床面積・建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	4.900 × 3.500	17.1500
計		17.1500

⑭ 倉庫



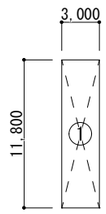
倉庫 床面積・建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	3.000 × 3.000	9.0000
計		9.0000=

⑮ 更衣室



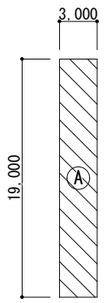
更衣室 床面積・建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	8.000 × 3.500	28.0000
計		28.0000=

⑯ 物品倉庫



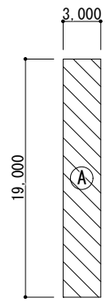
物品倉庫 床面積・建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
①	3.000 × 11.800	35.4000
計		35.4000=

⑰ 渡り廊下



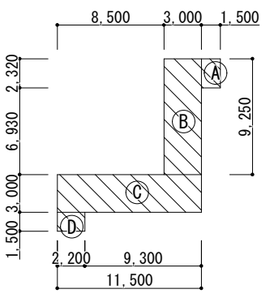
渡り廊下 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	3.000 × 19.000	57.0000
計		57.0000=

⑱ 渡り廊下



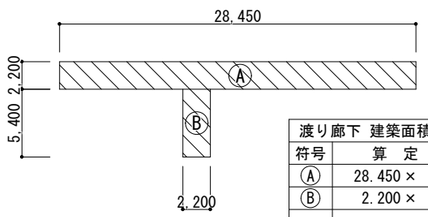
渡り廊下 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	3.000 × 19.000	57.0000
計		57.0000=

⑲ 渡り廊下



渡り廊下 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	1.500 × 2.320	3.4800
Ⓑ	3.000 × 9.250	27.7500
Ⓒ	11.500 × 3.000	34.5000
Ⓓ	2.200 × 1.500	3.3000
計		69.0300=

⑳ 渡り廊下



渡り廊下 建築面積		
符号	算 定 式	面 積 (㎡)
Ⓐ	28.450 × 2.200	62.5900
Ⓑ	2.200 × 5.400	11.8800
計		74.4700=

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	既存建築物面積算定図(2)	A1:1/250 A3:1/500
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－15

外装仕上表

部　位	仕　上
屋根	防水コンクリート同時押え 増打t=40 (ワイヤーメッシュφ6×150×150)
パラペット	側面:コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E 天端:コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
外壁	コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(化粧目地切)
軒裏	コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上塗材
樋	竪樋(校舎):硬質ｶﾗｰ塩ビﾊﾟｲﾌﾟVP φ125 ｽﾃﾝﾚｽ製掴み金物 @1,200以内 竪樋(渡り廊下):硬質ｶﾗｰ塩ビﾊﾟｲﾌﾟVP φ100 ｽﾃﾝﾚｽ製掴み金物 @1,200以内
窓庇	天端:コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し) 見付:コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E 軒裏:コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上塗材
巾木	コンクリート打放し(A種)

部　位	仕　上
土間テラス･犬走り	土間コンクリート金コテ押え 素面仕上(化粧目地切) 配筋:D10@200(ｸﾀﾃﾖｺ共)
ポーチ	屋根:コンクリート打放し下地処理の上 ウレタン塗膜防水(X-2) 150角磁器タイル貼(ノンスリップタイプ)
スロープ	床:土間コンクリート金コテ押え 刷毛引き仕上 立上り:コンクリート打放し(A種)
水飲場	50角モザイクタイル貼 ステンレス目皿 φ50用
天井裏換気口	ステンレス製丸型ﾌｰﾄﾞφ100 防虫網付
ピット換気口	ステンレス製丸型ﾌｰﾄﾞφ100 防虫網付 換気孔:VPφ100
EXP.J	ステンレス製既製品

部　位	仕　上
屋外階段	踏面:防水モルタル金コテ押え 段鼻:ｽﾃﾝﾚｽ製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ｺﾞﾑﾀｲﾔ入り) 手摺:ステンレス製φ34
進入防止柵	アルミ格子
配膳通路	屋根:塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板t=0.8 フッ素樹脂塗装折板葺 H=88 床:土間コンクリート金コテ押え 立上り:コンクリート打放し(A種) 鉄骨部:溶融亜鉛メッキ
渡り廊下	屋根:防水コンクリート (ワイヤーメッシュφ6×100×100) 手摺壁:コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E 手摺壁(天端):コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し) 床:土間コンクリート金コテ押え

内装仕上表

階	室　名	床	巾木	高さ	腰　壁	腰高	見切縁	壁	天井	見切	天井高	備考
1階	昇降口 (1)･(2)	150角磁器タイル貼(ノンスリップタイプ) セルフレベリング材塗(セメント系)の上 アンダーレイシート t=4.5 + 防滑性長尺ビニル床シートフラットタイプ(粒子入) t=2.0	ビニル	75				RC壁(内壁側):RC化 EP-G RC壁(外壁側):石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ	2,700	下足入、傘立、掃除具入、掲示板
	少人数教室	セルフレベリング材塗(セメント系)の上 クッションシート t=2.0 + 集成材フローリング張 t=15.0 UC塗装	木製 CL	90	RC壁:石膏ボード(GL工法) t=9.5の上 杉板縦張 t=12.0 CL LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 杉板縦張 t=12.0 CL	900		RC壁:石膏ボード(GL工法)t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	UD曲面黒板、掲示板、教師用棚 生徒用ロッカー、掃除具入、カーテンレール(S) カーテンBOX(レール(W)共)、流し台
	フレンドシップ教室	セルフレベリング材塗(セメント系)の上 クッションシート t=2.0 + 集成材フローリング張 t=15.0 UC塗装	木製 CL	90	RC壁:石膏ボード(GL工法) t=9.5の上 杉板縦張 t=12.0 CL LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 杉板縦張 t=12.0 CL	900		RC壁:石膏ボード(GL工法)t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	UD曲面黒板、掲示板、教師用棚 生徒用ロッカー、掃除具入、カーテンレール(S) カーテンBOX(レール(W)共)、手洗い流し
	面談室	モルタル下地の上 アンダーレイシート t=4.5 + 長尺ビニル床シート t=2.0	ビニル	75				RC壁:石膏ボード(GL工法)t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 石膏ボードt=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	掃除具入、白板、カーテンレール(S) カーテンBOX(レール(W)共)
	相談室･印刷室	モルタル下地の上 アンダーレイシート t=4.5 + 長尺ビニル床シート t=2.0	ビニル	75				RC壁:石膏ボード(GL工法)t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 石膏ボードt=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	掃除具入、白板、棚、カーテンレール(S) カーテンBOX(レール(W)共)
	生徒更衣室 (男)･(女)	モルタル下地の上 アンダーレイシート t=4.5 + 長尺ビニル床シート t=2.0	ビニル	75				RC壁:石膏ボード(GL工法)t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 石膏ボードt=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	掃除具入、更衣棚、カーテンレール(S) カーテンBOX(レール(W)共)
	職員更衣休憩室 (男)･(女)	モルタル下地の上 アンダーレイシート t=4.5 + 長尺ビニル床シート t=2.0	ビニル	75				RC壁:石膏ボード(GL工法)t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 石膏ボードt=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	掃除具入、カーテンBOX(レール(W)共)
	脱衣室	モルタル下地の上 アンダーレイシート t=4.5 + 長尺ビニル床シート t=2.0	ビニル	75				LGS壁:LGS t=100 耐水石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	脱衣棚、シャワーユニット
	階段下倉庫 (1)･(2)	モルタル下地の上 アンダーレイシート t=4.5 + 長尺ビニル床シート t=2.0	ビニル	75				RC壁(内壁側):RC化 RC壁(外壁側):石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	RC化			
	体育倉庫	RC直						RC壁:RC化	RC型			用具棚、床下点検口
	石灰庫	RC直						RC壁:RC化	RC型			用具棚、床下点検口
	配膳室	モルタル下地の上 厨房用塗床	厨房用塗床材 立上げ	100				RC壁:耐水石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 耐水石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	収納棚、掃除具入、排水ピット カーテンBOX(レール(W)共)

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士 第 123948 号
小原 正信

城西中学校校舎新築その他本体工事
仕上表(1)
鹿児島市建設局建築部建築課
A－16

内装仕上表

階	室　名	床	巾木	高さ	腰　壁	腰高	見切縁	壁	天井	見切	天井高	備考
2階～4階	普通教室 (1)～(7)	セルフレベリング材塗(セメント系)の上 クッションシート t=2.0 + 集成材フローリング張 t=15.0　UC塗装	木製 CL	90	RC壁:石膏ボード(GL工法) t=9.5の上 杉板縦張 t=12.0 CL LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 杉板縦張 t=12.0 CL	900		RC壁:石膏ボード(GL工法)t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	UD曲面黒板、掲示板、教師用棚 生徒用ロッカー、掃除具入、カーテンレール(S) カーテンBOX(レール(W)共)
	学年職員室	セルフレベリング材塗(セメント系)の上 クッションシート t=2.0 + 集成材フローリング張 t=15.0　UC塗装	木製 CL	90	RC壁:石膏ボード(GL工法) t=9.5の上 杉板縦張 t=12.0 CL LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 杉板縦張 t=12.0 CL	900		RC壁:石膏ボード(GL工法)t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏吸音ボード t=9.5	塩ビ	2,700	UD曲面黒板、掲示板、教師用棚 生徒用ロッカー、掃除具入、カーテンレール(S) カーテンBOX(レール(W)共)
共通	廊下･EVホール	モルタル下地の上 防滑性長尺ビニル床シートフラットタイプ(粒子入) t=2.0 ※1階のみ アンダーレイシート t=4.5 ※1階配膳室出入口前のみ モルタル下地の上 厨房用塗床	ビニル	75				RC壁(内壁側):RC化 EP-G RC壁(外壁側):石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁(FW):LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G PS･EPS廻りLGS壁:LGS t=100 石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ	2,700	流し台、掲示板 床下点検口(1階のみ)
	階段室 (1)･(2)	モルタル下地の上 入隅R面取材(踏面) 防滑性長尺ビニル床シートフラットタイプ(粒子入) t=2.0 ※1階のみ アンダーレイシート t=4.5	ビニル	75				RC壁(内壁側):RC化 EP-G RC壁(外壁側):石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	RC化 EP-G RFのみ化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ		手摺(両側) 段鼻:ステンレス製ノンスリップ金物 誘導用ﾌﾞﾛｯｸ:ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 300角 t=2.0
	男子トイレ (1)･(2)	防水モルタルの上 長尺ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 ※1階のみ アンダーレイシート t=4.5 一部、小便器部分汚垂タイル t=6.0	床シート 立上げ	100	RC壁:耐水石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 硬質メラミン不燃化粧板張 t=3.0 LGS壁:LGS t=100 耐水石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 硬質メラミン不燃化粧板張 t=3.0	1,300		RC壁:耐水石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 耐水石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ	2,700	洗面カウンター、トイレブース、面台 トイレ掃除具棚、トイレ掃除具掛け 床下点検口(1階のみ)
	女子トイレ (1)･(2)	防水モルタルの上 長尺ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 ※1階のみ アンダーレイシート t=4.5	床シート 立上げ	100	RC壁:耐水石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 硬質メラミン不燃化粧板張 t=3.0 LGS壁:LGS t=100 耐水石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 硬質メラミン不燃化粧板張 t=3.0	1,300		RC壁:耐水石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 耐水石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ	2,700	洗面カウンター、トイレブース、面台 トイレ掃除具棚、トイレ掃除具掛け 床下点検口(1階のみ)
	バリアフリートイレ	防水モルタルの上 長尺ビニル床シート(抗菌トイレ用) t=2.0 ※1階のみ アンダーレイシート t=4.5	床シート 立上げ	100	RC壁:耐水石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 硬質メラミン不燃化粧板張 t=3.0 LGS壁:LGS t=100 耐水石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 硬質メラミン不燃化粧板張 t=3.0	1,200		RC壁:耐水石膏ボード(GL工法) t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G LGS壁:LGS t=100 耐水石膏ボード t=9.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ	2,700	面台、床下点検口
	PS･EPS	モルタル塗り						RC壁:RC型 LGS壁:現し	RC型			

凡例

		名称･符号	規格･品質
塗料		OP	油性調合ペイント
		ALP	アルミニウムペイント
	○	SOP	合成樹脂調合ペイント
		LE	ラッカーエナメル
		FP	フタル酸樹脂エナメル
		VP	塩化ビニル樹脂エナメル
		AA－BE	アミノアルキド樹脂エナメル(メラミン樹脂)(焼付型)
		AE	アクリル樹脂エナメル(常温型)
		A－BE	アクリル樹脂エナメル(焼付型)
		UE	ウレタン樹脂エナメル(常温型)
		UEH	ウレタン樹脂エナメル(常温型)(重防食または長期耐候性塗装)
		U－BE	ウレタン樹脂エナメル(焼付型)
		XE	エポキシ樹脂エナメル(常温型)
		XE－BE	エポキシ樹脂エナメル(焼付型)
		CRH	塩化ゴム系塗料
		TXE	タールエポキシ樹脂塗料
		FU	フッ素樹脂塗料(常温型)
		FUH	フッ素樹脂塗料(常温型)(重防食または長期耐候性塗装)
		F－BE	フッ素樹脂塗料(焼付型)
		EP－1	合成樹脂エマルションペイント(屋外用)
		EP－2	合成樹脂エマルションペイント(屋内用)
	○	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント
		OC	オイルフィニッシュ
	○	CL	クリヤラッカ
	○	UC	ウレタンワニス(ダンケル塗装 研磨共)
		AL	アクリルラッカ
		OS	オイルステイン･アルコール溶性着色剤
		K	クロルナフタレン系含浸剤
		KD	クロルナフタレン系着色含浸剤
		MP	多彩模様塗料
		EM	合成樹脂エマルション模様塗料
		FLP－1	床面塗料(屋外用)
		FLP－2	床面塗料(屋内用)
		WP	木材保護塗料(屋内外)
		ACC	アクリル樹脂水クリアー(コンクリート打放し面)
	○	DP	耐候性塗料塗り
床壁	○	RC直	コンクリート直押え(金コテ)
	○	RC型	コンクリート型枠打放し(普通合板型枠)
	○	RC化	コンクリート化粧打放し(塗装合板型枠)
	○	フローリング張	単層フローリングボード(集成材) サクラ(かば)
			シーラー1回塗の上 ウレタン系クリアー2回塗

耐火材料･不燃材料等一覧表

名称(符号)	品質･規格･寸法など	認定番号
FW:防火上主要な間仕切壁	LGS t=100 強化石膏ボード t=12.5 + ケイ酸カルシウム板 t=6.0(両面張)	FP060NP-0384(同等)

※上記以外の仕様とする場合は1時間耐火間仕切壁の認定品とし、監督員の承認を得ること。
※面積、竪穴、主要間仕切の区画は全て上記の間仕切壁の仕様とする。
※教室間、男女便所間、男女職員更衣室は グラスウール24K充填 t=100 とする。

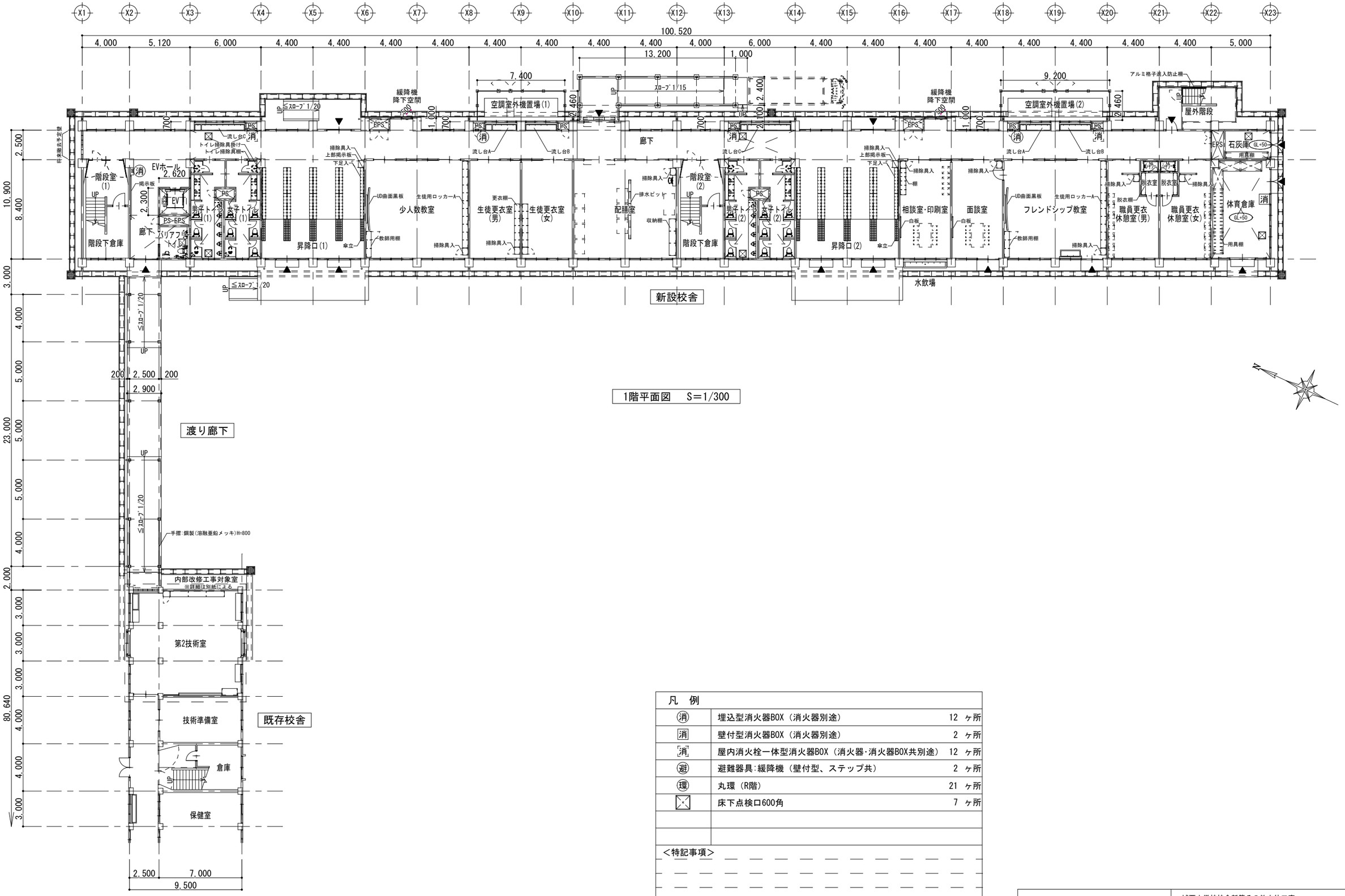
耐火構造

○ 柱	：	鉄筋コンクリート	平成12年建設省告示1399号
○ 梁	：	鉄筋コンクリート	平成12年建設省告示1399号
○ 床･屋根	：	鉄筋コンクリート	平成12年建設省告示1399号
○ 外壁	：	鉄筋コンクリート	平成12年建設省告示1399号
○ 内部階段	：	鉄筋コンクリート	平成12年建設省告示1399号
○ 屋外階段	：	鉄筋コンクリート	平成12年建設省告示1399号

特記事項

【施工関係】	【建築材料等】
外壁面は、断熱材(現場発泡硬質ウレタンフォームA種1H t=20)吹付とする。	使用する下地材･仕上材･家具等は、表示等級F☆☆☆☆で施工する。
ステンレス仕上げについて、内部はHL、外部は特記以外は鏡面仕上とする。	天井裏等に使用する全ての材料はF☆☆☆以上で施工する。
面台を設置するトイレブースは補強を行うこと。	使用する木材(下地材)には『認証かごしま材』を使用すること。
外部コンクリート土間は特記なき限り2%勾配とする。	誘導用ブロックは、JIS T9251適合品
内部木部は特記なき限りCL塗装とする。内部鉄部は特記なき限りSOP塗りとする。	誘導用ブロックは、床仕上材との明度差を大きく確保し、原則として黄色とする。
天井下地は全てLGSとする。	
屋根スラブ下には3種押出法ポリスチレンフォーム保温板t=35を打ち込むこと。	【建築基準法関係規定等】
廊下と階段室は長尺ビニル床シートを中心で張り分けること。	法第37条の指定建築材料は、全て日本産業規格又は日本農林規格に適合したものを使用する。
フローリングと建具取り合い部は、10×10シール(変成シリコン系MS-2)打設とする。	配管設備は、建築基準法施行令第129条の2の4に基づき施工する。
校舎周りコンクリート土間は@4,000で目地を切ること。	高圧ガス保安法第24条に基づき施工する。
グラスウールは、一般型24Kとする。	ガス事業法第162条に基づき施工する。
1階の床から高さ1mの範囲の家具木下地の壁接地面には、防腐防蟻処理すること。	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2に基づき施工する。
1階の家具の床部は、防腐防蟻処理すること。	水道法第16条に基づき施工する。
家具の下は、フローリングを張ること。	下水道法第10条第1項及び第3項に基づき施工する。
黒板等はホーロー製とし、日本工業規格許可工場において製作するものとする。	給湯設備は、H12建告1388号に基づき施工する。
特記なき限り外部土間コンは、t=120、再生砕石 t=150、 D10@200(ﾀﾃﾖｺ共)とする。	電気設備については、電気事業法により施工する。
防火上主要な間仕切壁(FW)は、天井裏で上階スラブ下または梁下まで達ししめすこと。	道路幅員、崖、敷地の高低差、方位については現場調査済みです。
ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ部出隅には、壁見切縁（塩ビ製）を設けること。	

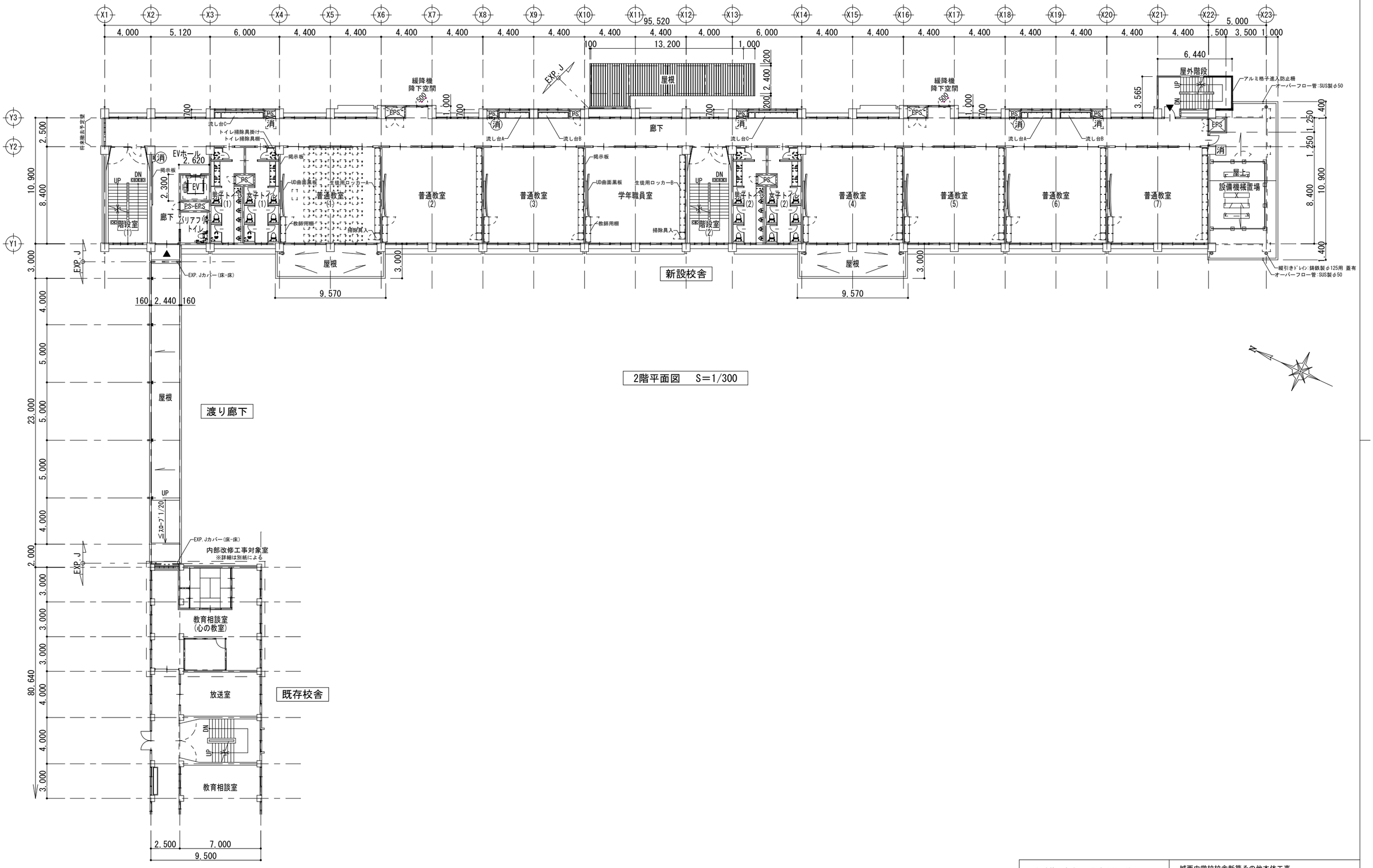
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第　123948　号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 仕上表(2) 鹿児島市建設局建築部建築課	A－17



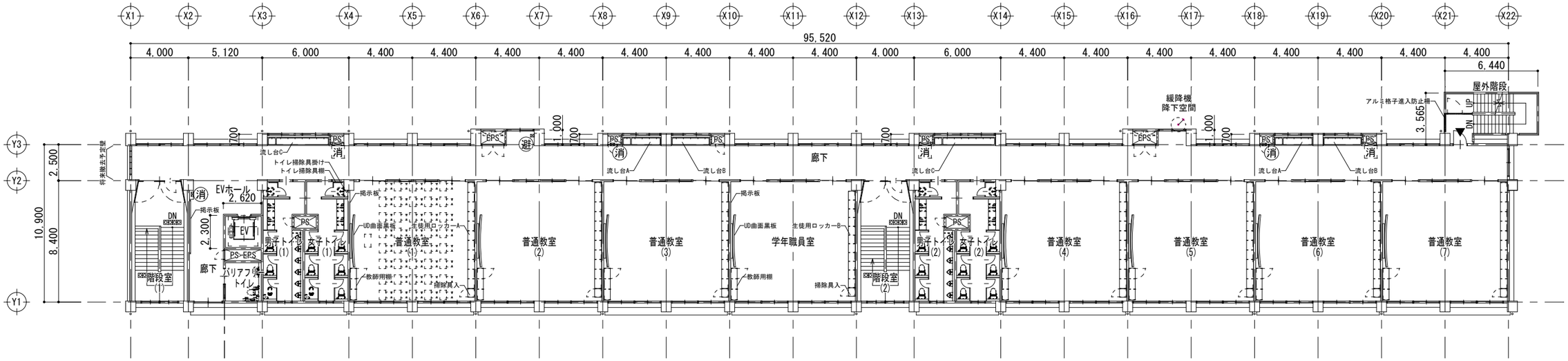
凡　例		
消	埋込型消火器BOX（消火器別途）	12　ヶ所
消	壁付型消火器BOX（消火器別途）	2　ヶ所
消	屋内消火栓一体型消火器BOX（消火器･消火器BOX共別途）	12　ヶ所
避	避難器具:緩降機（壁付型、ステップ共）	2　ヶ所
環	丸環（R階）	21　ヶ所
	床下点検口600角	7　ヶ所

＜特記事項＞

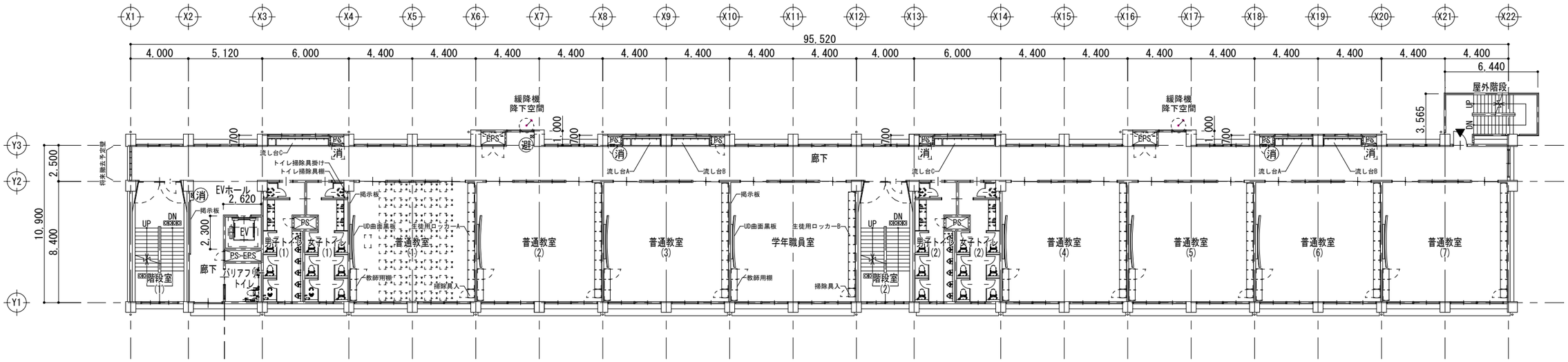
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	1階平面図	A1:1/150 A3:1/300	A－18
	鹿児島市建設局建築部建築課		



一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	2階平面図	A1:1/150 A3:1/300	A－１９
	鹿児島市建設局建築部建築課		

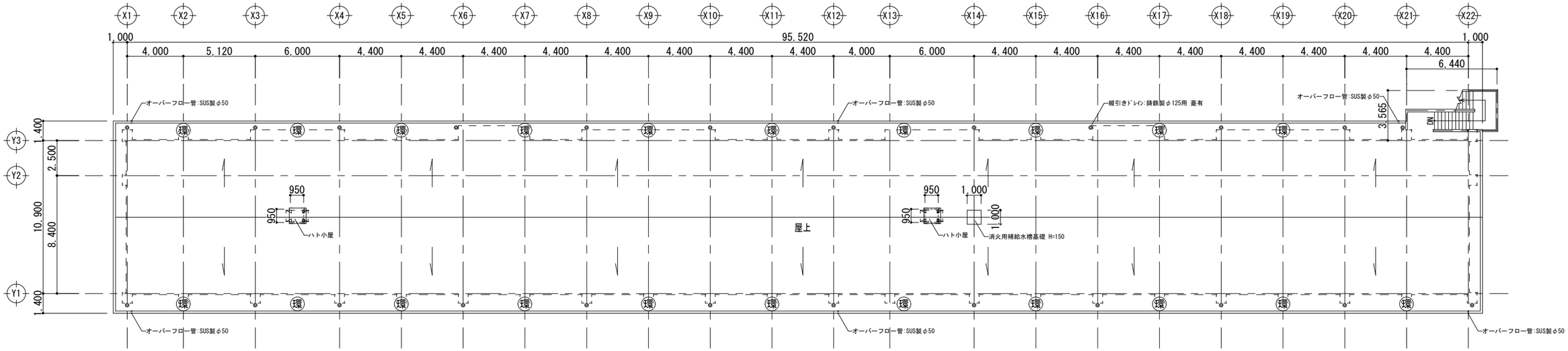


4階平面図　S=1/300



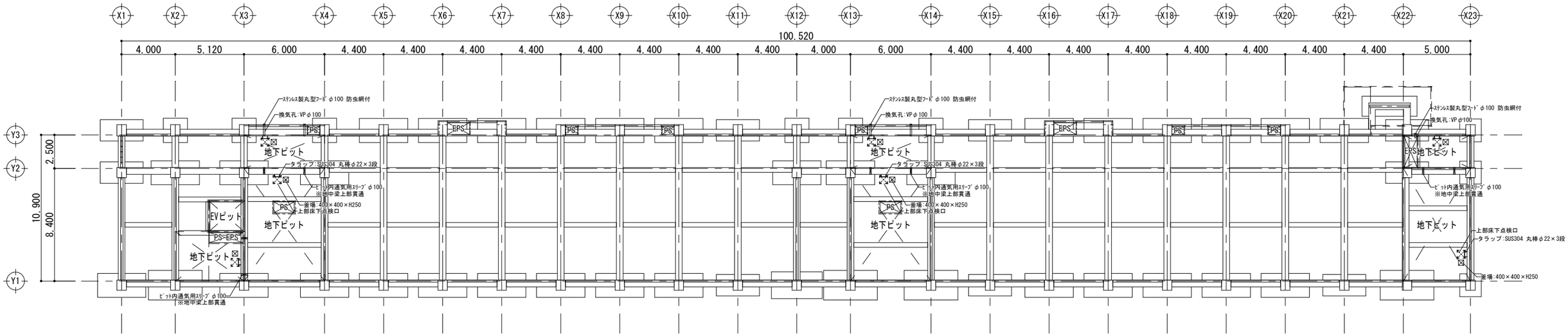
3階平面図　S=1/300

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	3階・4階平面図	A1:1/150 A3:1/300
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－20



R階屋根伏図　S＝1/300

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	R階屋根伏図	A1:1/150 A3:1/300	A－２１
	鹿児島市建設局建築部建築課		



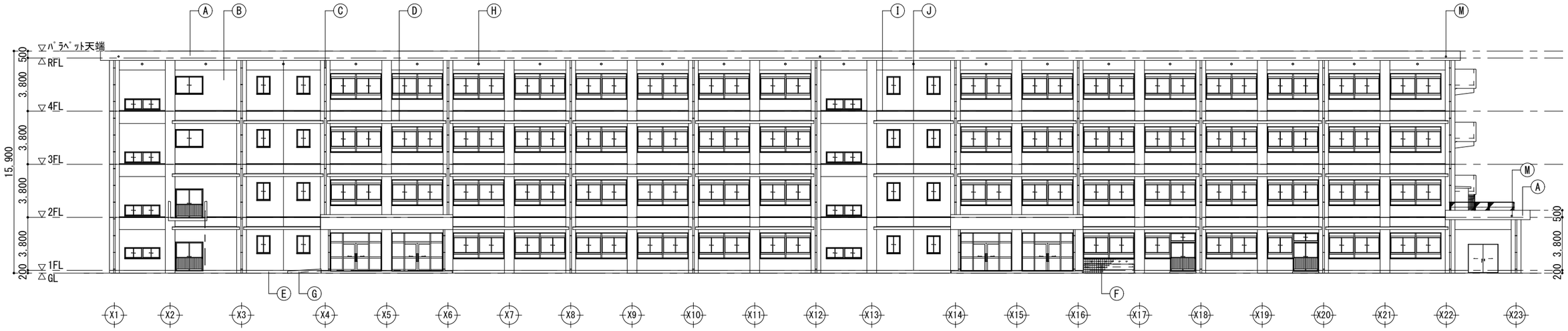
地下ピット平面図　S=1/300

凡　例		
⌐	タラップ:SUS304 丸棒φ22×3段	7 ヶ所
⊠	釜場:400×400×H250	7 ヶ所
═	ﾋﾟｯﾄ内通気用ｽﾘｰﾌﾞ φ100	8 ヶ所
▭	ピット換気口:ｽﾃﾝﾚｽ製丸型ﾌｰﾄﾞ φ100 防虫網付	5 ヶ所
↖↗↙↘	上部床下点検口位置を示す	

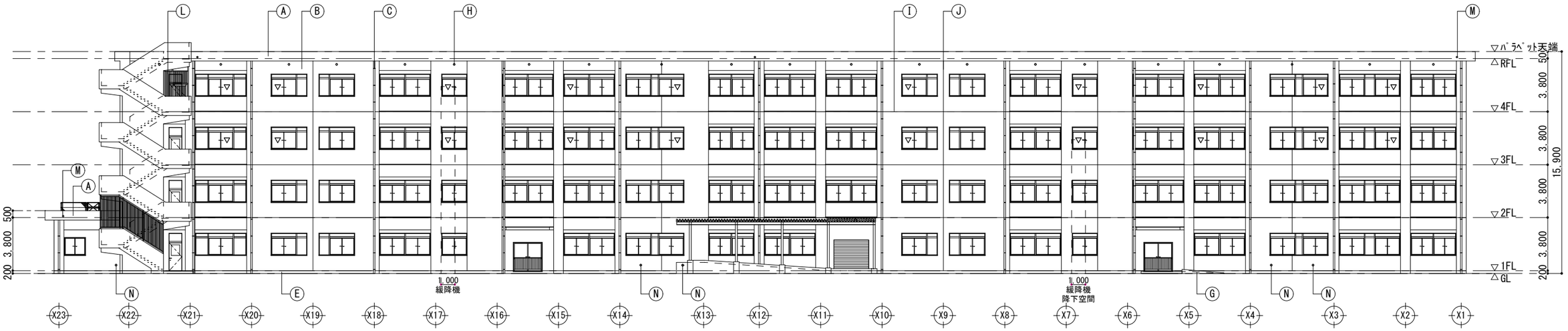
＜特記事項＞

・ﾋﾟｯﾄ内通気用ｽﾘｰﾌﾞ、及び換気孔は、地中梁上部打増し部分を貫通のこと。
・設備用スリーブは構造図による。
・梁貫通スリーブ位置及び高さについては、設備業者と協議、検討のこと。
・ピット外周部は、止水板（t6×150：非加硫ﾌﾞﾁﾙｺﾞﾑ系）を設置のこと。

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	地下ピット平面図	A1:1/150 A3:1/300	A－22
	鹿児島市建設局建築部建築課		

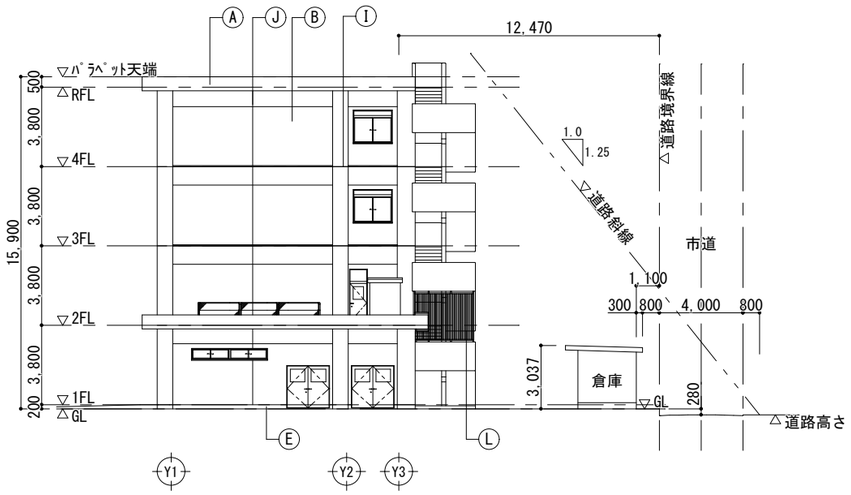


西側立面図　S=1/300

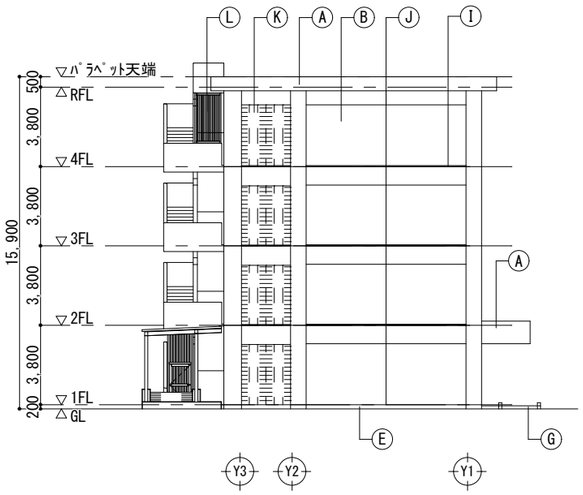


東側立面図　S=1/300

▽　:代替進入口を示す



南側立面図　S=1/300

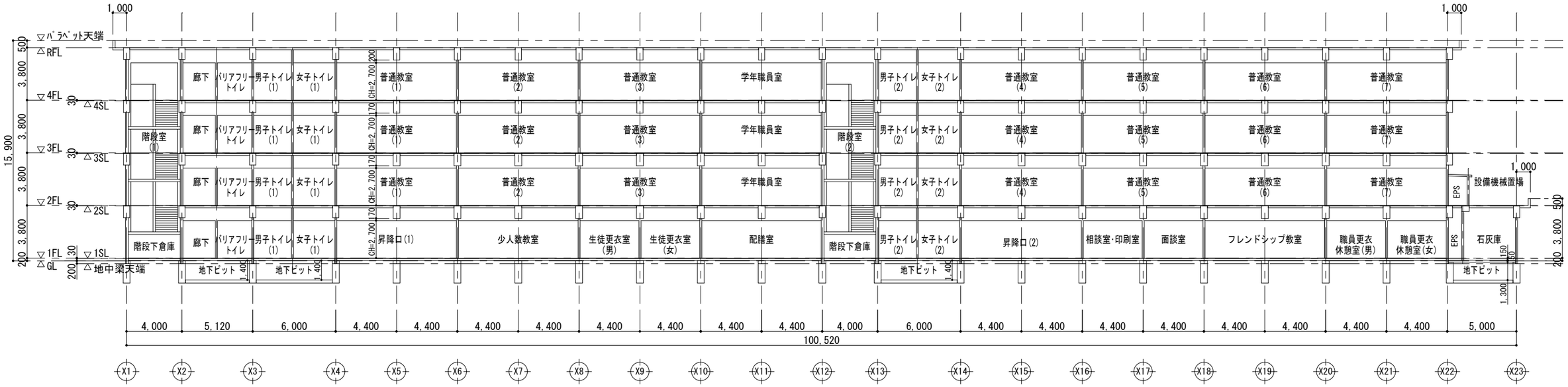


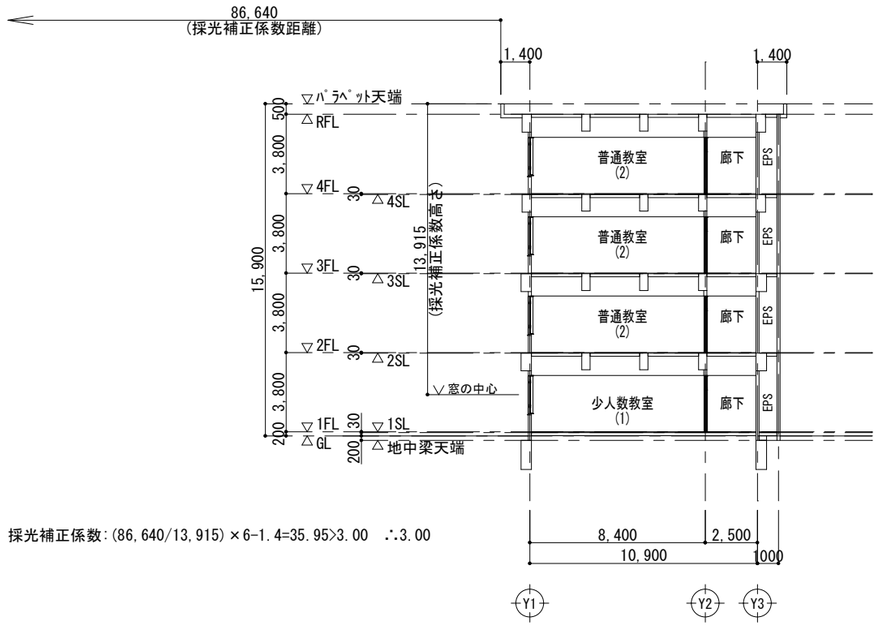
北側立面図　S=1/300

天井仕上表

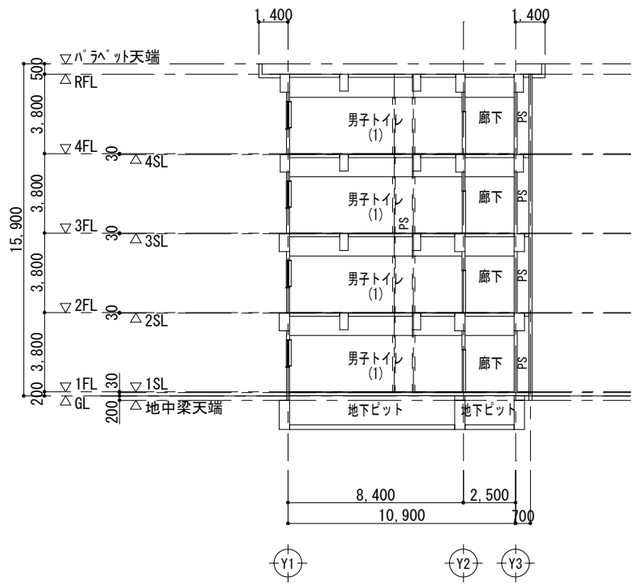
Ⓐ	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ(側面):コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E
	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ(天端):コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
Ⓑ	外壁:コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E
Ⓒ	竪樋(校舎):硬質ｶﾗｰ塩ﾋﾞﾊﾟｲﾌﾟVP φ125 ｽﾃﾝﾚｽ製掴み金物 @1,200以内
Ⓓ	窓庇(天端):コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
	窓庇(見付):コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E
Ⓔ	巾木:コンクリート打放し(A種)
Ⓕ	水飲場:50角モザイクタイル貼
Ⓖ	スロープ(立上り):コンクリート打放し(A種)
Ⓗ	天井裏換気口:ステンレス製丸型ﾌｰﾄﾞ φ100 防虫網付
Ⓘ	打継目地:ポリウレタン系(PU-2)シーリング W=20
Ⓙ	誘発目地:ポリウレタン系(PU-2)シーリング W=20
Ⓚ	将来撤去予定壁:ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ t=150 下地処理の上 複層塗材E
Ⓛ	進入防止柵:アルミ製格子※開放率50%以上
Ⓜ	オーバーフロー管:SUS製φ50
Ⓝ	ピット換気口:ステンレス製丸型ﾌｰﾄﾞ φ100 防虫網付

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	立面図	A1:1/150 A3:1/300
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－23

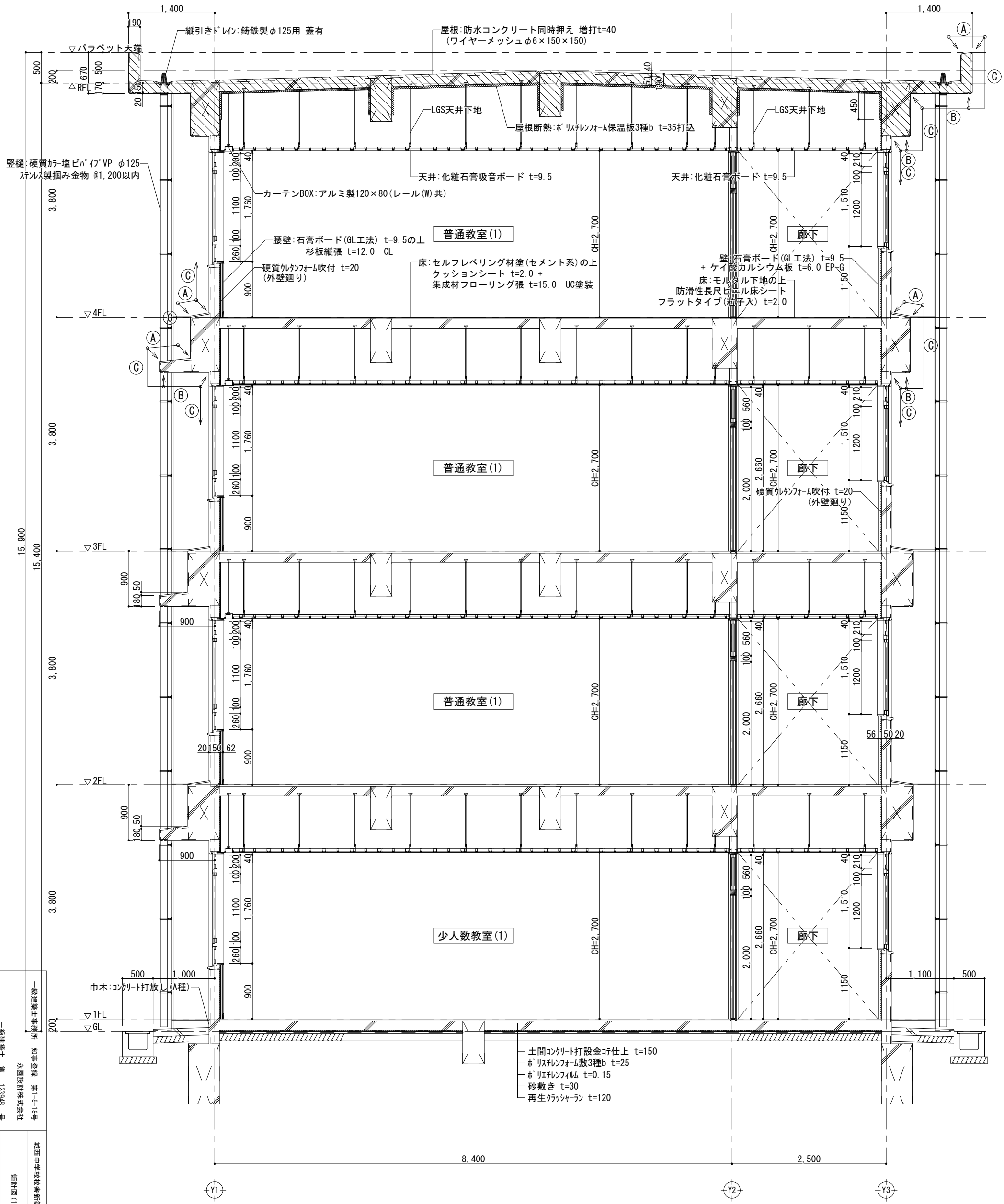




採光補正係数:(86,640/13,915)×6-1.4=35.95>3.00　∴3.00



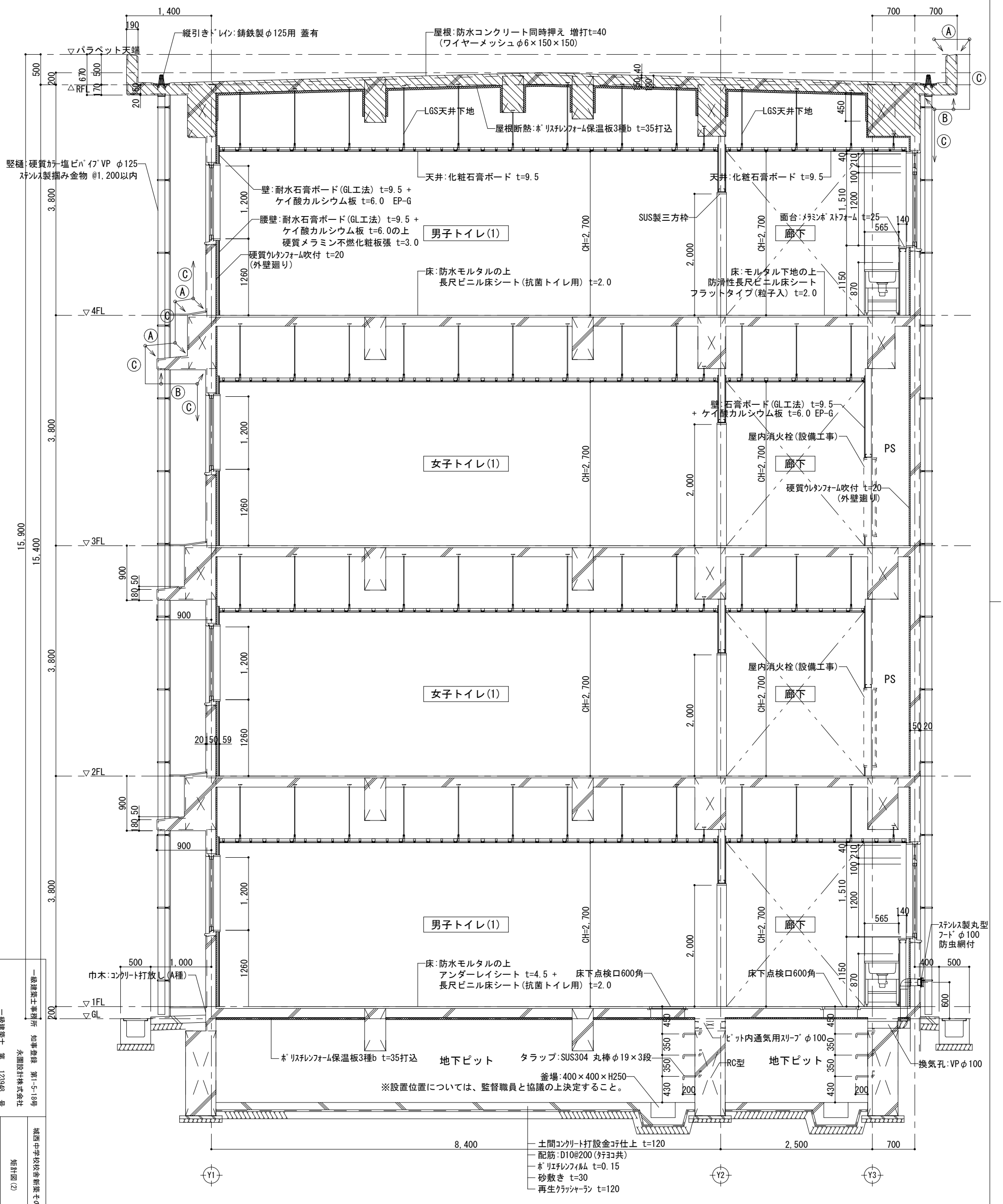
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	断面図	A1:1/150 A3:1/300	A－２４
	鹿児島市建設局建築部建築課		



矩計図 S=1/60

凡例
Ⓐ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
Ⓑ — コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上 塗材(化粧目地切)
Ⓒ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E

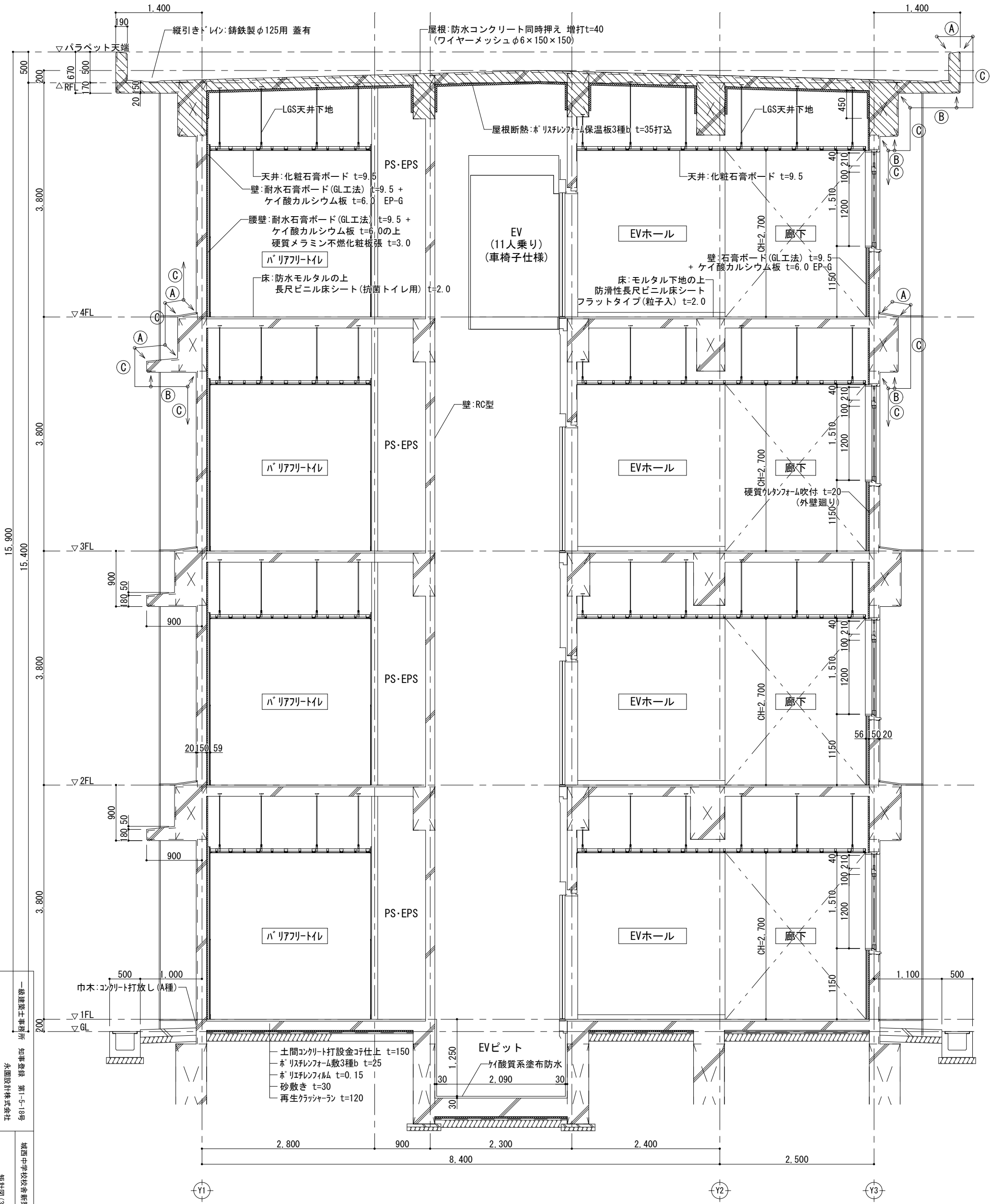
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社	城西中学校校舎新築その他本体工事
一級建築士 第 123948 号 小原 正信	矩計図(1) A1:1/30 A3:1/60
	鹿児島市建設局建築部建築課
	A-25



矩計図　S=1/60

凡例
Ⓐ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
Ⓑ — コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上 塗材(化粧目地切)
Ⓒ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E

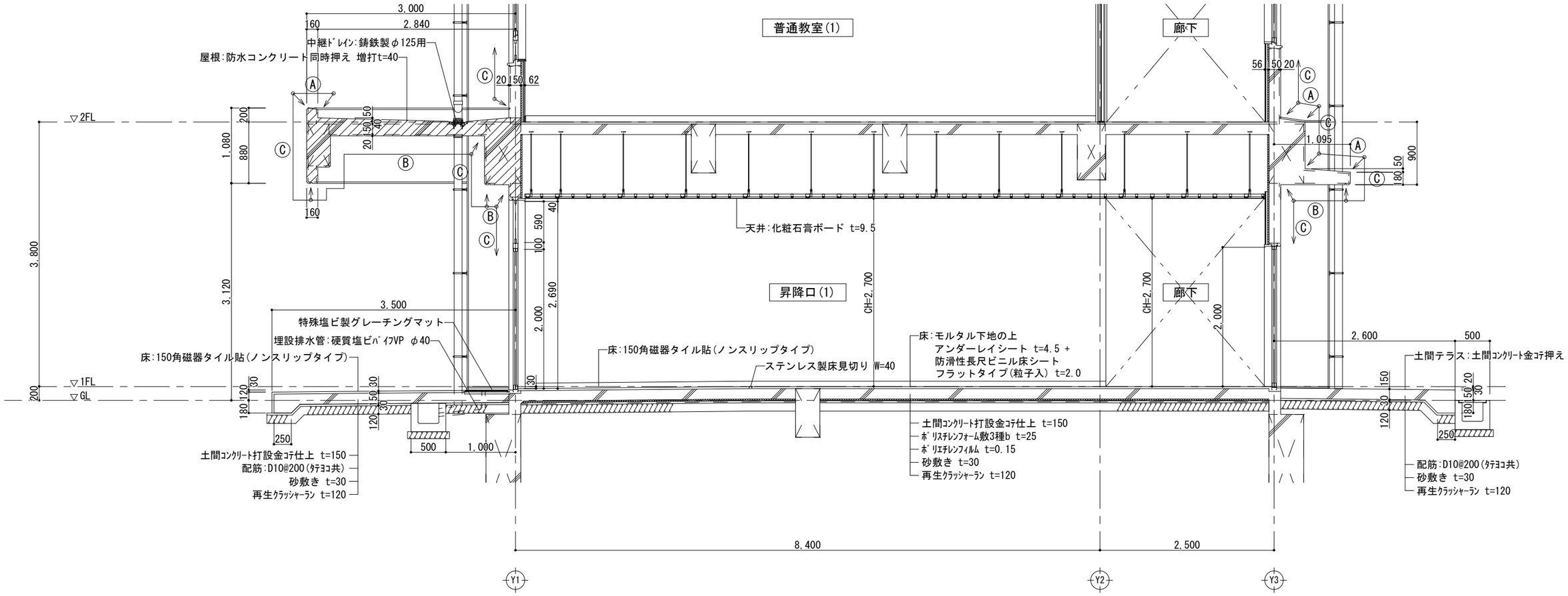
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社	城西中学校校舎新築その他本体工事
一級建築士 第 123948 号 小原 正信	矩計図(2) A1:1/30 A3:1/60
	鹿児島市建設局建築部建築課
	A－26



矩計図 S=1/60

凡例
Ⓐ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
Ⓑ — コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上 塗材(化粧目地切)
Ⓒ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E

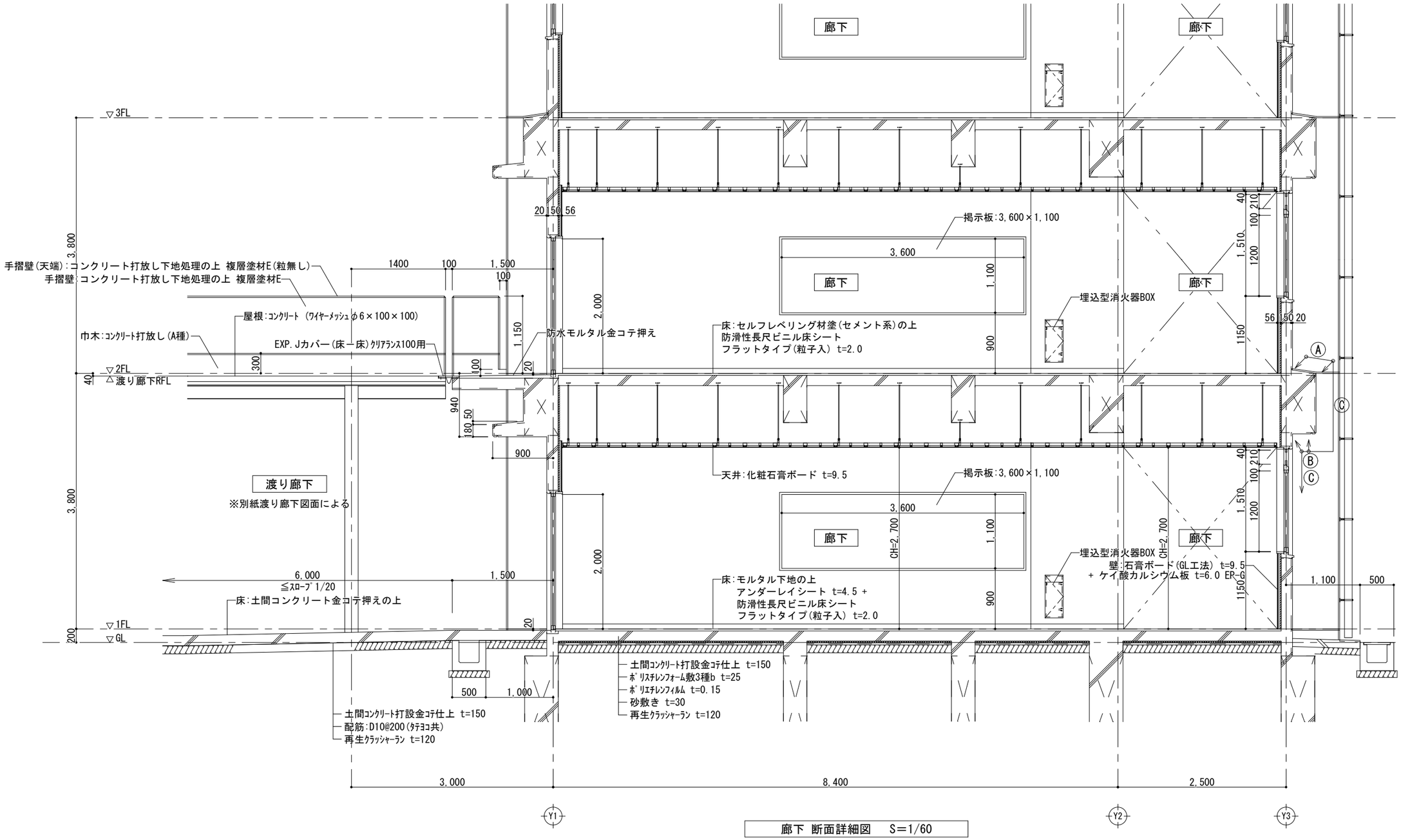
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社	城西中学校校舎新築その他本体工事
一級建築士 第 123948 号 小原 正信	矩計図(3)
	A1:1/30 A3:1/60
	鹿児島市建設局建築部建築課
	A－27



昇降口(1) 断面詳細図　S=1/60

凡例
Ⓐ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
Ⓑ — コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上 塗材(化粧目地切)
Ⓒ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E

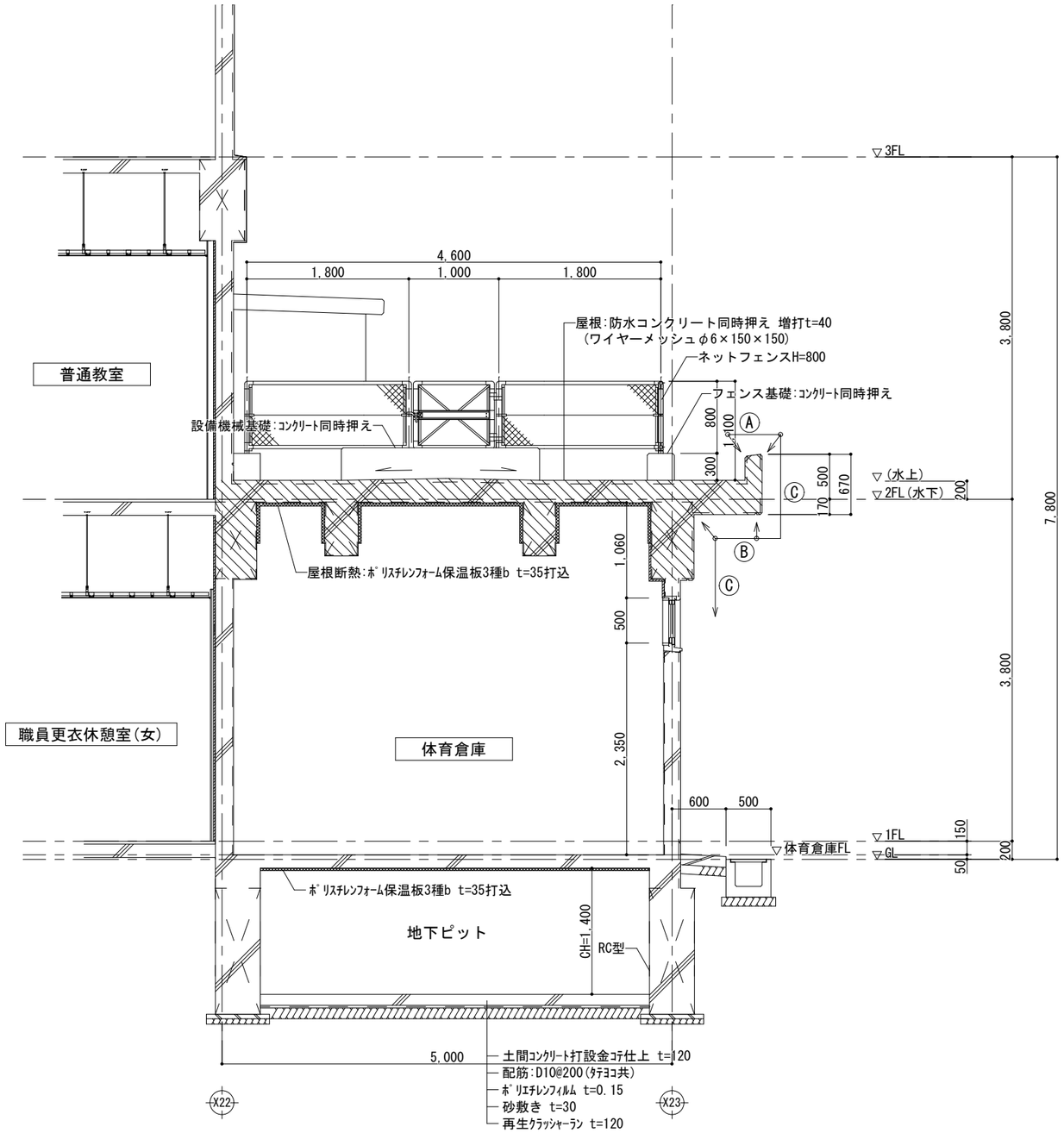
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	断面詳細図(1)	A1:1/30 A3:1/60	A－28
	鹿児島市建設局建築部建築課		



廊下 断面詳細図 S=1/60

凡例
Ⓐ ― コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
Ⓑ ― コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上 塗材(化粧目地切)
Ⓒ ― コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E

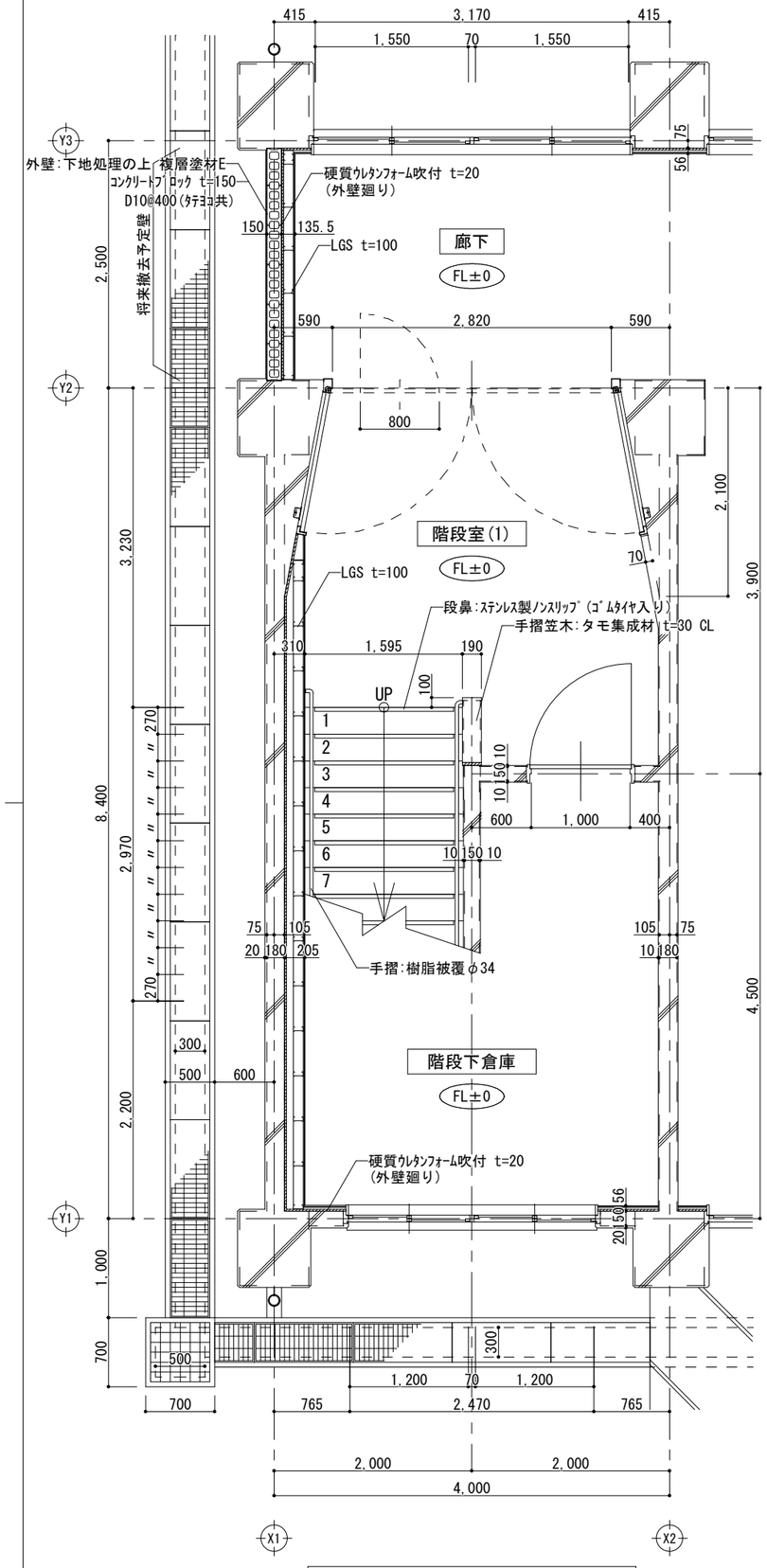
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	断面詳細図(2)	A1:1/30 A3:1/60
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－29



体育倉庫 断面詳細図　S=1/60

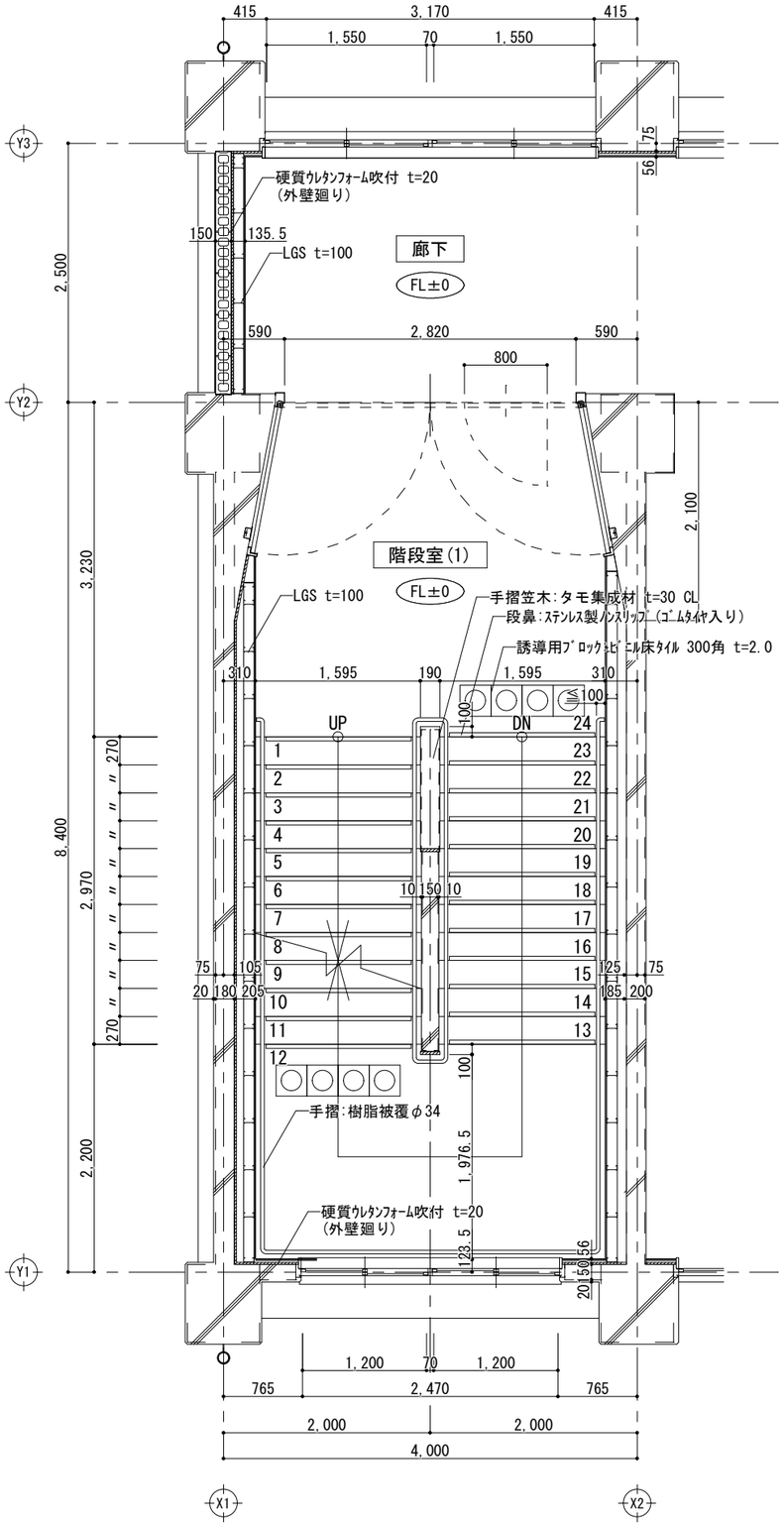
凡例
Ⓐ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
Ⓑ — コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上 塗材(化粧目地切)
Ⓒ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	断面詳細図(3)	A1:1/30 A3:1/60	A－30
	鹿児島市建設局建築部建築課		



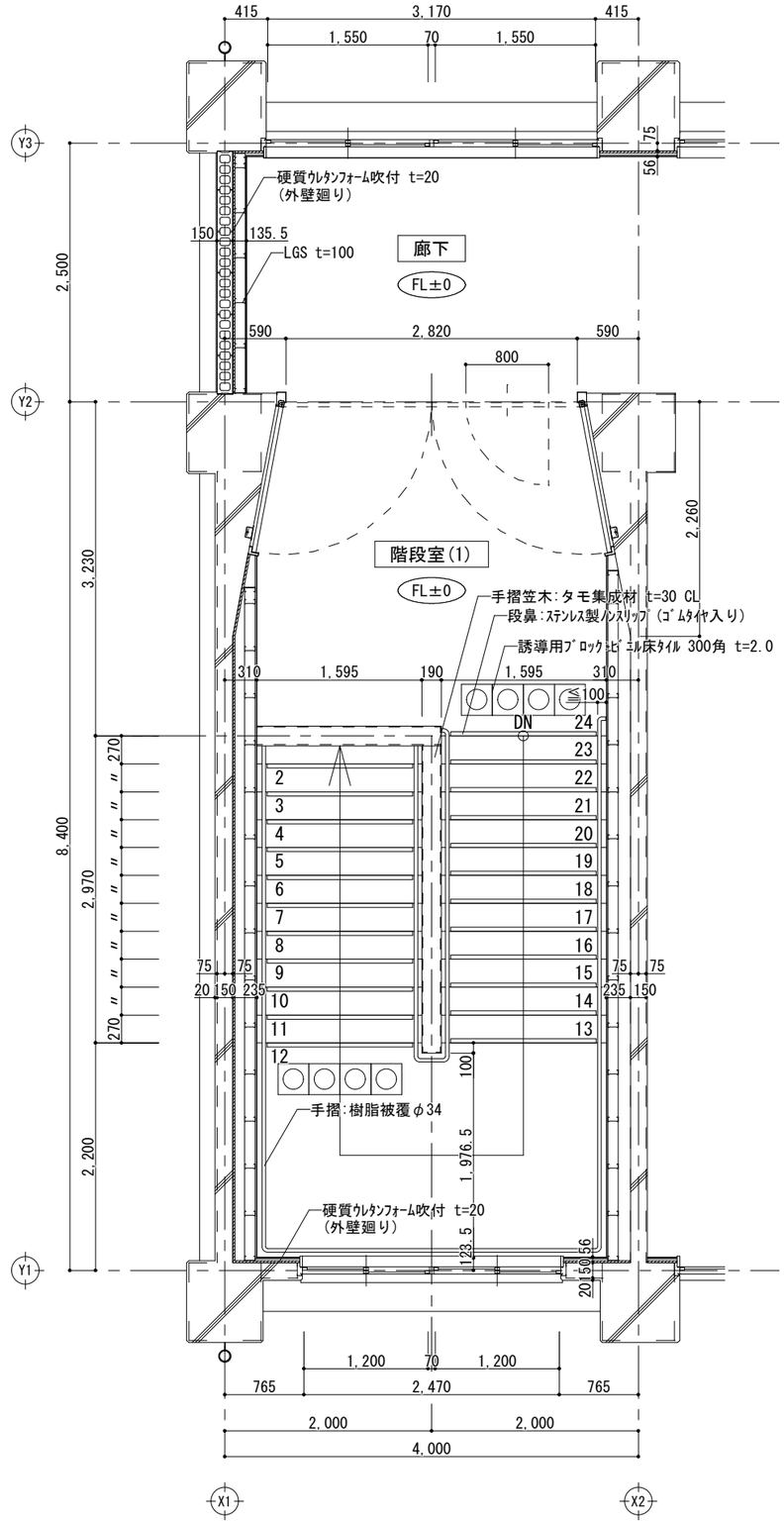
1階 階段室(1) 平面詳細図 S=1/60

※階段室(2)も本図に倣う



2・3階 階段室(1) 平面詳細図 S=1/60

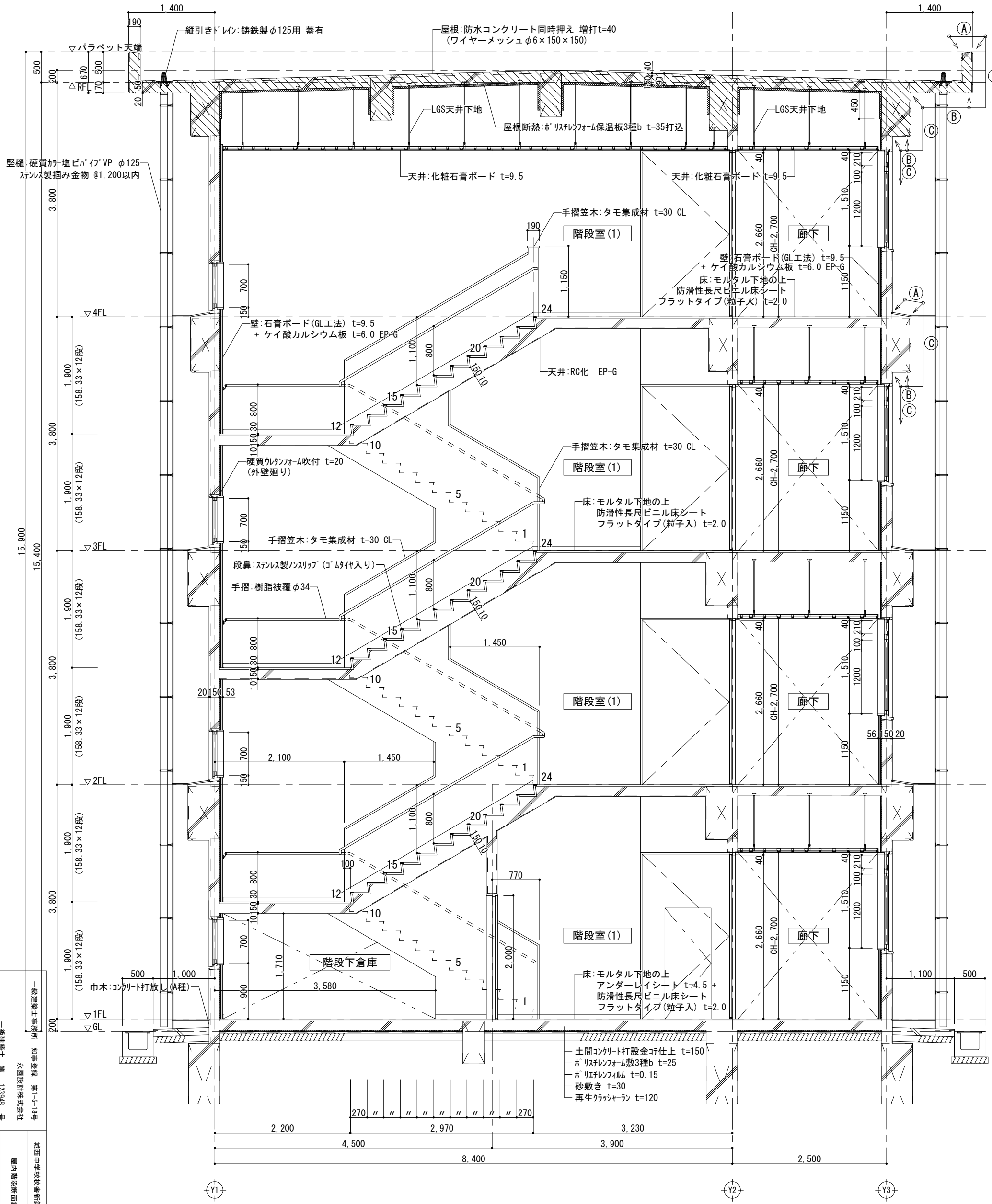
※階段室(2)も本図に倣う



4階 階段室(1) 平面詳細図 S=1/60

※階段室(2)も本図に倣う

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	屋内階段平面詳細図	A1:1/30 A3:1/60	A－31
	鹿児島市建設局建築部建築課		



階段室(1) 断面詳細図 S=1/60

※階段室(2)も本図に倣う

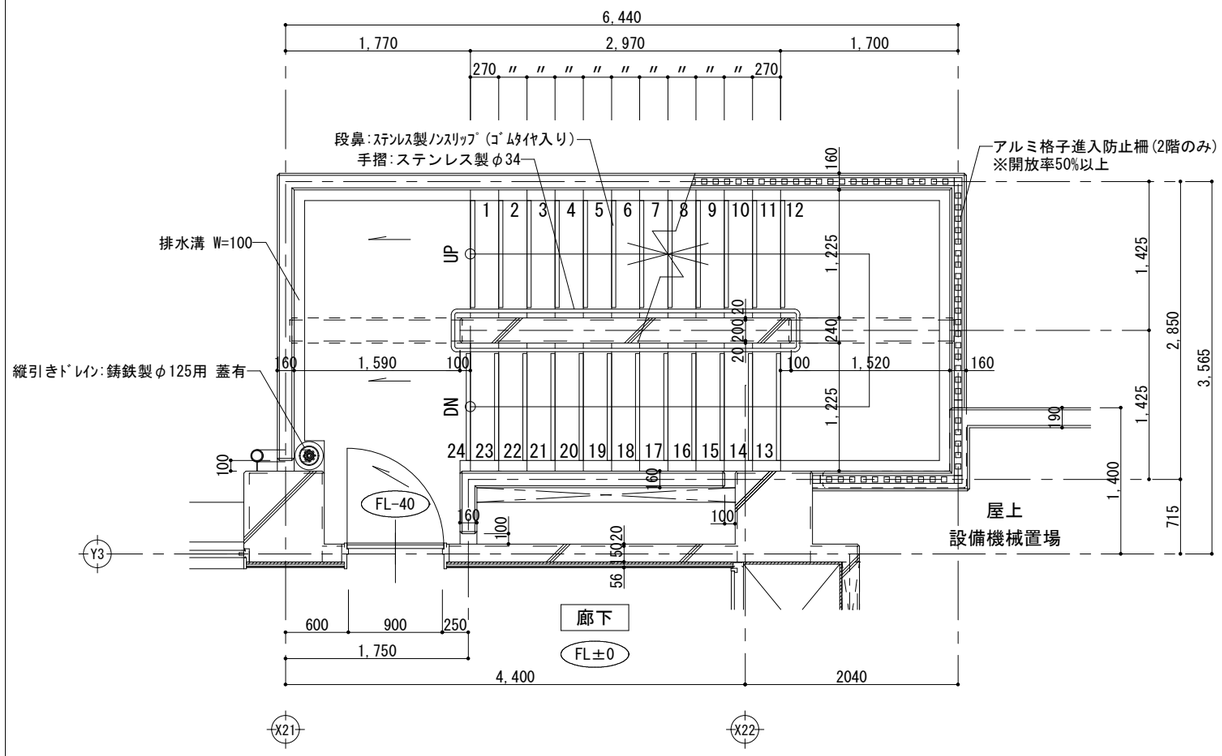
凡例
Ⓐ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E(粒無し)
Ⓑ — コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上 塗材(化粧目地切)
Ⓒ — コンクリート打放し下地処理の上 複層塗材E

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士 第 123948 号
小原 正信

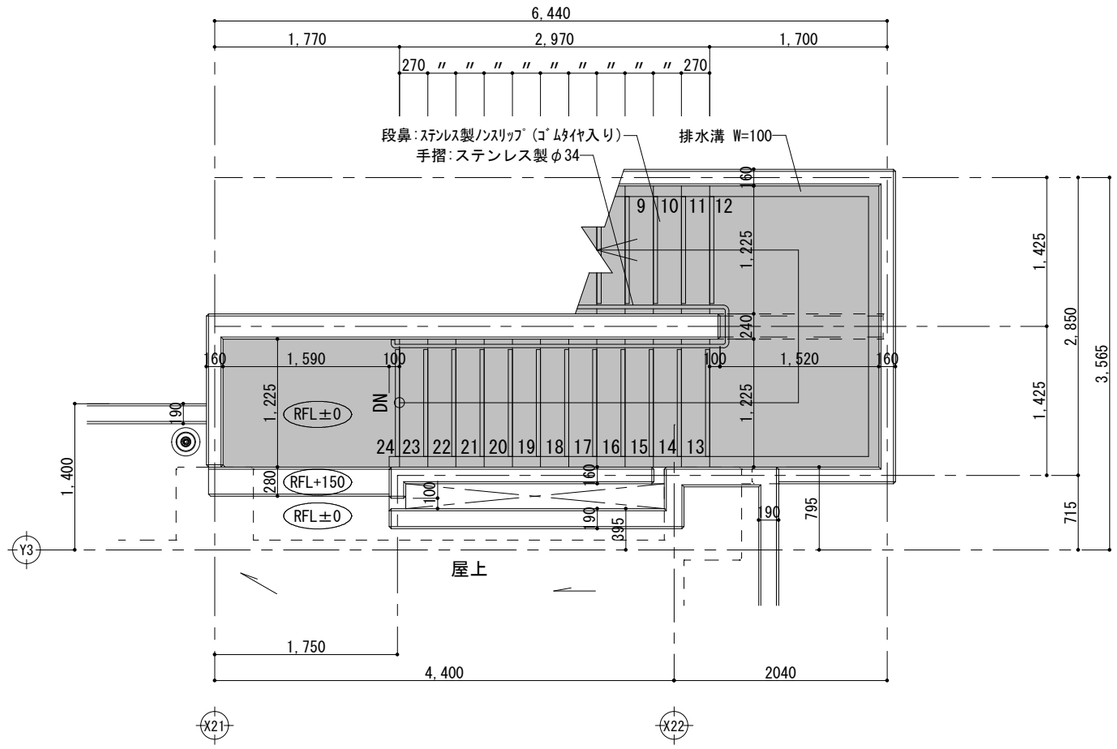
城西中学校校舎新築その他本体工事
屋内階段断面詳細図
鹿児島市建設局建築部建築課

A1:1/30
A3:1/60

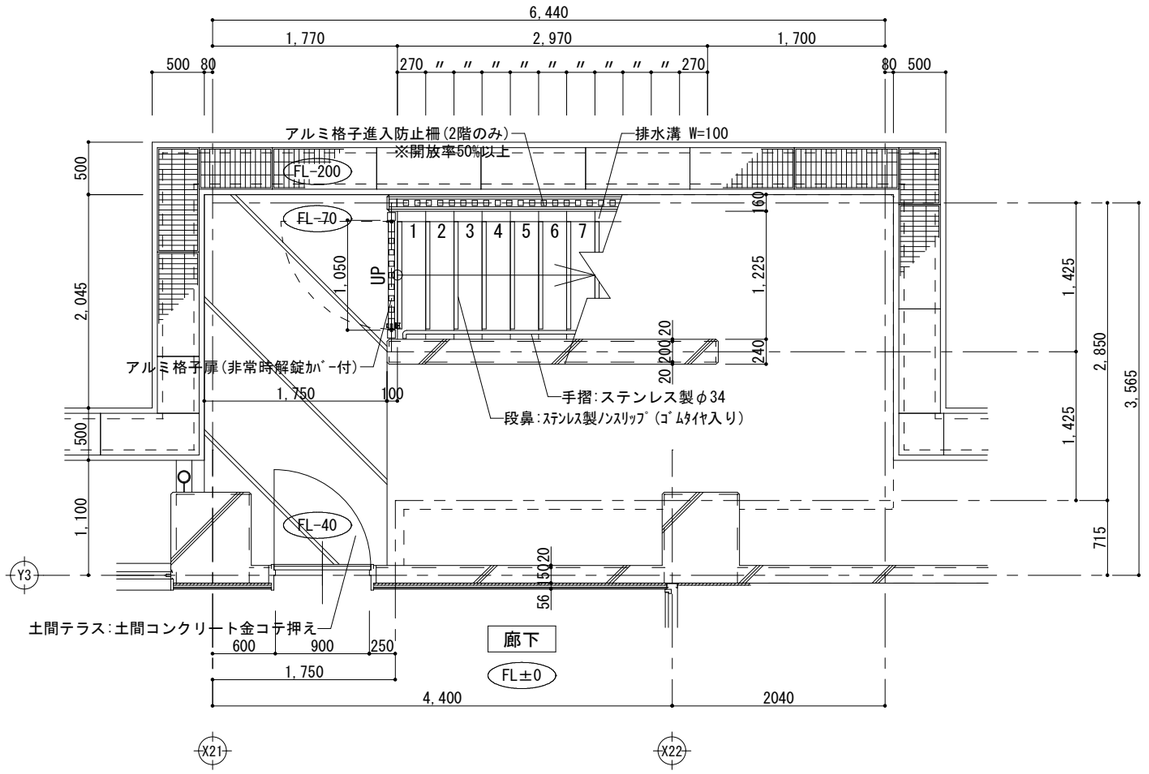
A－32



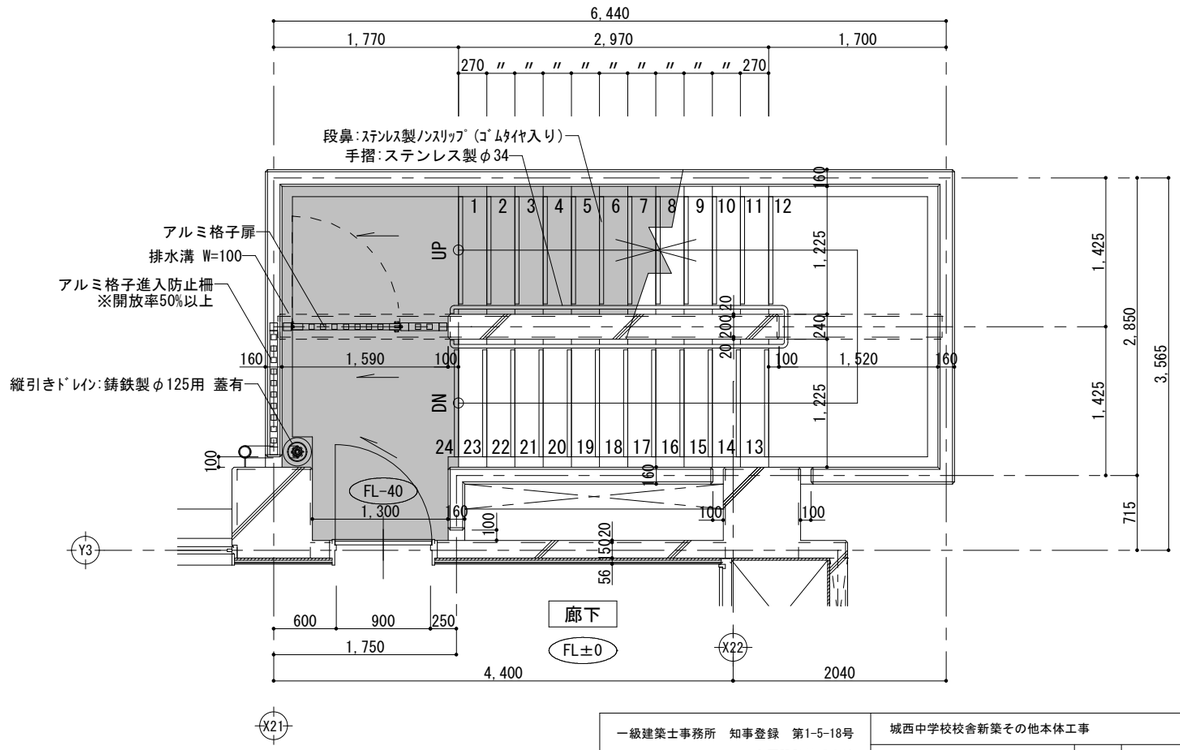
2･3階 屋外階段 平面詳細図 S=1/60



R階 屋外階段 平面詳細図 S=1/60

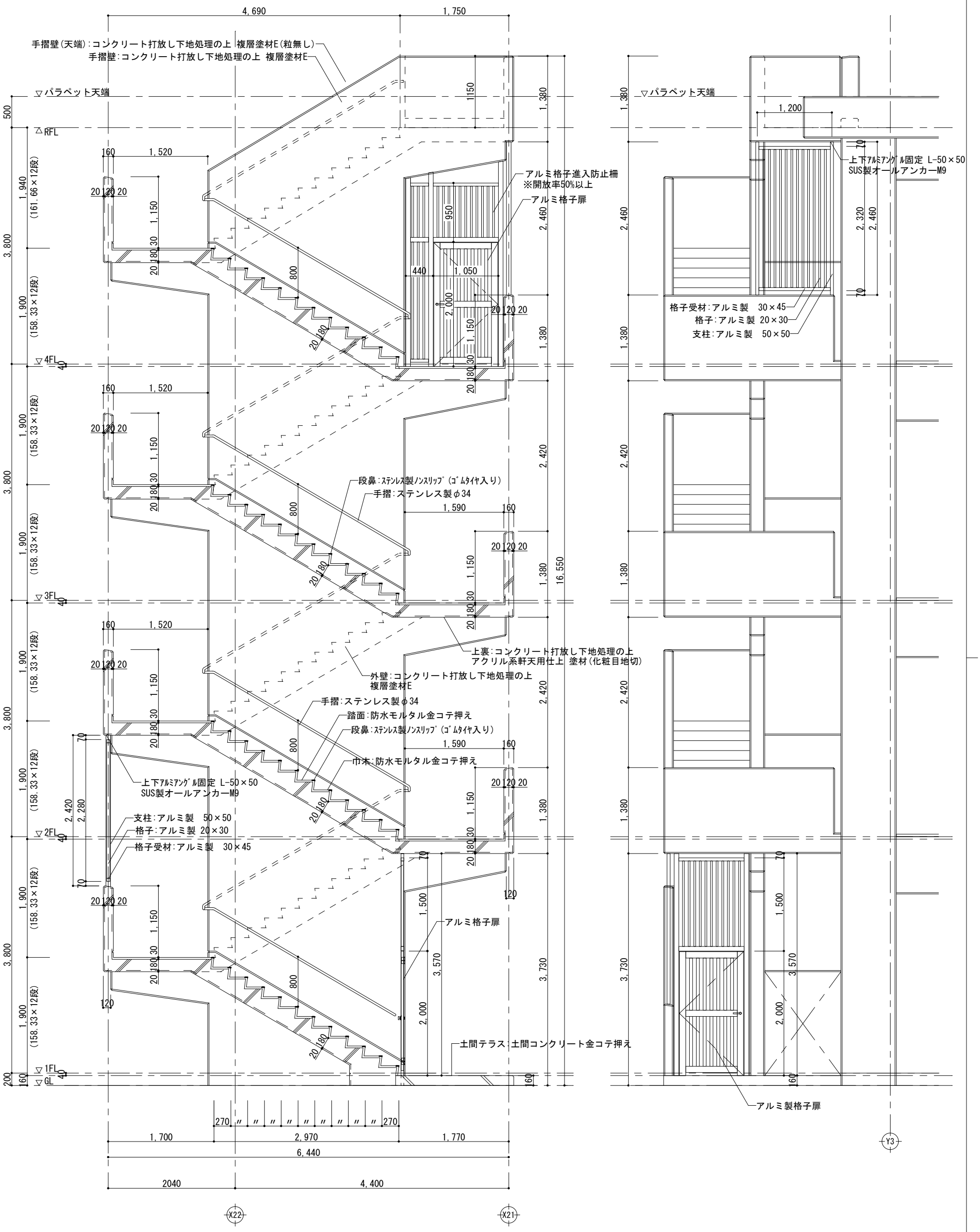


1階 屋外階段 平面詳細図 S=1/60



4階 屋外階段 平面詳細図 S=1/60

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	屋外階段平面詳細図	A1:1/30 A3:1/60
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－３３



屋外階段 断面詳細図 S=1/60

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士 第 123948 号
小原 正信

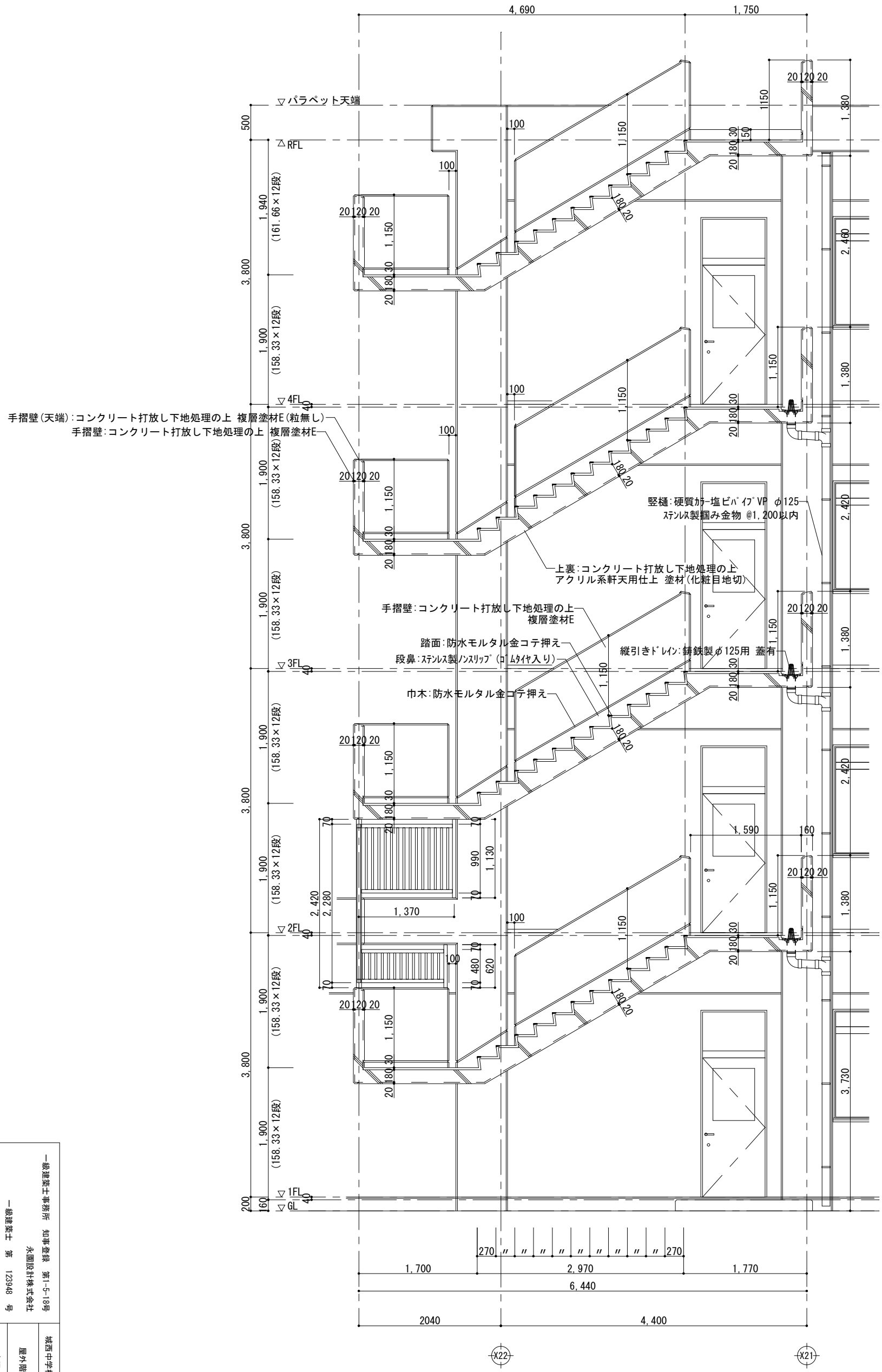
城西中学校校舎新築その他本体工事

屋外階段断面詳細図(1)

A1:1/30
A3:1/60

鹿児島市建設局建築部建築課

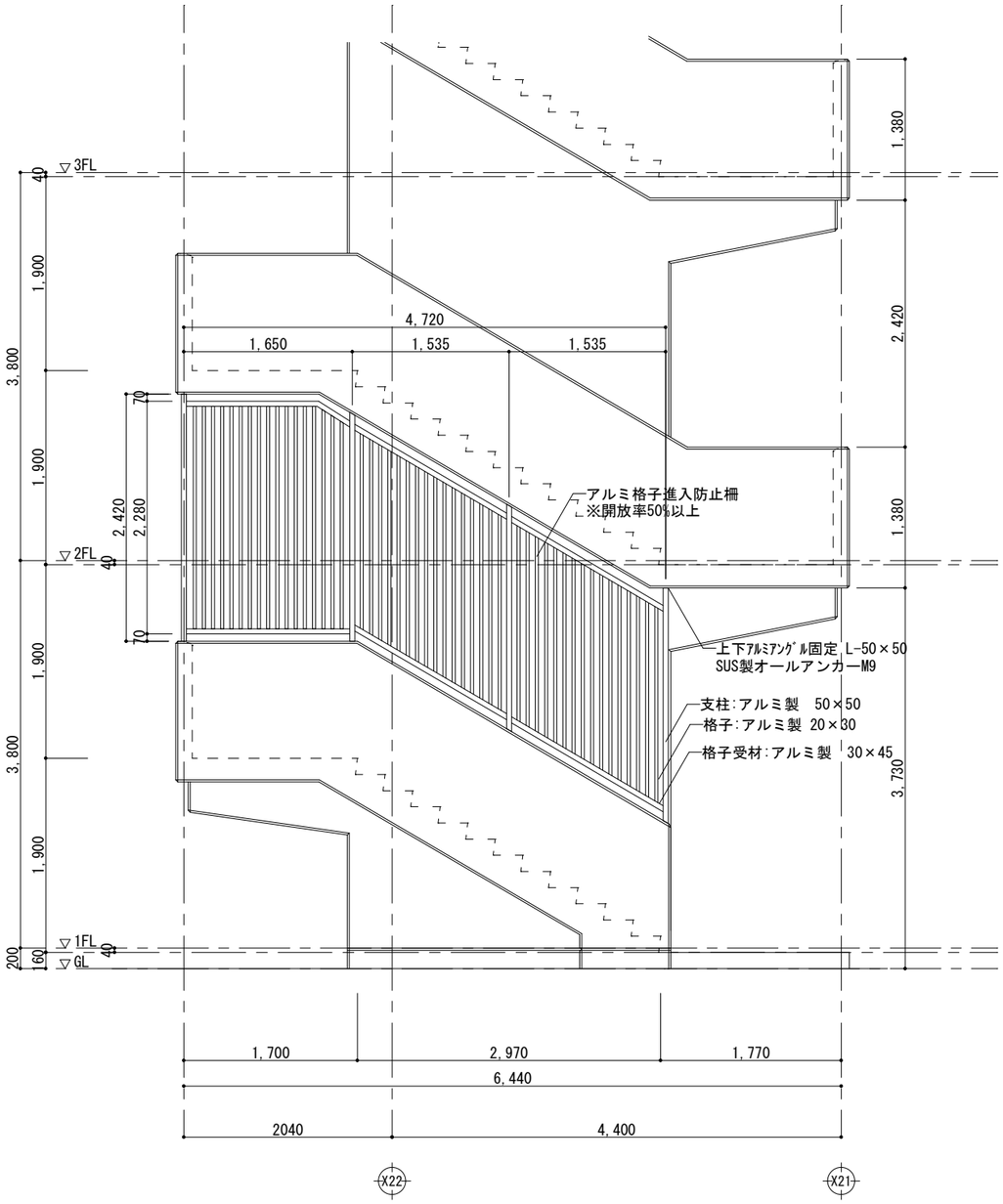
A－34

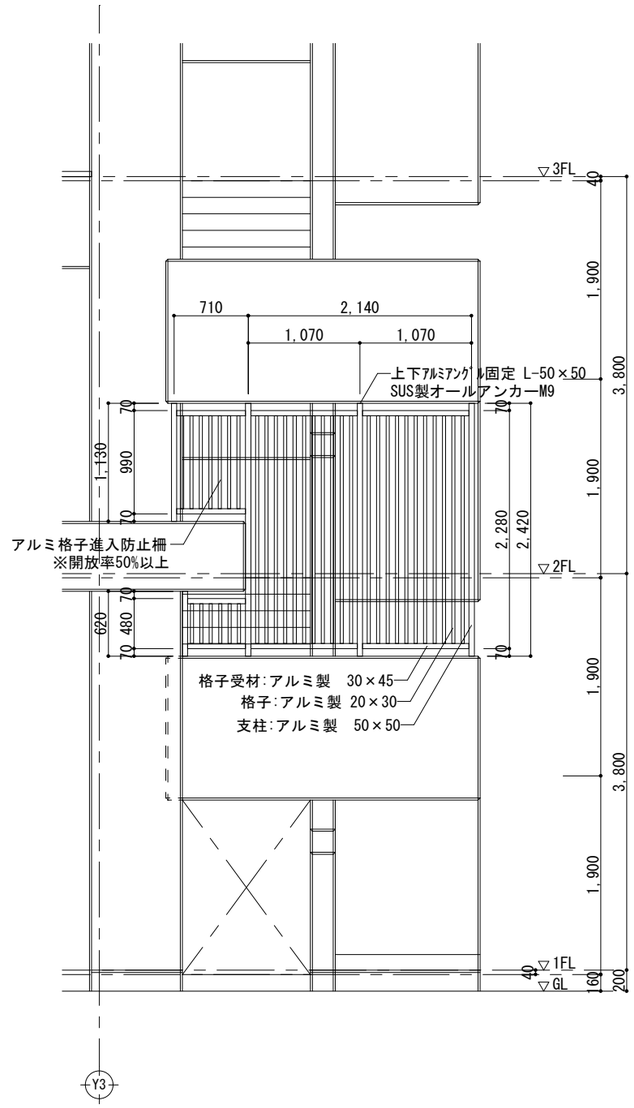


屋外階段 断面詳細図 S=1/60

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士 第 123948 号
小原 正信

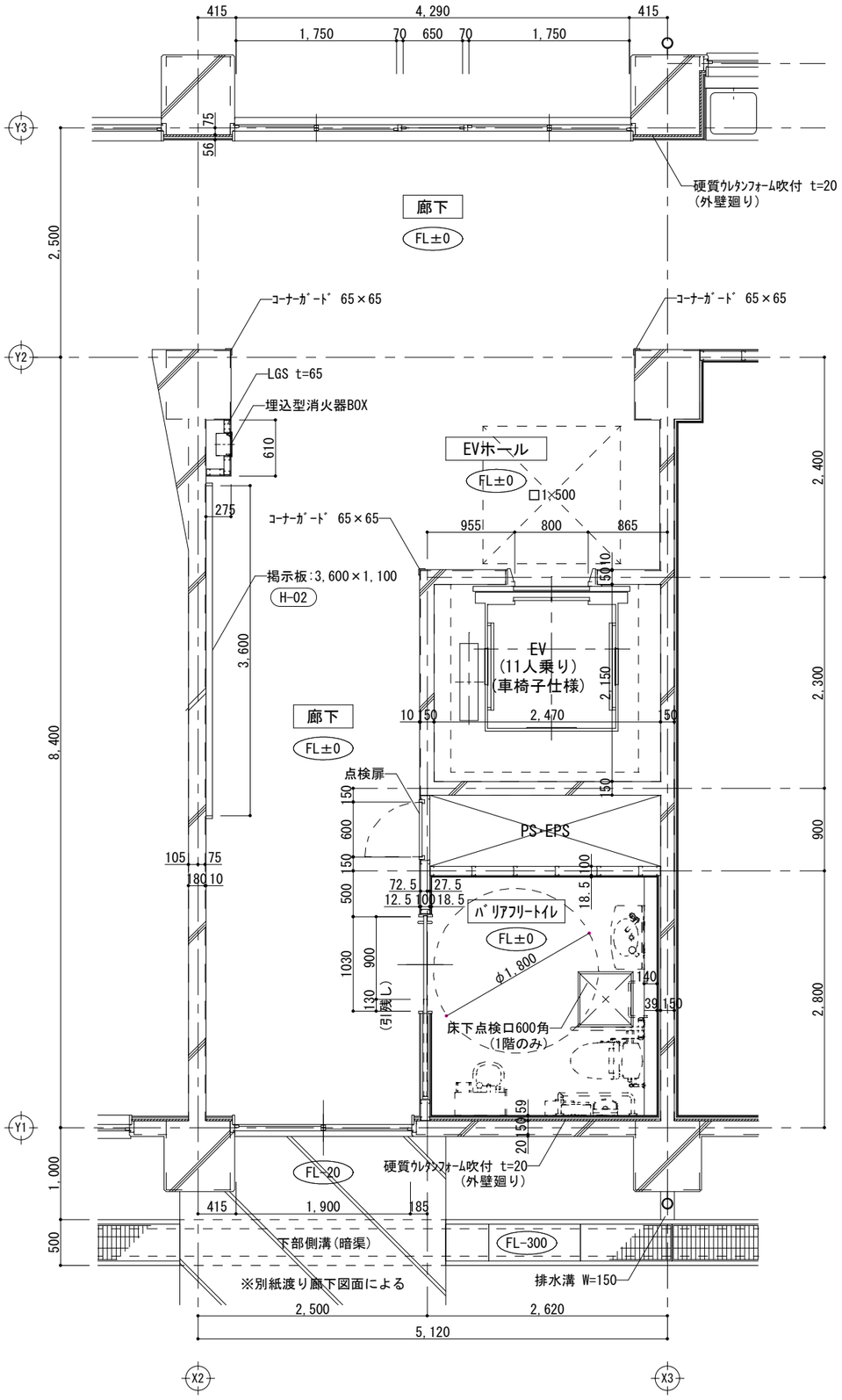
城西中学校舎新築その他本体工事
屋外階段断面詳細図(2)
A1:1/30
A3:1/60
鹿児島市建設局建築部建築課
A－35





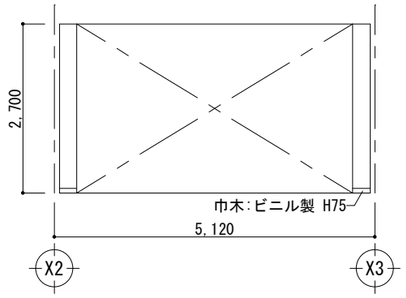
屋外階段 進入防止柵詳細図　S=1/60

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	屋外階段進入防止柵詳細図	A1:1/30 A3:1/60	A－３６
	鹿児島市建設局建築部建築課		

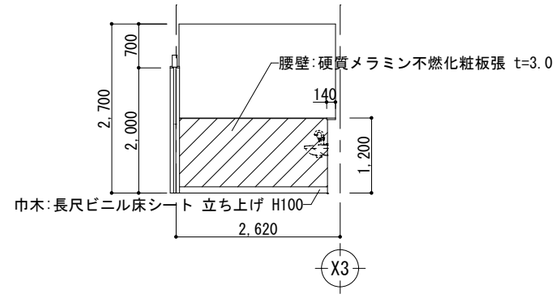


1～4階 EV･バリアフリートイレ 平面詳細図　S=1/60

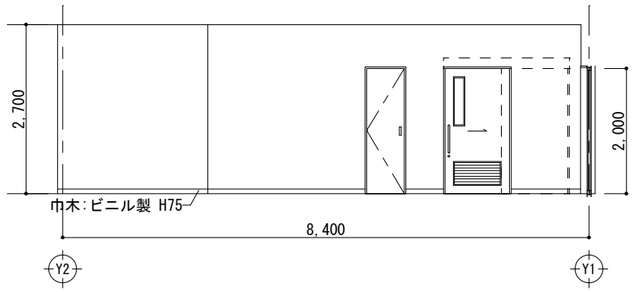
1～4階 EV･バリアフリートイレ 展開図　S=1/100



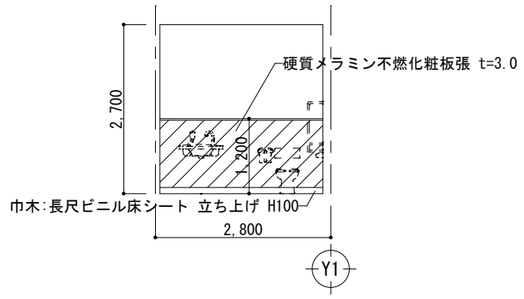
EVホール A面



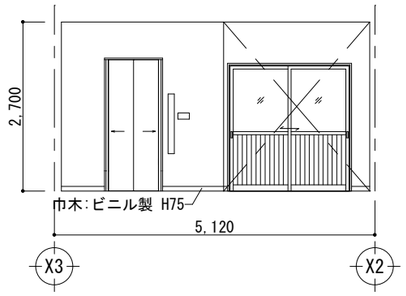
バリアフリートイレ A面



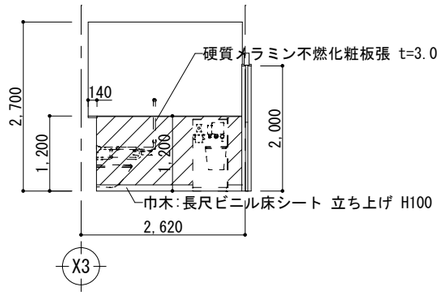
廊下 B面



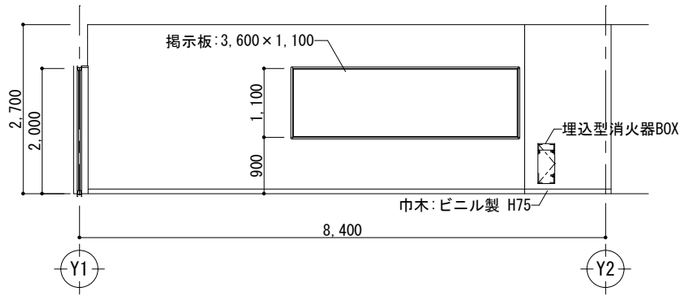
バリアフリートイレ B面



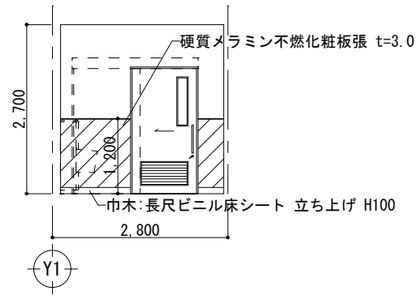
EVホール C面



バリアフリートイレ C面

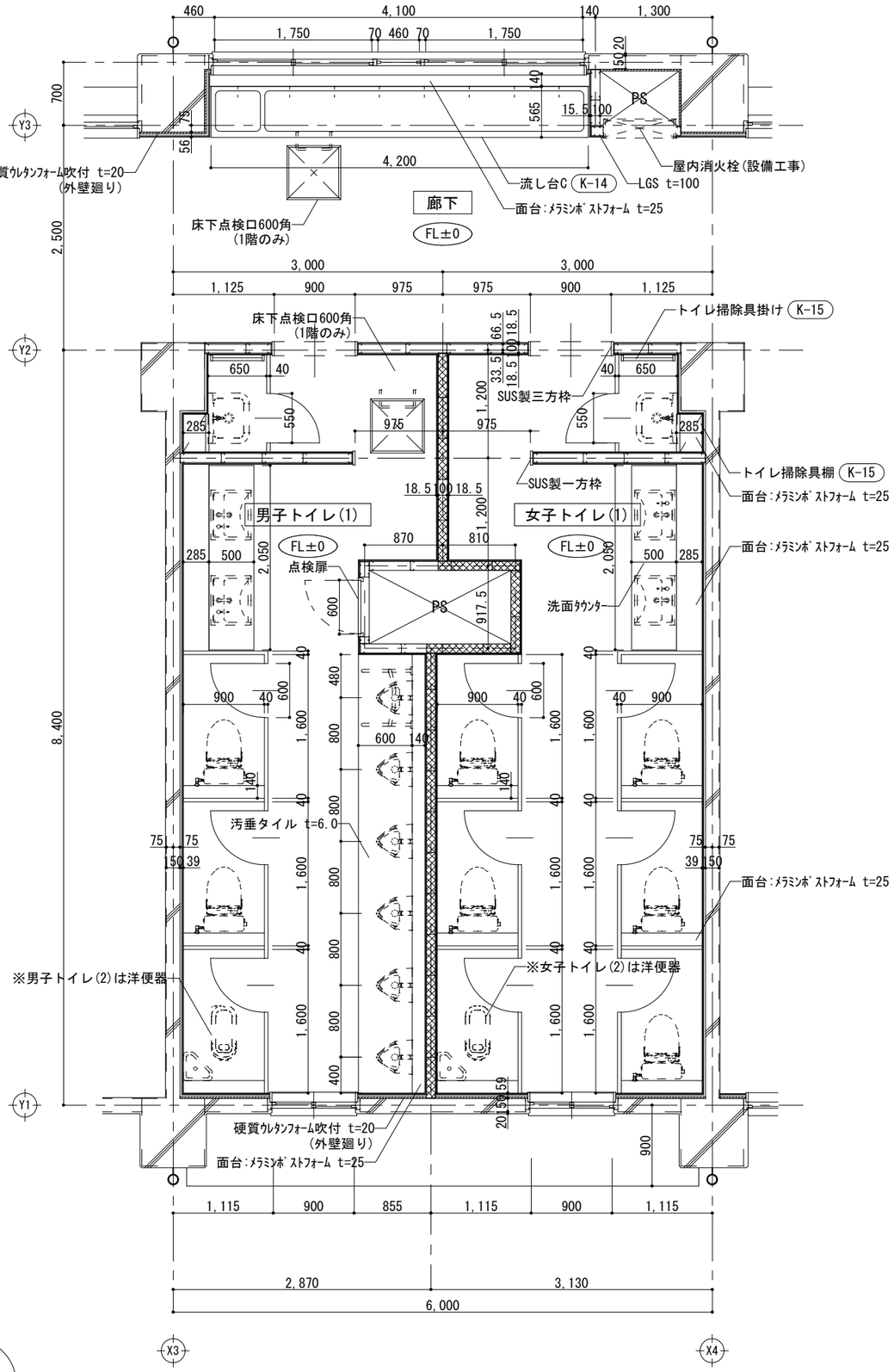


廊下 D面



バリアフリートイレ D面

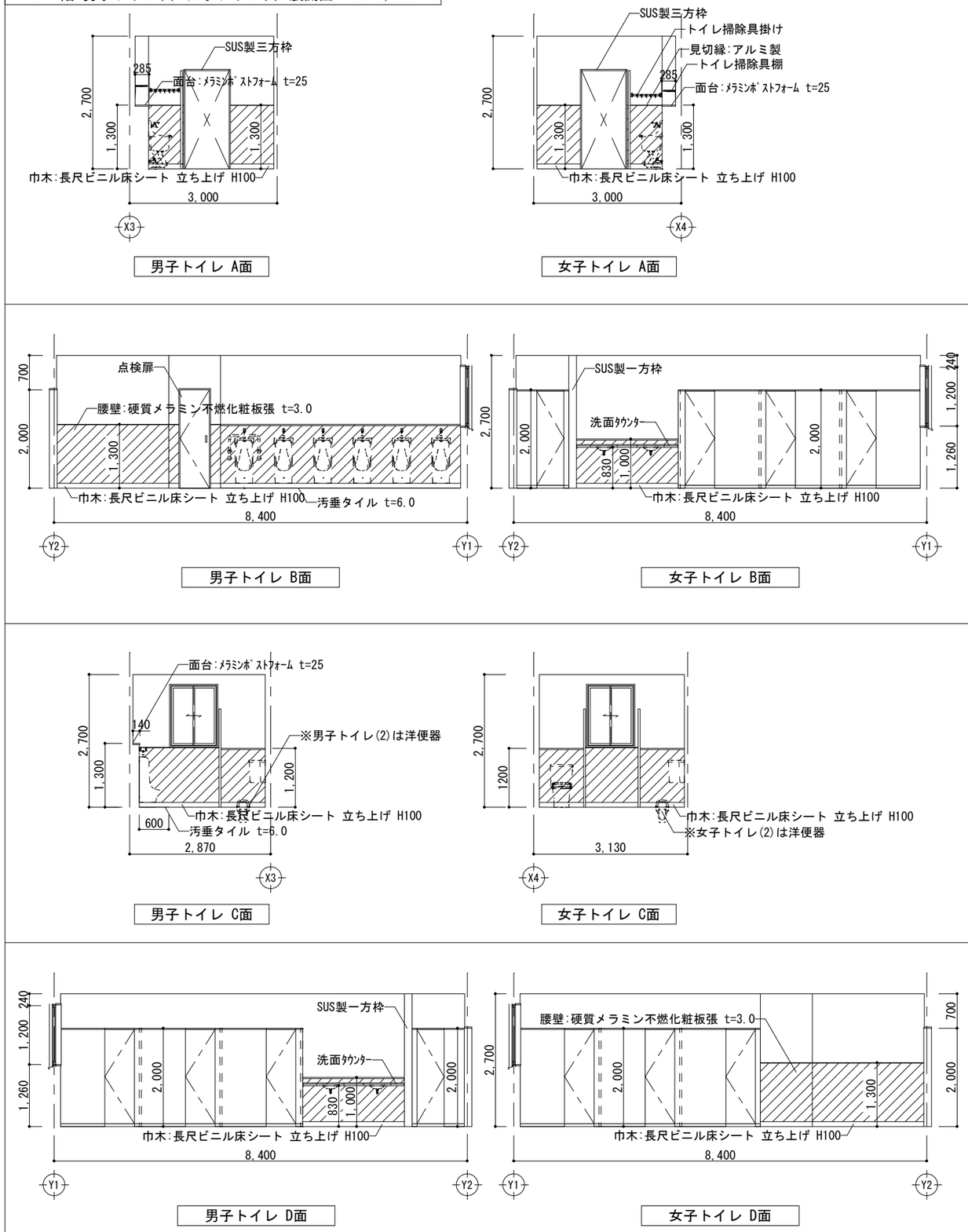
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	1～4階 EV･バリアフリートイレ 平面詳細図･展開図	A1:1/30 A3:1/60	A－３７
	鹿児島市建設局建築部建築課		



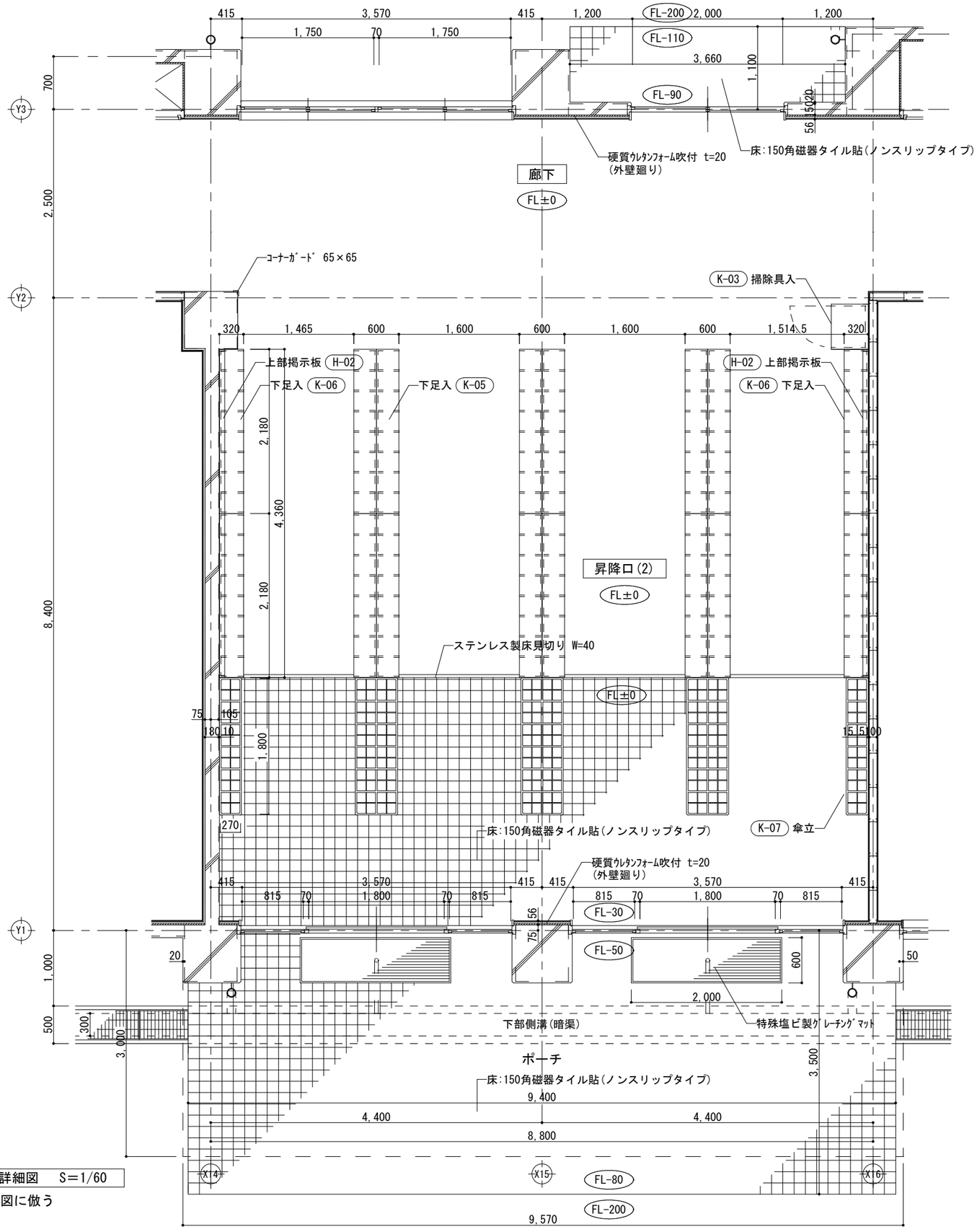
1～4階 男子トイレ(1)･女子トイレ(1) 平面詳細図　S=1/60

※男子トイレ(2)･女子トイレ(2)も本図に倣う
※和便器は男子トイレ(1)･女子トイレ(1)共に、各階1箇所とし
男子トイレ(2)･女子トイレ(2)は全て洋便器

1～4階 男子トイレ(1)･女子トイレ(1) 展開図　S=1/100



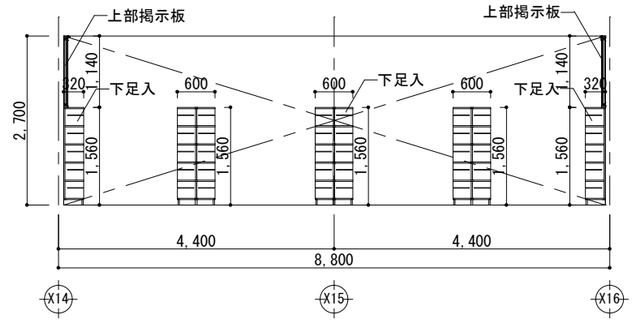
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 1～4階 男子トイレ(1)･女子トイレ(1) 平面詳細図･展開図　A1:1/30　A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	A－38



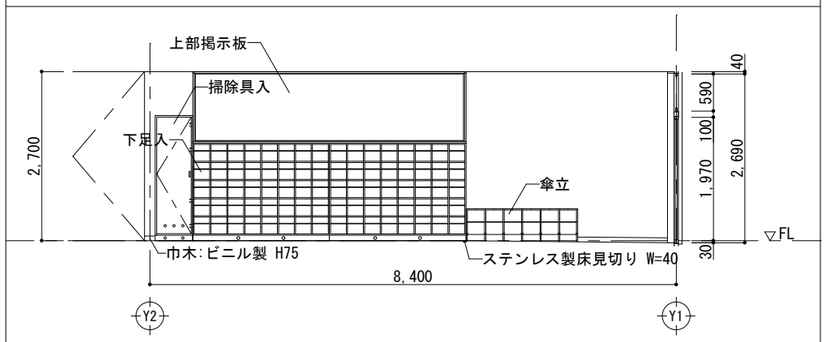
1階 昇降口(2) 平面詳細図　S=1/60

※昇降口(1)も本図に倣う

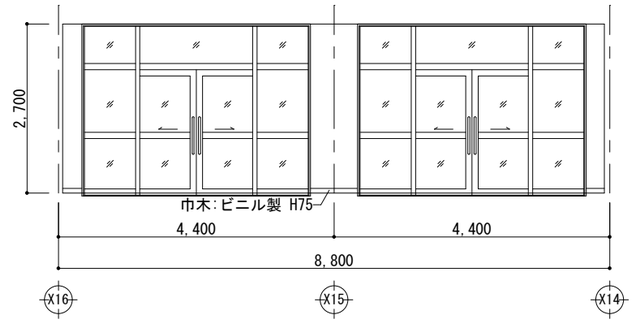
1階 昇降口(1)(2) 展開図　S=1/100



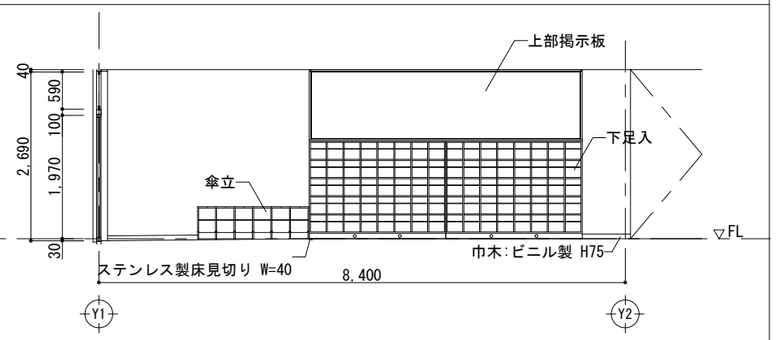
昇降口 A面



昇降口 B面

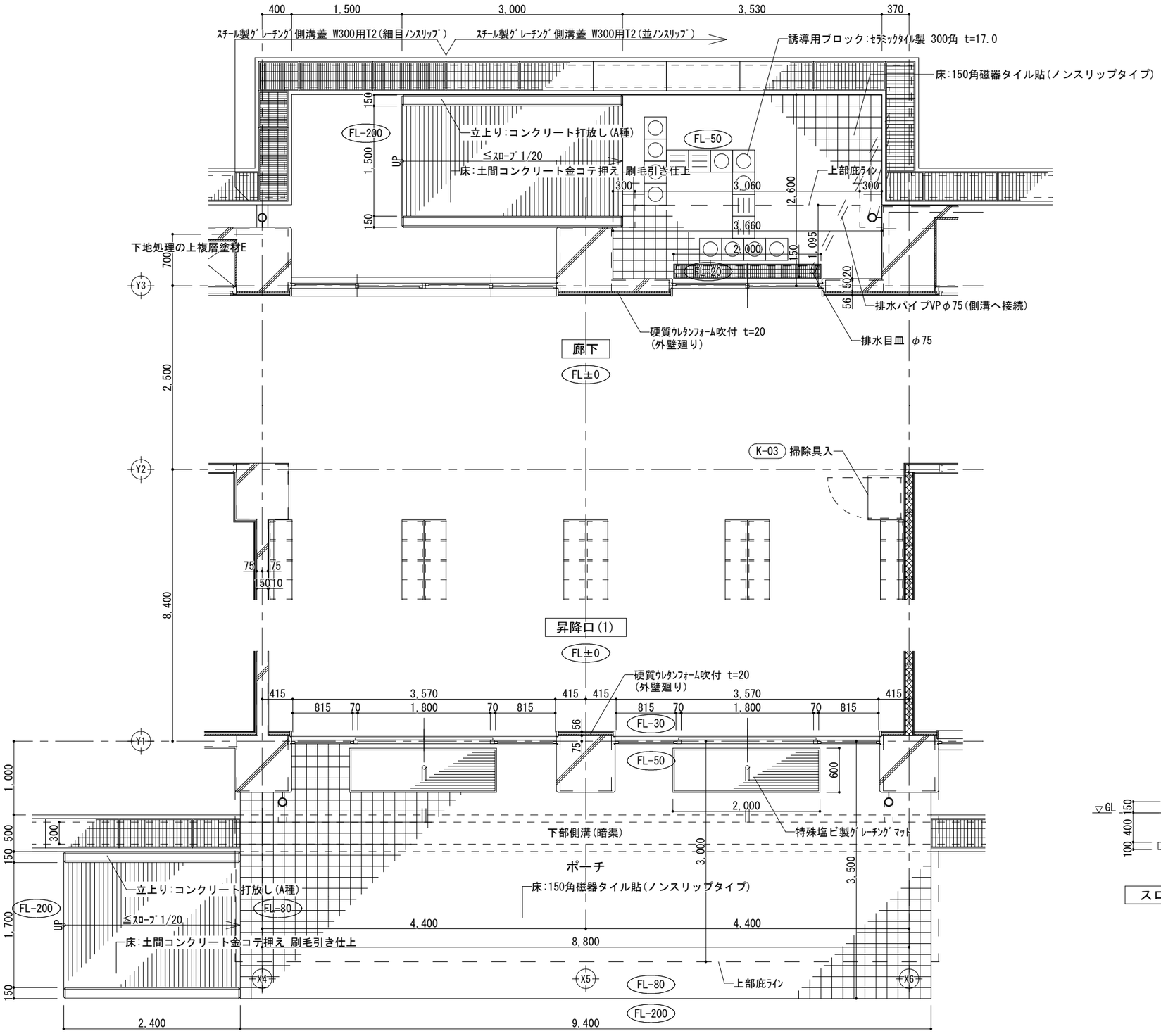


昇降口 C面

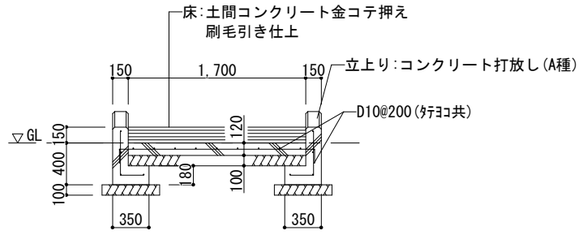


昇降口 D面

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	1階 昇降口(2) 平面詳細図・展開図	A1:1/30 A3:1/60	A－39
	鹿児島市建設局建築部建築課		

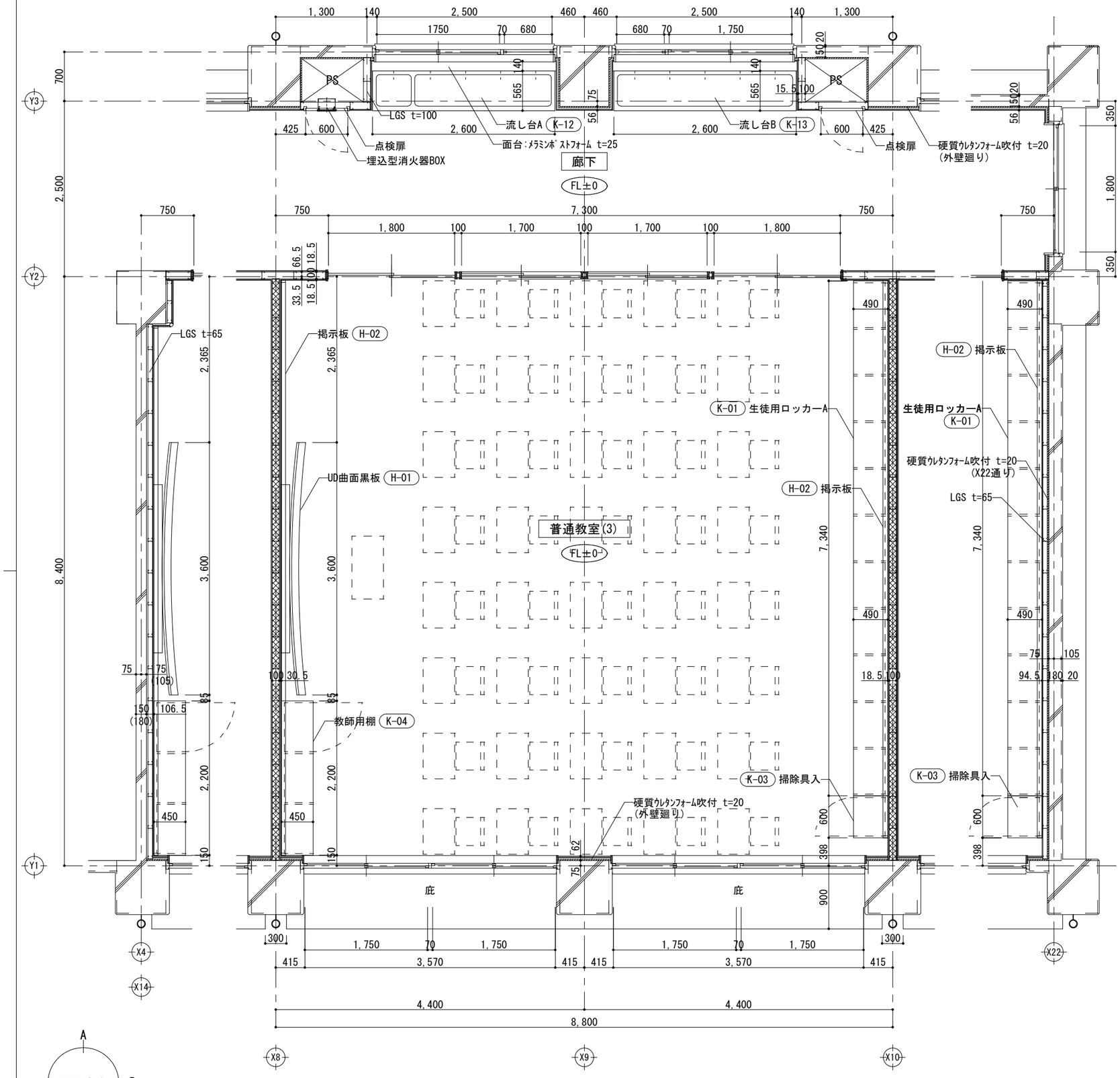


1階 昇降口(1) スロープ平面詳細図 S=1/60



スロープ 断面詳細図 S=1/60

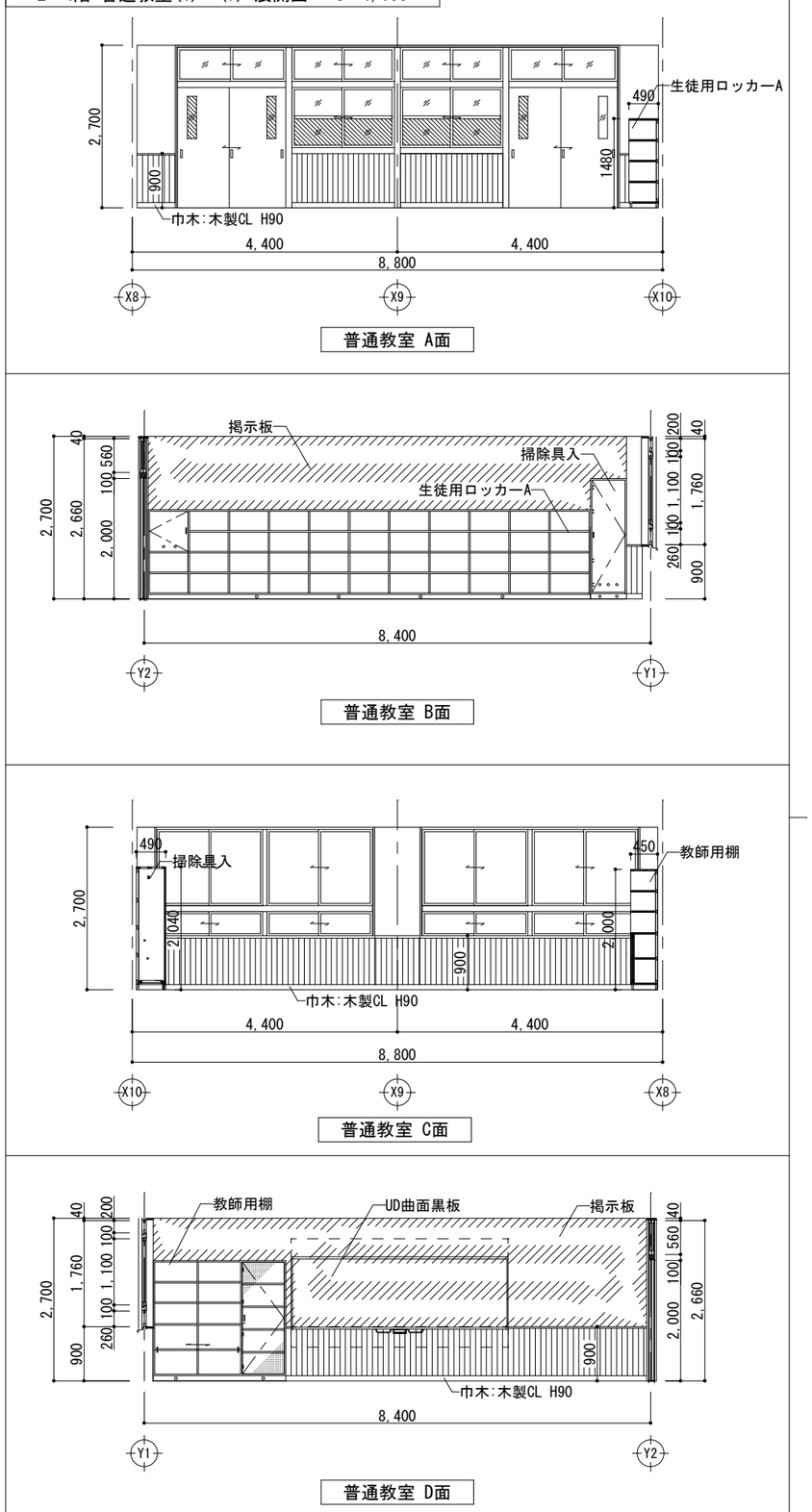
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	1階 昇降口(1) スロープ詳細図	A1:1/30 A3:1/60	A－40
	鹿児島市建設局建築部建築課		



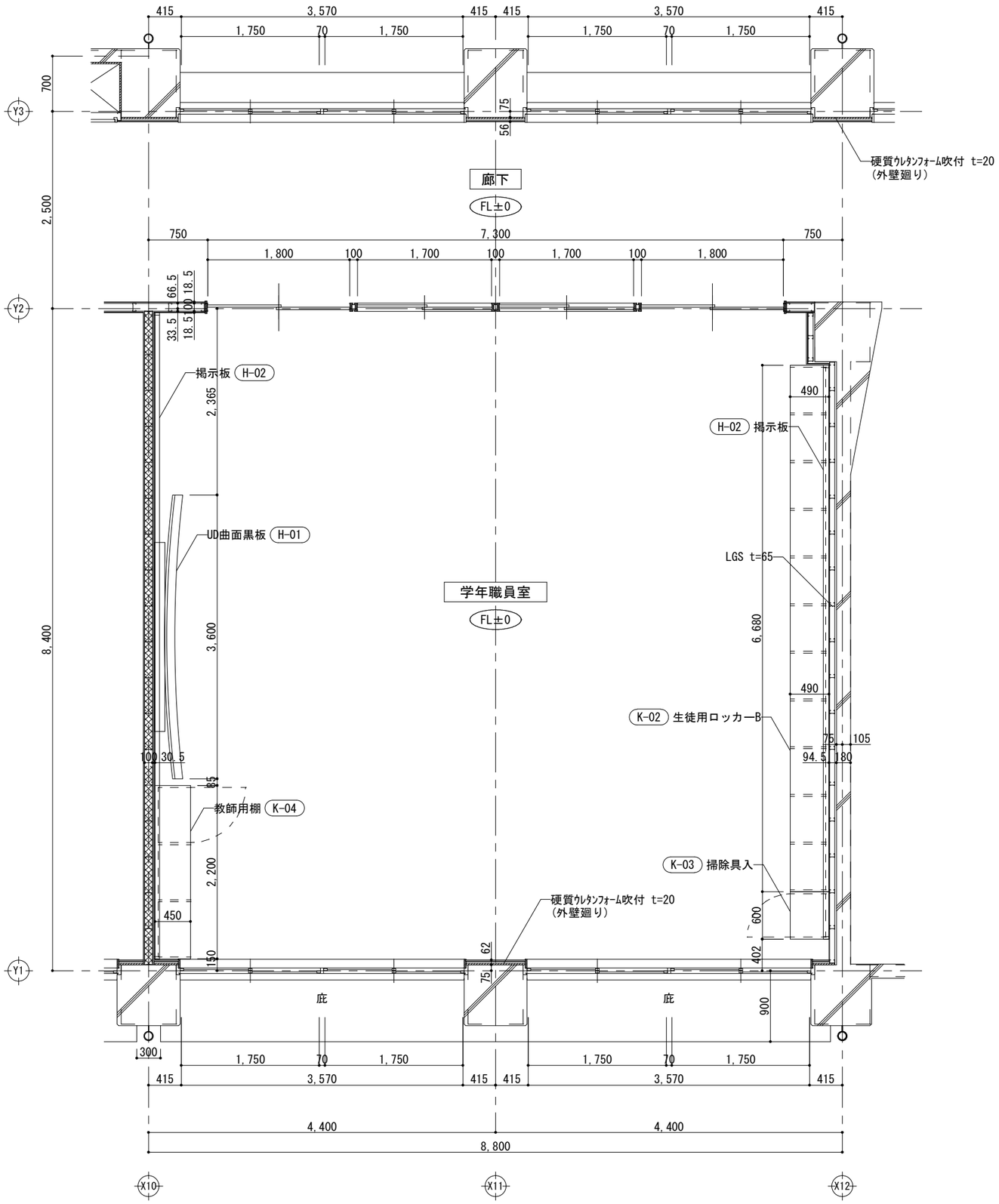
2～4階 普通教室(1)～(7) 平面詳細図　S=1/60

※少人数教室も本図に倣う

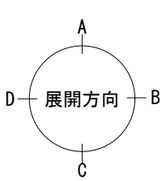
2～4階 普通教室(1)～(7) 展開図　S=1/100



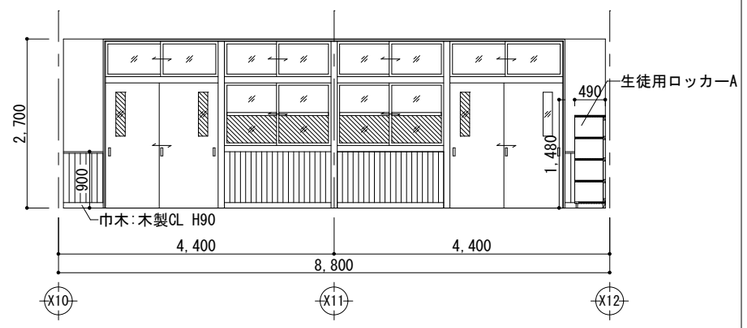
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 2～4階 普通教室(1)～(7) 平面詳細図・展開図	A1:1/30 A3:1/60
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－41



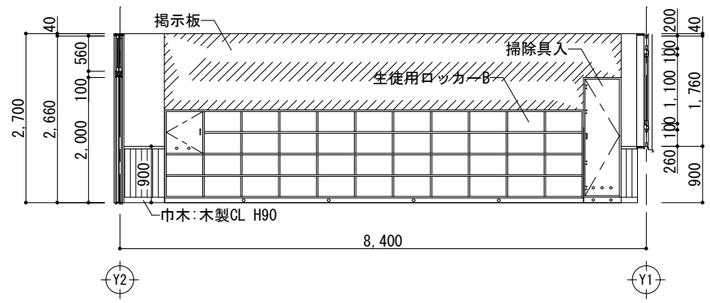
2～4階 学年職員室 平面詳細図　S=1/60



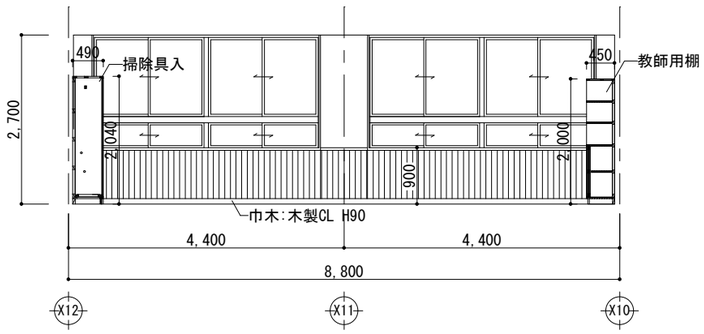
2～4階 学年職員室 展開図　S=1/100



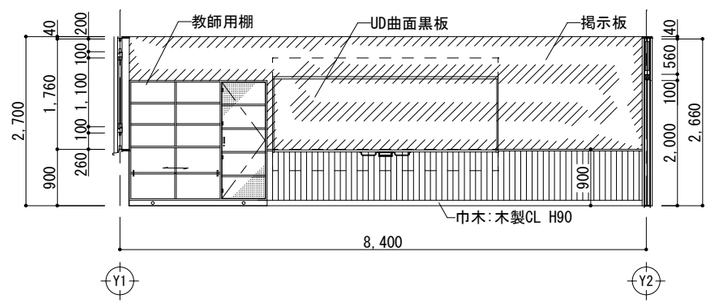
学年職員室 A面



学年職員室 B面

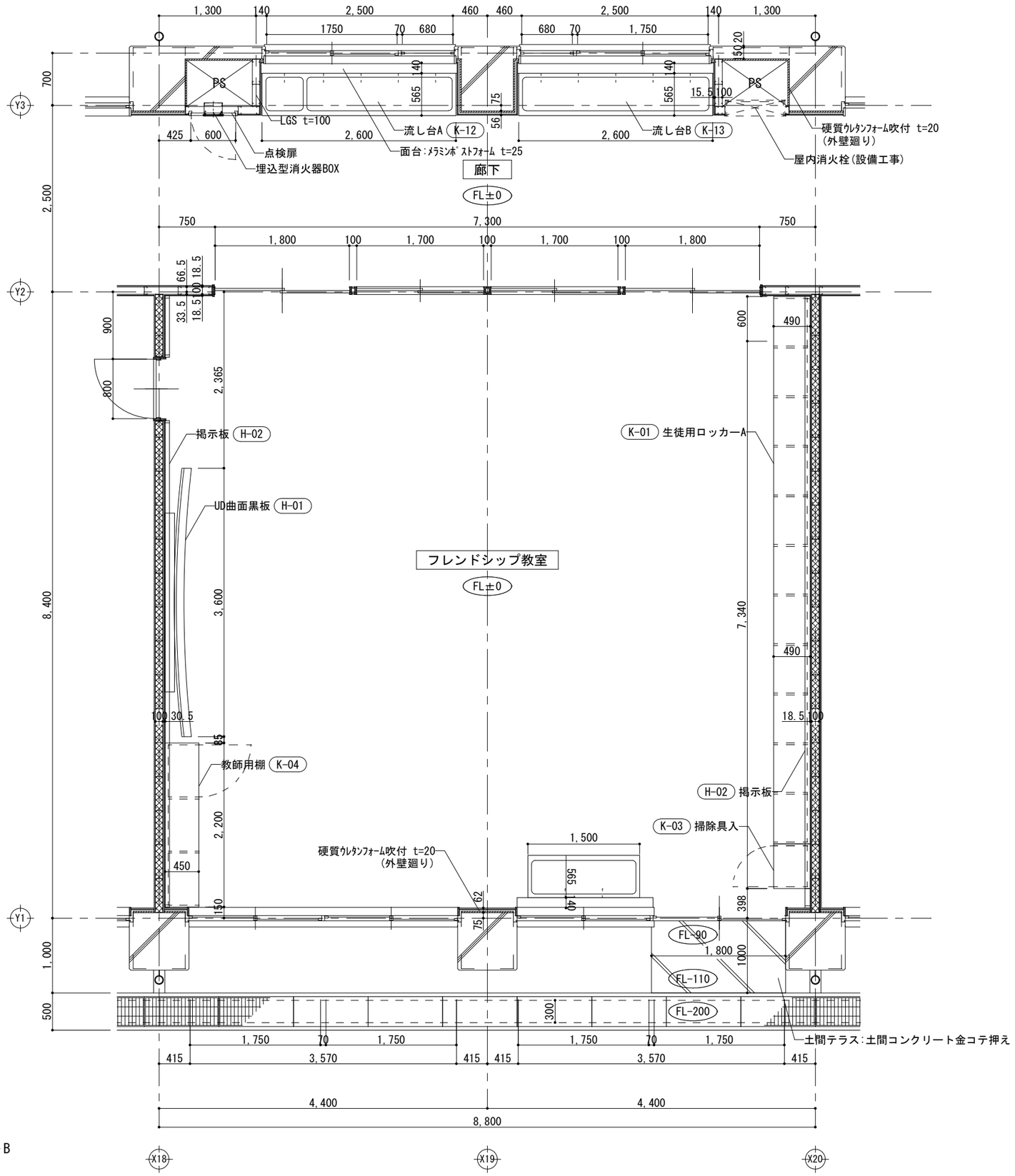


学年職員室 C面



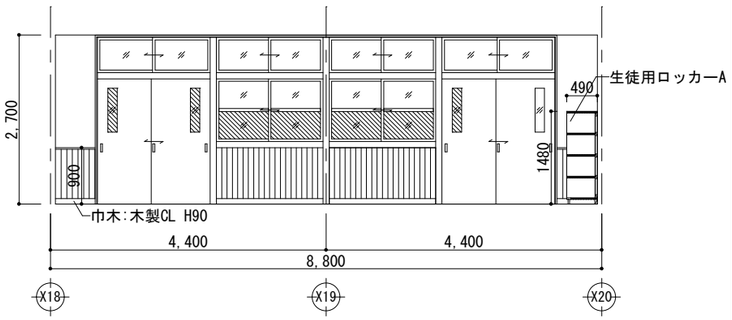
学年職員室 D面

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 2～4階 学年職員室 平面詳細図・展開図 A1:1/30 A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	A－42

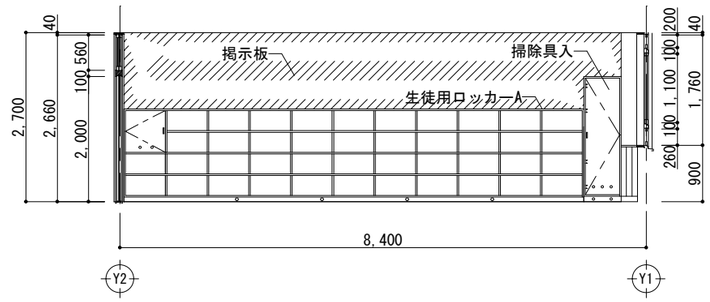


1階 フレンドシップ教室 平面詳細図　S=1/60

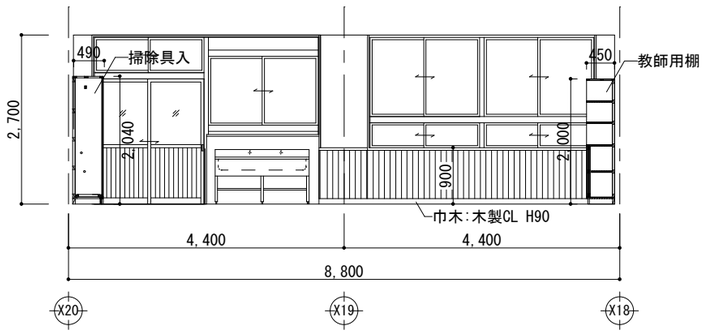
1階 フレンドシップ教室 展開図　S=1/100



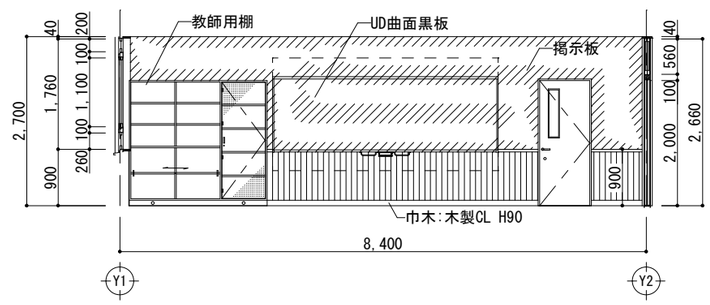
フレンドシップ教室 A面



フレンドシップ教室 B面

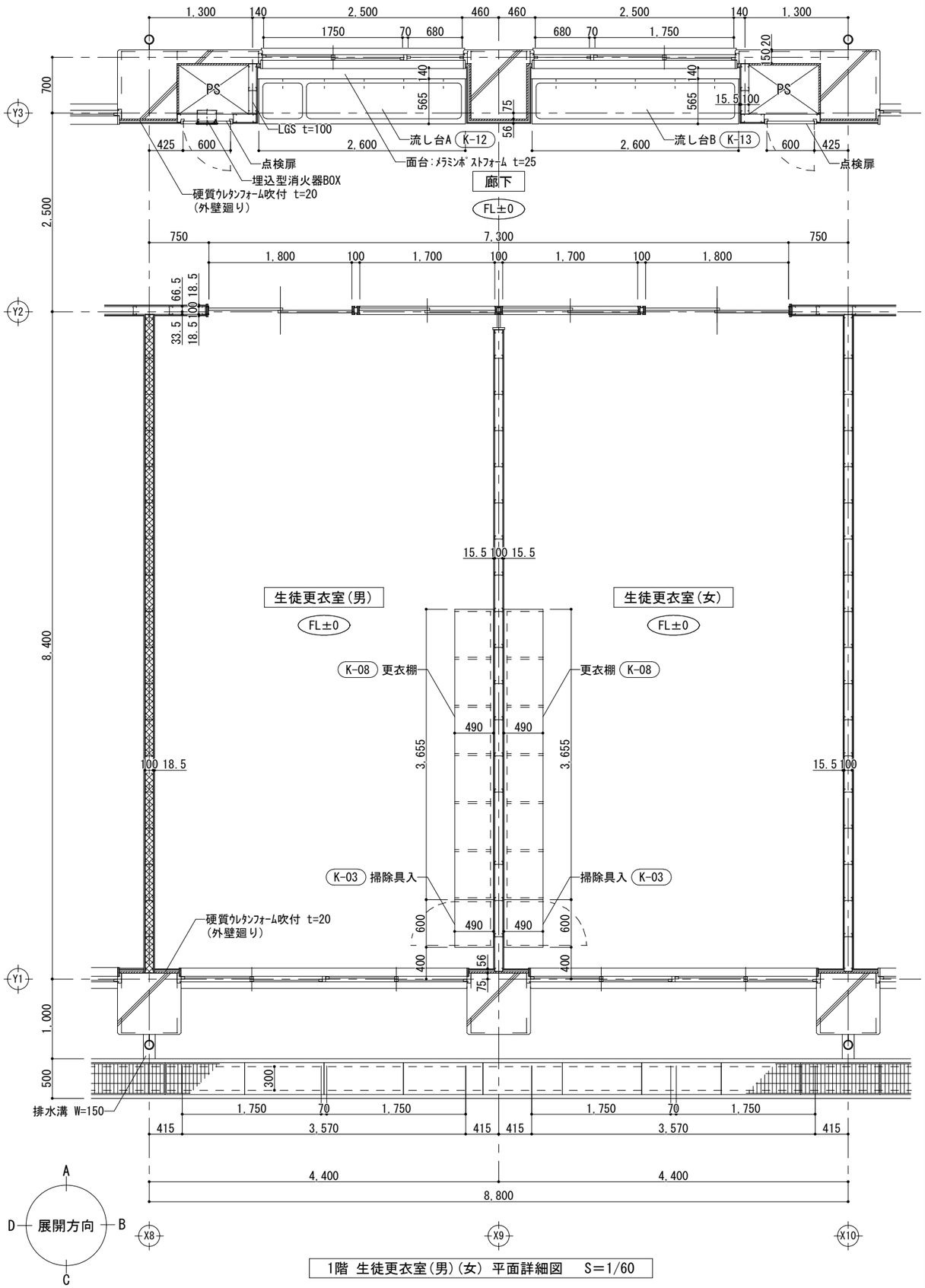


フレンドシップ教室 C面



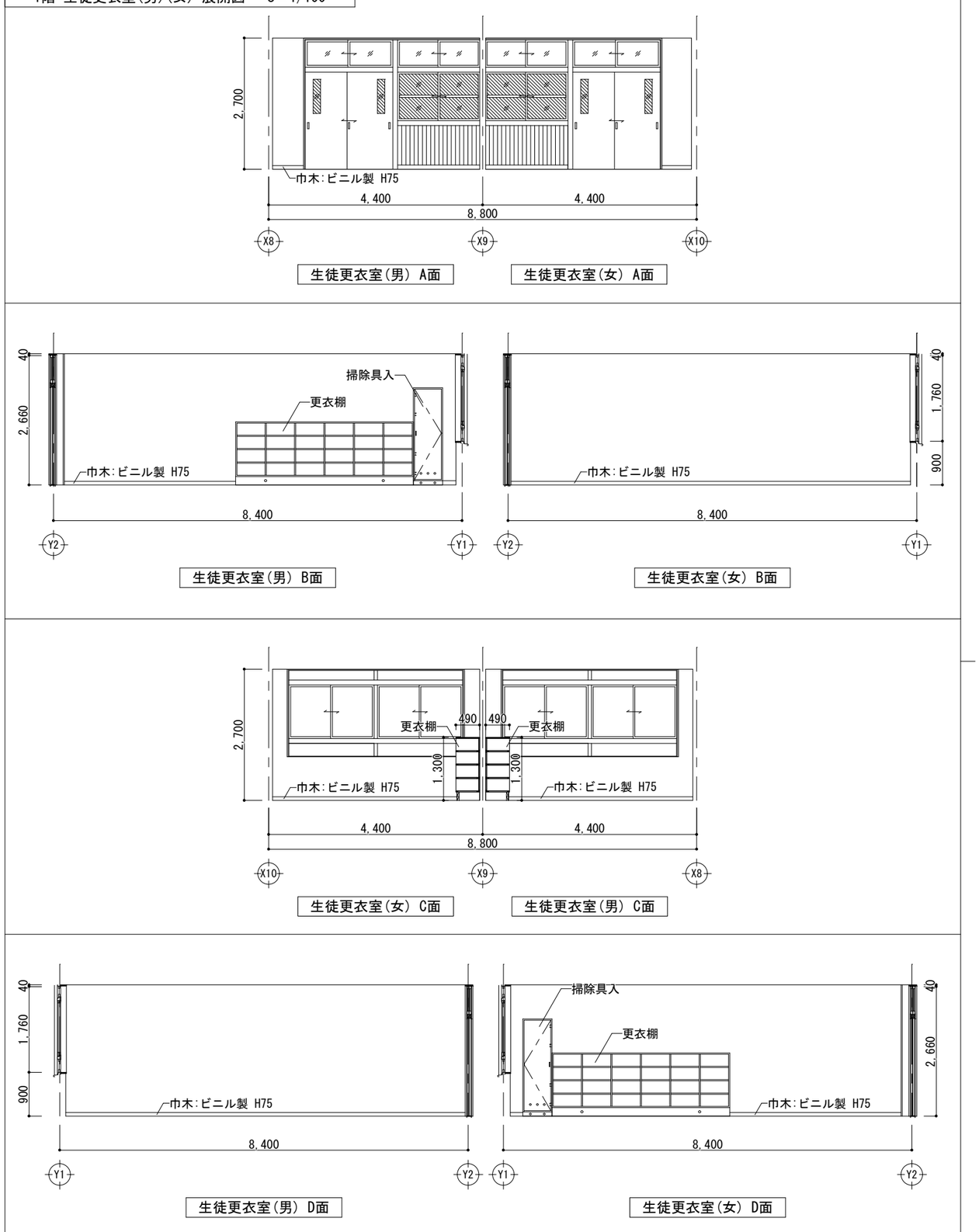
フレンドシップ教室 D面

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 1階 フレンドシップ教室 平面詳細図・展開図	A1:1/30 A3:1/60
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－43

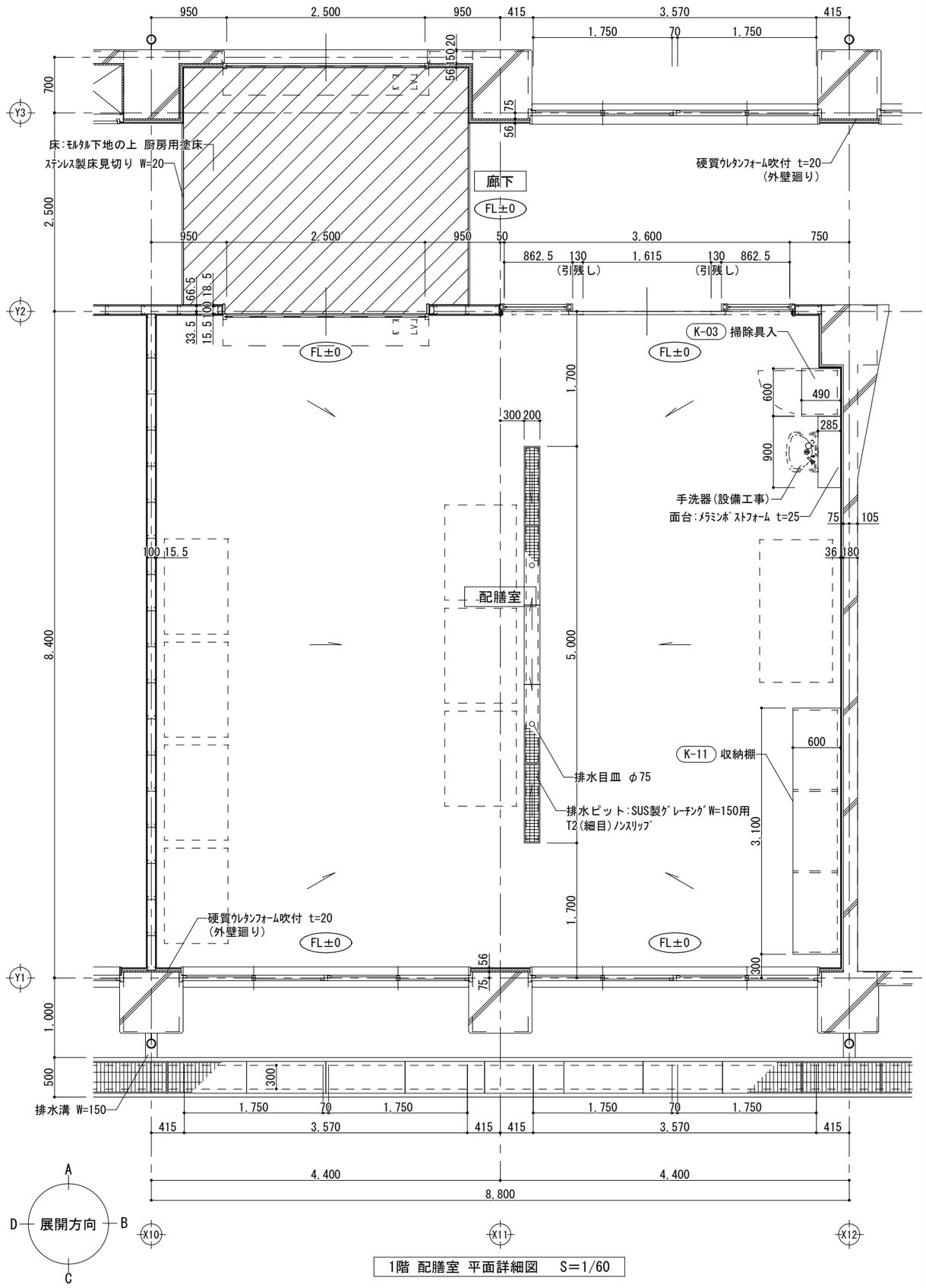


1階 生徒更衣室(男)(女) 平面詳細図　S=1/60

1階 生徒更衣室(男)(女) 展開図　S=1/100

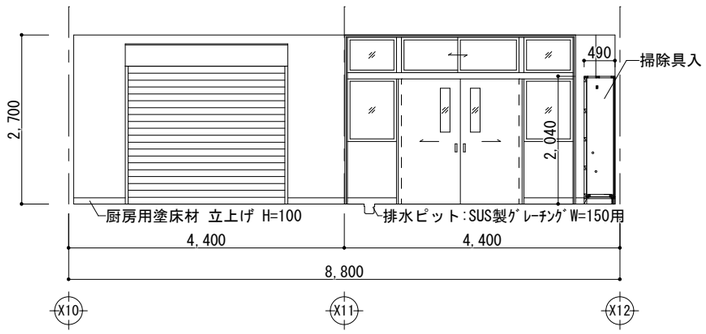


一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 1階 生徒更衣室(男)(女) 平面詳細図・展開図 A1:1/30 A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	A－44

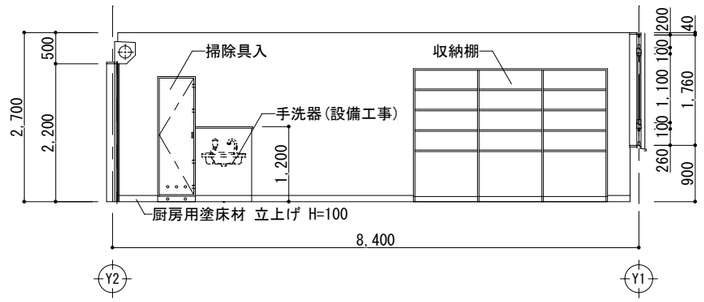


1階 配膳室 平面詳細図 S=1/60

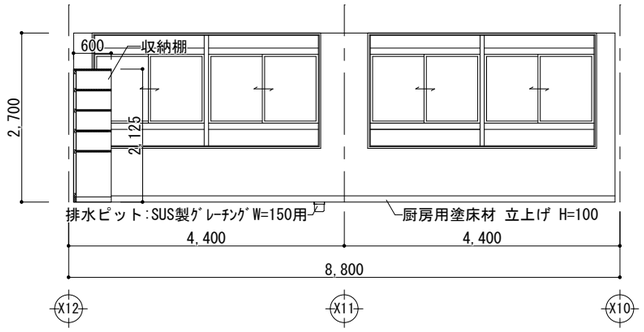
1階 配膳室 展開図 S=1/100



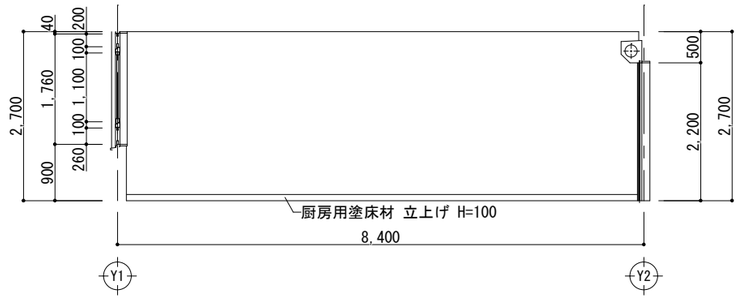
配膳室 A面



配膳室 B面

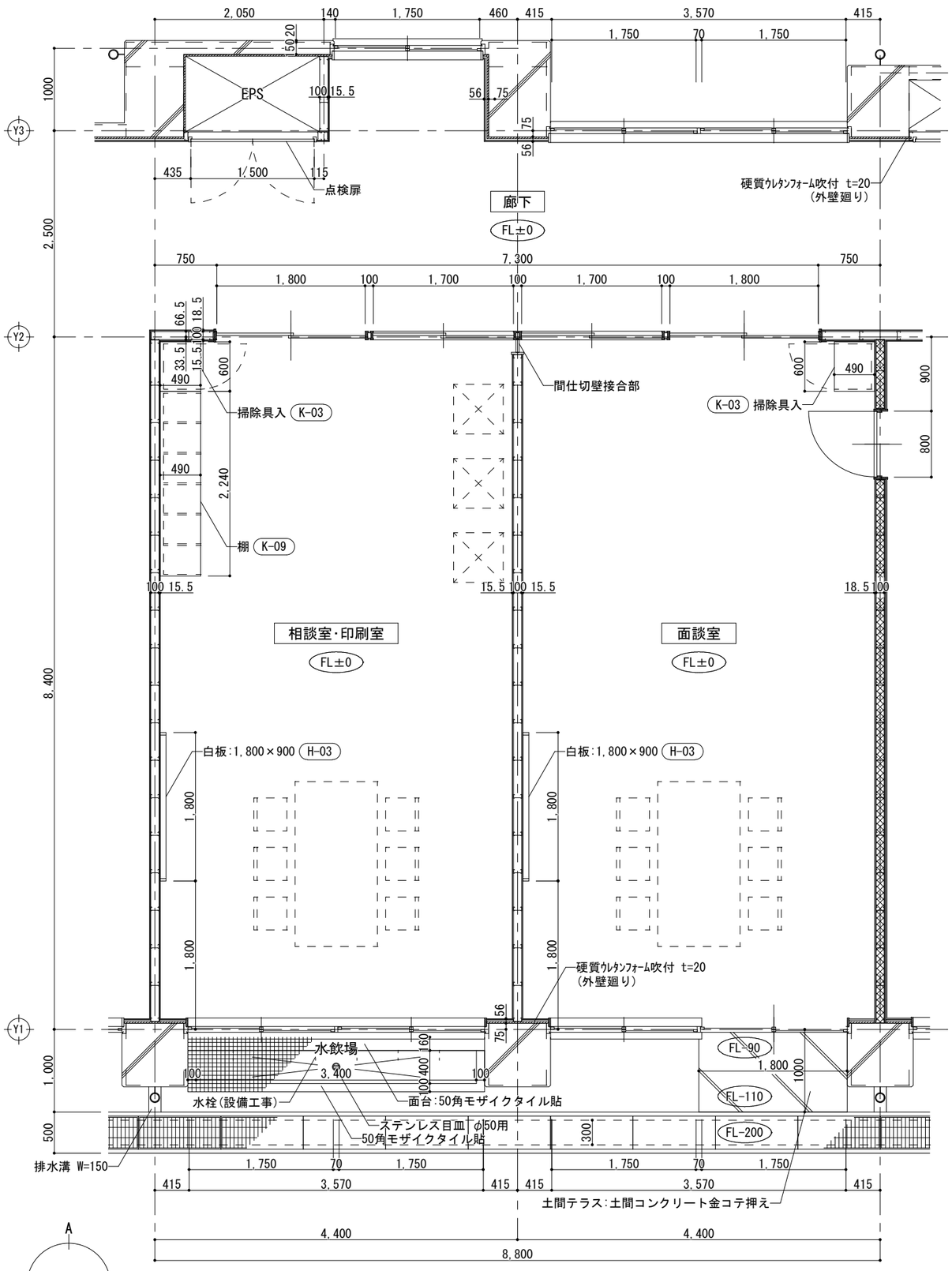


配膳室 C面



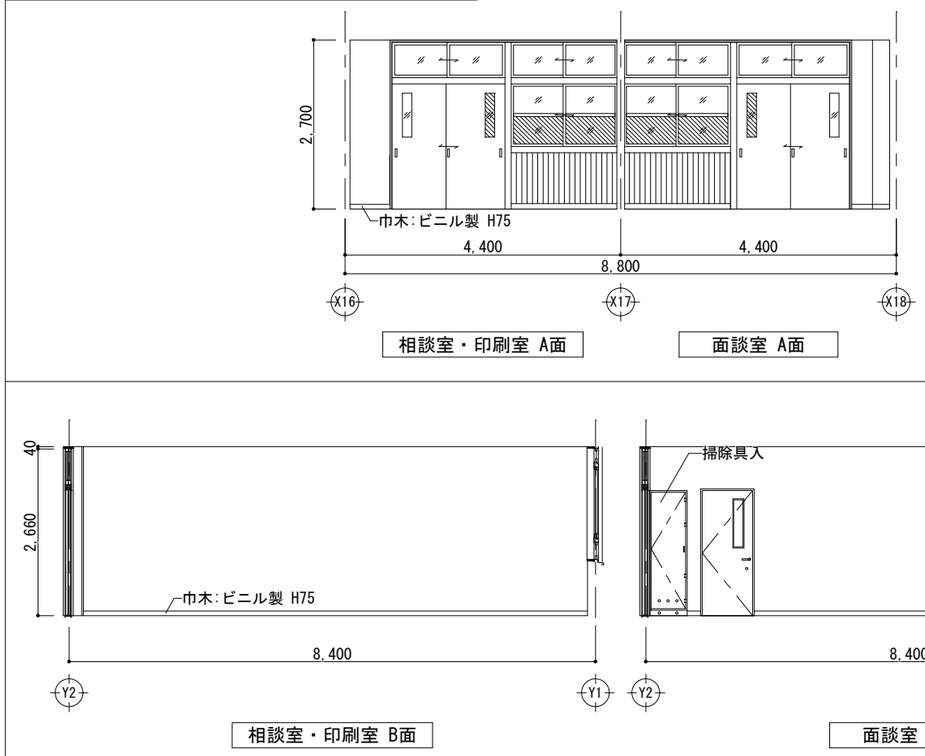
配膳室 D面

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	1階 配膳室 平面詳細図・展開図	A1:1/30 A3:1/60	A－45
	鹿児島市建設局建築部建築課		

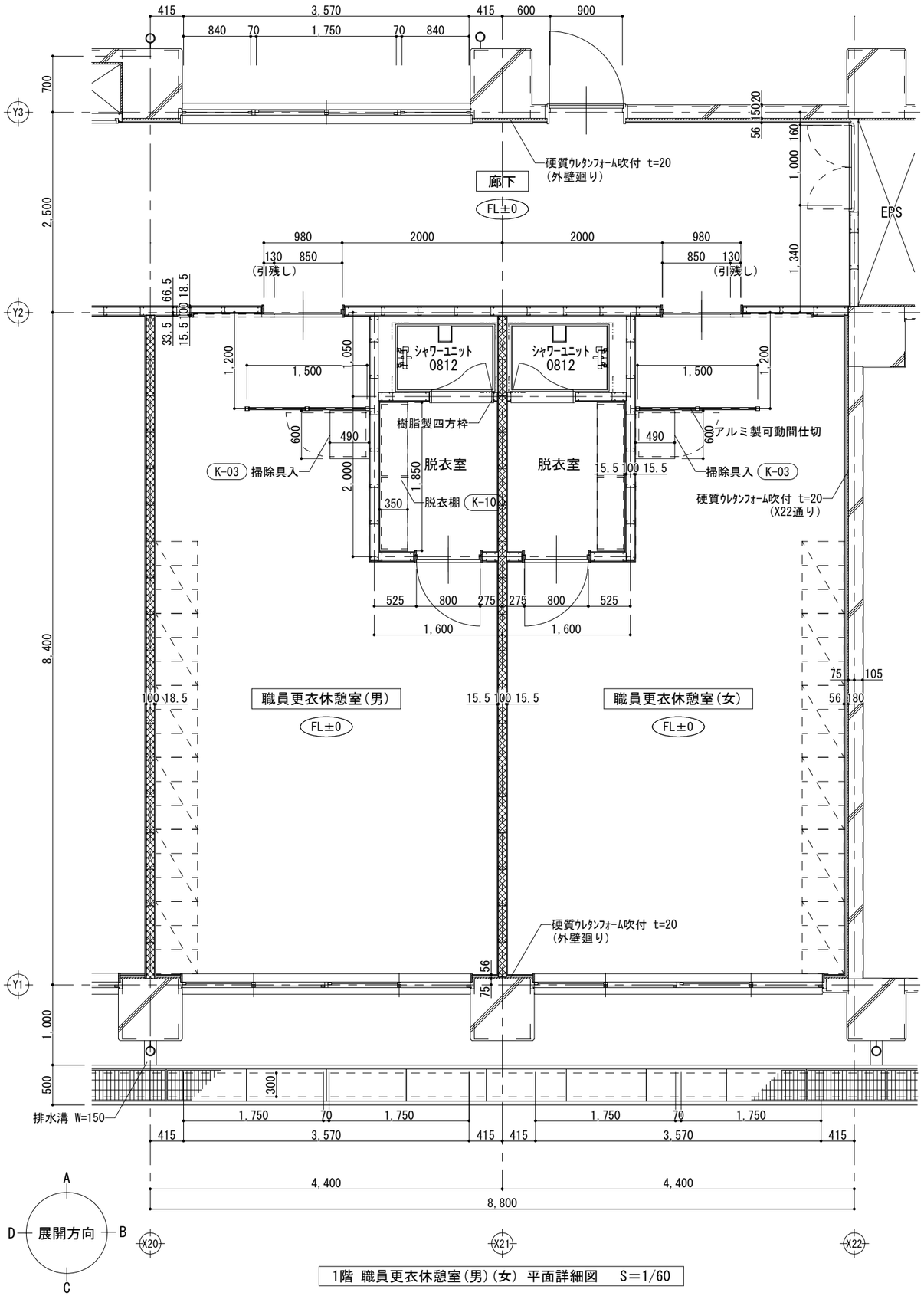


1階 相談室・印刷室、面談室 平面詳細図 S=1/60

1階 相談室・印刷室、面談室 展開図 S=1/100

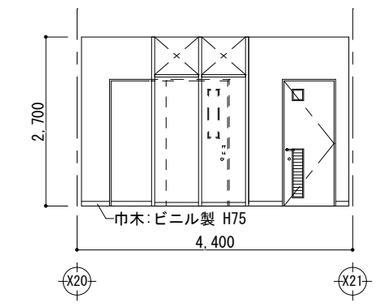


一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 1階 相談室・印刷室、面談室 平面詳細図・展開図 A1:1/30 A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	A－46

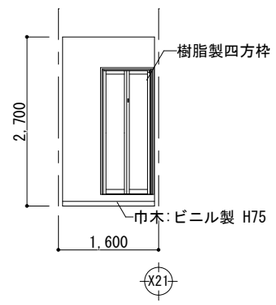


1階 職員更衣休憩室(男)(女) 平面詳細図　S=1/60

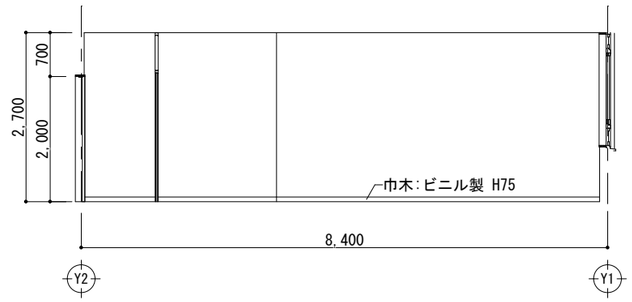
1階 職員更衣休憩室(男)(女) 展開図　S=1/100



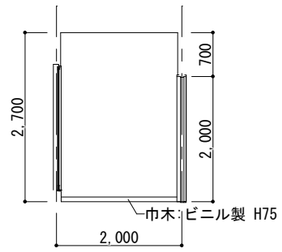
職員更衣室(男) A面



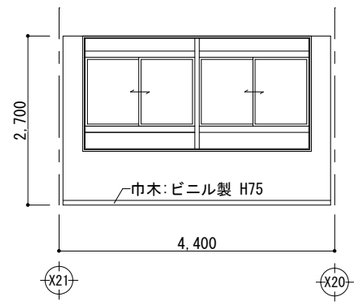
脱衣室 A面



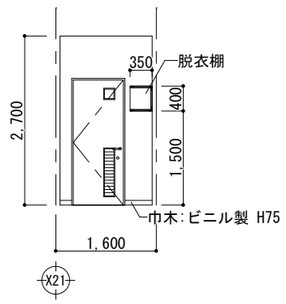
職員更衣室(男) B面



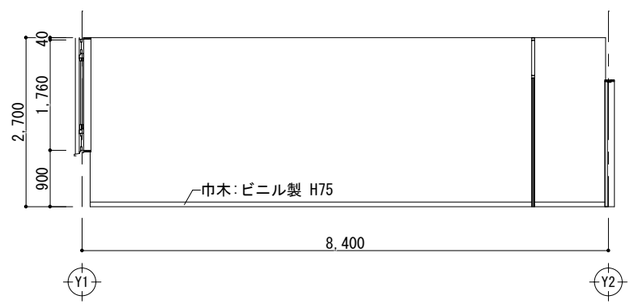
脱衣室 B面



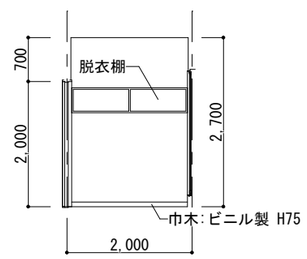
職員更衣室(男) C面



脱衣室 C面

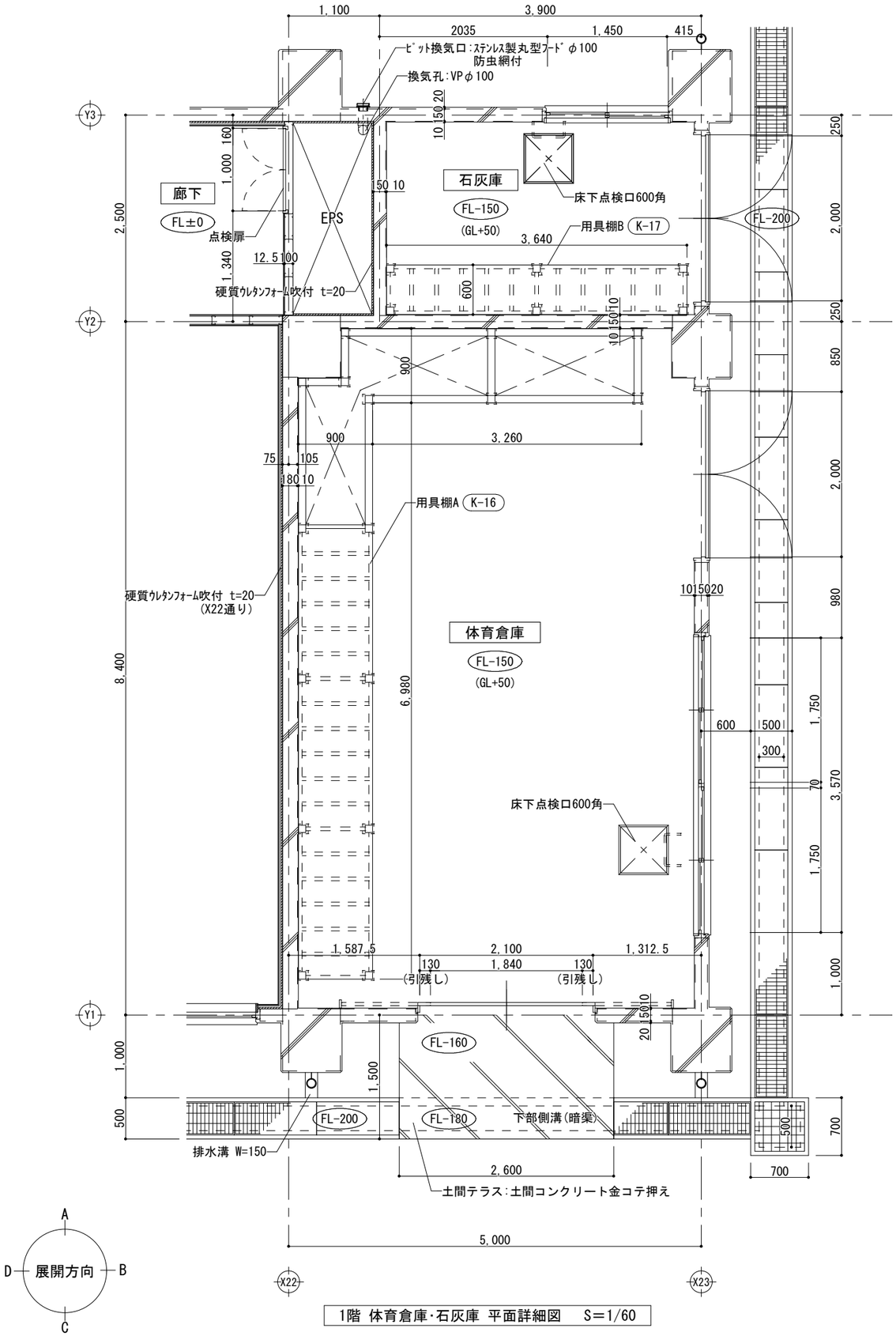


職員更衣室(男) D面



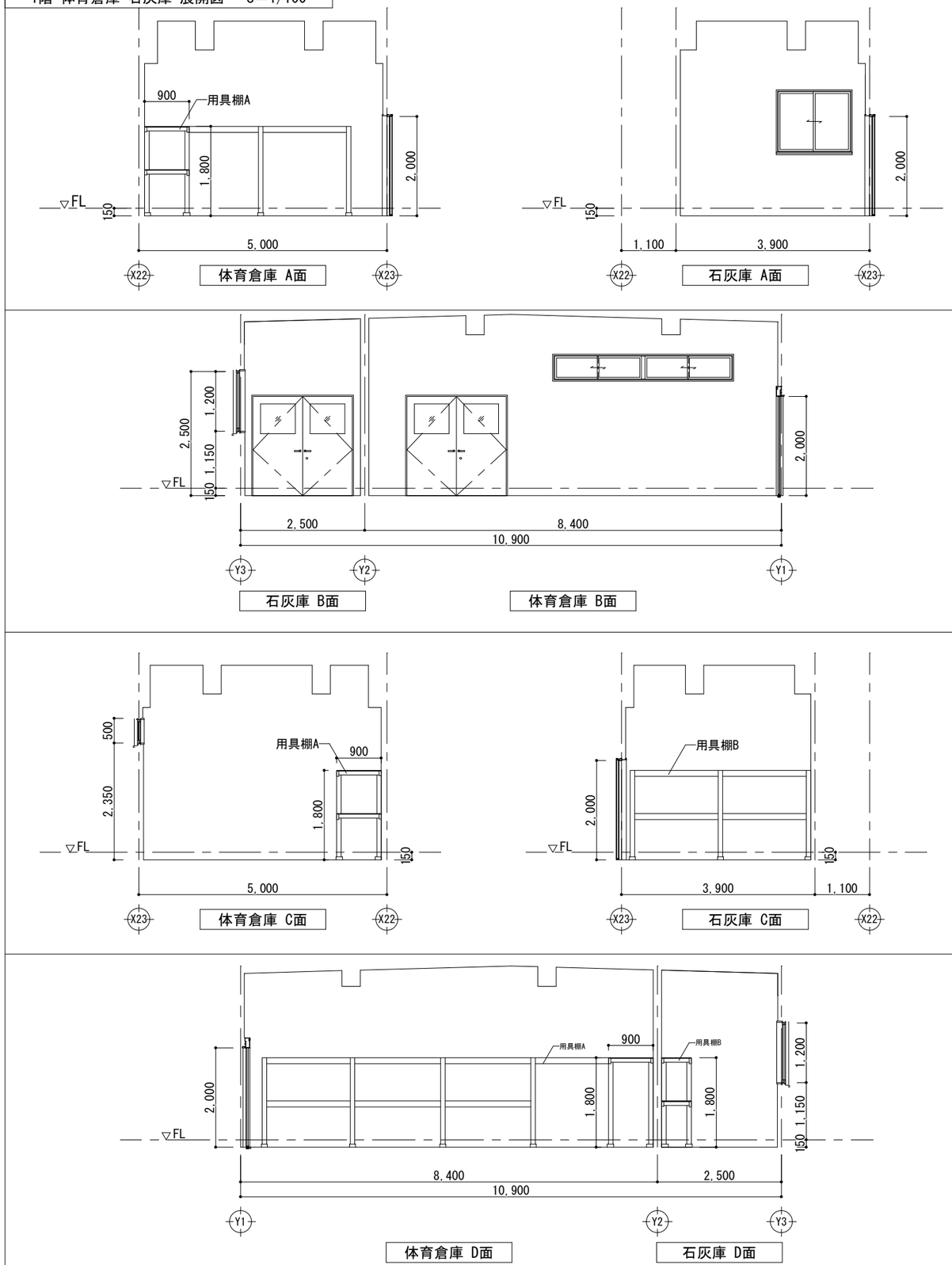
脱衣室 D面

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	1階 職員更衣休憩室(男)(女) 平面詳細図・展開図	A1:1/30 A3:1/60	A－47
	鹿児島市建設局建築部建築課		

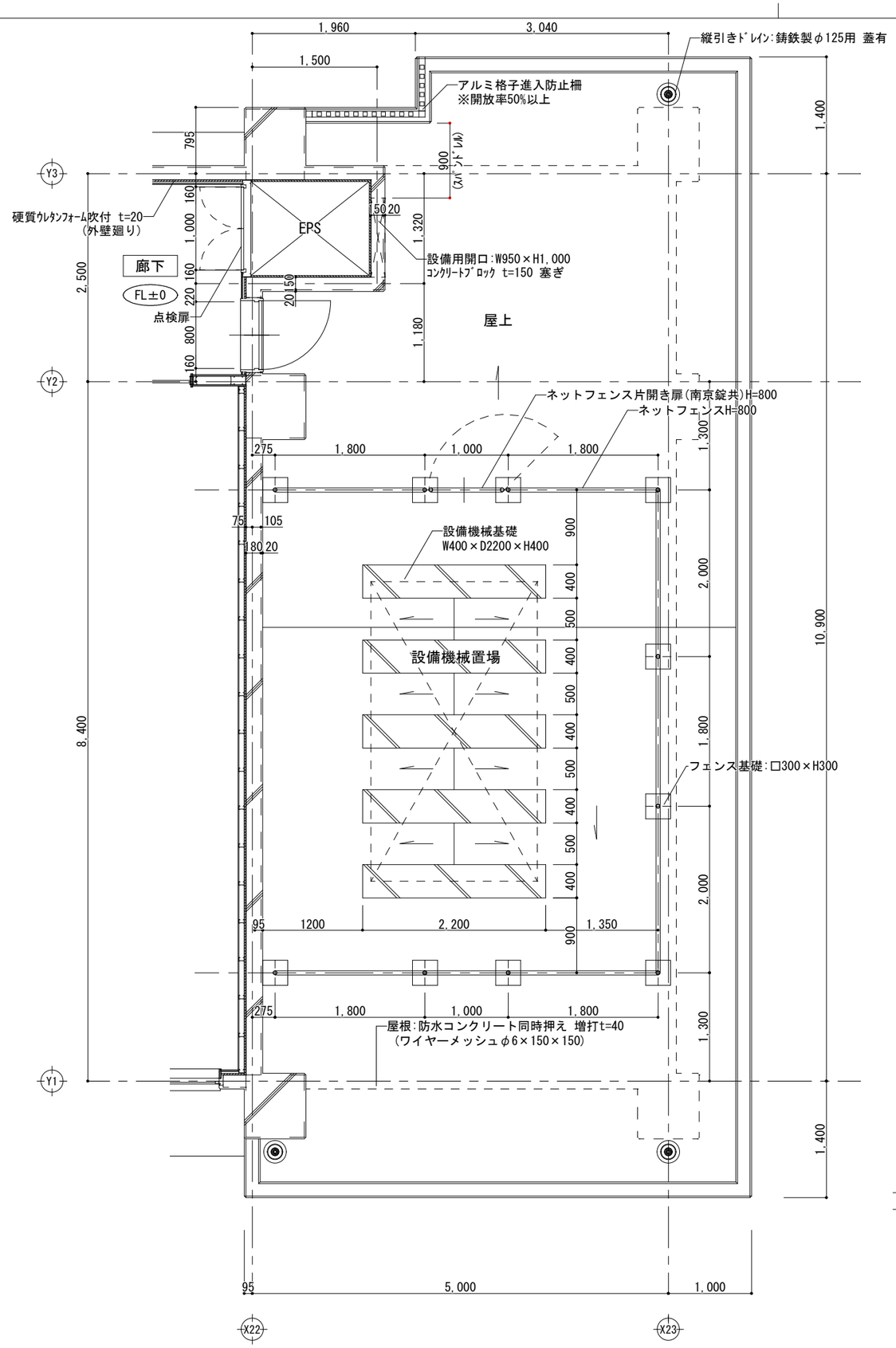


1階 体育倉庫・石灰庫 平面詳細図　S=1/60

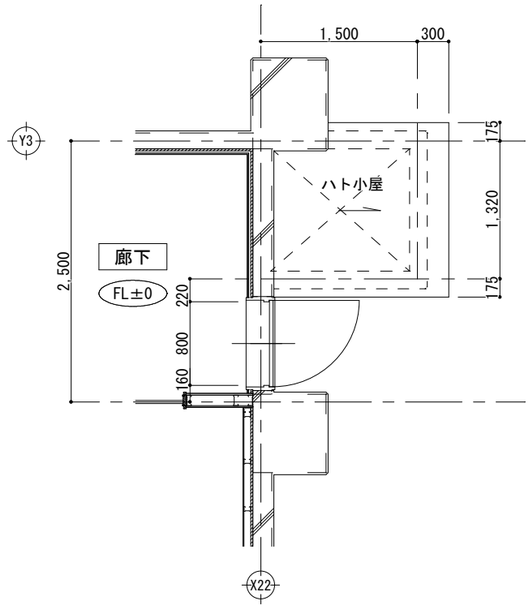
1階 体育倉庫・石灰庫 展開図　S=1/100



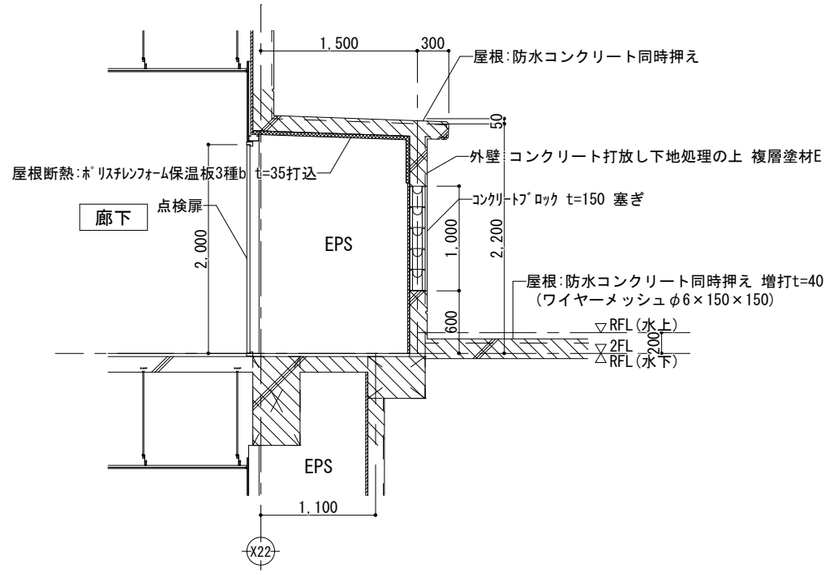
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 1階 体育倉庫・石灰庫 平面詳細図・展開図 A1:1/30 A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	A－48



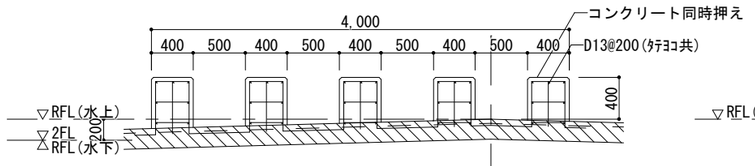
2階 屋上設備機械置場 平面詳細図 S=1/60



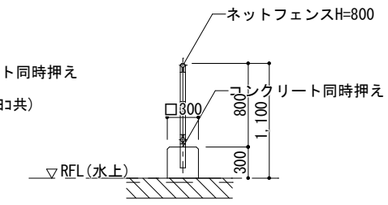
ハト小屋 屋根平面詳細図 S=1/60



ハト小屋 断面詳細図 S=1/60

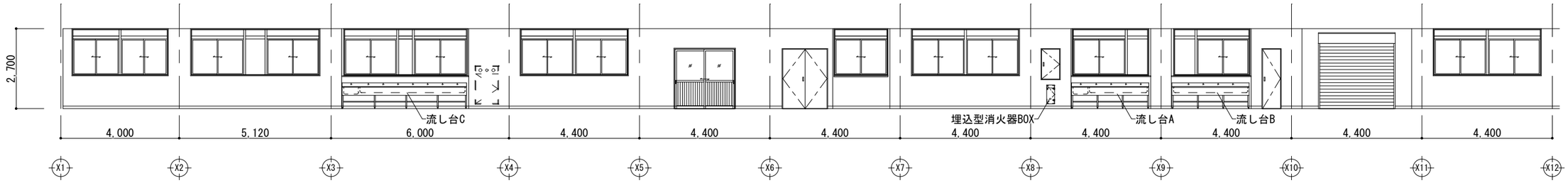


設備機械基礎 断面詳細図 S=1/60

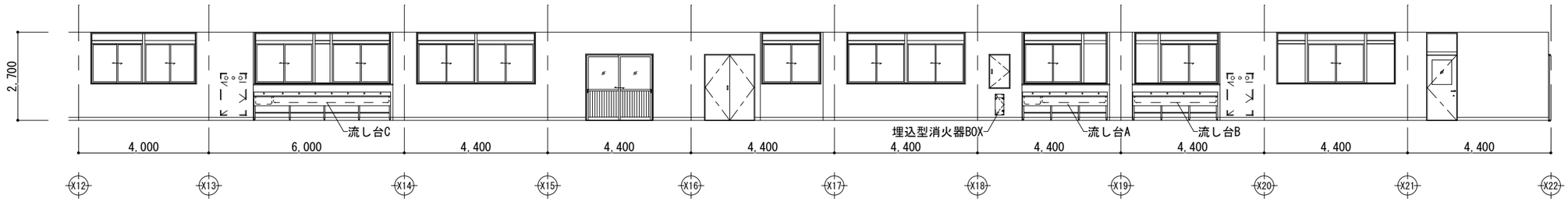


フェンス基礎 断面詳細図 S=1/60

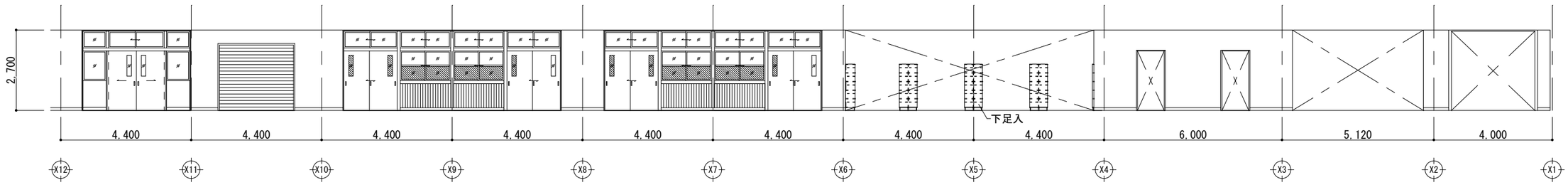
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 2階 屋上設備機械置場 平面詳細図 A1:1/30 A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	A－49



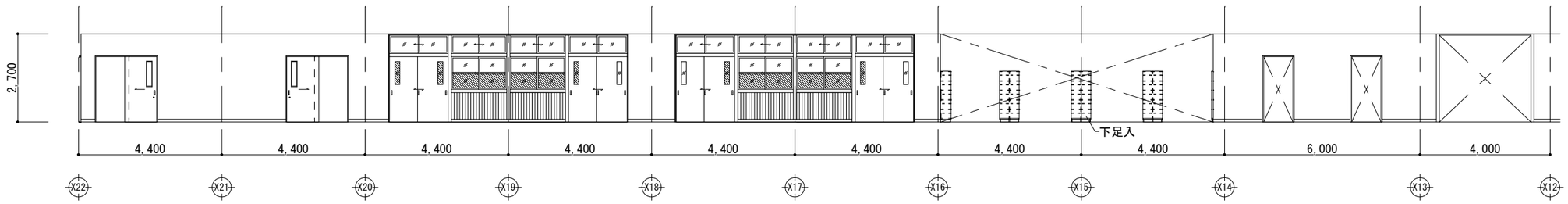
1階廊下 A面　S=1/150



1階廊下 A面　S=1/150

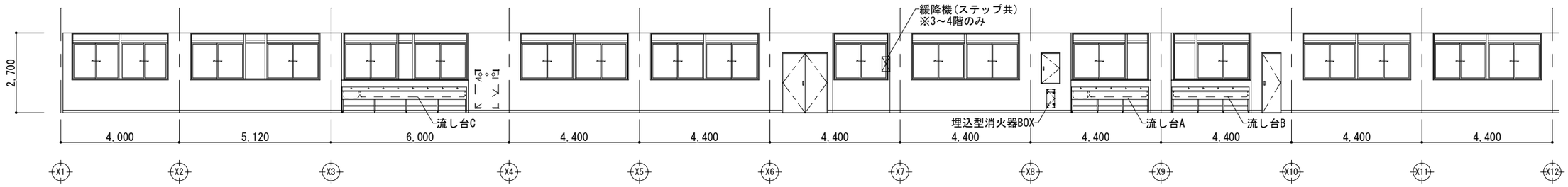


1階廊下 C面　S=1/150

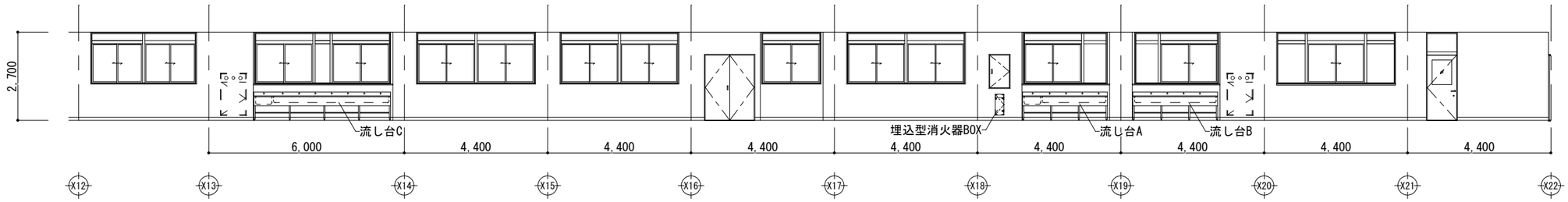


1階廊下 C面　S=1/150

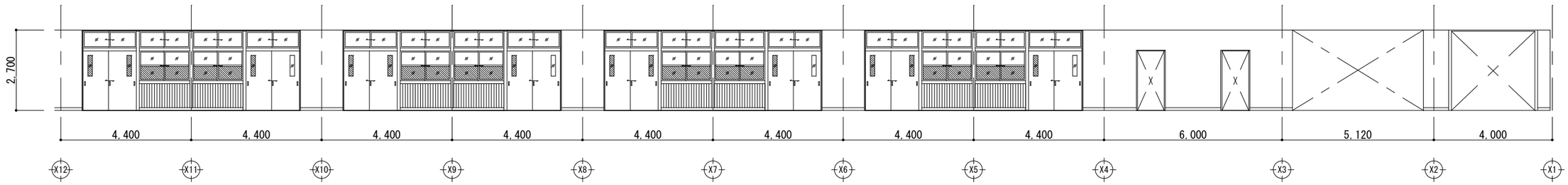
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	1階廊下展開図	A1:1/75 A3:1/150
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－５０



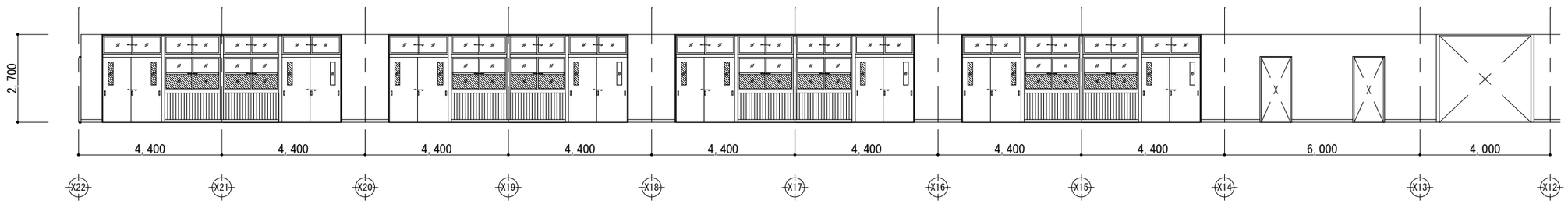
2～4階廊下 A面　S=1/150



2～4階廊下 A面　S=1/150

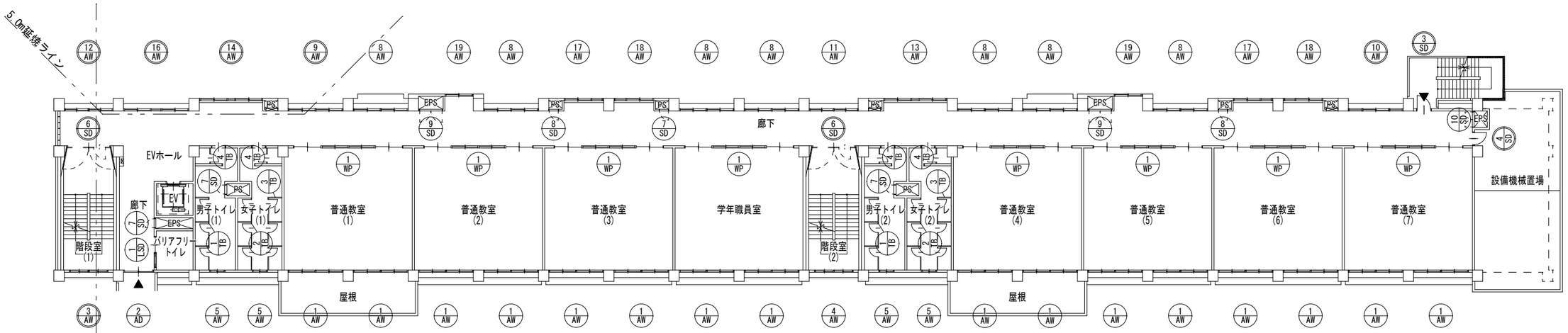


2～4階廊下 C面　S=1/150

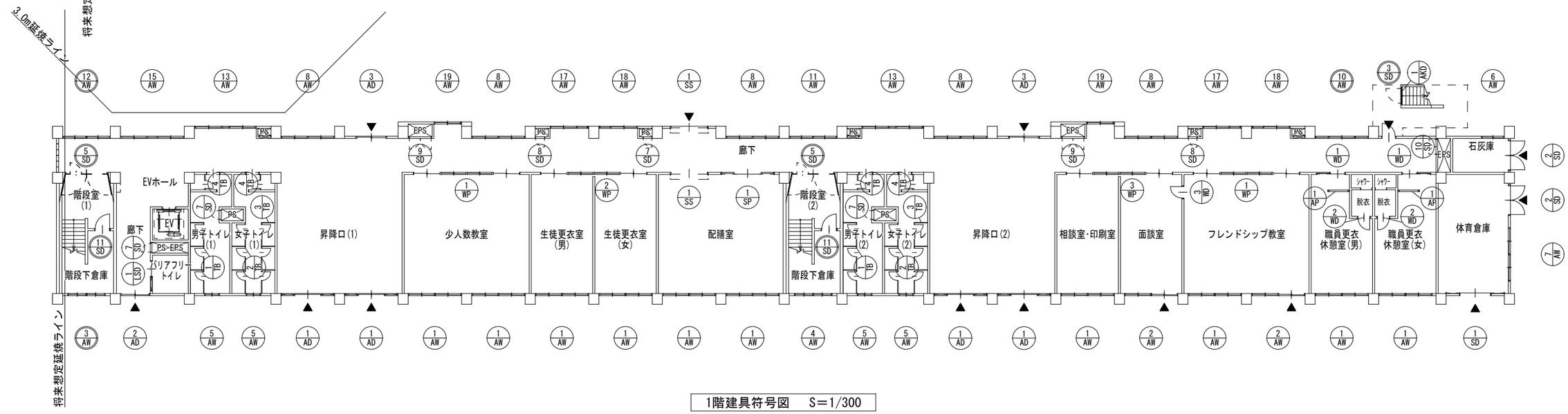


2～4階廊下 C面　S=1/150

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	2～4階廊下展開図	A1:1/75 A3:1/150
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－5 1



2階建具符号図　S=1/300



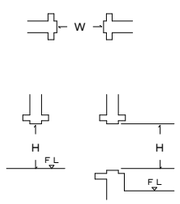
1階建具符号図　S=1/300

1．建具の材質と符号

ＡＤ	アルミ製扉
ＡＷ	アルミ製窓
ＡＰ	アルミ製パーティション
ＳＤ	鋼製扉
ＬＳＤ	軽量鋼製扉
ＳＰ	鋼製パーティション
ＷＤ	木製扉
ＷＰ	学校間仕切
ＧＢ	ガラスブロック窓
ＡＧ	アルミ製ガラリ
ＴＬ	トップライト
ＴＢ	トイレブース
ＳＳ	鋼製シャッター
ＳＬＳ	鋼製軽量シャッター

２．符号表示

３．建具寸法



３．建具の性能

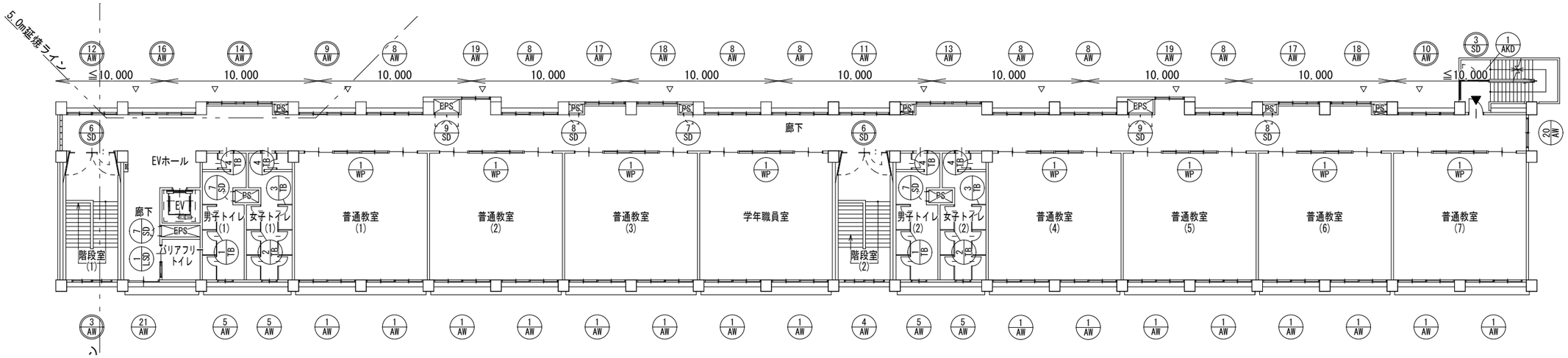
耐風圧性（Ｓ）		気密性（Ａ）		水密性（Ｗ）		遮音性（Ｔ）	
等級	対応値	等級	対応値	等級	対応値	等級	対応値
Ｓ－１	800 Pa	Ａ－１	120等級線	Ｗ－１	100 Pa	Ｔ－１	25等級線
Ｓ－２	1200 Pa	Ａ－２	30等級線	Ｗ－２	150 Pa	Ｔ－２	30等級線
Ｓ－３	1600 Pa	Ａ－３	8等級線	Ｗ－３	250 Pa	Ｔ－３	35等級線
Ｓ－４	2000 Pa	Ａ－４	2等級線	Ｗ－４	350 Pa	Ｔ－４	40等級線
Ｓ－５	2400 Pa			Ｗ－５	500 Pa		
Ｓ－６	2800 Pa						
Ｓ－７	3600 Pa						

※．１Ｐａ＝0.1kgf/㎡

４．特記事項

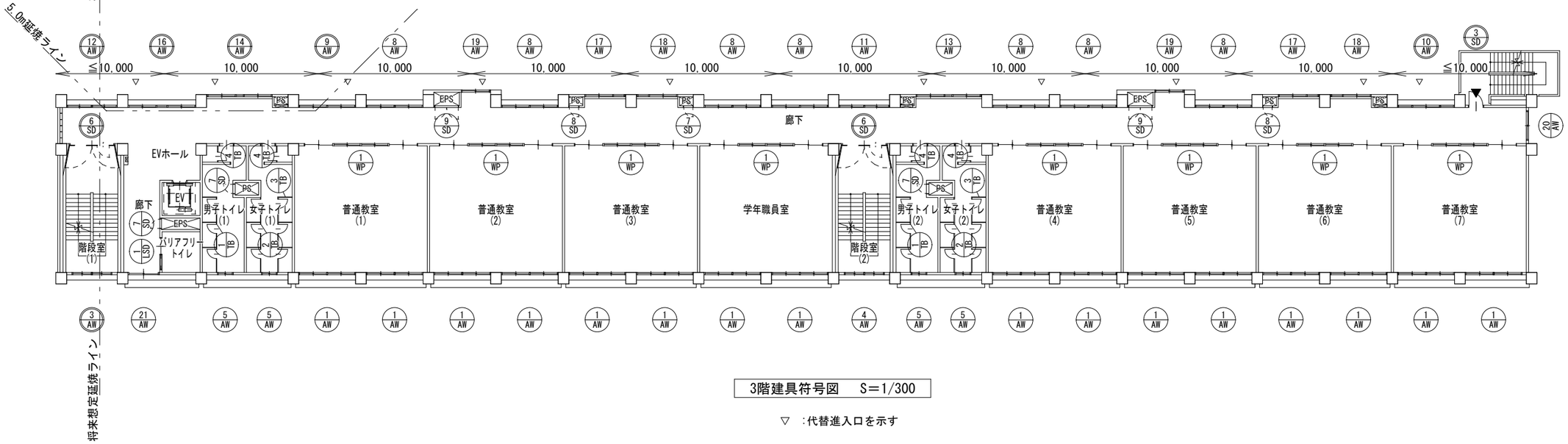
- アルミサッシの表面処理は、特記以外全てB-1種とする。
- ガラス留め材は、シーリング(SR-1)とする。
- マスターキーを制作し、マスターキーは既存校舎マスターキーに合わせること。
- 網入りガラスをはめ込む時は、ガラス周囲(小口四周)に防錆塗料を塗ること。
- アルミ水切りの両端には、立上りを設けること。(雨垂れ防止)
- 学校間仕切壁(WP)で開口幅が2mを超える箇所の開口補強(水平方向)は、部分詳細図に依る。
- 躯体W開口≧4,000且つ方立≧1,500の場合サッシの方立には緩衝材(t=12ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ発泡)を設けること。
- 開閉サッシの締付開閉機構の素材はﾋﾞｽ、ﾊﾞﾈ共錆の発生しない材質とし、高応力部はSUS304材とする。
- シリンダー箱錠は、アンチフリクション機構付きとし、レバーハンドルとする。
- 両面錠,片面錠,空錠の区分は現場決定とする。
- 戸当りは特記無き限り全ての扉について床または壁に取り付ける。
- 沓ずりは特記無き限りSUS t=2mmとする。
- 扉は特記無き限りフラッシュ扉とする。
- アルミサッシは内はずしとする。
- ＡＤ、ＡＷ、ＷＰ、ＷＤは特記以外鍵付きとする。
- ＷＤポリ合板は木目調とする。
- 両開扉、親子扉は特記無き限りフランス落とし付きとする。
- サッシのトロ詰めモルタルは無塩砂を使用した防水モルタルとする。
- 建具表の寸法が詳細図と異なる場合は詳細図寸法を優先とする。
- 建具類の補強金物は工作図により決定する。
- 建具中の複層ガラスの表記は、室外側－空気層－室内側。
- Low-Eガラスは全て日射遮蔽型(断熱タイプ)。
- 建具表の姿図は内観図を示す。

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	1階・2階建具符号図	A1:1/150 A3:1/300	Ａ－５２
	鹿児島市建設局建築部建築課		



4階建具符号図　S＝1/300

▽　:代替進入口を示す



3階建具符号図　S＝1/300

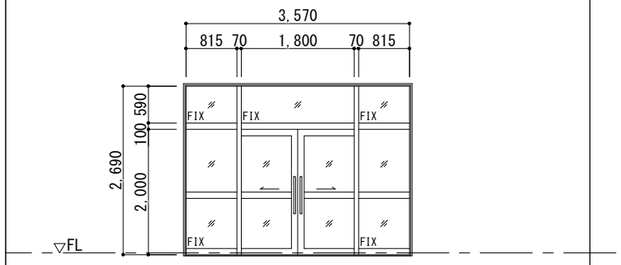
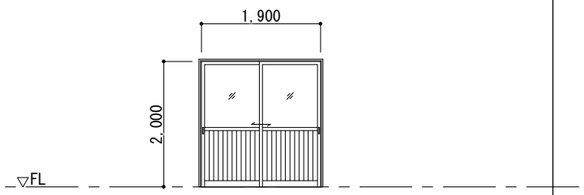
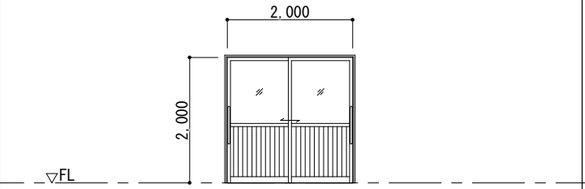
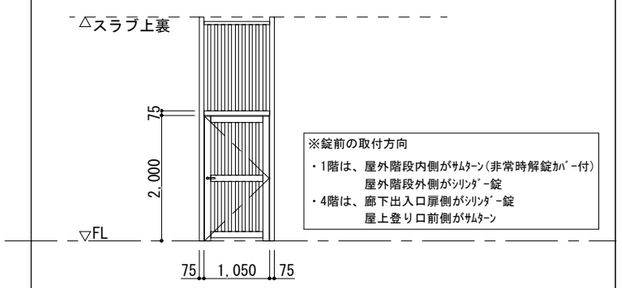
▽　:代替進入口を示す

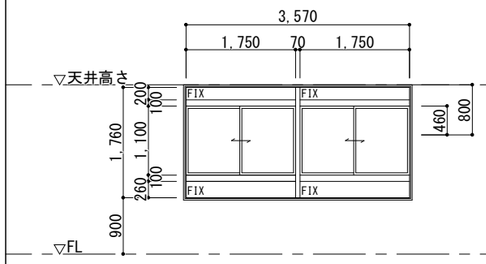
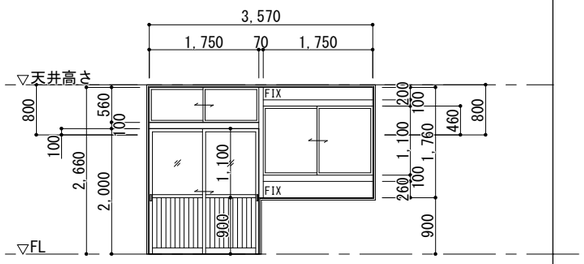
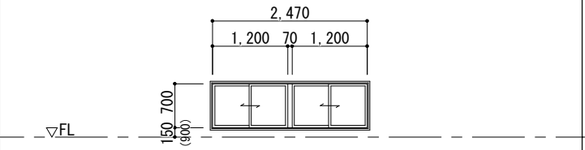
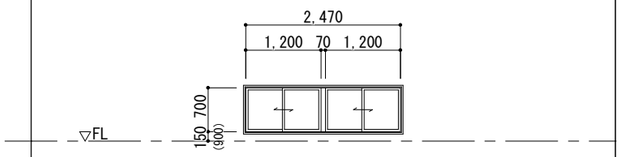
階	室名	A 床面積(㎡)	L 採光計算					V 換気計算					S 排煙計算				
			必要採光面積(㎡)	有効採光面積(㎡)			判定	必要換気面積(㎡)	有効換気面積(㎡)			判定	必要排煙面積(㎡)	有効排煙面積(㎡)			判定
1	少人数教室	8.80×8.40= 73.920	A×1/5≒ 14.79	AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	OK	A×1/20≒ 3.70	(0.875+0.875)×1.100=	1.9250		OK	A×1/50≒ 1.48	(0.875+0.875)×0.460=	0.805		OK
				AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	32.760		(0.875+0.875)×1.100=	1.9250	3.8500			(0.875+0.875)×0.460=	0.805	1.610	
	フレンドシップ教室	8.80×8.40= 73.920	A×1/5≒ 14.79	AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	OK	A×1/20≒ 3.70	(0.875+0.875)×1.100=	1.9250		OK	A×1/50≒ 1.48	(0.875+0.875)×0.460=	0.805		OK
				AW-2	1.750×(0.56+1.1)+1.750×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.905	33.285		0.875×(0.560+2.000)+0.875×1.100=	3.2025	5.1275			0.875×(0.100+0.560)+0.875×0.460=	0.980	1.785	
	面談室	4.40×8.40= 36.960	A×1/20≒ 1.85	AW-2	1.750×(0.56+1.1)+1.750×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.905	16.905	A×1/20≒ 1.85	0.875×(0.560+2.000)+0.875×1.100=	3.2025	3.2025	OK	A×1/50≒ 0.74	0.875×(0.100+0.560)+0.875×0.460=	0.980	0.980	OK
	相談室・印刷室	4.40×8.40= 36.960	A×1/20≒ 1.85	AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	16.380	A×1/20≒ 1.85	(0.875+0.875)×1.100=	1.9250	1.9250	OK	A×1/50≒ 0.74	(0.875+0.875)×0.460=	0.805	0.805	OK
	職員更衣休憩室 (男)(女)	4.40×8.40= 36.960	A×1/20≒ 1.85	AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	16.380	A×1/20≒ 1.85	(0.875+0.875)×1.100=	1.9250	1.9250	OK	A×1/50≒ 0.74	(0.875+0.875)×0.460=	0.805	0.805	OK
	配膳室	8.80×8.40= 73.920	A×1/20≒ 3.70	AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	OK	A×1/20≒ 3.70	(0.875+0.875)×1.100=	1.9250		OK	A×1/50≒ 1.48	(0.875+0.875)×0.460=	0.805		OK
				AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	32.760		(0.875+0.875)×1.100=	1.9250	3.8500			(0.875+0.875)×0.460=	0.805	1.610	
2～4	普通教室 (1)～(7)	8.80×8.40= 73.920	A×1/5≒ 14.79	AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	OK	A×1/20≒ 3.70	(0.875+0.875)×1.100=	1.9250		OK	A×1/50≒ 1.48	(0.875+0.875)×0.460=	0.805		OK
				AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	32.760		(0.875+0.875)×1.100=	1.9250	3.8500			(0.875+0.875)×0.460=	0.805	1.610	
	学年職員室	8.80×8.40= 73.920	A×1/5≒ 14.79	AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	OK	A×1/20≒ 3.70	(0.875+0.875)×1.100=	1.9250		OK	A×1/50≒ 1.48	(0.875+0.875)×0.460=	0.805		OK
				AW-1	(1.750+1.750)×(0.20+1.10+0.26)×3.0=	16.380	32.760		(0.875+0.875)×1.100=	1.9250	3.8500			(0.875+0.875)×0.460=	0.805	1.610	

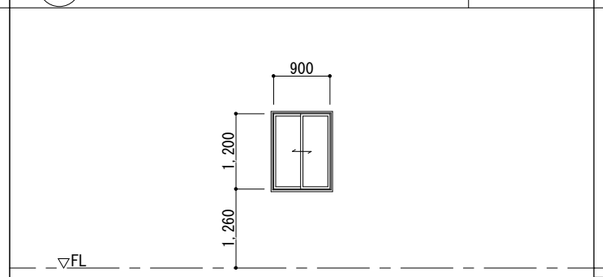
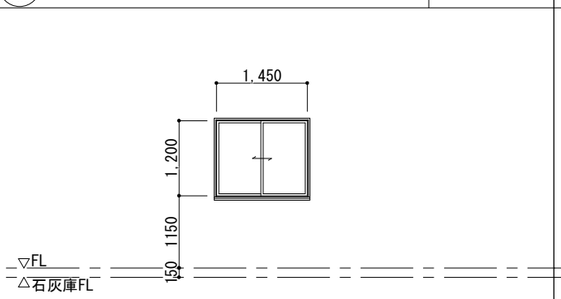
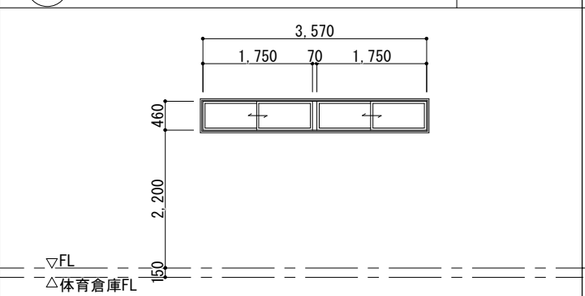
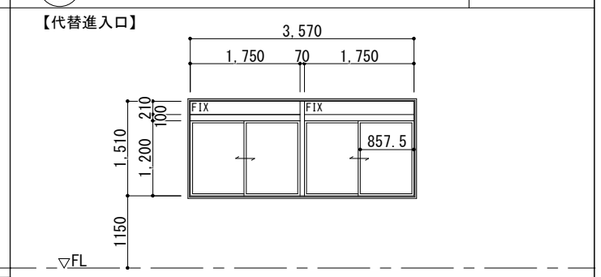
消防有窓階判定計算(㎡)

1F	床面積 A=	1,128.26	必要面積 A×1/30≒	37.609	
	AD-1 1.800×2.000×4=	14.400			
	AW-1 0.875×1.100×2×10=	19.250			
	AW-8 0.875×1.200×2×5=	10.500			
	有効面積計=	44.150	>	37.609	・・・OK
2F	床面積 A=	1,072.56	必要面積 A×1/30＝	35.752	
	AW-1 0.875×1.100×2×16=	30.800			
	AW-8 0.875×1.200×2×7=	14.700			
	有効面積計=	45.500	>	35.752	・・・OK
3F～4F	床面積 A=	1,070.68	必要面積 A×1/30≒	35.689	
	AW-1 0.875×1.100×2×16=	30.800			
	AW-8 0.875×1.200×2×7=	14.700			
	有効面積計=	45.500	>	35.689	・・・OK

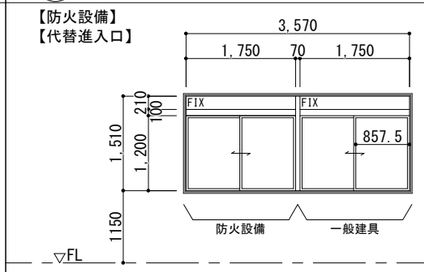
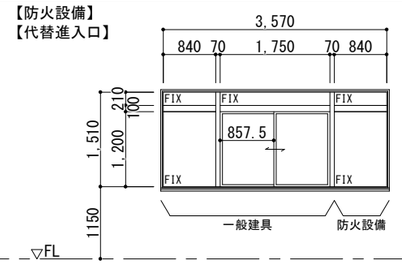
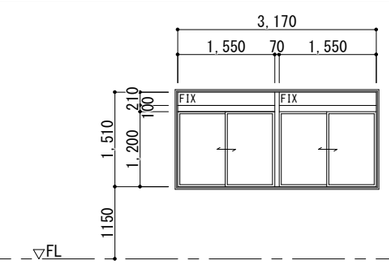
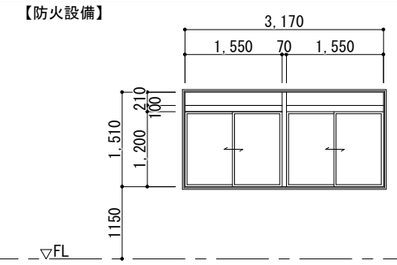
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	3階・4階建具符号図	A1:1/150 A3:1/300	A－５３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

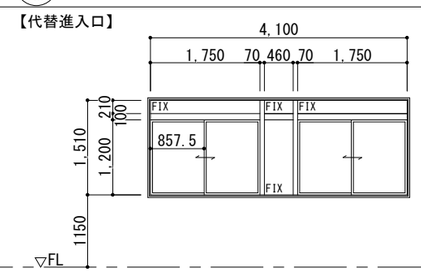
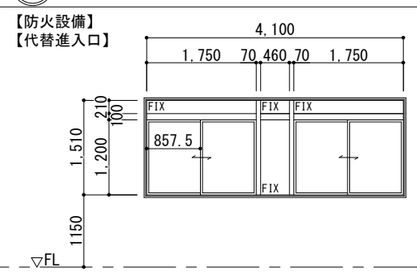
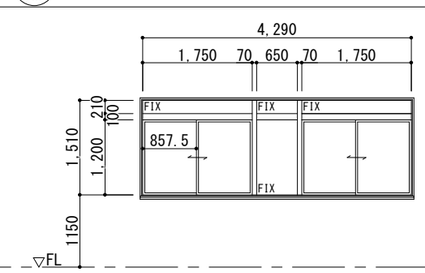
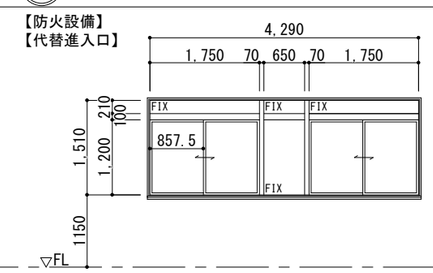
記号	1/AD	4ヶ所	2/AD	2ヶ所	3/AD	2ヶ所	1/AKD	2ヶ所
姿図								
室名	昇降口		廊下		廊下		屋外階段	
方式・見込	両引込み戸 ランマFIX窓付き	70	引違い戸	70	引違い戸	70	片開き格子戸	70
材質・仕上	アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材　腰パネル:アルミ複合断熱パネル t=18.0		アルミ合金押出型材　腰パネル:アルミ複合断熱パネル t=18.0		アルミ合金押出型材　支柱:アルミ製75角　格子:アルミ製50角	
硝子	強化透明 t4 + A12 + Low-E t5		強化透明 t4 + A12 + Low-E t5		Low-E t5 + A12 + 透明 t3			
金物	フラット下枠(SUSレール)、ドアハンドルSUS L=600 戸車、サムターン付引戸錠、アルミ額縁、他附属金物一式		引手、戸車、引違い戸錠、アルミ額縁 他附属金物一式		フラット下枠(SUSレール)、ドアハンドルSUS L=600 戸車、引違い戸錠、アルミ額縁、他附属金物一式		サムターン付シリンダー錠(1階のみ「非常時解錠ﾊﾞｰ付」) レバーハンドル、丁番	
備考							※開放率50%以上	

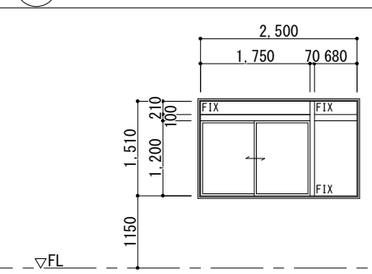
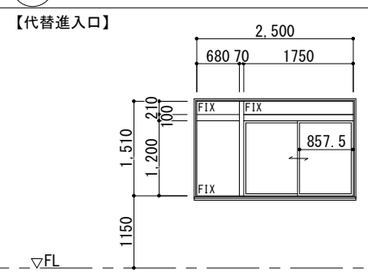
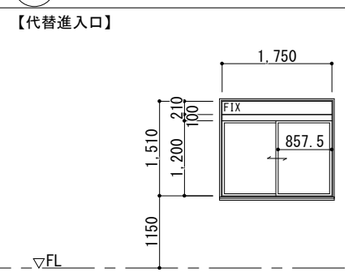
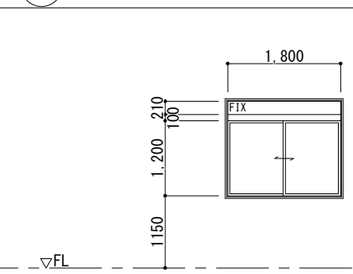
記号	1/AW	58ヶ所	2/AW	2ヶ所	3/AW	4ヶ所	4/AW	4ヶ所
姿図					【防火設備】  ※( )内寸法は階段下倉庫(1)		 ※( )内寸法は階段下倉庫(2)	
室名	普通教室 他		フレンドシップ教室、面談室		階段室(1)、階段下倉庫(1)		階段室(2)、階段下倉庫(2)	
方式・見込	2連3段引違い窓	70	引違い戸ランマ引違い窓付 + 3段引違い窓	70	2連引違い窓	70	2連引違い窓	70
材質・仕上	アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材　腰パネル:アルミ複合断熱パネル t=18.0		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材	
硝子	強化透明 t4 + A12 + Low-E t5		強化透明 t4 + A12 + Low-E t5		網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5		強化透明 t4 + A12 + Low-E t5	
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミアングル 他附属金物一式		引手、戸車、引違い戸錠、クレセント、アルミ水切、アルミアングル 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式	
備考	木額縁 CL(配膳室のみアルミ額縁)		木額縁 CL					

記号	5/AW	16ヶ所	6/AW	1ヶ所	7/AW	1ヶ所	8/AW	26ヶ所
姿図							【代替進入口】 	
室名	男子トイレ(1)・(2)・女子トイレ(1)・(2)		石灰庫		体育倉庫		廊下	
方式・見込	引違い窓	70	引違い窓	70	2連引違い窓	70	2連2段引違い窓	70
材質・仕上	アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材	
硝子	強化型板 t4 + A12 + Low-E t5		強化型板 t4		強化型板 t4		Low-E t5 + A12 + 透明 t3	
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式	
備考								

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	建具表(1)	A1:1/50 A3:1/100	A－５４
	鹿児島市建設局建築部建築課		

記号	9 AW	3ヶ所	10 AW	4ヶ所	11 AW	4ヶ所	12 AW	4ヶ所
姿図								
室名	廊下		廊下		廊下		廊下	
方式・見込	2連2段引違い窓	70	2連2段引違い窓	70	2連2段引違い窓	70	2連2段引違い窓	70
材質・仕上	アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材	
硝子	防設:網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5　一般:Low-E t5 + A12 + 透明 t3		防設:網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5　一般:Low-E t5 + A12 + 透明 t3		Low-E t5 + A12 + 透明 t3		網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5	
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式	
備考								

記号	13 AW	5ヶ所	14 AW	3ヶ所	15 AW	1ヶ所	16 AW	3ヶ所
姿図								
室名	廊下		廊下		廊下		廊下	
方式・見込	2連2段引違い窓 袖FIX窓付き	70	2連2段引違い窓 袖FIX窓付き	70	2連2段引違い窓 袖FIX窓付き	70	2連2段引違い窓 袖FIX窓付き	70
材質・仕上	アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材	
硝子	Low-E t5 + A12 + 透明 t3		網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5		網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5		網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5	
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式	
備考								

記号	17 AW	8ヶ所	18 AW	8ヶ所	19 AW	8ヶ所	20 AW	2ヶ所
姿図								
室名	廊下		廊下		廊下		廊下	
方式・見込	2連2段引違い窓 袖FIX窓付き	70	2連2段引違い窓 袖FIX窓付き	70	2段引違い窓	70	引違い窓	70
材質・仕上	アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材	
硝子	Low-E t5 + A12 + 透明 t3		Low-E t5 + A12 + 透明 t3		Low-E t5 + A12 + 透明 t3		Low-E t5 + A12 + 透明 t3	
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式		戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式	
備考								

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士　第　123948　号
小原　正信

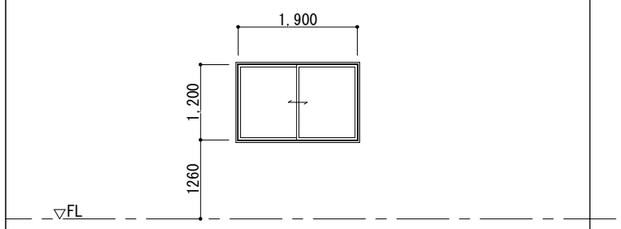
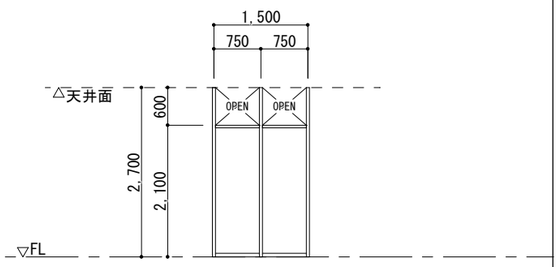
城西中学校校舎新築その他本体工事

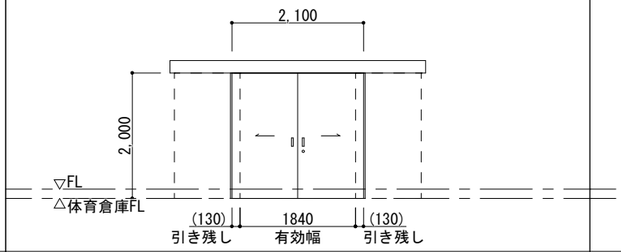
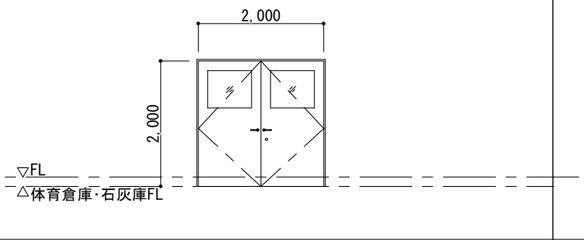
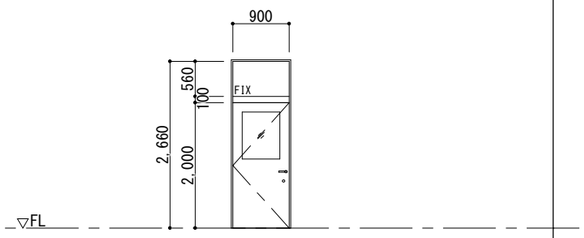
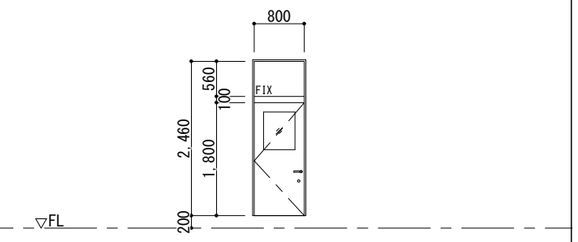
建具表(2)

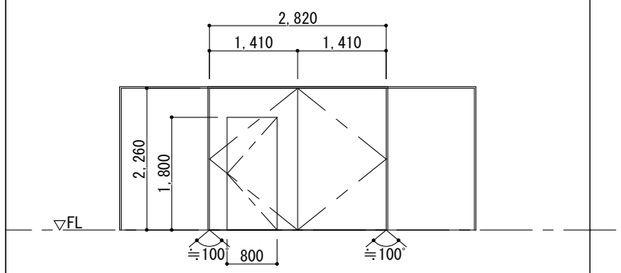
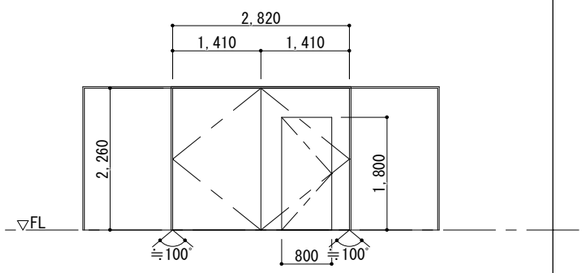
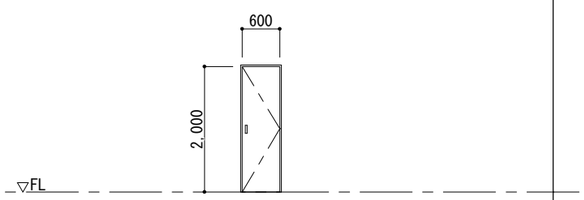
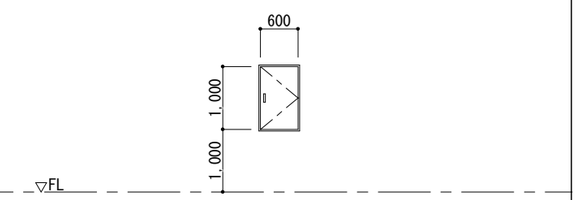
A1:1/50
A3:1/100

A－55

鹿児島市建設局建築部建築課

記　号	21 AW　2 ヶ所	1 AP　2 ヶ所		
姿　図				
室　名	廊下	職員更衣休憩室(男)・(女)		
方式・見込	引違い窓　70	アルミパーティション　50		
材質・仕上	アルミ合金押出型材	フレーム:アルミ合金押出型材 表面材:カラー鋼板 t=0.4 充填材:ペーパーコア		
硝　子	Low-E t5 + A12 + 透明 t3			
金　物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式	附属金物一式		
備　考				

記　号	1 SD　1 ヶ所	2 SD　2 ヶ所	3 SD　4 ヶ所	4 SD　1 ヶ所
姿　図			【防火設備・遮煙】 	【防火設備】 
室　名	体育倉庫	体育倉庫、石灰庫	廊下	廊下
方式・見込	両引分けハンガーフラッシュ戸　枠:100　扉:40	両開きフラッシュ戸　枠:100　扉:40	常時閉鎖式片開きフラッシュ防火戸　枠:100　扉:40	常時閉鎖式片開きフラッシュ防火戸　枠:100　扉:40
材質・仕上	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6　DP	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6　DP	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6　DP	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6　DP
硝　子		強化型板 t4	網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5	網入透明 t6.8 + A12 + Low-E t5
金　物	SUS引手、サムターン付シリンダー錠、ガイドローラー、ブレーキ装置 ストップ装置、スチール額縁(DP)、他附属金物一式	SUS製沓摺、レバーハンドル、SUS製丁番、サムターン付シリンダー錠、 ドアクローザー、フランス落とし、スチール額縁(DP)、他附属金物一式	SUS製沓摺、レバーハンドル、SUS製丁番、サムターン付シリンダー錠、 ドアクローザー、戸当り、スチール額縁(DP)、他附属金物一式	SUS製沓摺、レバーハンドル、SUS製丁番、サムターン付シリンダー錠、 ドアクローザー、戸当り、スチール額縁(DP)、他附属金物一式
備　考				

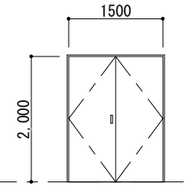
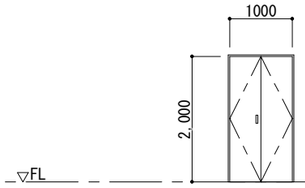
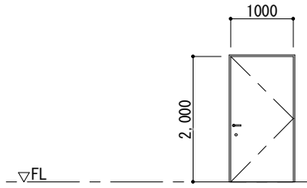
記　号	5 SD　2 ヶ所	6 SD　6 ヶ所	7 SD　16 ヶ所	8 SD　8 ヶ所
姿　図	【特定防火設備・遮煙】 	【特定防火設備・遮煙】 		
室　名	1階 階段室(1)・(2)	2～4階 階段室(1)・(2)	PS、EPS	PS、EPS
方式・見込	随時閉鎖式両開きフラッシュ防火戸(くぐり戸付)　枠:180　扉:55	随時閉鎖式両開きフラッシュ防火戸(くぐり戸付)　枠:180　扉:55	片開きフラッシュ点検扉　枠:60　扉:30	片開きフラッシュ点検扉　枠:60　扉:30
材質・仕上	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6　SOP	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6　SOP	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.2　SOP	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.2　SOP
硝　子				
金　物	オートヒンジ、ケースハンドル 煙感連動閉鎖装置一式、他附属金物一式	オートヒンジ、ケースハンドル 煙感連動閉鎖装置一式、他附属金物一式	平面ハンドル、丁番、ワイヤーストッパー 他附属金物一式	平面ハンドル、丁番、ワイヤーストッパー 他附属金物一式
備　考				

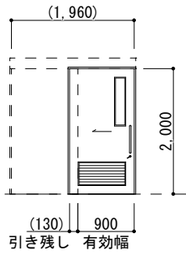
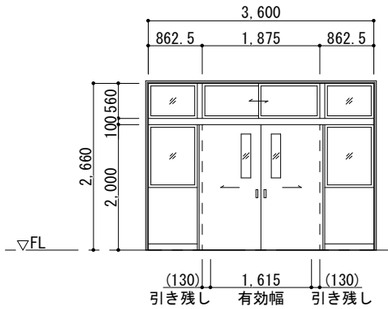
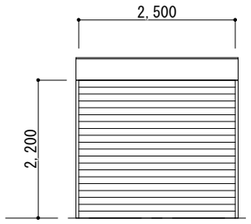
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士　第　123948　号
小原　正信

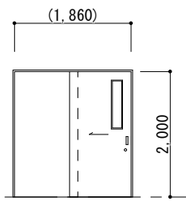
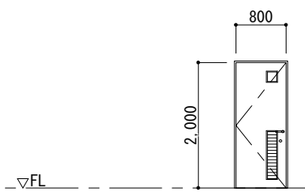
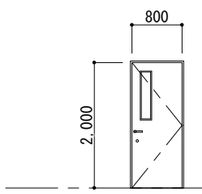
城西中学校校舎新築その他本体工事

建具表(3)　A1:1/50　A3:1/100

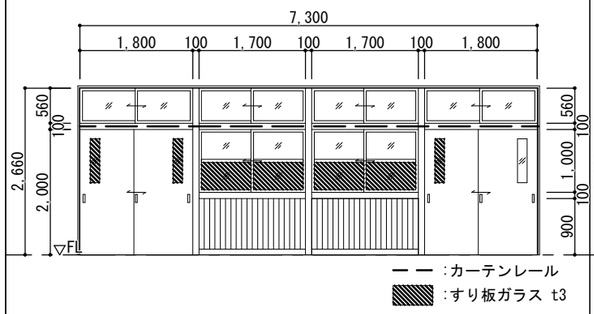
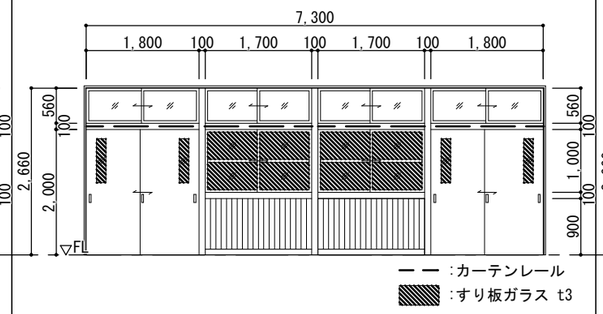
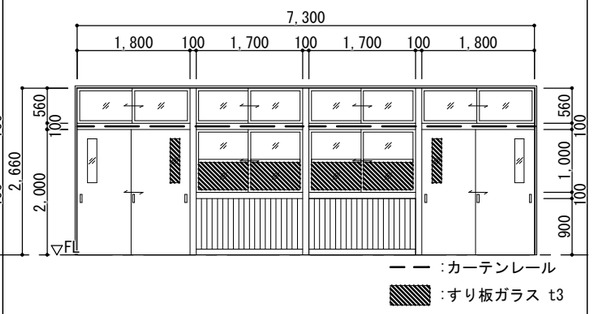
鹿児島市建設局建築部建築課

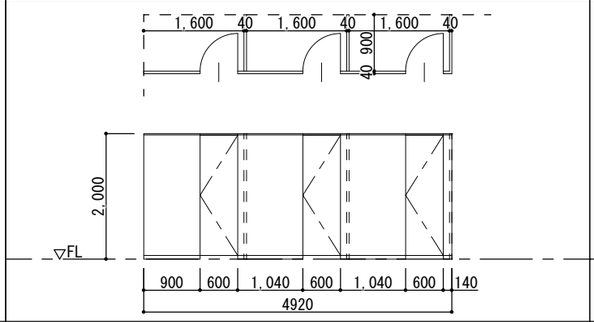
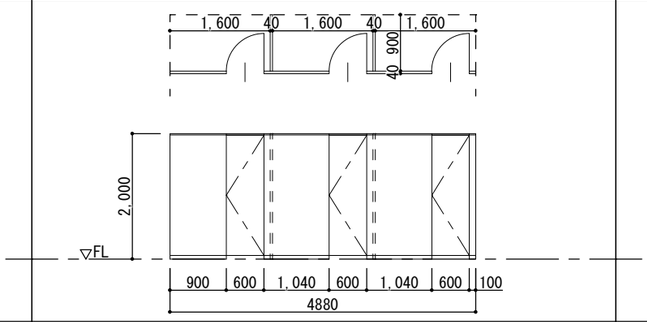
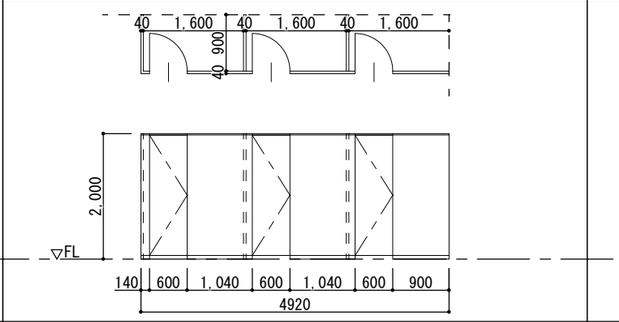
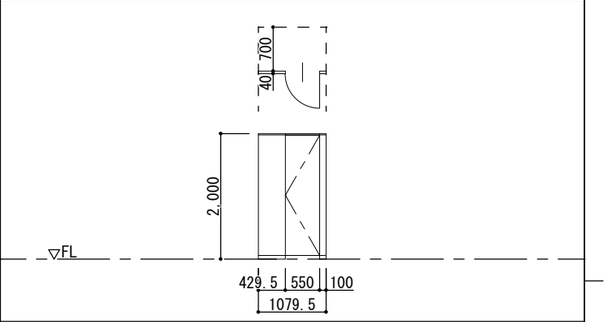
記　号	9/SD	8 ヶ所	10/SD	2 ヶ所	11/SD	2 ヶ所		
姿　図					【防火設備】 			
室　名	EPS		EPS		階段下倉庫			
方式･見込	片開きフラッシュ点検扉	枠:60　扉:30	片開きフラッシュ点検扉	枠:60　扉:30	常時閉鎖式片開きフラッシュ防火戸	枠:100　扉:40		
材質･仕上	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.2　SOP		スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.2　SOP		スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6　SOP			
硝　子								
金　物	平面ハンドル、丁番、フランス落とし、ワイヤーストッパー 他附属金物一式		平面ハンドル、丁番、フランス落とし、ワイヤーストッパー 他附属金物一式		SUS製沓摺、レバーハンドル、SUS製丁番、サムターン付シリンダー錠、 ドアクローザー、戸当り、スチール額縁(DP)、他附属金物一式			
備　考								

記　号	1/LSD	4 ヶ所	1/SP	1 ヶ所	1/SS	2 ヶ所		
姿　図	 ※( )内寸法は参考値							
室　名	バリアフリートイレ		配膳室		配膳室			
方式･見込	自閉式片引込みハンガーフラッシュ戸(壁内納まり)	扉:40	両引分け戸 + FIX窓 + ﾗﾝﾏ引違い窓	100	手動軽量シャッター			
材質･仕上	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=0.8		フレーム:カラー鋼材 t=0.8 表面材:カラー鋼板 t=0.5 芯材:石膏ボード t=12.5		スラット:塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 t=0.5　枠:塗装溶融亜鉛メッキ鋼板			
硝　子	すり板 t3		透明 t3					
金　物	ドアハンドルSUS L=450、表示錠(非常開錠)、大型サムターン ガイドローラー、ブレーキ装置、ストップ装置、ガラリ、他附属金物一式		堀込引手、SUS製戸車、SUSレール、引違戸錠、アルミ額縁 他附属金物一式		手掛け、SUS製座板、施錠装置 他附属金物一式			
備　考	ガラリ:山型(開口率30%)W600×H350				スチール額縁 SOP			

記　号	1/WD	2 ヶ所	2/WD	2 ヶ所	3/WD	1 ヶ所		
姿　図	 ※( )内寸法は参考値							
室　名	職員更衣休憩室(男)･(女)		職員更衣休憩室(男)･(女)		フレンドシップ教室			
方式･見込	片引込みフラッシュ戸	扉:36	片開きフラッシュ戸	扉:36	片開きフラッシュ戸	扉:36		
材質･仕上	扉:ポリ合板張 t=4.0		扉:ポリ合板張 t=4.0		扉:ｼﾅ合板張ﾌﾗｯｼｭ戸(中骨付)　枠:杉集成材			
硝　子	すり板 t3		すり板 t3		すり板 t3			
金　物	フラット下枠(SUSレール)、SUS引手、SUS戸車、サムターン付シリンダー錠 他附属金物一式		レバーハンドル、丁番、サムターン付シリンダー錠、 ドアクローザー、戸当り、ガラリ(樹脂製)、他附属金物一式		レバーハンドル、丁番、サムターン付シリンダー錠、 ドアクローザー、戸当り、他附属金物一式			
備　考			ガラリ:山形(開口率30%)W150×H750		木部はすべてCL塗			

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	建具表(4)	A1:1/50 A3:1/100	A－５７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

記　号	1/WP　26 ヶ所	2/WP　1 ヶ所	3/WP　1 ヶ所	
姿　図				
室　名	少人数教室、フレンドシップ教室、普通教室、学年職員室	生徒更衣室(男)・(女)	相談室・印刷室・面談室	
方式・見込	引違い戸(指詰め防止材付) + 引違い窓 + ﾗﾝﾏ引違い窓　40	引違い戸(指詰め防止材付) + 引違い窓 + ﾗﾝﾏ引違い窓　40	引違い戸(指詰め防止材付) + 引違い窓 + ﾗﾝﾏ引違い窓　40	
材質・仕上	扉:ｼﾅ合板張ﾌﾗｯｼｭ戸(中骨付) 枠:杉集成材 腰壁:(室内側)認証かごしま杉板張	扉:ｼﾅ合板張ﾌﾗｯｼｭ戸(中骨付) 枠:杉集成材 腰壁:(室内側)認証かごしま杉板張	扉:ｼﾅ合板張ﾌﾗｯｼｭ戸(中骨付) 枠:杉集成材 腰壁:(室内側)認証かごしま杉板張	
硝　子	透明 t3　すり板 t3　(廊下側)ｼﾅ合板張	透明 t3　すり板 t3　(廊下側)ｼﾅ合板張	透明 t3　すり板 t3　(廊下側)ｼﾅ合板張	
金　物	引手、SUS戸車、SUS敷居、引違戸錠、クレセント 他附属金物一式	引手、SUS戸車、SUS敷居、引違戸錠、クレセント 他附属金物一式	引手、SUS戸車、SUS敷居、引違戸錠、クレセント 他附属金物一式	
備　考	木部はすべてCL塗	木部はすべてCL塗	木部はすべてCL塗	

記　号	1/TB　8 ヶ所	2/TB　8 ヶ所	3/TB　8 ヶ所	4/TB　16 ヶ所
姿　図				
室　名	男子トイレ(1)・(2)	女子トイレ(1)・(2)	女子トイレ(1)・(2)	男子トイレ(1)・(2)、女子トイレ(1)・(2)
方式・見込	トイレブース(巾木タイプ)　40	トイレブース(巾木タイプ)　40	トイレブース(巾木タイプ)　40	トイレブース(巾木タイプ)　40
材質・仕上	表面材:高圧メラミン化粧板　芯材:ﾊﾟｰﾃｨｶﾙﾎﾞｰﾄﾞ + ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑｺｱ	表面材:高圧メラミン化粧板　芯材:ﾊﾟｰﾃｨｶﾙﾎﾞｰﾄﾞ + ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑｺｱ	表面材:高圧メラミン化粧板　芯材:ﾊﾟｰﾃｨｶﾙﾎﾞｰﾄﾞ + ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑｺｱ	表面材:高圧メラミン化粧板　芯材:ﾊﾟｰﾃｨｶﾙﾎﾞｰﾄﾞ + ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑｺｱ
硝　子				
金　物	アルミ笠木(カバー付)、SUS巾木、用具入れ用取手、グレビティヒンジ 表示付スライドロック(非常解錠付)、帽子戸当り、他附属金物一式	アルミ笠木(カバー付)、SUS巾木、用具入れ用取手、グレビティヒンジ 表示付スライドロック(非常解錠付)、帽子戸当り、他附属金物一式	アルミ笠木(カバー付)、SUS巾木、用具入れ用取手、グレビティヒンジ 表示付スライドロック(非常解錠付)、帽子戸当り、他附属金物一式	アルミ笠木(カバー付)、SUS巾木、用具入れ用取手、グラビティヒンジ 戸当り、他附属金物一式
備　考				

記　号				
姿　図				
室　名				
方式・見込				
材質・仕上				
硝　子				
金　物				
備　考				

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号
永園設計株式会社
一級建築士　第　123948　号
小原　正信

城西中学校校舎新築その他本体工事

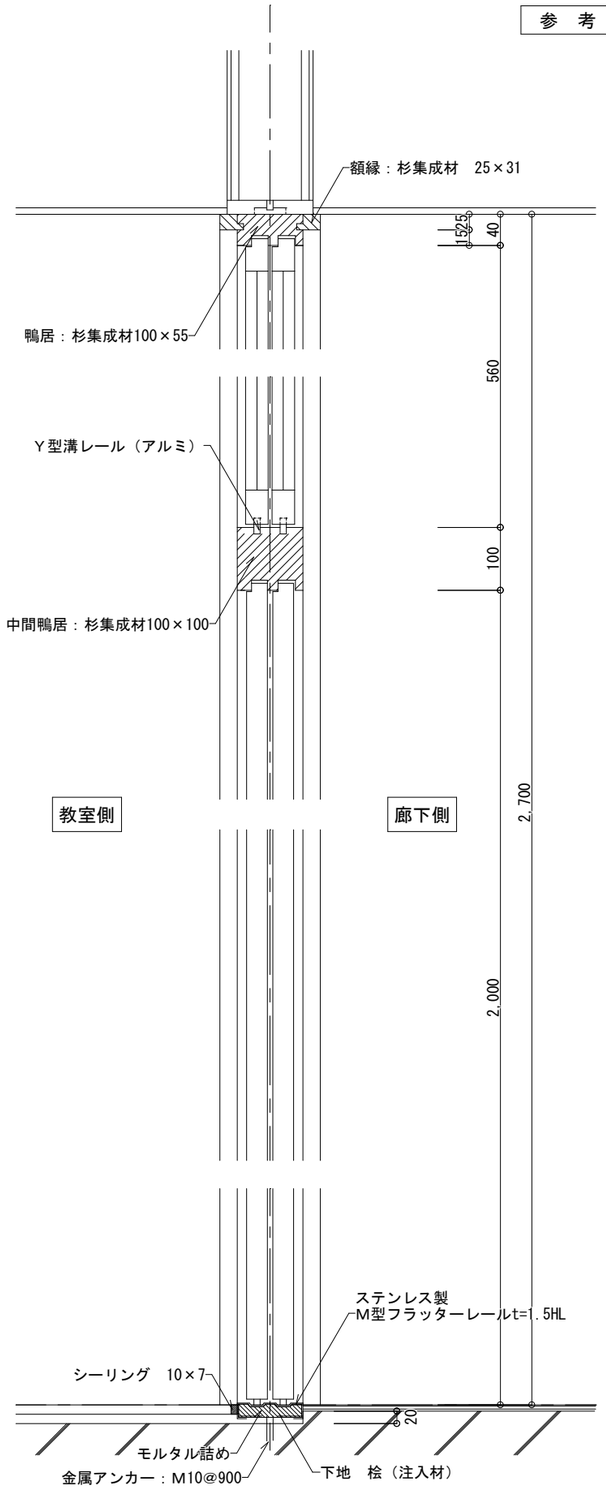
建具表(5)　A1:1/50　A3:1/100

鹿児島市建設局建築部建築課

A－58

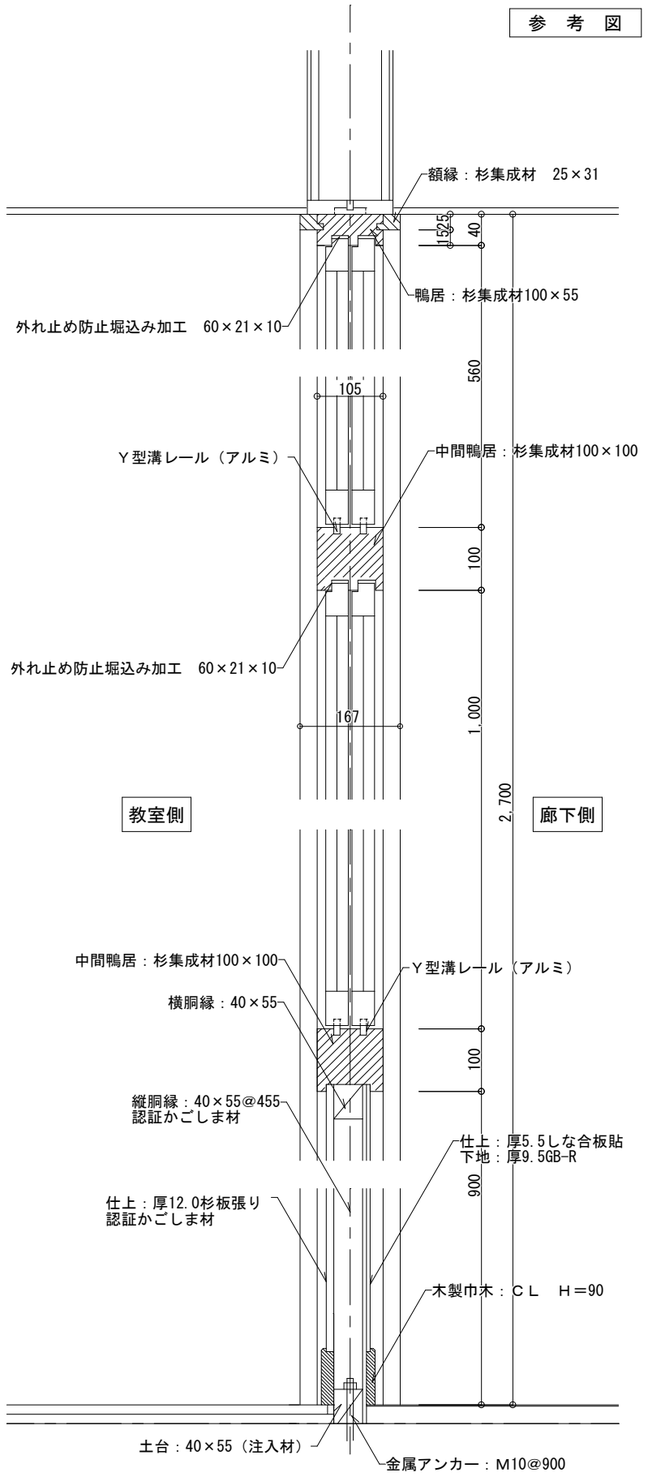
ＷＰ（学校間仕切）　出入口部断面詳細図　1/10

参　考　図



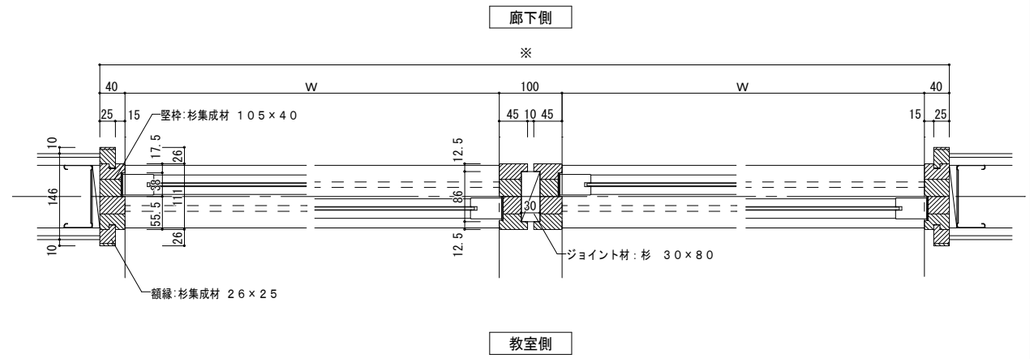
ＷＰ（学校間仕切）　窓部断面詳細図　1/10

参　考　図

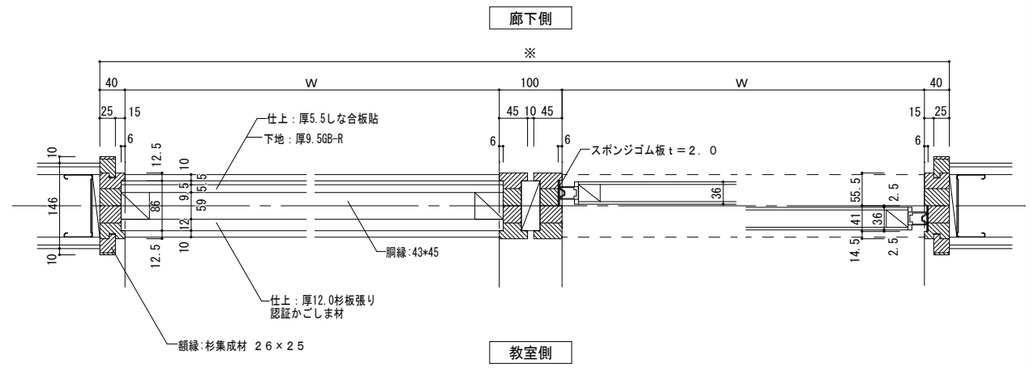


ＷＰ（学校間仕切）　平面詳細図　1/10

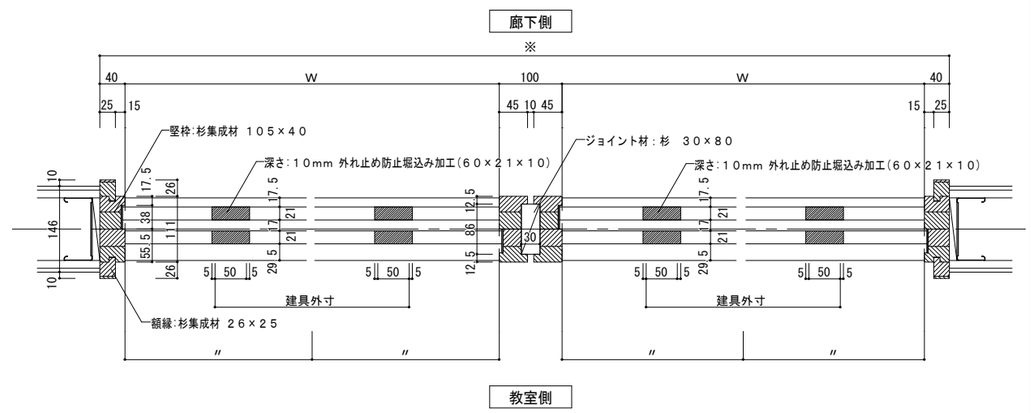
天窓部横断面図



腰壁部横断面図



腰窓･天窓部 鴨居横断面図

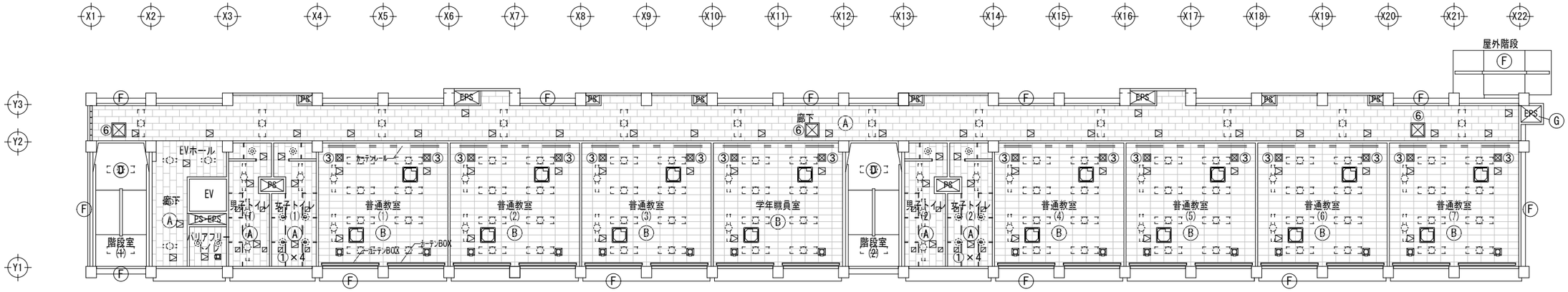


レール：ステンレスＭ型フラットレール、アルミＹ型溝レール、

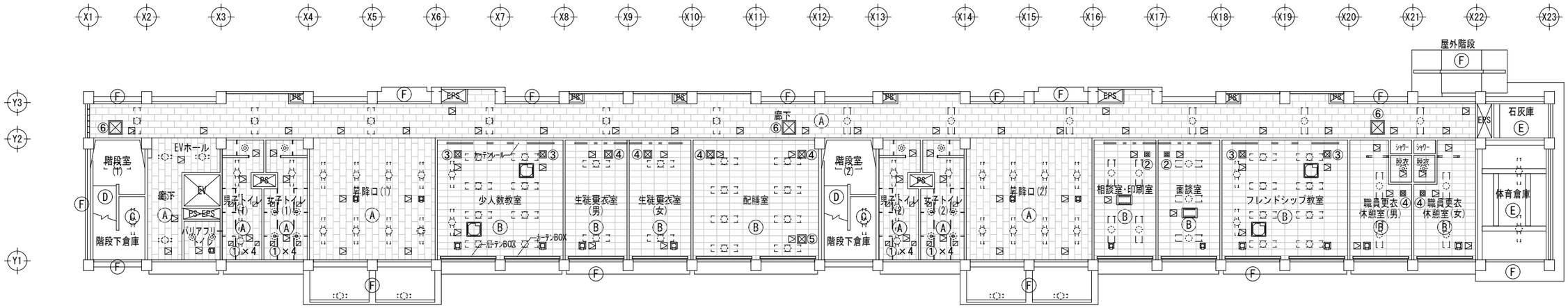
戸車：非脱輪仕様　枠：ステンレス、車：樹脂性戸車

※枠取付は溶接固定とする。　　※木部は全てＣＬ塗装とする。

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	建具詳細図	A1:1/5 A3:1/10	Ａ－５９
	鹿児島市建設局建築部建築課		



2階天井伏図　S＝1/300



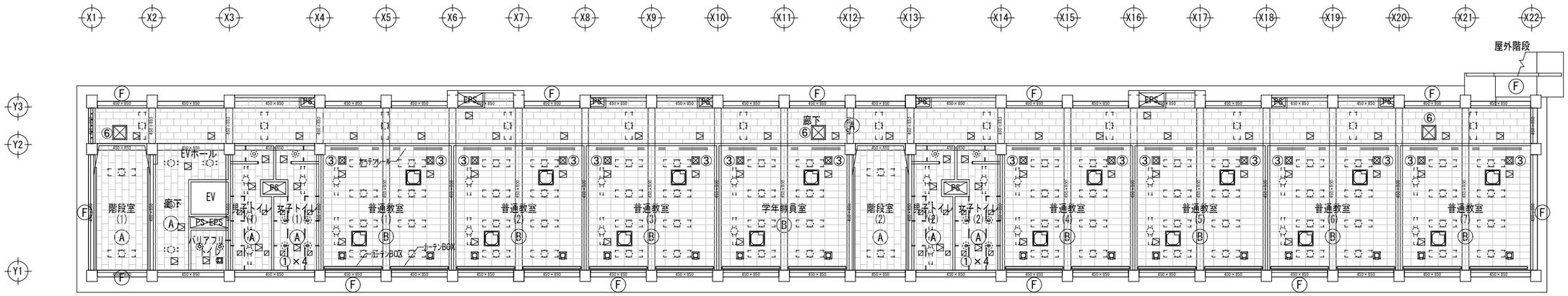
1階天井伏図　S＝1/300

天井仕上表	
Ⓐ	化粧石膏ボード t=9.5
Ⓑ	化粧石膏吸音ボード t=9.5
Ⓒ	RC化
Ⓓ	RC化　EP-G
Ⓔ	RC型
Ⓕ	コンクリート打放し下地処理の上 アクリル系軒天用仕上塗材
Ⓖ	屋根断熱:ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b t=35打込
═ = = ═	カーテンレール:アルミ製(シングル)　学校間仕切欄間窓下鴨居取付
▭	カーテンBOX:アルミ製120×80(レール(ダブル)共)
＜特記事項＞	

天井開口補強リスト、天井点検口

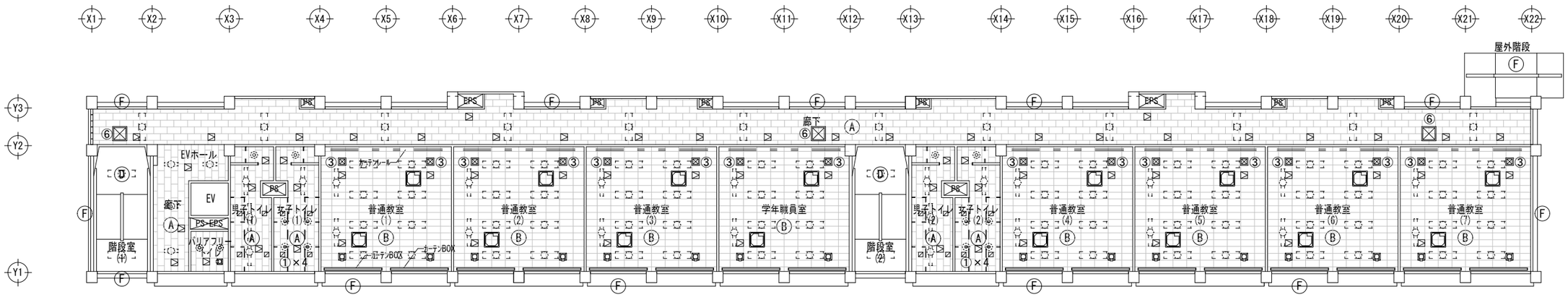
機器凡例	機器名称	開口寸法	1階	2階	3階	4階	合計
⊡	空調室内機	910×910	4ヶ所	16ヶ所	16ヶ所	16ヶ所	52ヶ所
▭	空調室内機	1,300×650	2ヶ所	ーヶ所	ーヶ所	ーヶ所	2ヶ所
⊡	天井埋込換気扇	260×260	15ヶ所	17ヶ所	17ヶ所	17ヶ所	66ヶ所
◪①	制気口	150×150	16ヶ所	16ヶ所	16ヶ所	16ヶ所	64ヶ所
⊠②	制気口	200×200	2ヶ所	ーヶ所	ーヶ所	ーヶ所	2ヶ所
⊠③	制気口	350×350	4ヶ所	16ヶ所	16ヶ所	16ヶ所	52ヶ所
⊠④	制気口	400×400	6ヶ所	ーヶ所	ーヶ所	ーヶ所	6ヶ所
⊠⑤	制気口	450×450	1ヶ所	ーヶ所	ーヶ所	ーヶ所	1ヶ所
⊠⑥	制気口	650×650	3ヶ所	3ヶ所	3ヶ所	3ヶ所	12ヶ所
▷	天井点検口	450×450	73ヶ所	64ヶ所	63ヶ所	63ヶ所	263ヶ所

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	1階・2階天井伏図	A1:1/150 A3:1/300	A－６０
	鹿児島市建設局建築部建築課		



梁はR階梁を示す(見上げ図)

4階天井伏図　S=1/300



3階天井伏図　S=1/300

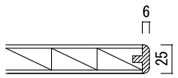
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	3階・4階天井伏図	A1:1/150 A3:1/300	A－６１
	鹿児島市建設局建築部建築課		

共通仕様(特記なき場合)

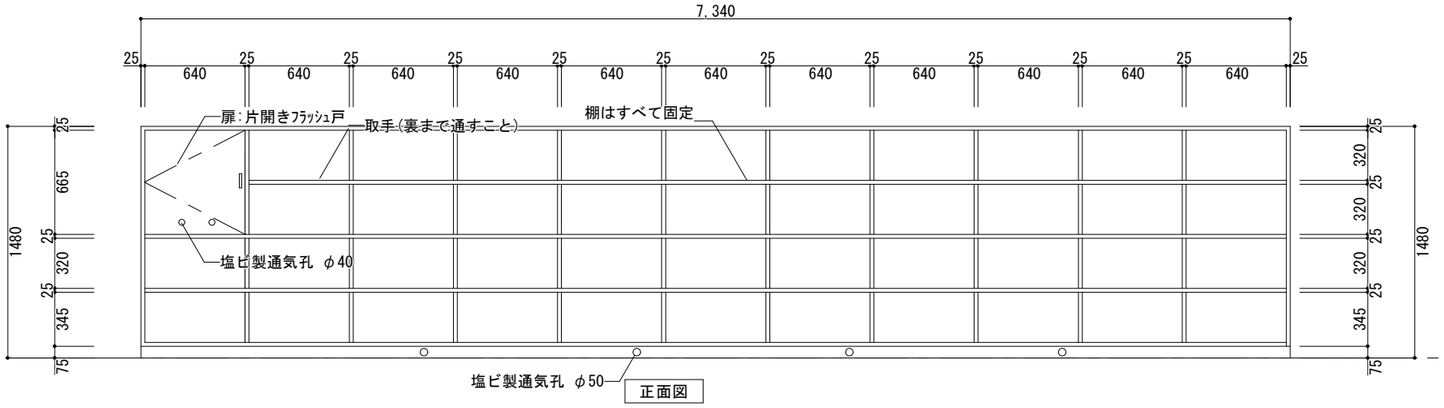
部位	仕上
本体 見え掛かり部	ポリ合板フラッシュ t=25
隠ペイ部(内部,内部棚も含む)	ポリ合板フラッシュ t=25
本体 天板トップ(腰棚含む)	ポリ合板フラッシュ t=25
棚 木口 (見え掛かり部,隠ぺい部全て)	木ムク材(メルサワ)t=6 CL 面取り
扉 フラッシュ戸	ポリ合板フラッシュ t=20
カマチ付ガラス戸	アクリル板t=4mm,戸車付
	戸カマチ ポリ合板,木口 メラミン化粧板張り
ガラス戸	特記以外アクリル板t=4mm,戸車付
	アルミハカマ,アルミVレール付
棚板 見え掛かり部	ポリ合板フラッシュ t=25
巾木	ポリ合板

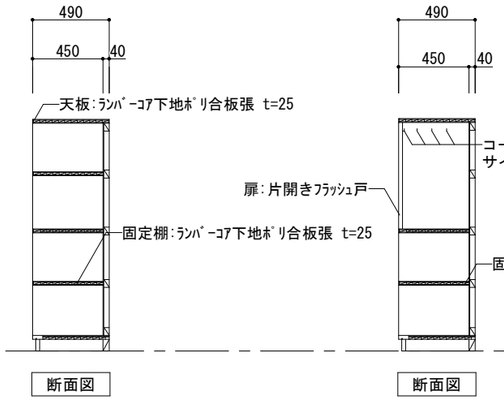
部位	仕上
引手	ステンレス舟底型
取手(コの字型)	ステンレス8φ
丁番	スライド丁番
引出レール	樹脂成型品
棚受	ステンレスダボ9φ@100
戸車	ナイロン平
ガラス戸レール	アルミレール
ガラス戸ハカマ	アルミハカマ
ツユ受け	ステンレス(t=0.7)ツユ受け
フック	ステンレスフック
錠	オープン棚以外の家具には シリンダー錠を設ける。

特記
1. 家具巾木にはφ50塩ビ製通気孔(防虫網付き)を
   @1000で設置すること。
   家具通気孔も同仕様とする。
2. 記載商品名同等以上とする。
3. 洗面カウンター等の巾木は70程度控えること。
4. 棚板は特記以外可動棚とする(ＳＵＳ棚柱付き)
5. 図面に特記なきものは全て1台とする。
6. 集成材はナラ程度とする。
7. 流し台等の排水目皿は,本工事とする。
8. 棚木口木ムク材仕様は下図による。



K-01 生徒用ロッカーA　23ヶ所

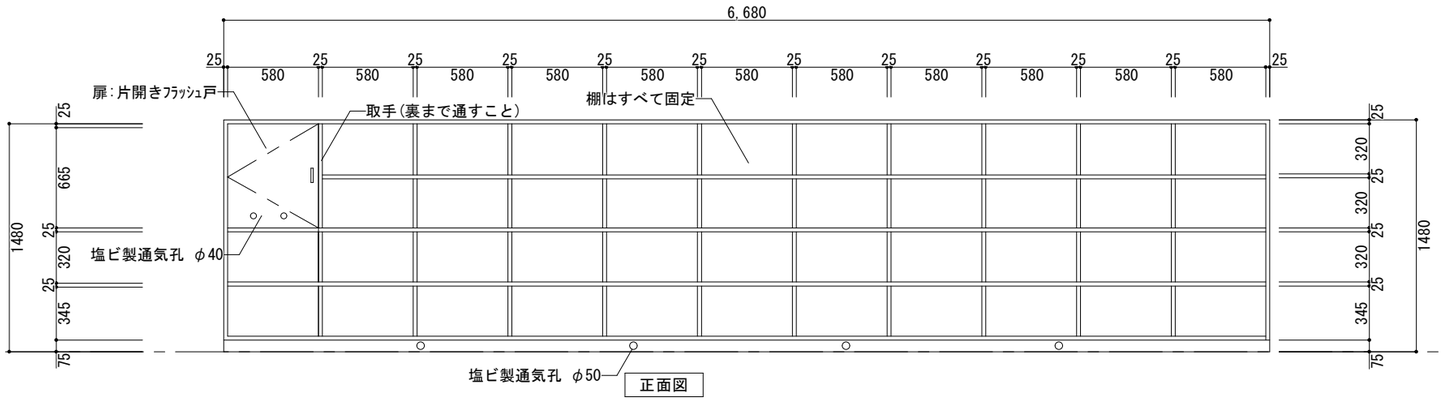


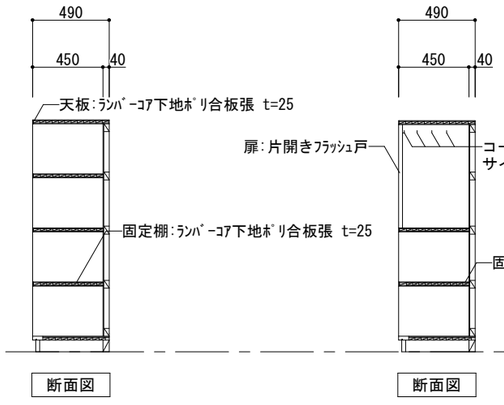


コート掛け(ダイカスト製)参考図 S=1/5

片開きﾌﾗｯｼｭ戸、取手(裏まで貫通)、丁番(2個)、マグネットキャッチ(金属ケース)、
アームストッパー(扉側貫通ボルト止め)、コート掛(Z-10ダイカスト製 同等品)

K-02 生徒用ロッカーB　3ヶ所



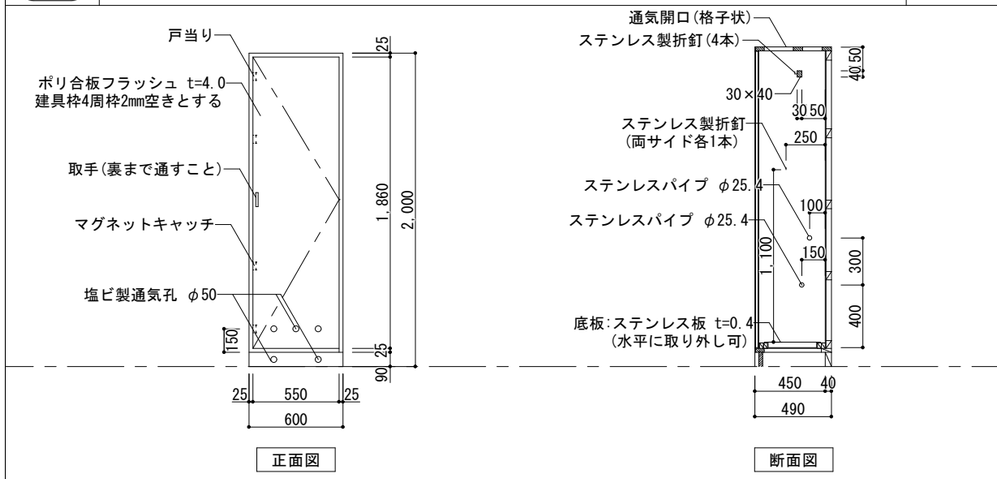


コート掛け(ダイカスト製)参考図 S=1/5

片開きﾌﾗｯｼｭ戸、取手(裏まで貫通)、丁番(2個)、マグネットキャッチ(金属ケース)、
アームストッパー(扉側貫通ボルト止め)、コート掛(Z-10ダイカスト製 同等品)

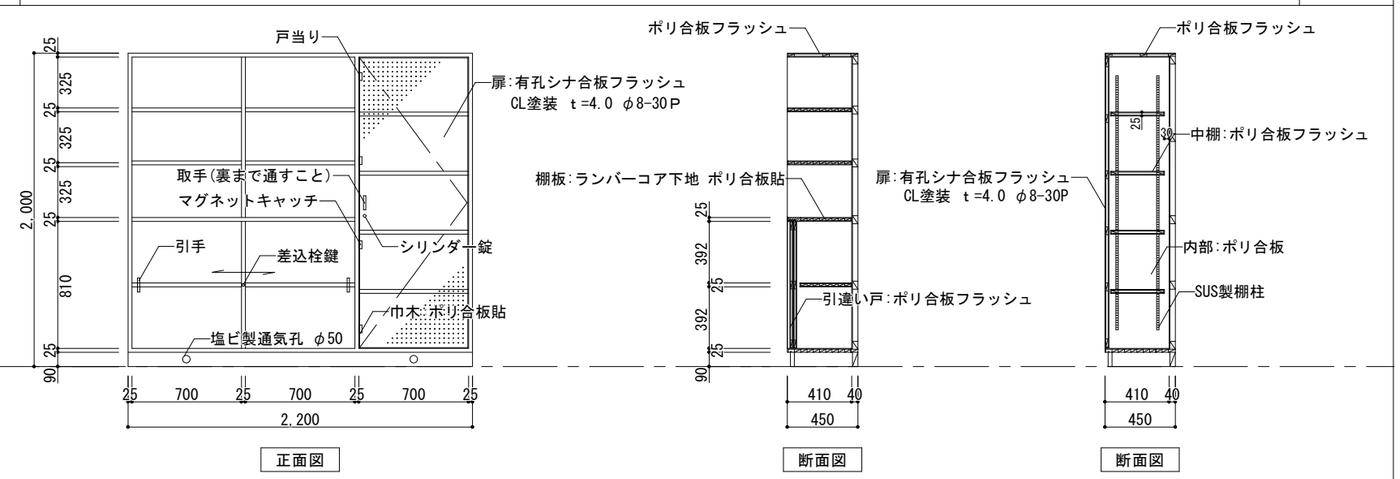
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	家具詳細図(1)	A1:1/20 A3:1/40
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－６２

K-03 掃除具入 35ヶ所



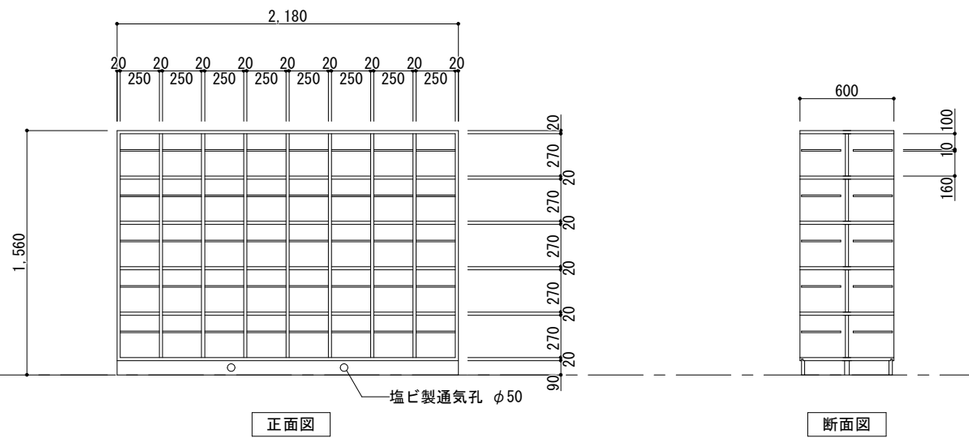
取手(裏まで貫通)、丁番(3個)、マグネットキャッチ(2ヵ所、金属ケース)、アームストッパー(扉側貫通ボルト止め)
ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟｲﾌﾟ φ25.4(SUS304 2ヵ所)、ｽﾃﾝﾚｽ製折釘(6ヵ所)、座板:ｽﾃﾝﾚｽ板 t=0.4(取外し可)

K-04 教師用棚 26ヶ所



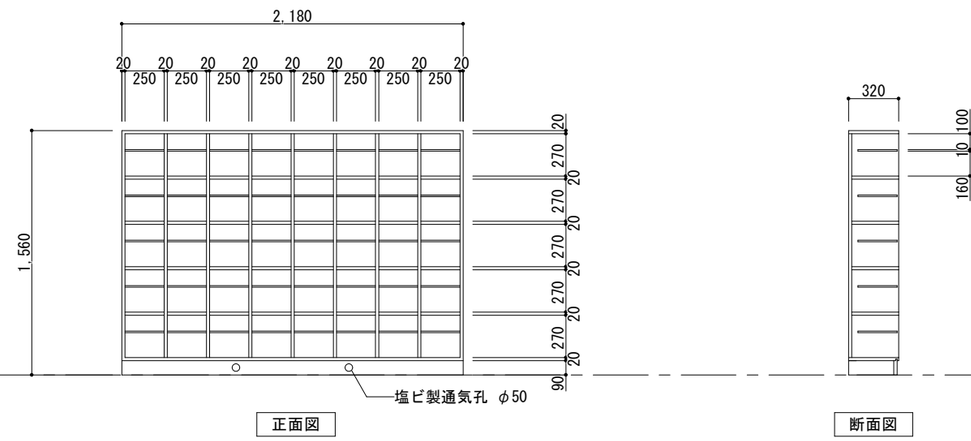
引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、差込栓鍵、塩ビ製換気孔 φ50(防虫網付)、取手(裏まで貫通)、丁番(3個)、
マグネットキャッチ(金属ケース)、アームストッパー(扉側貫通ボルト止め)、SUS製棚柱、シリンダー錠

K-05 昇降口 下足入 12ヶ所



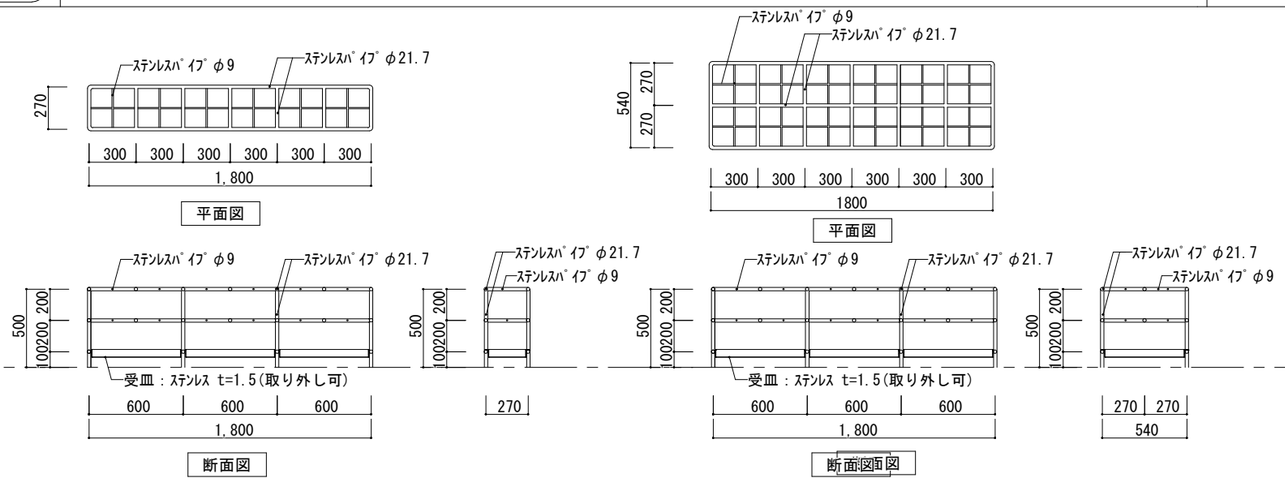
天板・側板・底板・外面:ﾒﾗﾐﾝ化粧合板、内面:ﾒﾗﾐﾝ化粧合板
固定棚表面(靴入):ﾒﾗﾐﾝ化粧合板、固定棚裏面(靴入):ﾎﾟﾘ合板、固定棚両面(ｽﾘｯﾊﾟ入):ﾎﾟﾘ合板

K-06 昇降口 下足入 8ヶ所



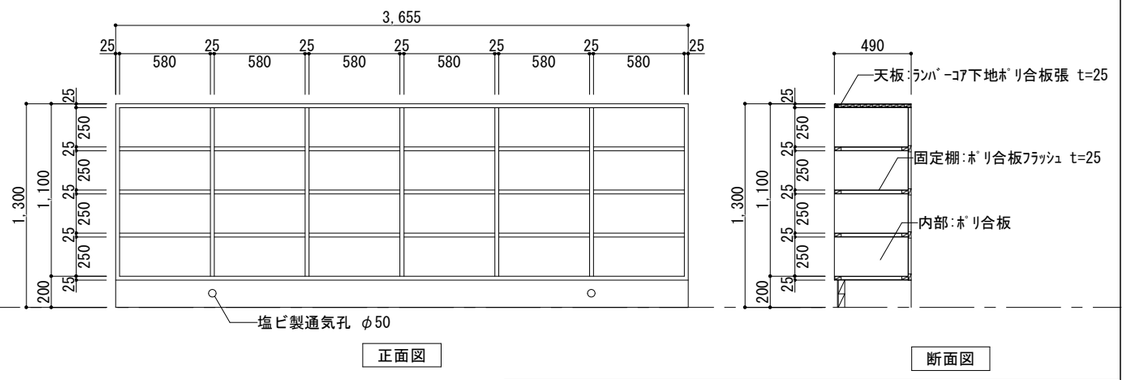
天板・側板・底板・外面:ﾒﾗﾐﾝ化粧合板、内面:ﾒﾗﾐﾝ化粧合板
固定棚表面(靴入):ﾒﾗﾐﾝ化粧合板、固定棚裏面(靴入):ﾎﾟﾘ合板、固定棚両面(ｽﾘｯﾊﾟ入):ﾎﾟﾘ合板

K-07 昇降口 傘立て 10ヶ所



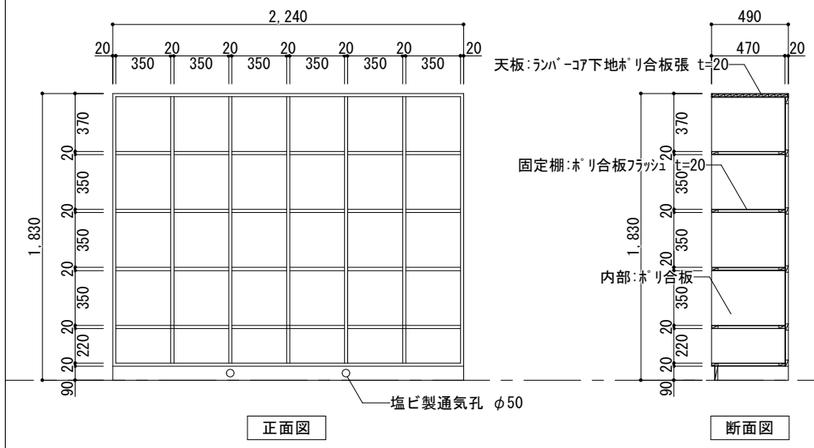
ステン受け皿付(取外し可) #400
※床に固定はしないこと。

K-08 生徒更衣室 更衣棚 2ヶ所



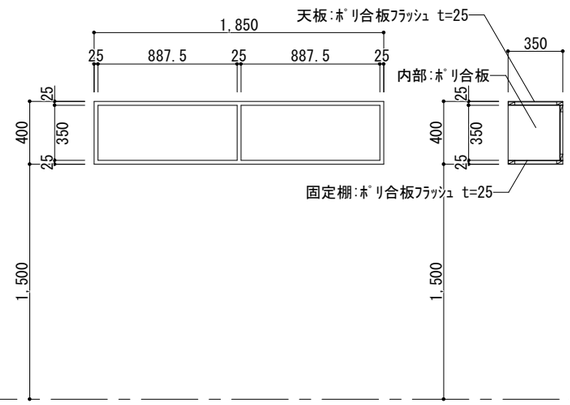
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 家具詳細図(2) A1:1/20 A3:1/40 鹿児島市建設局建築部建築課	A－63

K-09 相談室・印刷室 棚 1ヶ所



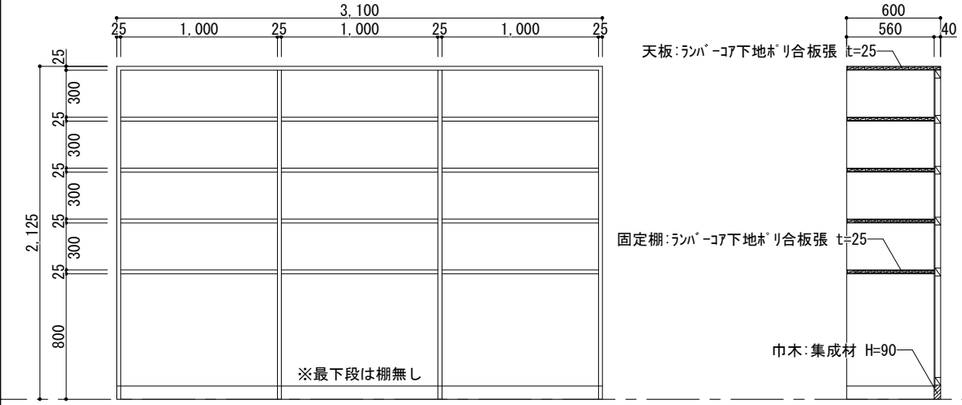
正面図　断面図

K-10 脱衣棚 2ヶ所



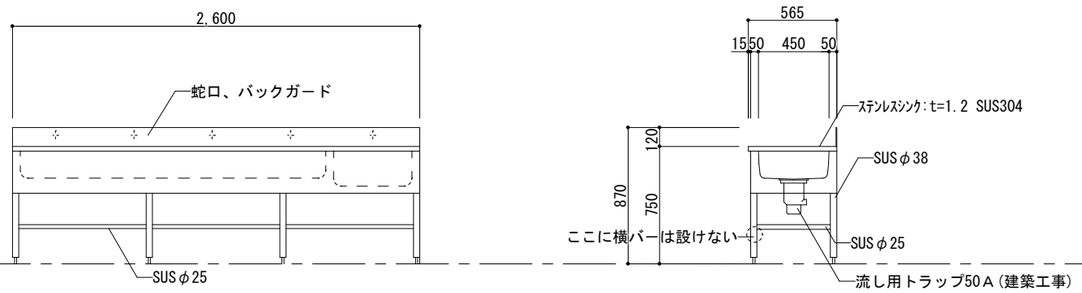
正面図　断面図

K-11 配膳室 収納棚 1ヶ所



正面図　断面図

K-12 流し台A 8ヶ所

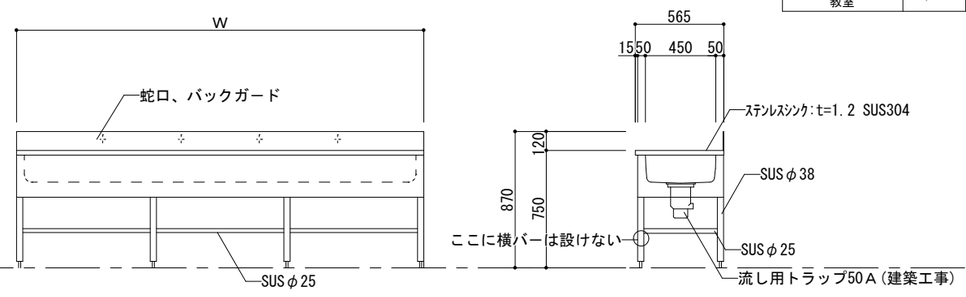


正面図　断面図

シンクトップ:t=1.2 SUS304、目皿(流しトラップ付、3ヵ所)、流し裏:発泡ｳﾚﾀﾝ裏打ち t=20
※トラップは建築工事とする(ｽﾃﾝﾚｽ製流し用トラップ50A、水封50mm以上)

K-13 流し台B 9ヶ所

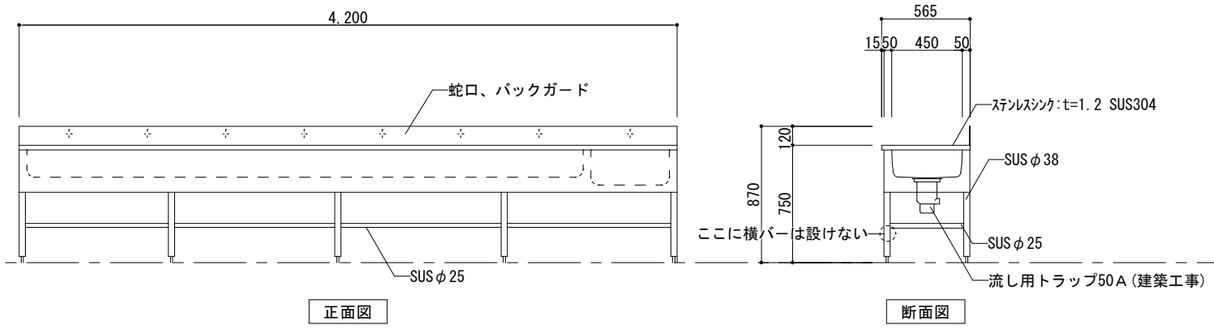
室名	W	
廊下	2,500	8ヶ所
フレンドシップ教室	1,500	1ヶ所



正面図　断面図

シンクトップ:t=1.2 SUS304、目皿(流しトラップ付、3ヵ所)、流し裏:発泡ｳﾚﾀﾝ裏打ち t=20
※トラップは建築工事とする(ｽﾃﾝﾚｽ製流し用トラップ50A、水封50mm以上)

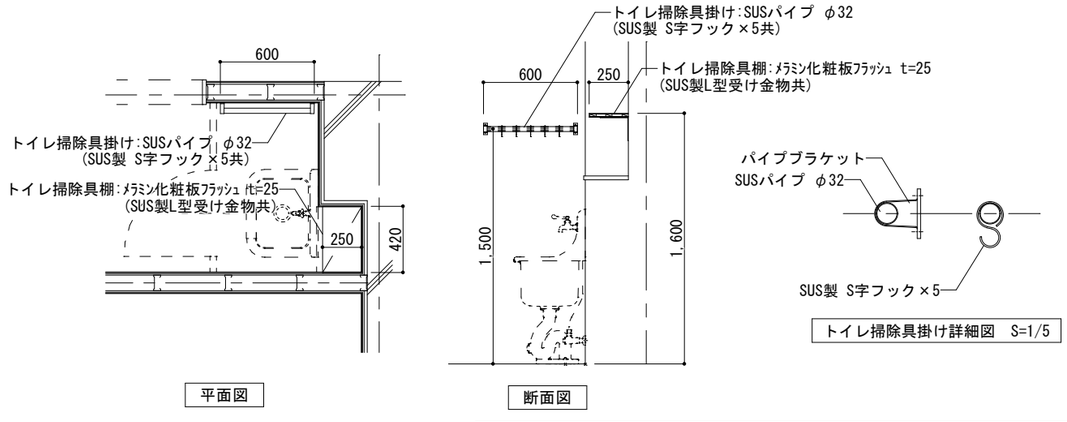
K-14 流し台C 8ヶ所



正面図　断面図

シンクトップ:t=1.2 SUS304、目皿(流しトラップ付、3ヵ所)、流し裏:発泡ｳﾚﾀﾝ裏打ち t=20
※トラップは建築工事とする(ｽﾃﾝﾚｽ製流し用トラップ50A、水封50mm以上)

K-15 トイレ掃除具棚、トイレ掃除具掛け 16ヶ所

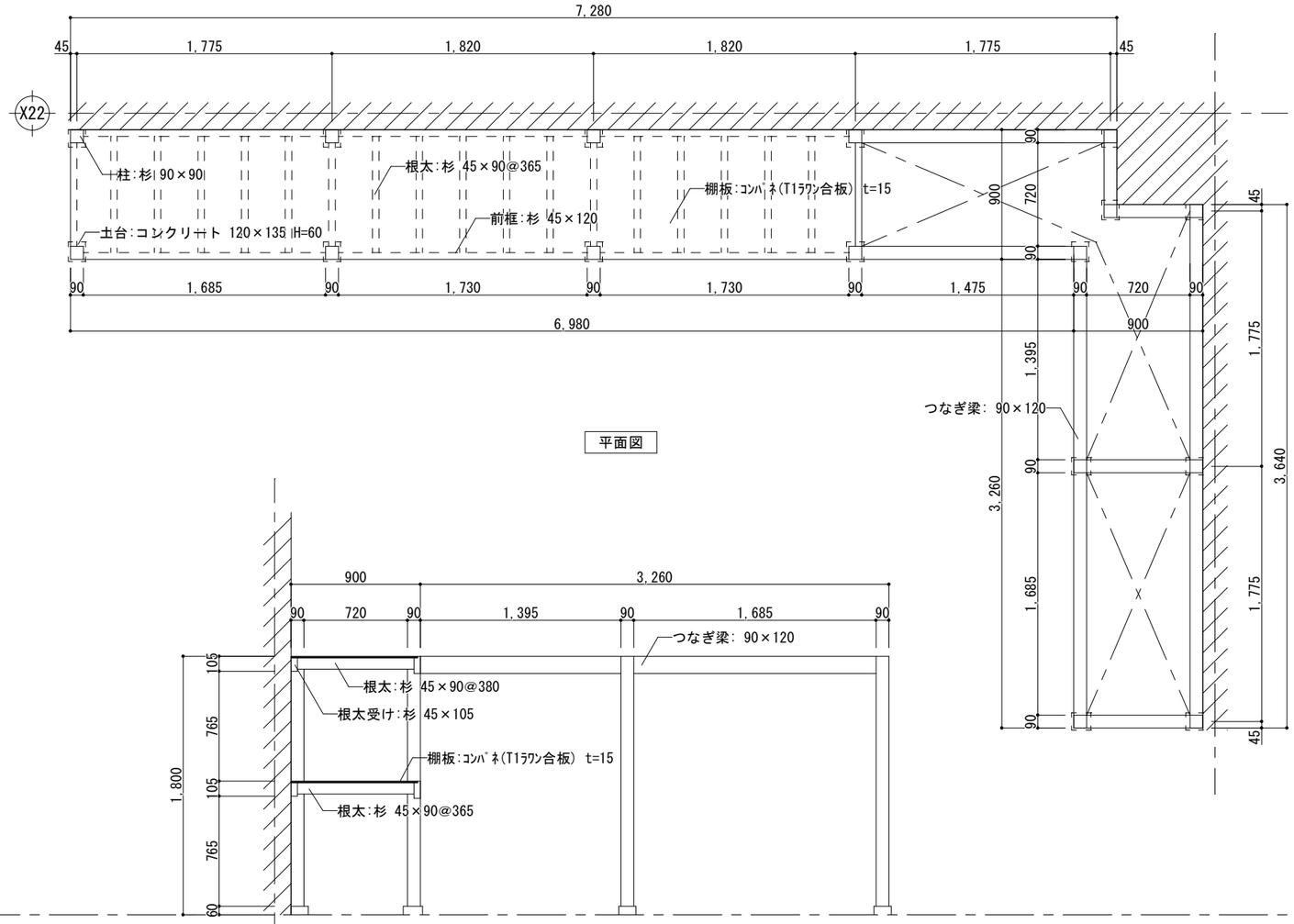


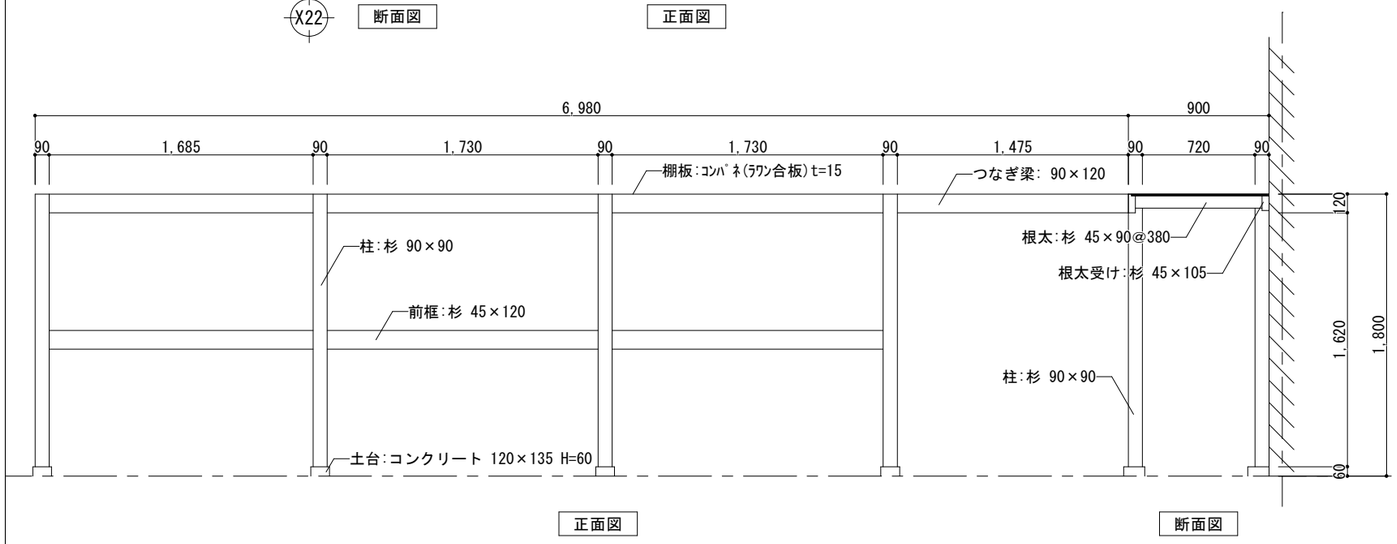
平面図　断面図

トイレ掃除具掛け詳細図 S=1/5

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	家具詳細図(3)	A1:1/20 A3:1/40
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－64

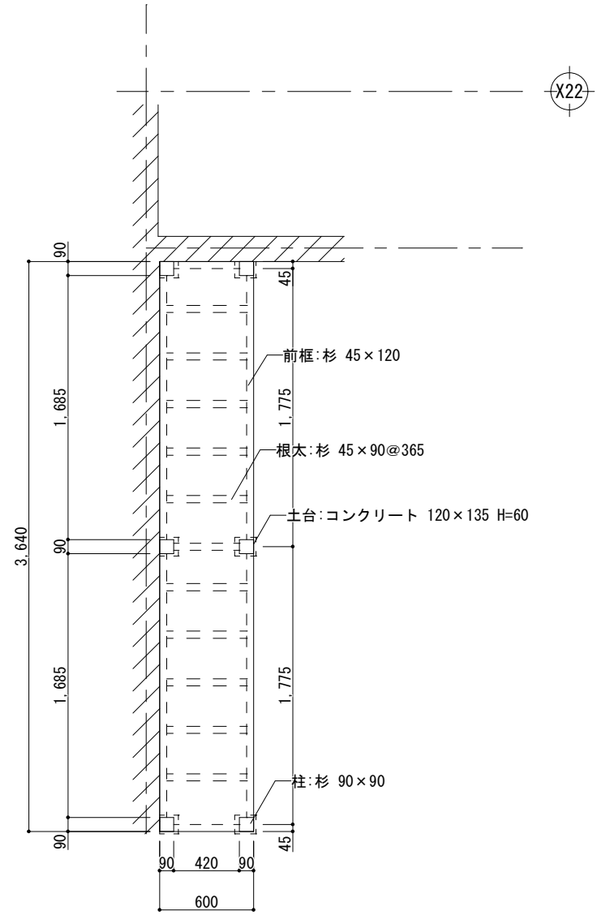
K-16 体育倉庫 用具棚A　1ヶ所

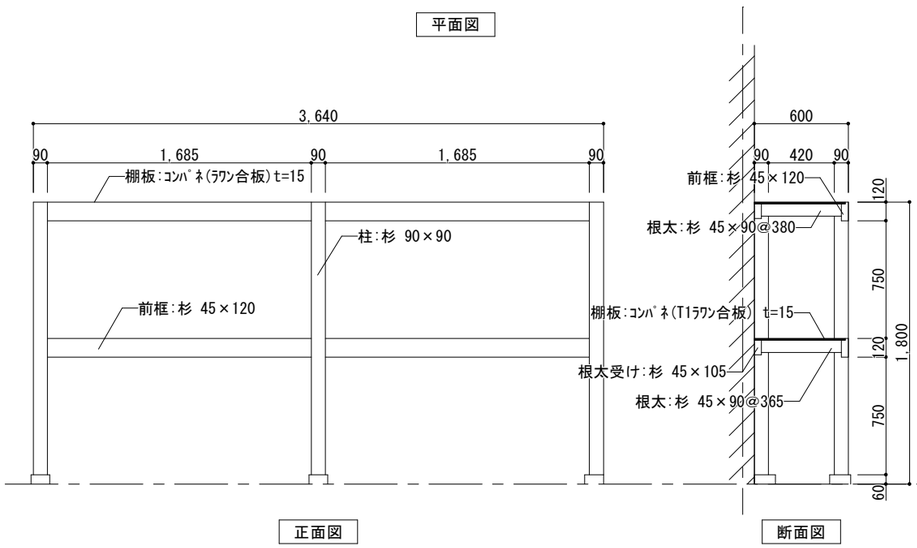




※ＣＬ塗装仕上げとする。
※薬剤加圧注入による防腐・防蟻処理を行うこと。

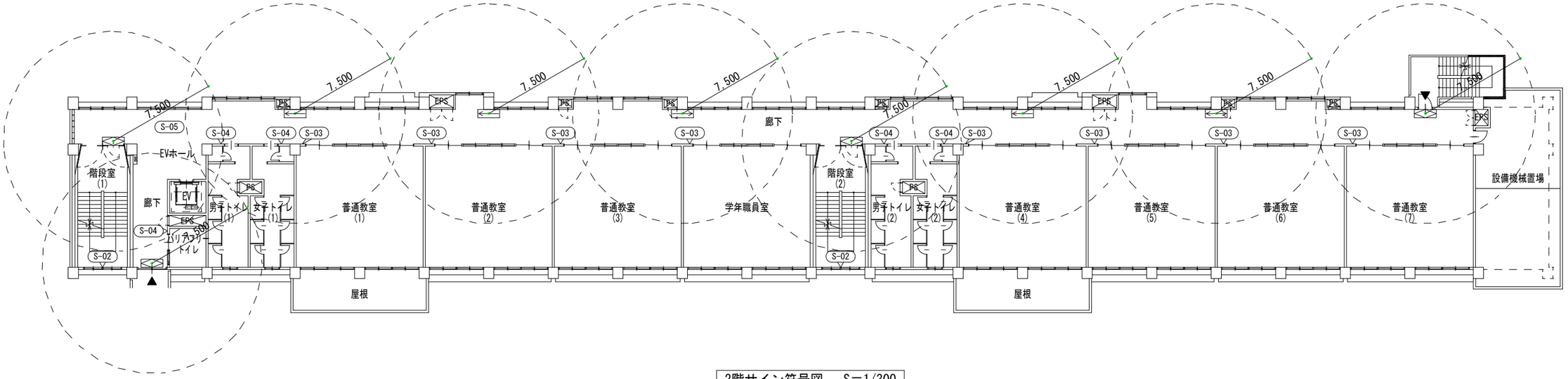
K-17 石灰庫 用具棚B　1ヶ所



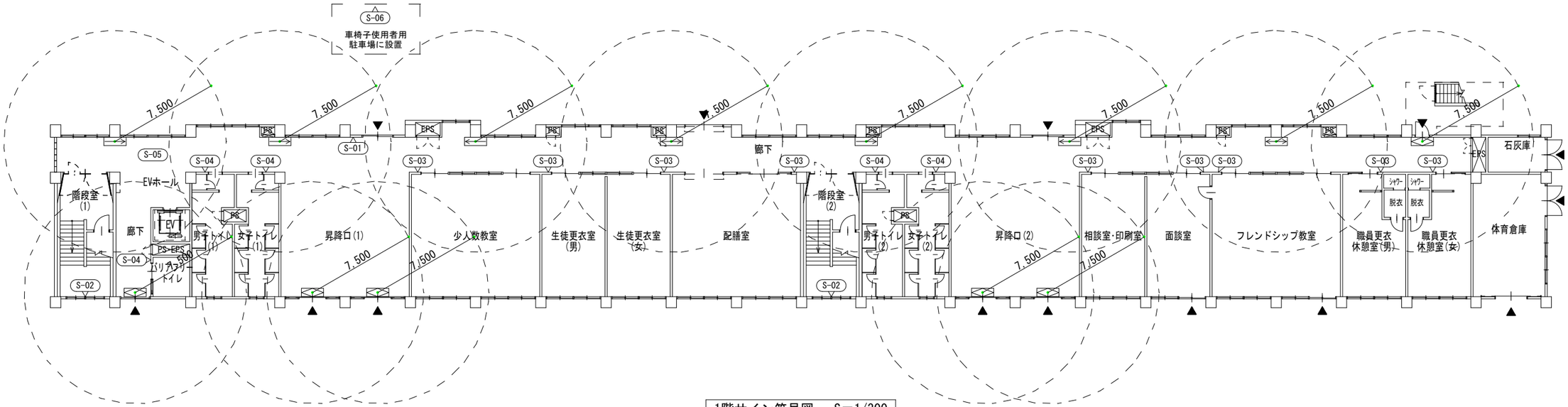


※ＣＬ塗装仕上げとする。

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 家具詳細図(4)　A1:1/20　A3:1/40 鹿児島市建設局建築部建築課	A－65



2階サイン符号図　S=1/300

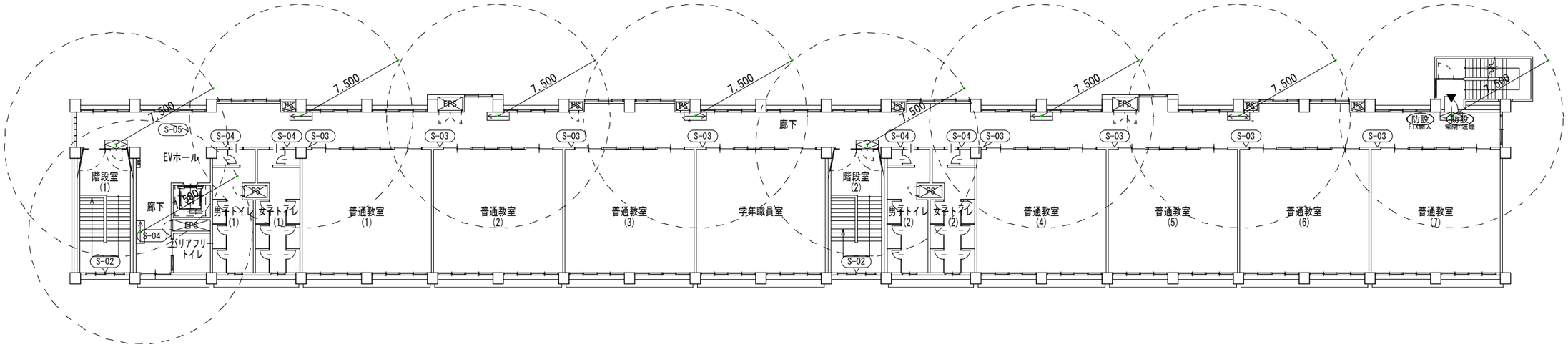


1階サイン符号図　S=1/300

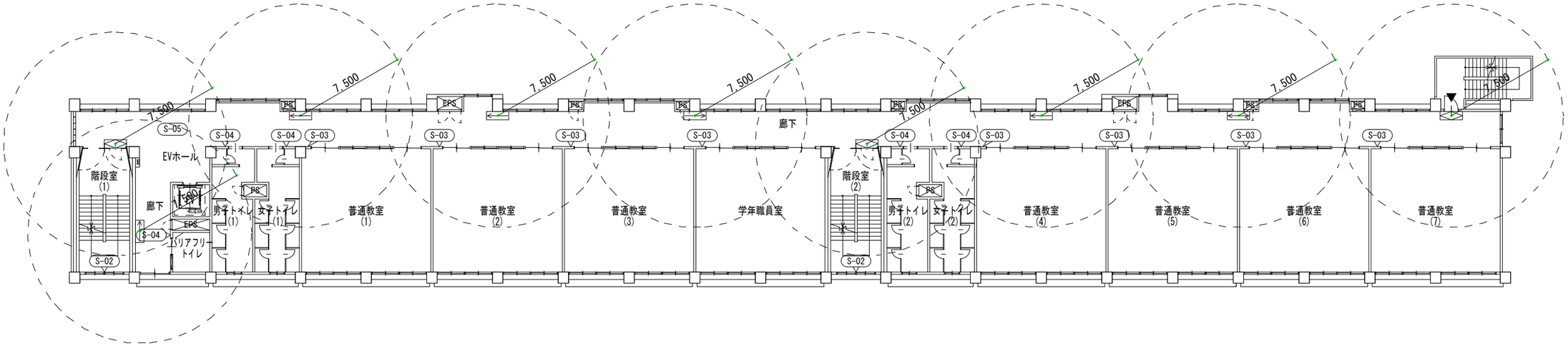
凡　例			
S-01	全体案内サイン	1	箇所
S-02	階数表示	8	箇所
S-03	室名札(突出型)	33	箇所
S-04	室名札(トイレ:突出型)	20	箇所
S-05	天吊サイン	4	箇所
S-06	車椅子使用者用駐車場サイン	1	箇所
	避難口誘導標識:壁付きﾌﾟﾚｰﾄﾀｲﾌﾟ360×120(中輝度蓄光)	16	箇所
	通路誘導標識　:壁付きﾌﾟﾚｰﾄﾀｲﾌﾟ360×120(中輝度蓄光)	24	箇所

＜特記事項＞
誘導標識は、(財)日本消防設備安全センター認定品とする。

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	1階・2階サイン符号図	A1:1/150 A3:1/300
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－66



4階サイン符号図　S＝1/300

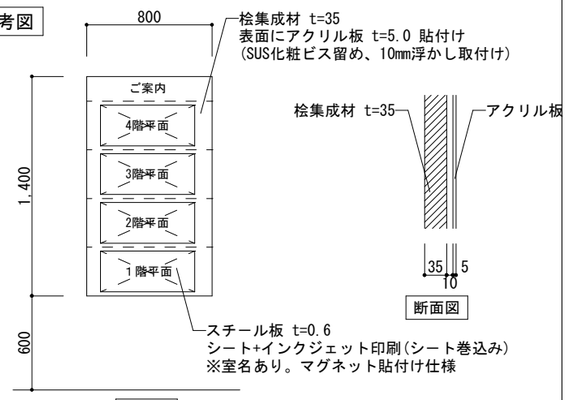


3階サイン符号図　S＝1/300

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	3階･4階サイン符号図	A1:1/150 A3:1/300	A－６７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

S-01 全体案内サイン 1/10

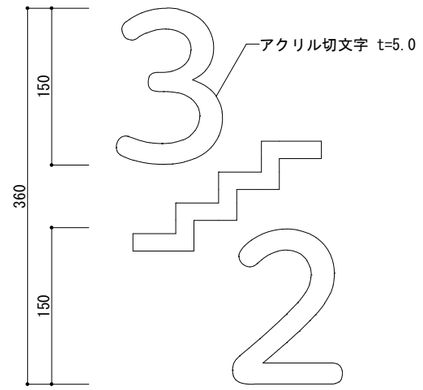
参考図



正面図 S:1/40

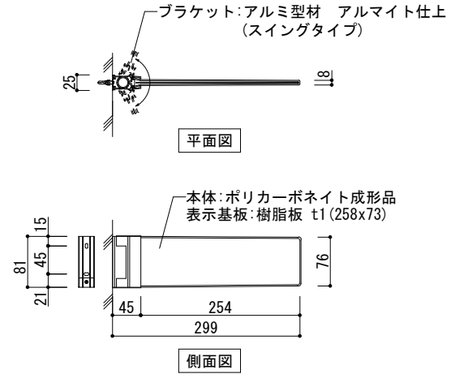
※点字及び浮き彫りによる表示のこと。

S-02 階数表示 1/4



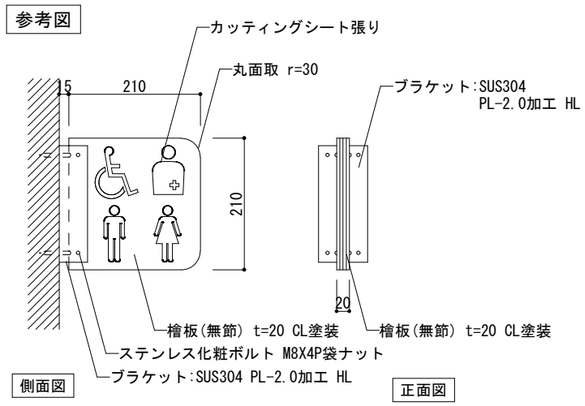
S-03 室名札(突出型) 1/10

参考図



S-04 室名札(トイレ:突出型) 1/10

参考図

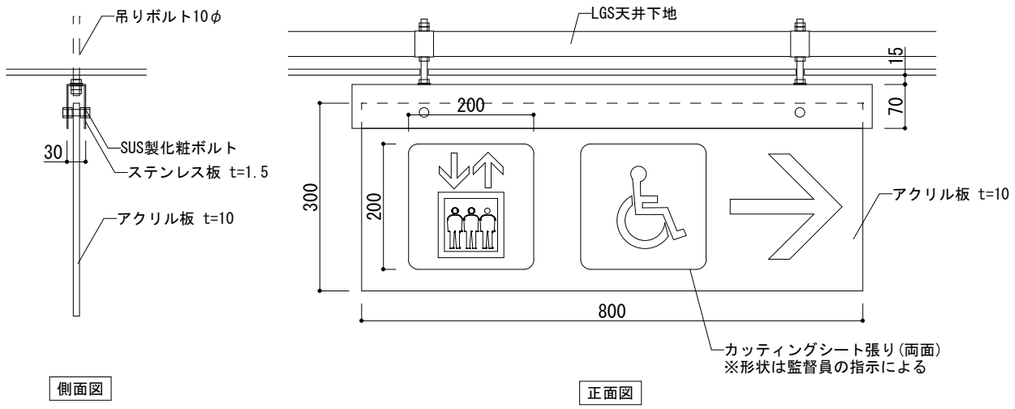


※取付場所は監督員の指示により決定のこと。 ※ピクトサインはJIS規格とする。

※ピクトサインの内容については監督員の指示により決定のこと。

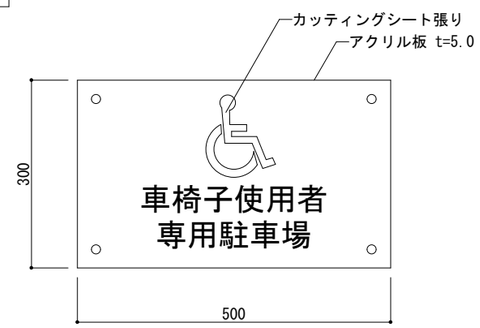
S-05 天吊サイン 1/10

参考図



S-06 車椅子使用者用駐車場サイン 1/10

参考図

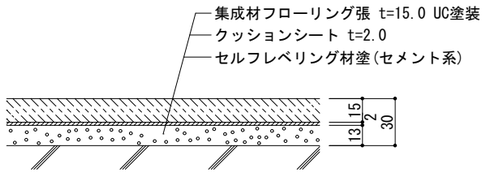


※取付場所は監督員の指示により決定のこと。 ※ピクトサインはJIS規格とする。

※ピクトサインの内容については監督員の指示により決定のこと。

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	サイン詳細図	A1:1/2.5 A3:1/4.10	A－６８
	鹿児島市建設局建築部建築課		

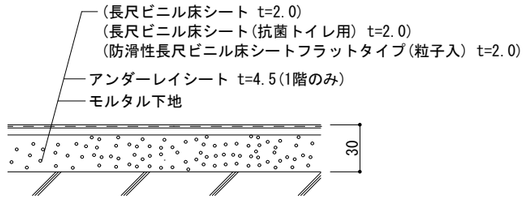
A-01 集成材フローリング張 1/4



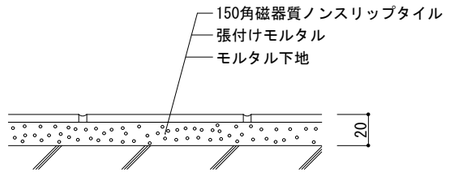
集成材フローリング張:単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(集成材)t=15.0 ｻｸﾗ(かば)とする。

表層はｼｰﾗｰ1回塗りの上ｳﾚﾀﾝ系ｸﾘｱｰ2回塗とする。

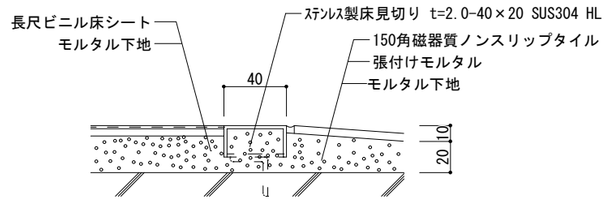
A-02 長尺ビニル床シート 1/4



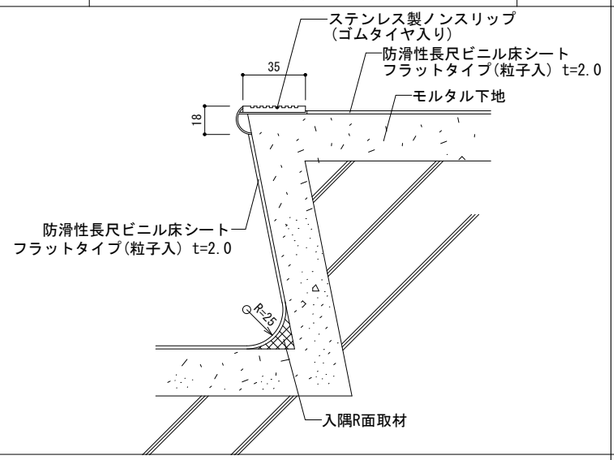
A-03 150角磁器タイル貼(ノンスリップタイプ) 1/4



A-04 ステンレス製床見切り(タイル+シート部) 1/4

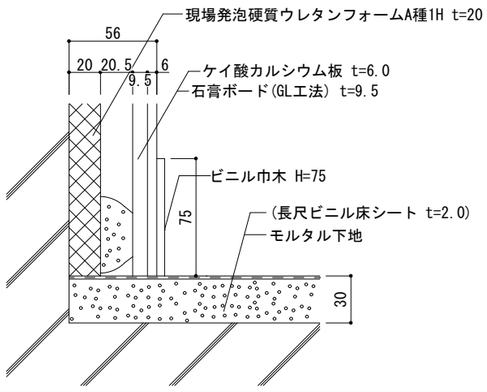


A-05 ステンレス製ノンスリップ 1/4

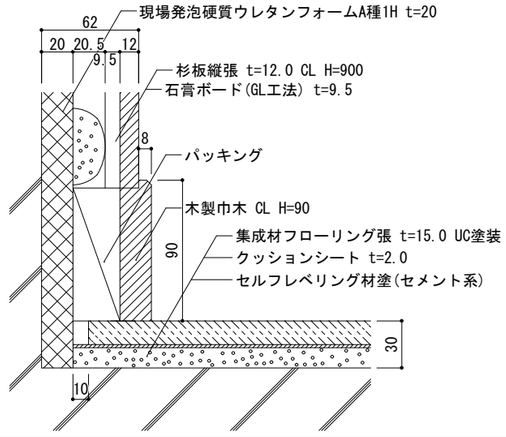


※内部階段はゴムタイヤ入り、外部階段はゴムタイヤ無しとする。

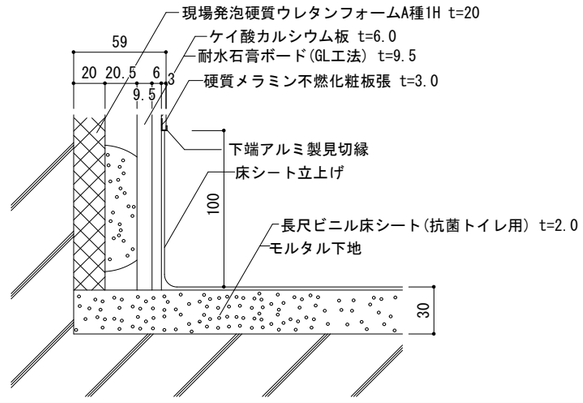
B-01 ビニル巾木(外壁側) 1/4



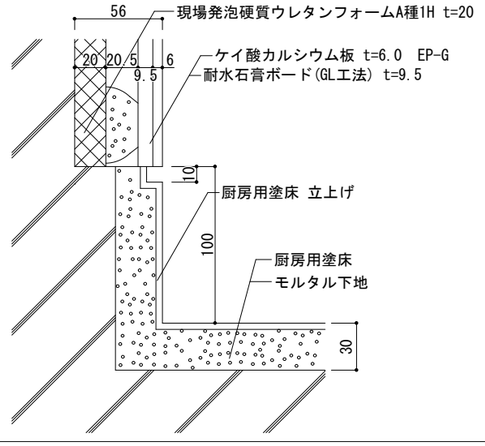
B-02 木製巾木(外壁側) 1/4



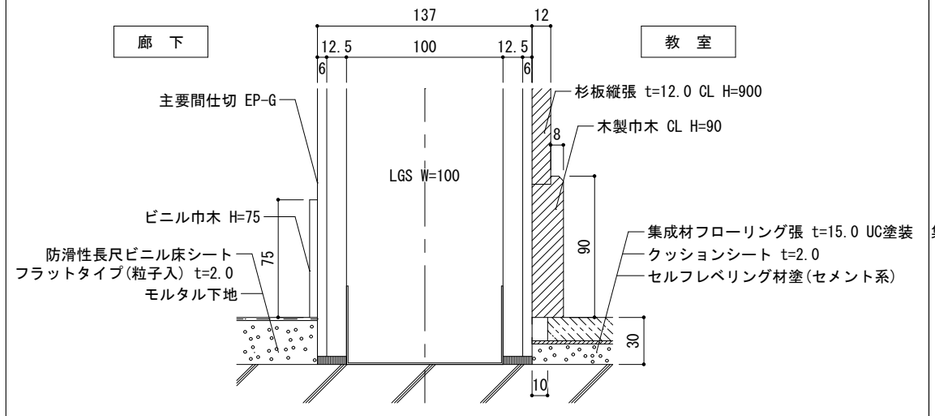
B-03 床シート立上げ(便所ー外壁側) 1/4



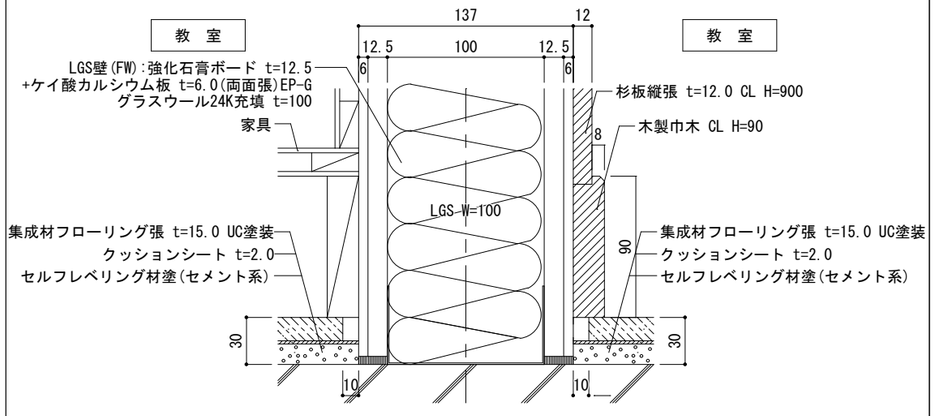
B-04 厨房用塗床材 立上げ(外壁側) 1/4



B-05 ビニル巾木及び木製巾木(廊下ー教室間) 1/4

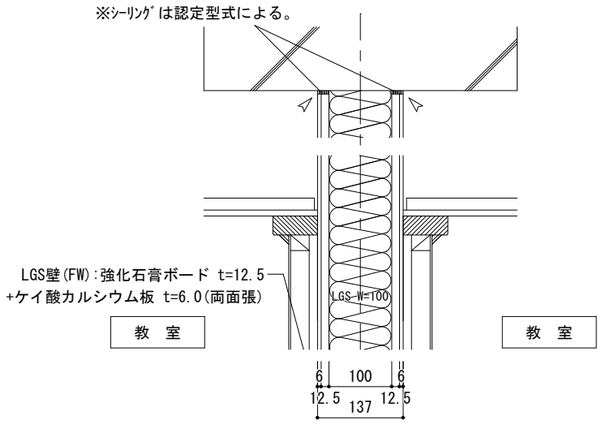


B-06 木製巾木(教室ー教室間) 1/4



一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	部分詳細図(1)	A1:1/2 A3:1/4	A－69
	鹿児島市建設局建築部建築課		

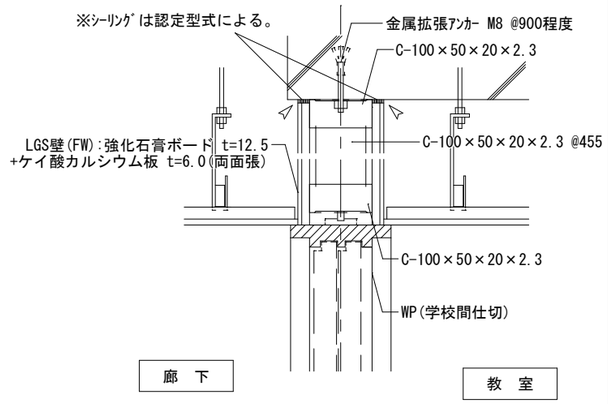
B-07 防火上主要な間仕切壁(教室ー教室間:天井面) 1/10



※主要間仕切壁の仕様は、認定書の構造方法等による。(メーカーにより異なる。)

※主要間仕切壁は、梁又はスラブまで上げること。

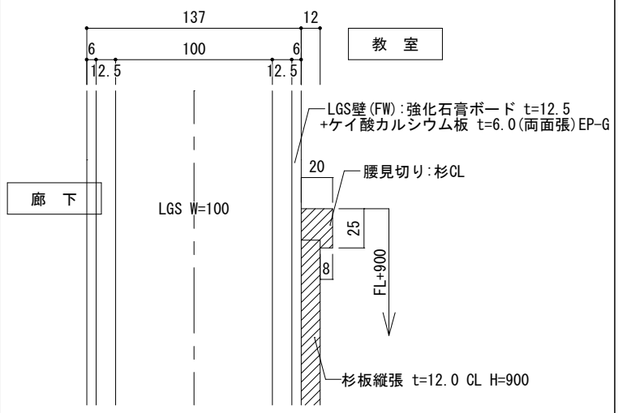
B-08 防火上主要な間仕切壁(廊下ー教室間:天井面) 1/10



※主要間仕切壁の仕様は、認定書の構造方法等による。(メーカーにより異なる。)

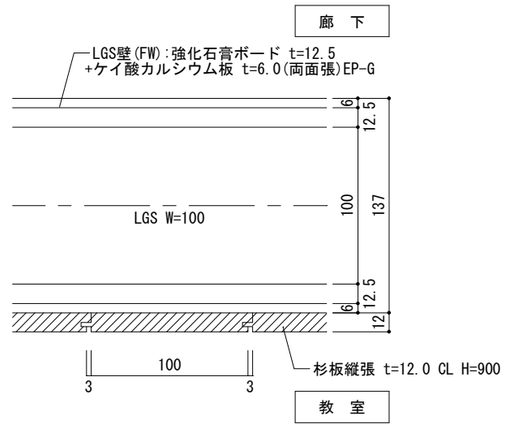
※主要間仕切壁は、梁又はスラブまで上げること。

C-01 杉板縦張り腰壁(廊下ー教室間:断面) 1/4



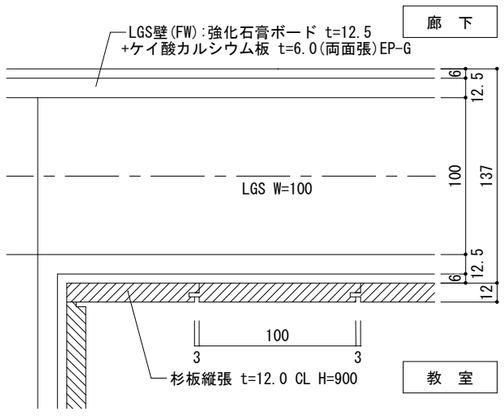
杉板縦張:杉羽目板t=12.0(本実)縦張の上CL

C-02 杉板縦張り腰壁(廊下ー教室間:平面) 1/4

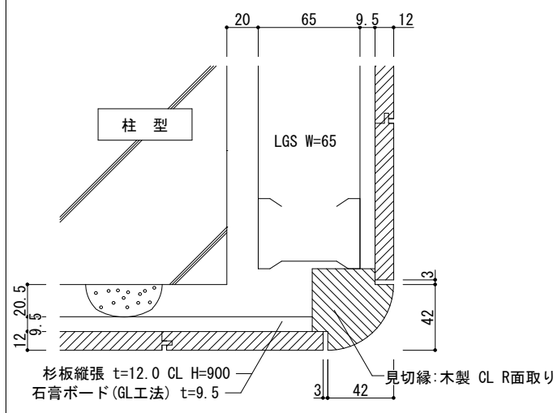


杉板縦張:杉羽目板t=12.0(本実)縦張の上CL

C-03 杉板縦張り腰壁(入角部:平面) 1/4

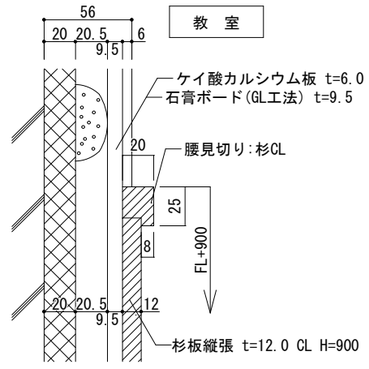


C-04 杉板縦張り腰壁(出角部:平面) 1/4

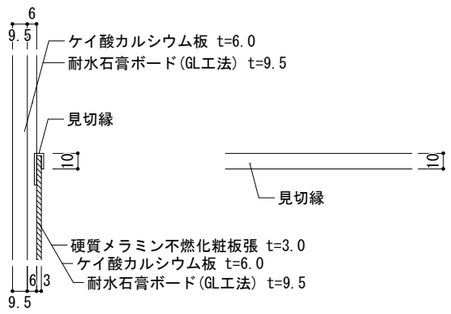


杉板縦張:杉羽目板t=12.0(本実)縦張の上CL

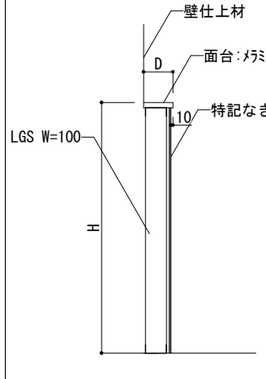
C-05 杉板縦張り腰見切り(外壁側) 1/4



C-05 トイレ部分見切縁:アルミ製ジョイナー 1/4

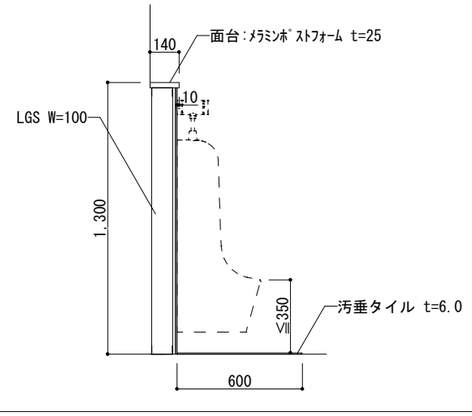


D-01 面台 1/30



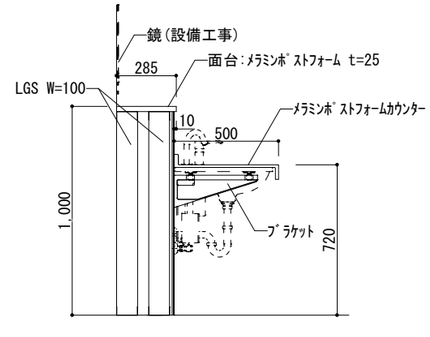
室名	位置	H	D
男子便所	大便器	1,200	140
	小便器	1,300	140
	SK	1,300	285
	洗面ｶｳﾝﾀｰ	1,000	285
女子便所	大便器	1,200	140
	SK	1,300	285
	洗面ｶｳﾝﾀｰ	1,000	285
バリアフリートイレ	大便器・洗面	1,200	140
廊下	流し台	1,125	140
配膳室	手洗器	1,200	285
フレンドシップ教室	流し台	1,125	140

D-02 面台(小便器) 1/30

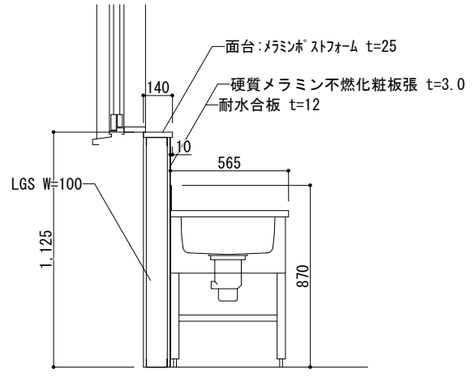


※小便器(設備工事)は低リップタイプとする。

D-03 面台(洗面カウンター) 1/30



D-04 面台(流し台) 1/30

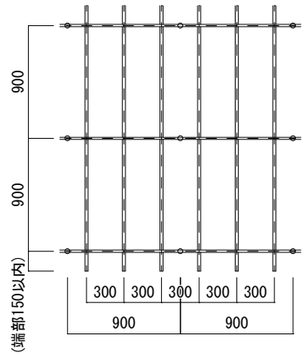


一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 部分詳細図(2) A1:1/2.15 A3:1/4.30 鹿児島市建設局建築部建築課	A－70

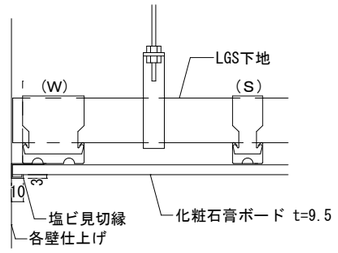
E-01 天井下地仕様

	吊りボルト 12φ(屋外) 9φ(屋内)	野縁(バー)受 亜鉛鉄板厚 1.6(屋外) 1.2(屋内)	ダブルバー(W) 亜鉛鉄板厚 0.8(屋外) 0.5(屋内)	ｼﾝｸﾞﾙﾊﾞｰ(S) 亜鉛鉄板厚 0.8(屋外) 0.5(屋内)	仕上材
捨張り用	@900以下	@900以下	1方向のみ @1,800	@300	岩綿吸音板
目地割 900×900			X、Y方向共 @900	@300	石膏ボード、石綿板、 フレキシブル板 ケイカル板、目地鋲共
目地割 900×1,800			X方向@1,800 Y方向@900	@300	
直張り用			1方向のみ @300	@225	岩綿吸音板
吹付下地			X、Y方向共 目地当り	@300 @225※	ジョイントボード張

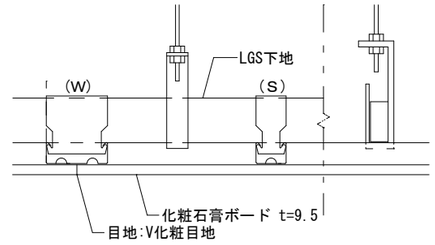
注) 1.ピッチ寸法は全て以内とする。 (※ひる石吹付の場合を示す)
2.ダクト等で吊ボルト@900以上とする場合は、ダクト下に吊ボルト受けの補強材を入れること。
3.天井面は水平加速度0.6Gに耐える様に壁際及び天井面の補強を施すこと。
4.外装天井の場合、耐風圧強度は±200kg/㎡とし、ブレース、圧縮材にて補強すること。
5.金属板天井材の締結には、ステンレス製ビス(@200以内)を使用する。
6.異種金属とす接する部分には、ジンクロメートル錆び止めペイント塗布のこと。



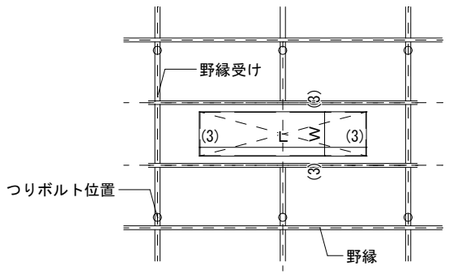
E-02 天井見切縁 1/6



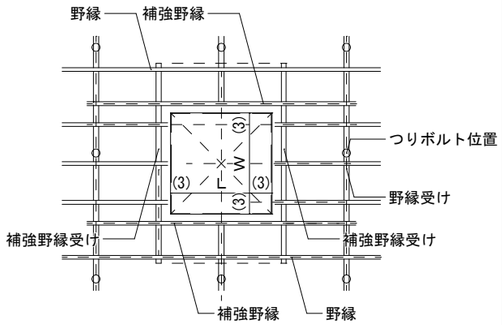
E-03 天井(一般部) 1/6



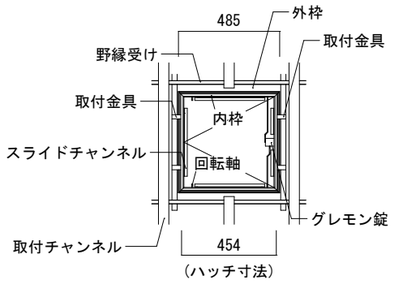
E-04 照明器具取付開口補強 1/30



E-05 天井開口補強 1/30



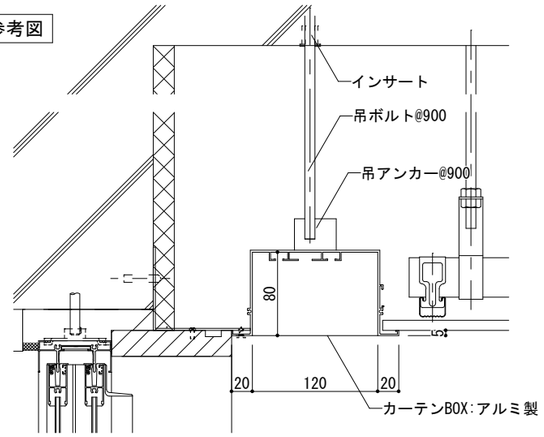
E-06 天井点検口(平面) 1/30



天井点検口(アルミ枠:450角)

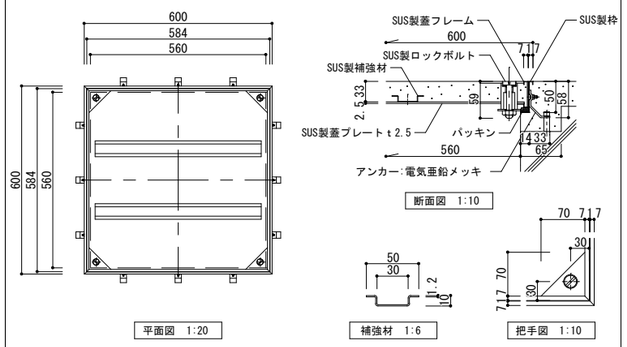
E-07 カーテンBOX 1/6

参考図

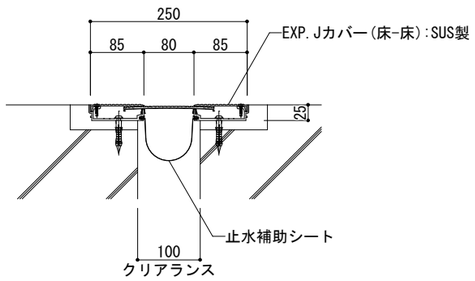


F-01 床下点検口 1/20

床ピット点検口

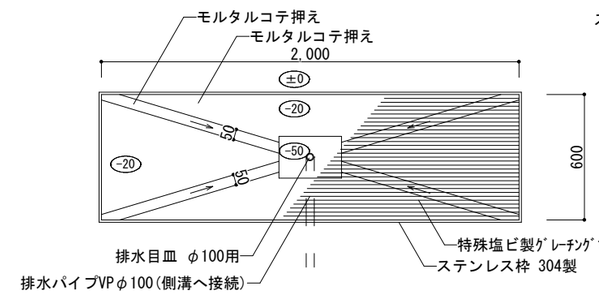


F-02 EXP.Jカバー(床-床) 1/10

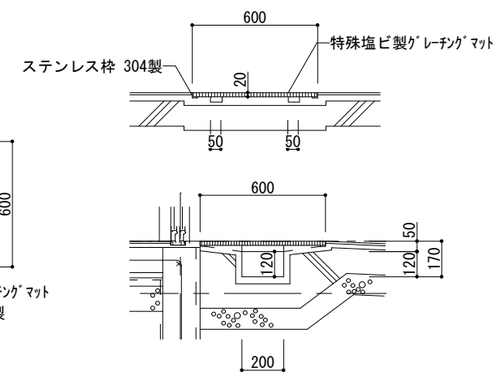


F-03 特殊塩ビ製グレーチングマット 1/30

参考図



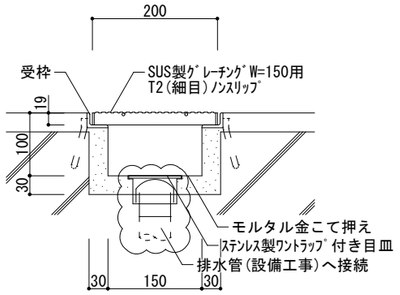
平面図



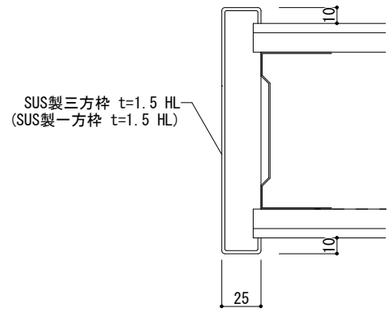
断面図

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	部分詳細図(3)	A1:1/3,5 10,15 A3:1/6,10 20,30	A－71
	鹿児島市建設局建築部建築課		

F-04 配膳室 排水ピット 1/10

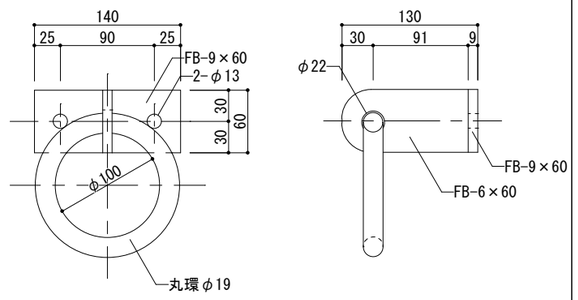


F-05 三方枠、一方枠 1/4



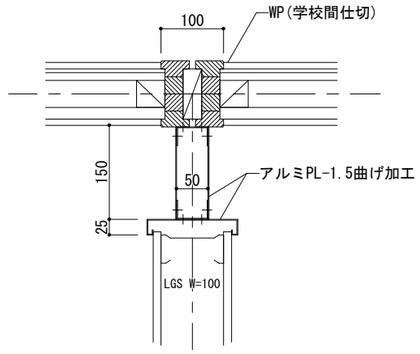
SUS304 HL

F-06 ステンレス丸環 1/6

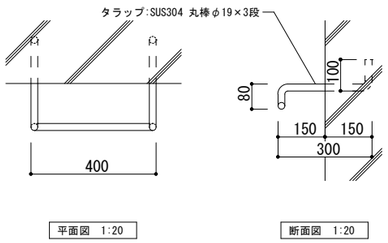


SUS304 鏡面仕上

F-07 間仕切壁接合部 1/10

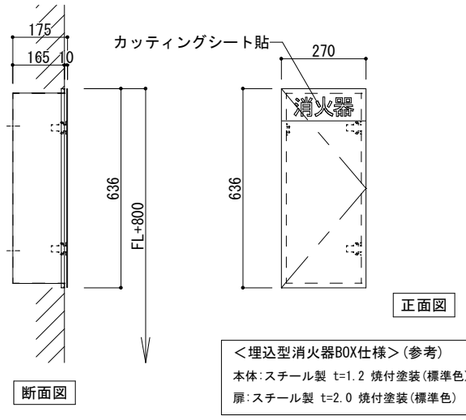


F-08 タラップ 1/20



F-09 埋込型消火器BOX 1/20

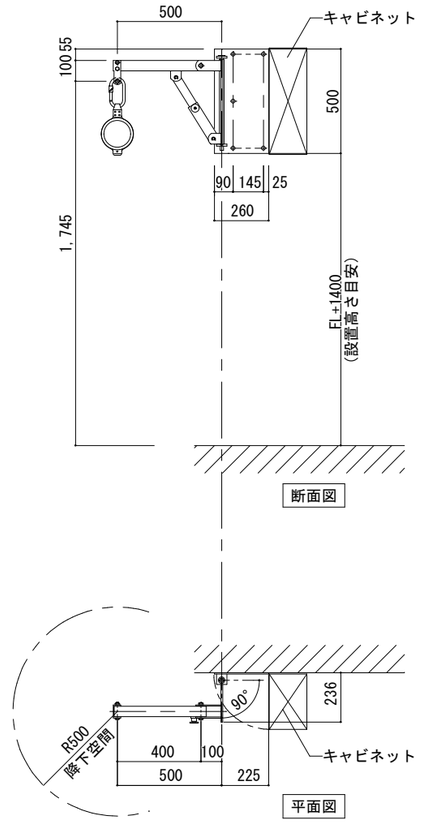
参考図



＜埋込型消火器BOX仕様＞(参考)
本体:スチール製 t=1.2 焼付塗装(標準色)
扉:スチール製 t=2.0 焼付塗装(標準色)

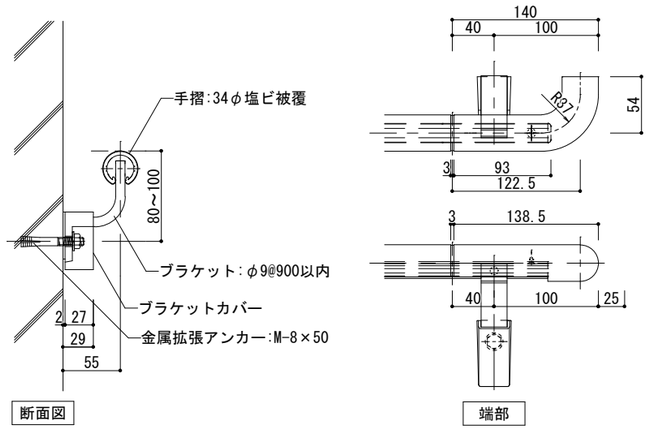
F-12 緩降機 1/30

参考図



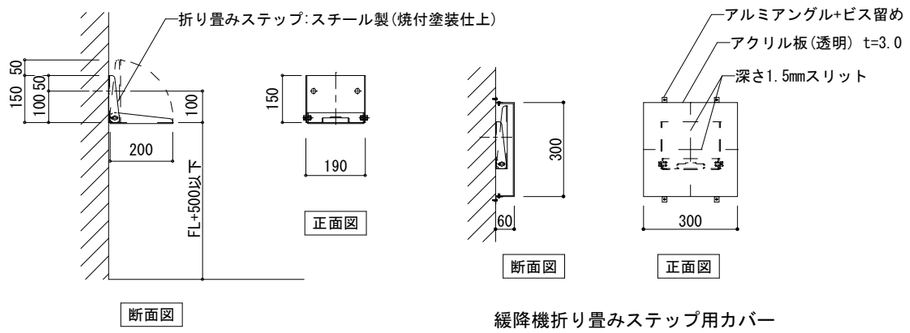
F-10 階段手摺 1/6

参考図



F-11 緩降機折り畳みステップ 1/20

参考図

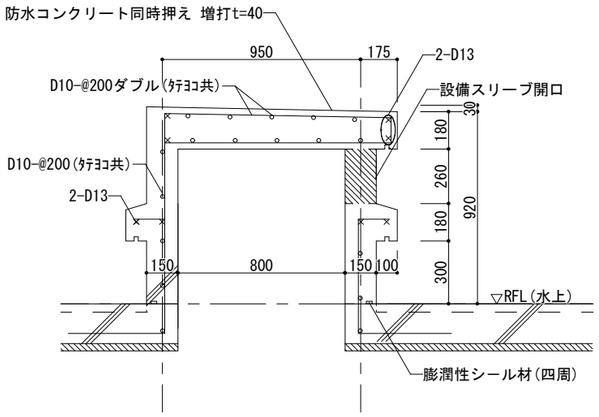


緩降機折り畳みステップ用カバー

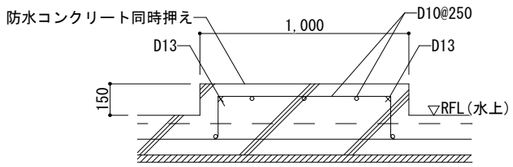
※緩降機折り畳みステップ用カバーは、緊急時、大人が蹴ったら簡単に割れる
仕様とする。

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	部分詳細図(4)	A1:1/2,3,5,10,15 A3:1/4,6,10,20,30	A－72
	鹿児島市建設局建築部建築課		

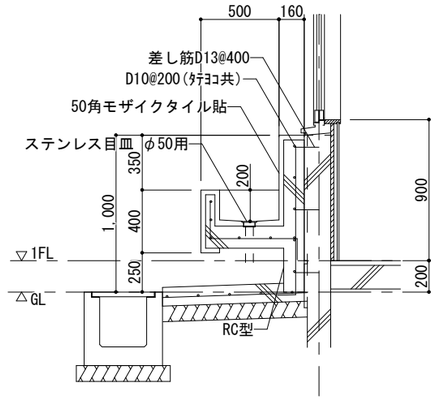
G-01 ハト小屋 1/30



G-02 消火用補給水槽基礎 1/30

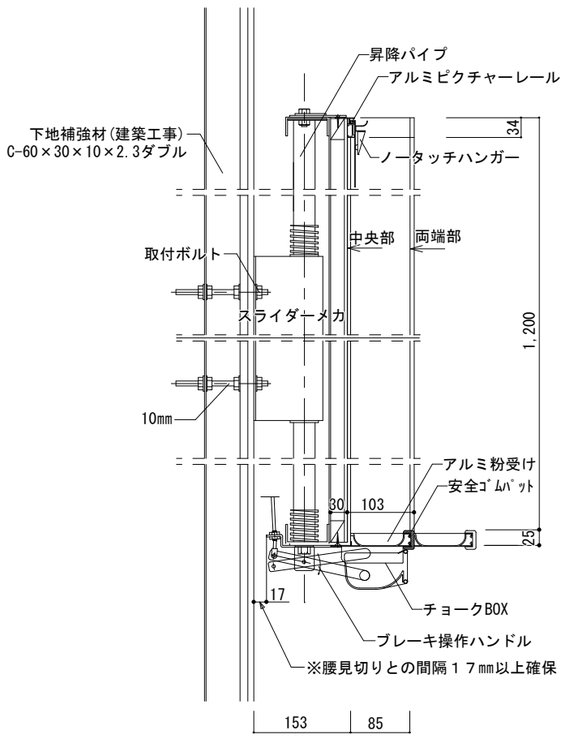


G-03 水飲場 1/40

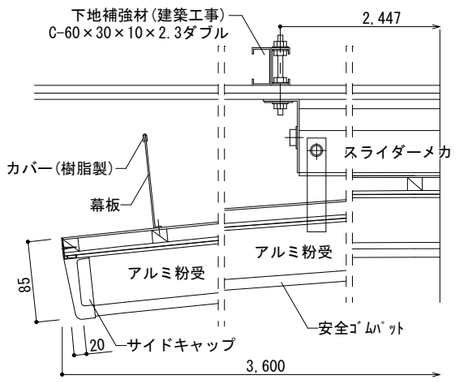


H-01 ＵＤ曲面黒板 1/60

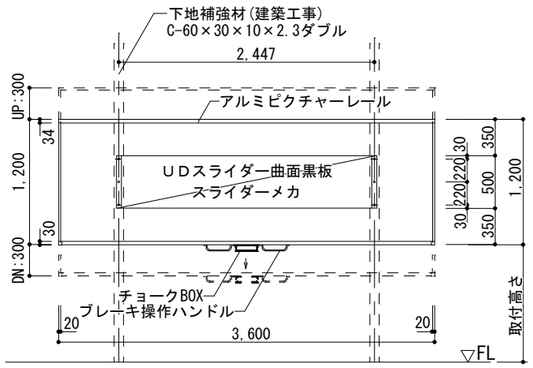
参考図



断面図 No scale



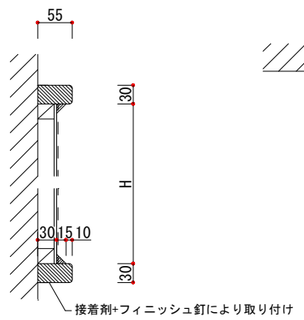
平面図 No scale



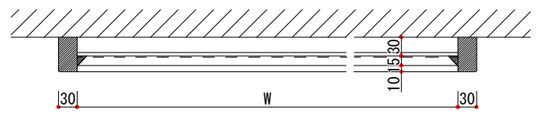
※黒板面材はスチール製ホーロー仕上(暗線入)とする。
※枠:アルミ押出型材

正面図 S:1/60

H-02 掲示板 1/10



断面図

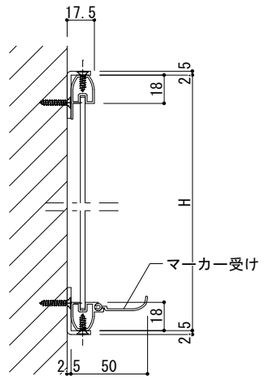


平面図

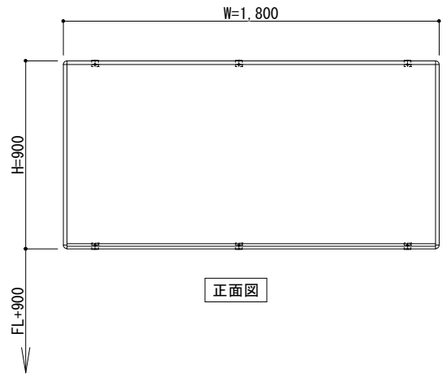
1. 表面　難燃性表面材(掲示クロス)貼り
   下地　ソフトベニヤt5.5
   枠:面取りをする
2. 補強桟:木製　仕上寸法26×24
   (JAS S1等品)タテ、上下@300
   枠:木製　防腐防蟻材塗り CL塗り　面取りをする
3. 壁板、地板の接着剤はJIS S6040 4種合成ゴム系
   接着剤使用
   塗装板寸法(※部分)は各メーカーにより多少の相違
   のあるものとする

H-03 白板 1/10

参考図



断面図

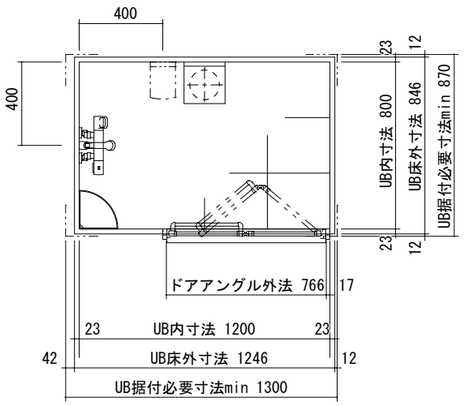


正面図

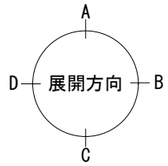
＜ホワイトボード仕様＞(参考)
フレーム:アルミニウム押出成型品
基板材:スチール複合板 t=3.0(マグネット仕様)
幕面:塩化ビニール/フッ素フィルム
その他:附属品一式

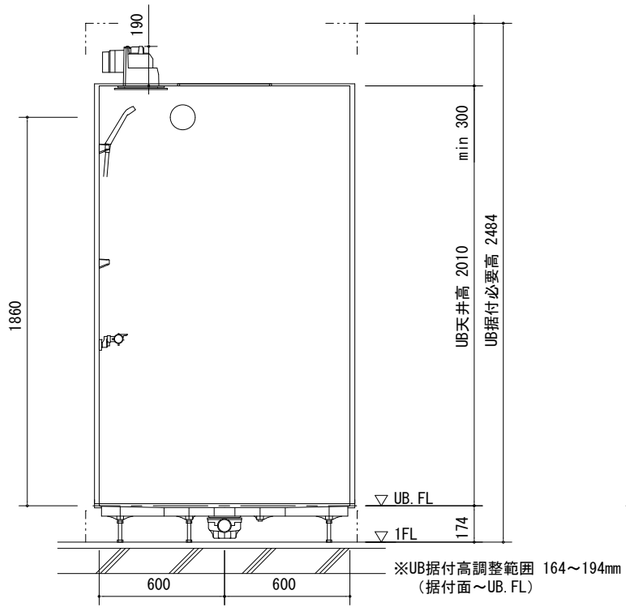
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	部分詳細図(5)	A1:1/5,15,20,30 A3:1/10,30,40,60	A－７３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

部位／項目	仕様（寸法単位：mm）	壁穴加工
床	FRP　単色 模様付	
壁	Lパネル(ベーシッククラス)	
天井	化粧鋼板複合パネル	
ドア	折り戸：アルミアルマイト処理 面　材：型板調樹脂板	
水栓金具	壁付シャワー水栓 シャワー：エコフルシャワー	
シャワーフック	樹脂製　2個	現場開口
照明	スリム照明(防湿型) LEDランプ 1灯	
収納	コーナー棚　2段　樹脂製	現場開口
換気扇	天井換気扇	
トラップ	ABS樹脂製 封水50mm	
給水管	Rc1/2　めねじ止	
給湯管	Rc1/2　めねじ止	
雑排水管	塩ビ管　VP50	
設置場所	職員更衣休憩室(男)、職員更衣休憩室(女) ※職員更衣休憩室(女)は本図平面図の左右反転。	

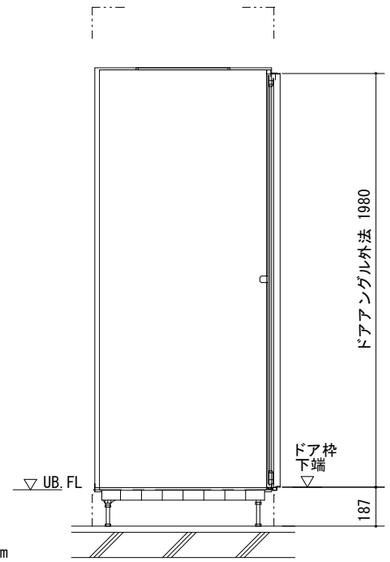


平面図　S＝1/30

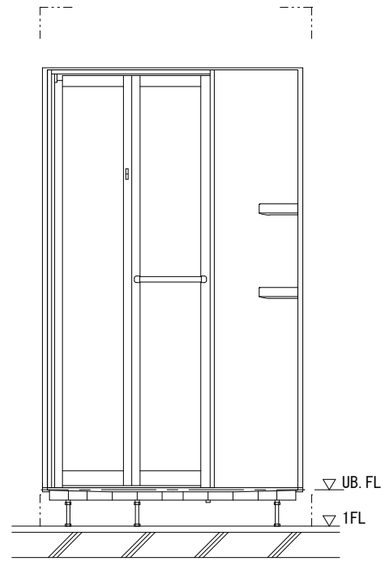




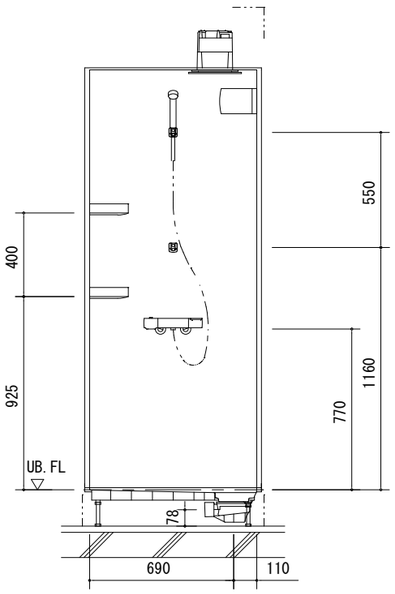
A面



B面



C面



D面

展開図　S＝1/30

参考図

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	シャワーユニット詳細図　A1:1/15　A3:1/30	A－７４
	鹿児島市建設局建築部建築課	

エレベーター仕様

基本仕様	号機名		NO. 1
	型式		機械室レス標準型エレベーター
	用途		乗用兼車いす用
	定格積載質量/定員		750kg/11人乗
	定格速度		45m/min
	運転方式		乗合全自動方式（乗り捨て方式）
	制御方式		インバータ制御方式（マイコン制御）
	停止階		4箇所（1~4 階）
	かごサイズ		間口1400mm　奥行1350mm　天井高さ2250mm
	出入口寸法		幅800mm　高さ2100mm
	戸型式		2枚戸中央開き
	電動機		AC 3.5kW
	動力用電源		AC 3φ 210V 60Hz
	照明用電源		AC 1φ 100V 60Hz
	連絡装置 設置場所		同時通話式インターホン 設置場所：（　　）
	監視装置		リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約をしていただく必要があります）
管制運転	地震		有り（P波およびS波感知）（リスタート機能付）
	火災		有り（火報と連動した接点による自動式）
	停電		有り
	自家発		無し
乗場仕様	三方枠	1~4階	大枠 ステンレスヘアライン仕上
	乗場戸	1~4階	鋼板塗装仕上
	幕板	1~4階	無し
	敷居	1~4階	ステンレス製
	ホールランタン	1~4階	無し
	インジケーター	1~4階	縦型デジタル表示 カバー：ステンレスヘアライン仕上
	ホールボタン	1~4階	抗菌凸文字ボタン（φ45）（ＳＩＡＡ認証） インジケーターに組込
かご仕様	天井		スタンダード（メーカー標準）（　　天井照明色：白色）
	前側板		化粧鋼板
	側板		化粧鋼板
	戸		化粧鋼板
	出入口上部		化粧鋼板
	床		樹脂タイル（2T）
	幅木		化粧鋼板（アルミナムシルバー）
	敷居		ステンレス製
	操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（ＳＩＡＡ認証）
		カバー	ステンレスヘアライン仕上
	インジケーター		カラー液晶表示（背景色：白）操作盤に組込
	車いす用操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（ＳＩＡＡ認証）
		カバー	ステンレスヘアライン仕上
	気くばり操作盤	ボタン	無し
		カバー	無し
	鏡		ステンレス製
	ハンドレール		ステンレスパイプ：ステンレスヘアライン仕上　　（2方向）
監視盤			無し
耐震クラス			A14

遮煙性能付乗場戸設置上の条件

・遮煙性能付乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。
　設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性能付乗場戸設置階の
　エレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器設置し、
　火災感知信号を自動火災報盤を介してエレベーター制御盤に供給してください。

特定防火設備：防犯窓ガラス設置不可（防犯あみ入りガラス窓付きの場合は防火設備となります）

耐震クラス：Ａ１４

ガイドレール部分荷重（N）	かご側		ウェート側	
	ＰＸ	ＰＹ	ＰＸ	ＰＹ
NO. 1	4800	2900	7550	3800

注）上記荷重により柱及びはりのたわみは
５mm以下になるよう部材を設計下さい

地震時建物に掛る荷重

特記仕様

NO. 1
昇降機技術基準の解説 2016年版対応
ピット冠水退避運転（基本仕様）
可変速機能付
音声案内装置付（緊急時4ヵ国語）
防振対策付
遮煙性能付乗場戸（　大臣認定品　）（火災、停電付）（1~4階）
点字注意銘板付（模型）
車いす仕様付
視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
運転休止スイッチ（1階に取付）
インジケーターに全階休止灯付
戸当り目地付（かご戸）　（ひも挟まれ検知機能用）
フェッシャプレート付
昇降路内同軸ケーブル付（昇降路外は電気工事）
車いす呼び戸開き時間延長
一般呼び戸開き時間延長
発音式ボタン（かご）
非常放送・一般放送用スピーカー付（かご天井上）
スピーカー用アッテネータをかご上に設置
ひも挟まれ検知機能付（3mm以上のひも検知仕様）
かご内荷摺り（ステンレスヘアライン仕上、床から H=300mm）
かご側板保護マット（高さ：床面から1800mm　　（取付範囲は荷摺り上端から）　）付
かご床マット付
かご内操作盤スイッチボックス内の波型スイッチによるサービス切離（各階個別）　（乗場全階）
インジケータ組込キースイッチによる特定階乗場呼び一時登録（乗場全階）
公共建築工事標準仕様書（R4）適用
煙感知器点検扉用ドアスイッチ付
4mレール使用
ステンレス材一式：ＳＵＳ３０４
多光軸ドアセンサー（お知らせサイン付）
乗り場側利用者検知機能付
かご戸袋引き込まれ低減機能付
空気清浄機能付（イオン発生機能同等品）
戸開き時間延長ボタン付

・三方枠が大枠の場合、枠幅が300mm、幕板高さ1250mm以上を超える時は別途見積りとなります。
・工事使用有：１０日未満（１０日以上使用の場合、また積載量：１０００ｋｇ以上場合は別途見積りとなります）
・エレベーター出入口側の壁がＡＬＣの場合、エレベーター機器と干渉しないよう、
　ＡＬＣ留め金具がエレベーターシャフト側へ出張らないよう施工お願いします。

電気設備

号機名	NO. 1			
動力用電源	AC 3φ 210V 60Hz 5.5mm² ×1回路（CV）/台			
	線サイズ（mm²）	3.5	5.5	8
	最大引込距離（m）	32	51	74
	ＭＣＢ容量	40A/台		
	トランス容量	4kVA/台		
	起動KVA	14kVA/台		
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz 5.5mm² ×1回路/台			
アース線	3.5mm²（D種）/台			
インターホン用配管配線	FCPEV0.9-5P/台（200mまで）			
リモートメンテナンス用配管配線（電話線）	CPEV0.9-1P、配管サイズφ25/台（MDF～昇降路間）			
ピット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上×1個/台 （最下階FL+200の出入口付近に設置）			
火災報知信号無電圧a接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V　接点容量1A以上/台			
一般兼非常放送用スピーカー用配管配線	HP1.2－3C/台			
防犯カメラ用配管配線（昇降路外）	同軸ケーブル 5C-2V/台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で引込み			

労基法適用（本設用）：　有（設置届・設置報告）・ 無

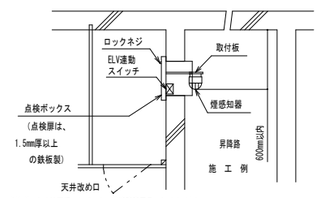
標準型エレベーターの荷役制限について

・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

工事区分

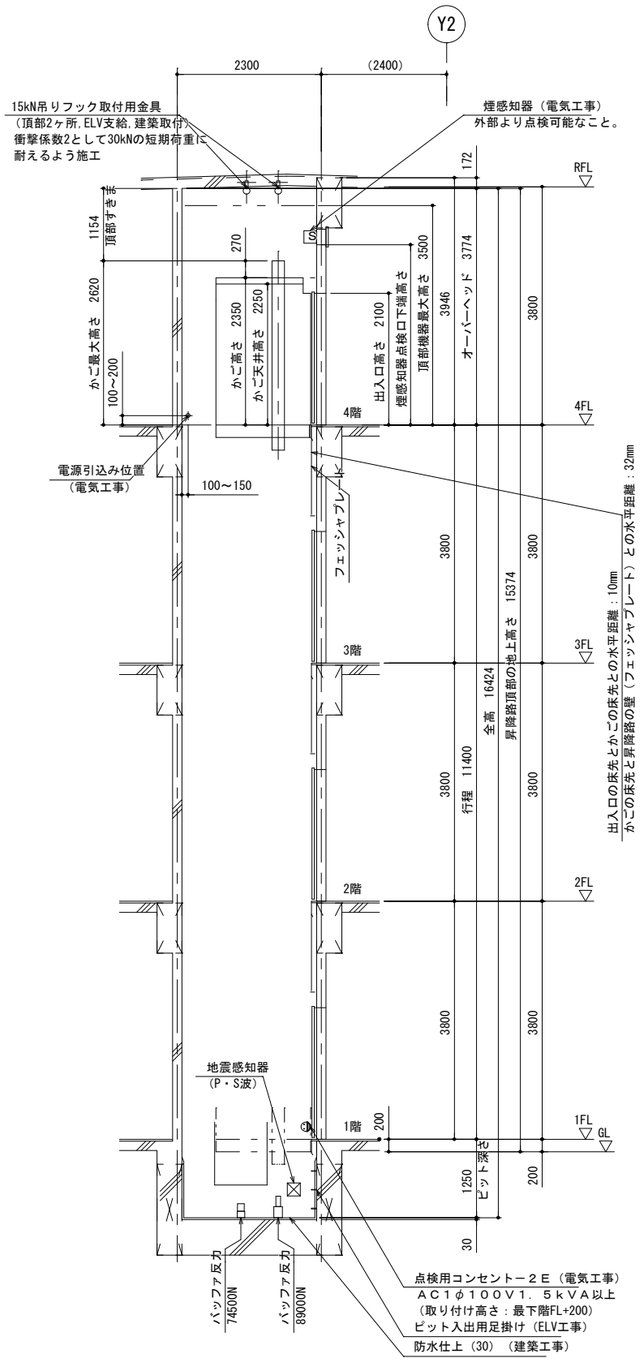
号機名	NO. 1				
	項目	工事名	建築	電気	空衝	ELV
昇降路	1	昇降路の築造と誤差修正工事 1）壁または囲いは隙間なきものとする 2）昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の5cm²の面に 　これと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合 　において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3）コンクリート厚さは150mm以上とする 4）コンクリート基準圧縮強度 21N/mm²以上とする	○			
	2	各階出入口床の敷居取り付け用かき込み または敷居受け持ち出し工事	○			
	3	各階出入口まわり壁の穴あけ工事 （出入口、ホールボタン、インジケータ、ホールモニターなど）	○			
	4	エレベーター据付後の出入口壁 および床その他建築仕上及び補修工事	○			
	5	三方枠、インジケータなどと壁間の防火区画処理	○			
	6	三方枠、インジケータなどと壁間のすきま塞ぎ工事 （ふさぎ板またはラス材）				○
	7	ピット内防水仕上工事（ピット仕上面の水平度は1/200以下）	○			
	8	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合の ピット開仕切り工事（H=1800以上）	○			
	9	オーバーヘッド・ピット寸法が図面と異なる場合の はつり・埋め戻し工事	○			
	10	ピット点検用タラップまたは梯子の設置工事				○
	11	ピット点検用コンセント設置工事（1ヶ/台）		○		
	12	インターホンならびにその他の機器（放送（一般・非常） 自家発商用電源識別接点・火災時管制用接点・防犯カメラ等）用 配管、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	13	昇降路最上階の受電制御盤への動力電源、照明用電源および アース線の引き込みならびにつなぎ込み工事 （配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	14	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事 （監視盤配置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み）		○		
	15	昇降路頂部の煙感知器の設置工事（昇降路外部から保守点検可能な構造） （点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製）		○		
	16	昇降路頂部の煙感知器点検扉ELV連動停止スイッチ取付				○
	17	リモートメンテナンス用として電話中継盤から 昇降路最上階までの配管（最小直径25mm）、配線工事 （配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	18	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端が 125mm以上離れる場合のフェッシャプレート取付用下地設置工事	○			
	19	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端 が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事				○
	20	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事		○		
	21	昇降路頂部への吊りフックの設置工事	○			
	22	昇降路内への中間ビーム設置工事（コンクリート階）				○
	23	PC構造に於けるインサート埋め込み工事またはプレート設置工事	○			
	24	不停止階の昇降路救出口扉の設置工事（施行令129条の7の1による）	○			
	25	かごドレン式クーラー設置時のピット排水管工事	○			
	26	昇降路内温度が40℃超過の場合のガラリ設置工事	○			
	27	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事		○		
	28	昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事			○	
その他	1	エレベーター部品搬入経路の確保 （必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事）	○			
	2	エレベーター重量部品搬入の際の仮設揚重機の賃与	○			
	3	エレベーター据付工事員現場詰所および材料置場の確保	○			
	4	エレベーター据付工事用電力の供給（動力用および照明用電源）	○	○		
	5	エレベーター運転調整用電力の供給 （動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに 本設電源配管経路で引き込み）	○	○		
	6	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの 電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事		○		
	7	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事	○			
	8	昇降路内建築工事仮設床（水平養生）用の 金網・デッキプレートなどの撤去工事	○			
	9	エレベーター着工前の各階出入り口開口部の塞ぎ材支給および施工	○			
	10	出入口が直接外気と接する乗場における雨水よけ工事 （庇、水切り等）	○			
	11	昇降路内仮設足場の設置および解体工事	○			
	12	エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し	○			
	13	昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事	○			
	14	ALC継目の補修、コンクリート型枠抑え用セパボルト（Pコン） の撤去	○			
	15	非常用エレベーター全階乗場への避難経路板設置工事	○			
	16	非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工	○			
	17	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事		○		

煙感知器施工例



点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品としてください。
・ホーチキ　（KJS-1C）
・能美防災　（FXS J001A-HU）
・ニッタン　（NID-T-G）
・パナソニック（BV95351+BV95381R）
（点検扉またはラス材）

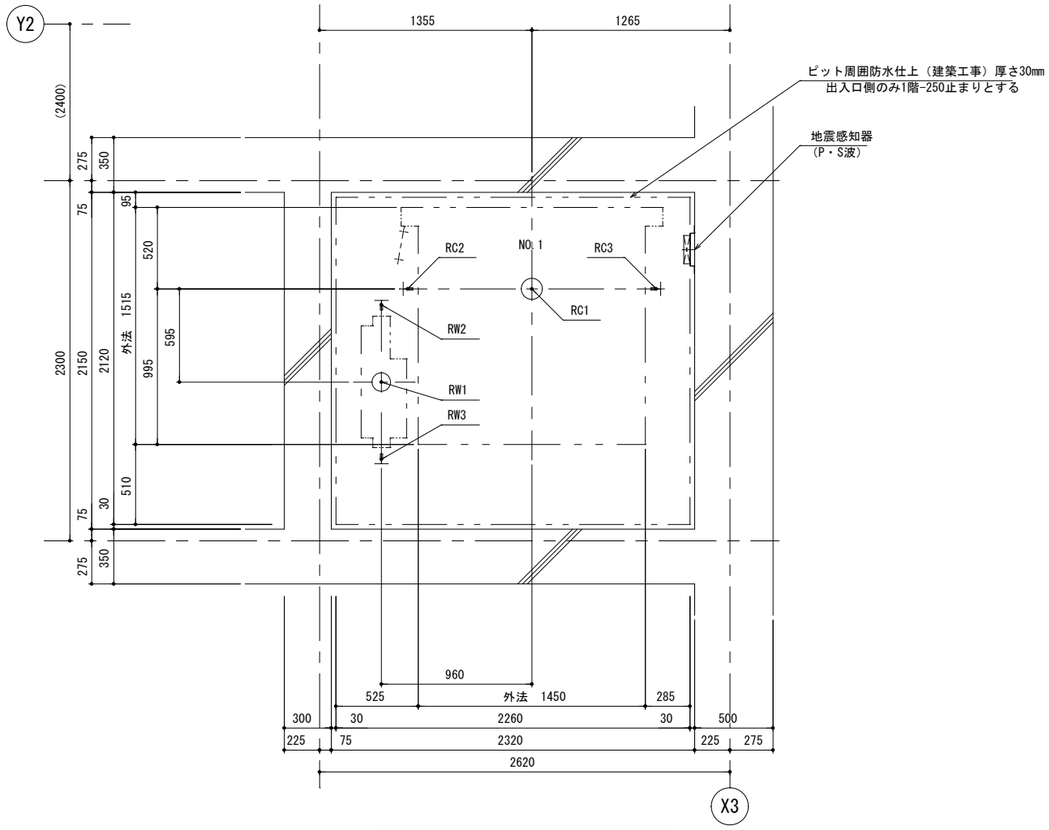
・煙感知器取付高さがかご天井高さ+1800mmを超える場合は当社技術員に
　ご相談ください。
・エレベーター出入口側に煙感知器を設置する場合はかご出入口機器と干渉する
　恐れがあるので事前にご相談ください。



NO.1 昇降路断面図（1：100）

参考図

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	エレベーター詳細図(1)　A1：1/50　A3：1/100	Ａ－７５
	鹿児島市建設局建築部建築課	

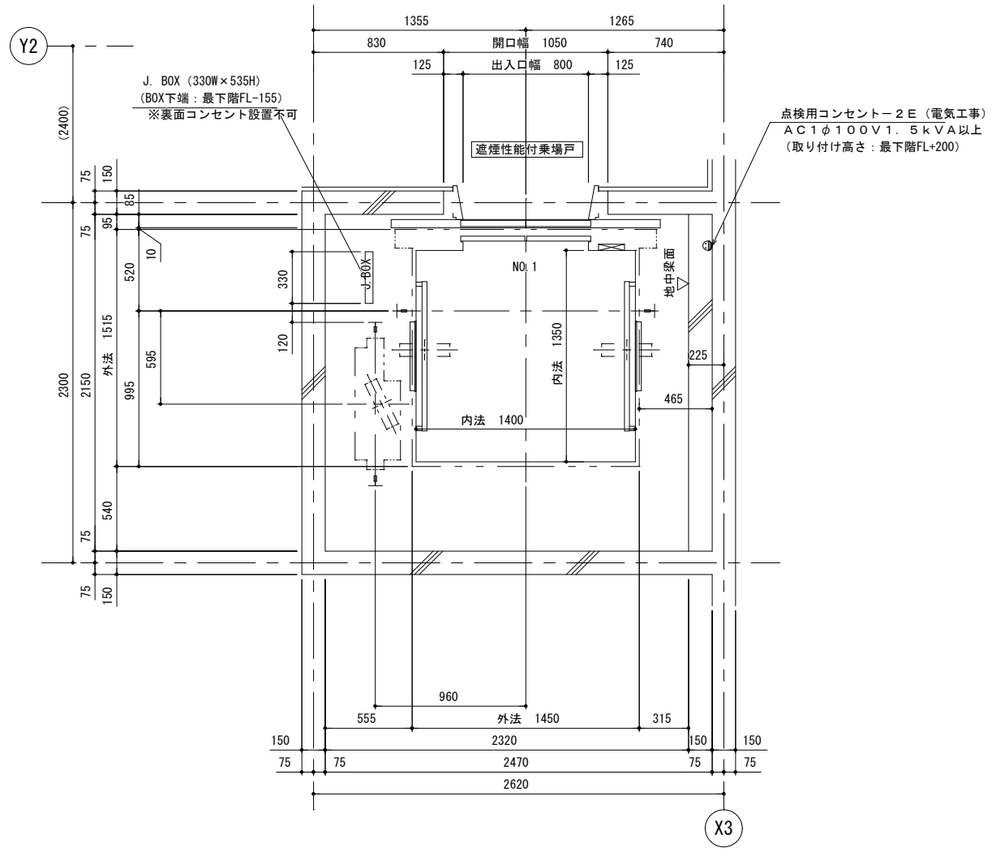


ピット平面図（1：40）

ピット反力値（N）

	短期荷重		長期荷重			
号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO.1	89000	74500	6000	26000	40000	29000

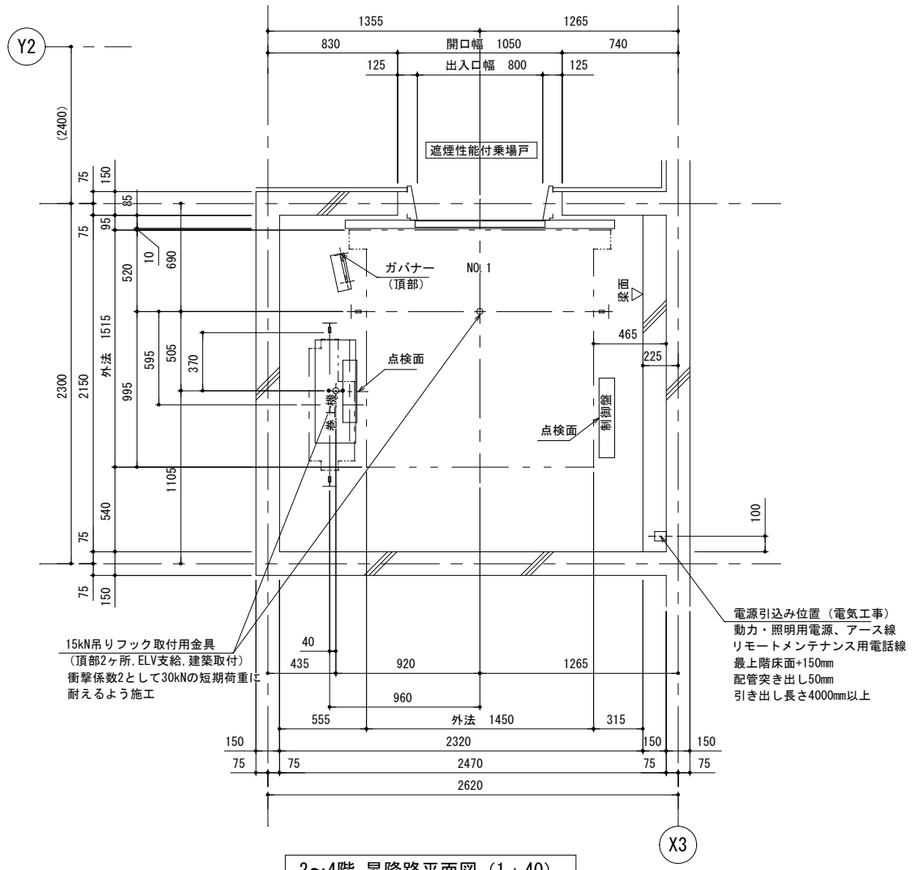
コンクリート厚さは150mm以上とする
コンクリート基準圧縮強度21N/mm^{2}以上とする



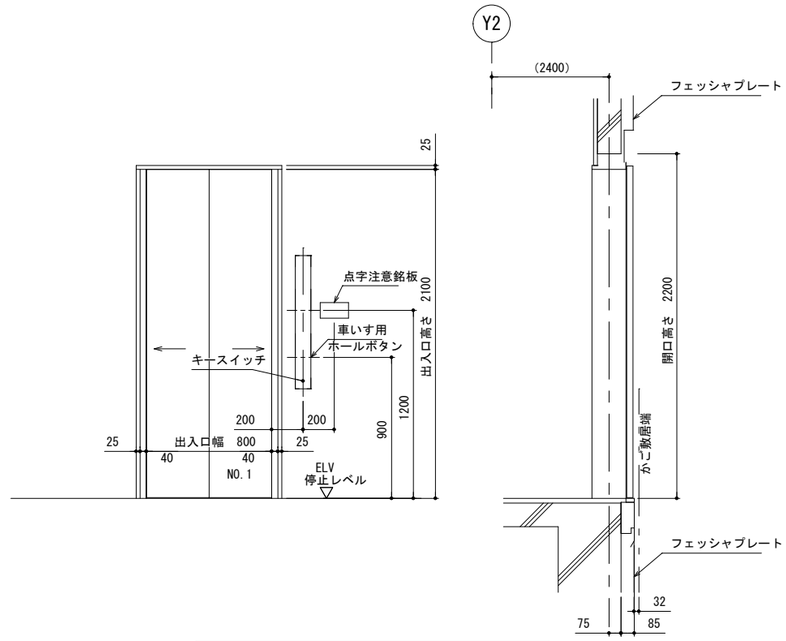
1階 昇降路平面図（1：40）

参考図

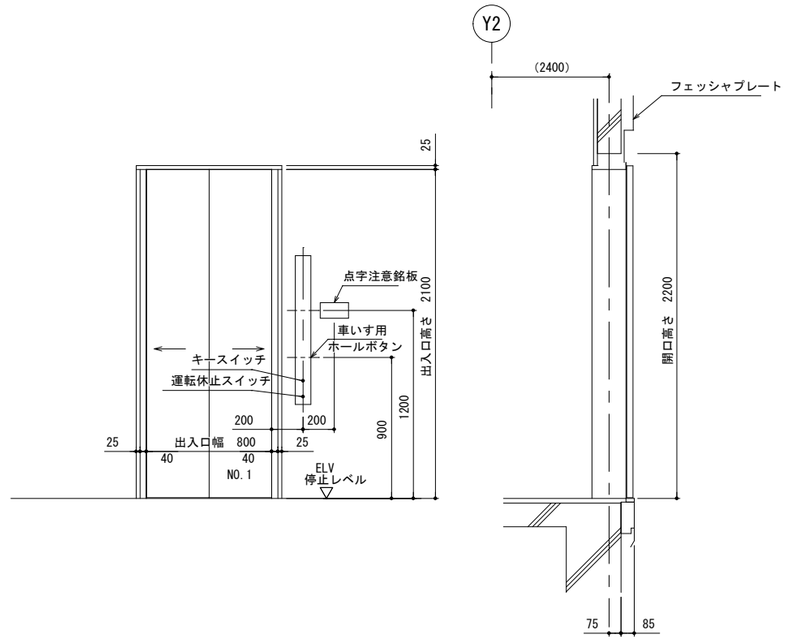
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	エレベーター詳細図(2)	A1:1/20 A3:1/40	Ａ－７６
	鹿児島市建設局建築部建築課		



2～4階 昇降路平面図 (1：40)



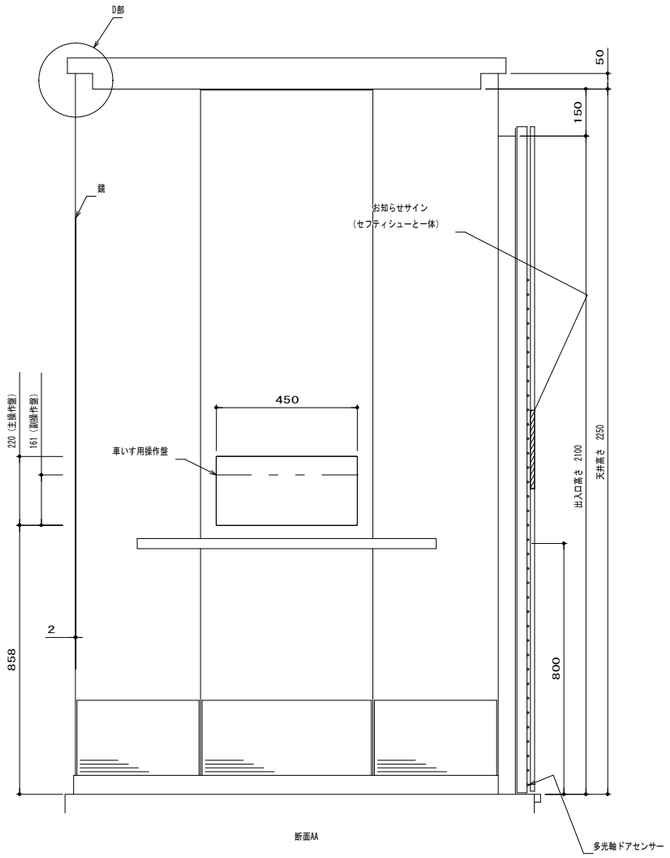
2～4階 出入口正面及断面図 (1：40)



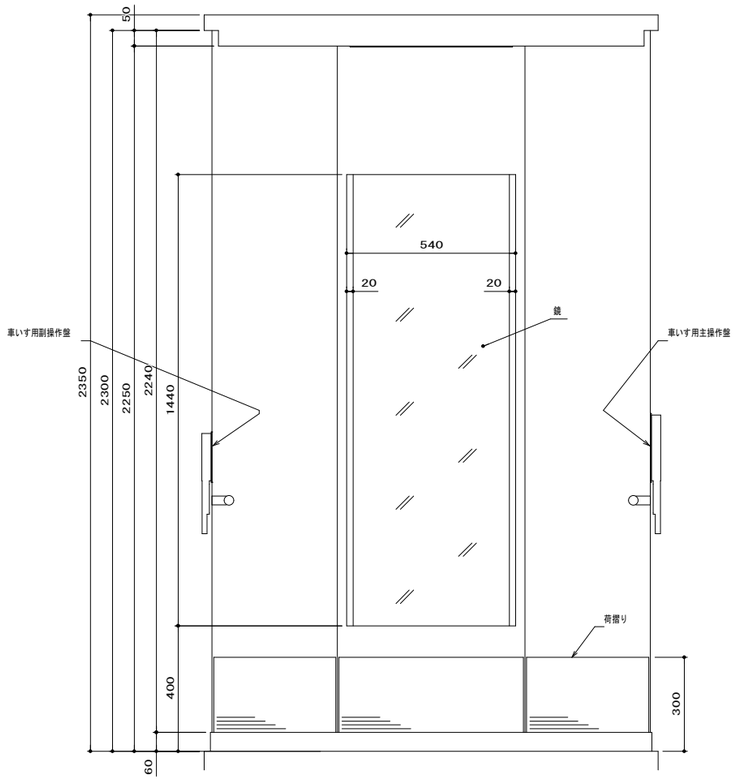
1階 出入口正面及断面図 (1：40)

参考図

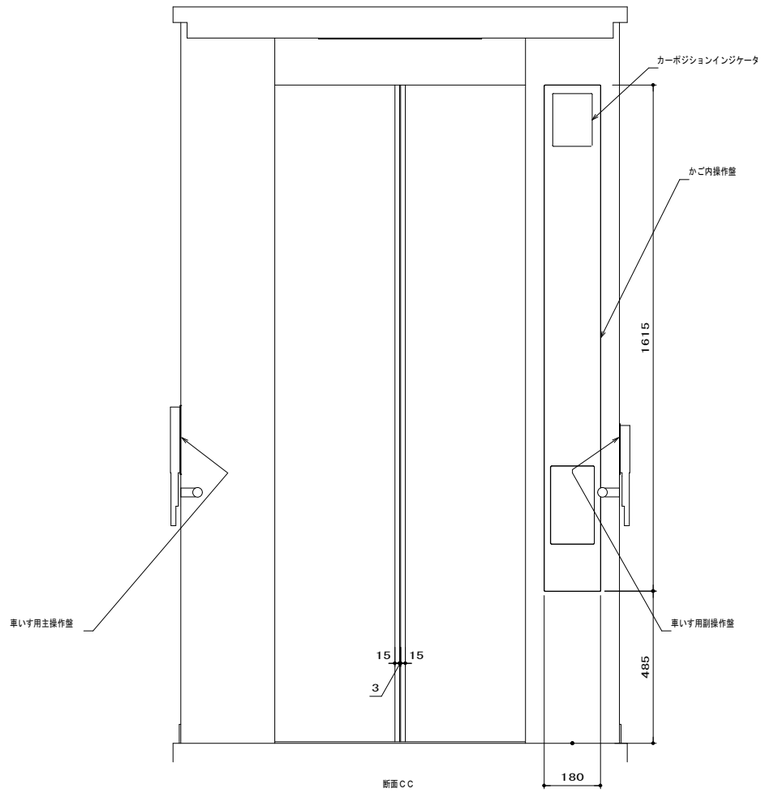
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	エレベーター詳細図(3)	A1:1/20 A3:1/40	A－７７
	鹿児島市建設局建築部建築課		



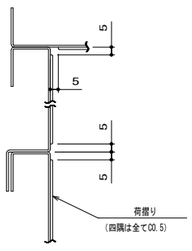
断面AA



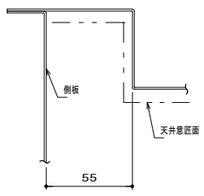
断面BB



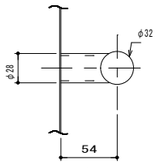
断面CC



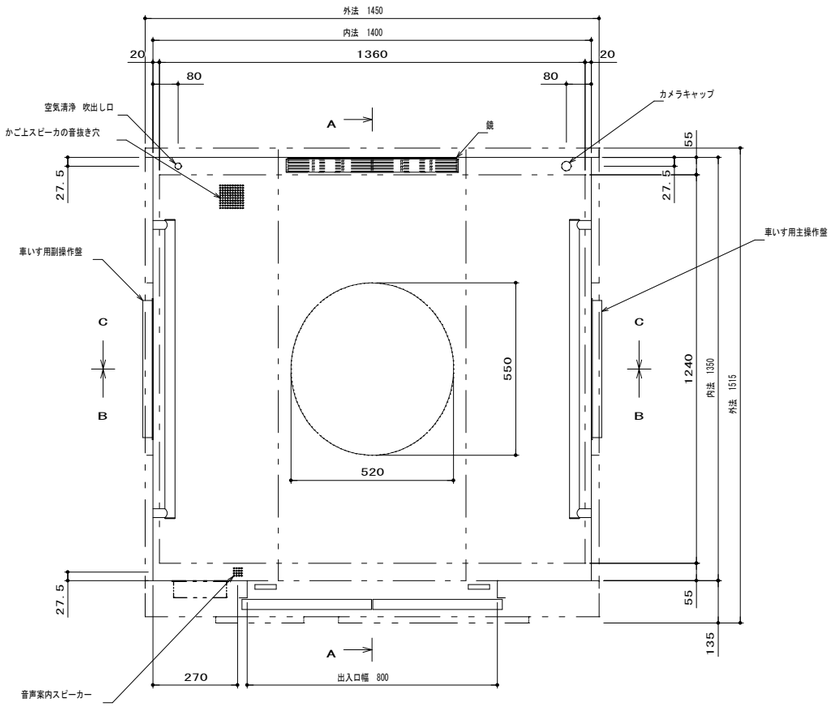
側板コーナー及び中間継目詳細（1：4）



D部詳細（1：4）



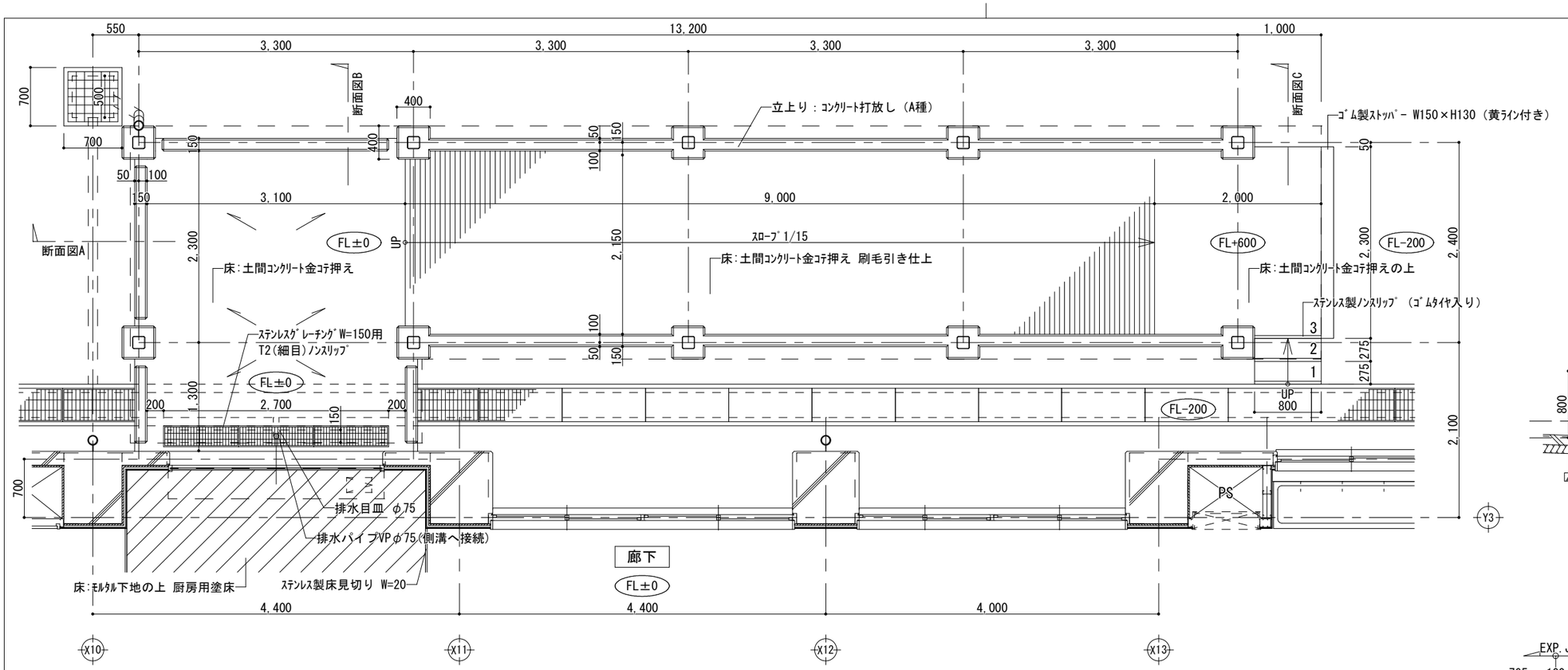
ハンドレール取付部詳細（1：6）



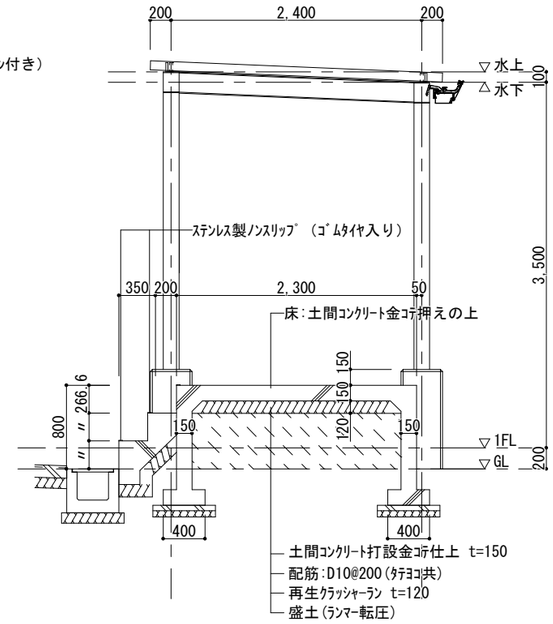
品　名	仕　様
前側板，出入口上部枠	化粧鋼板
幅　木	化粧鋼板（アルミナムシルバー）
側板，戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照　明	乳白色アクリルカバーLED照明 （天井照明色：白色）
停電灯	LED
換　気	ファン
床	樹脂タイル（2T）
敷　居	ステンレス製
鏡	ステンレス鏡面（両脇ヘアライン仕上）
ハンドレール	ステンレスパイプ（ヘアライン仕上）
光電装置	多光軸ドアセンサー（お知らせサイン付）
天井換気ルーバー， カメラキャップ	ABS樹脂
荷摺り	ステンレスヘアライン仕上（床から300mm）
付属品	車いす仕様付，視覚障がい者仕様付
	ひも挟まれ検知機能付（3mm以上のひも検知仕様） （かご戸当り部にステンレスヘアライン仕上 フォーミング目地付）
	乗り場側利用者検知機能付，かご戸袋引き込まれ低減機能付
	空気清浄機能付（イオン発生機能同等品），音声案内装置付
	非常放送・一般放送用スピーカー付
	かご側板保護マット付，かご床マット付

参考図

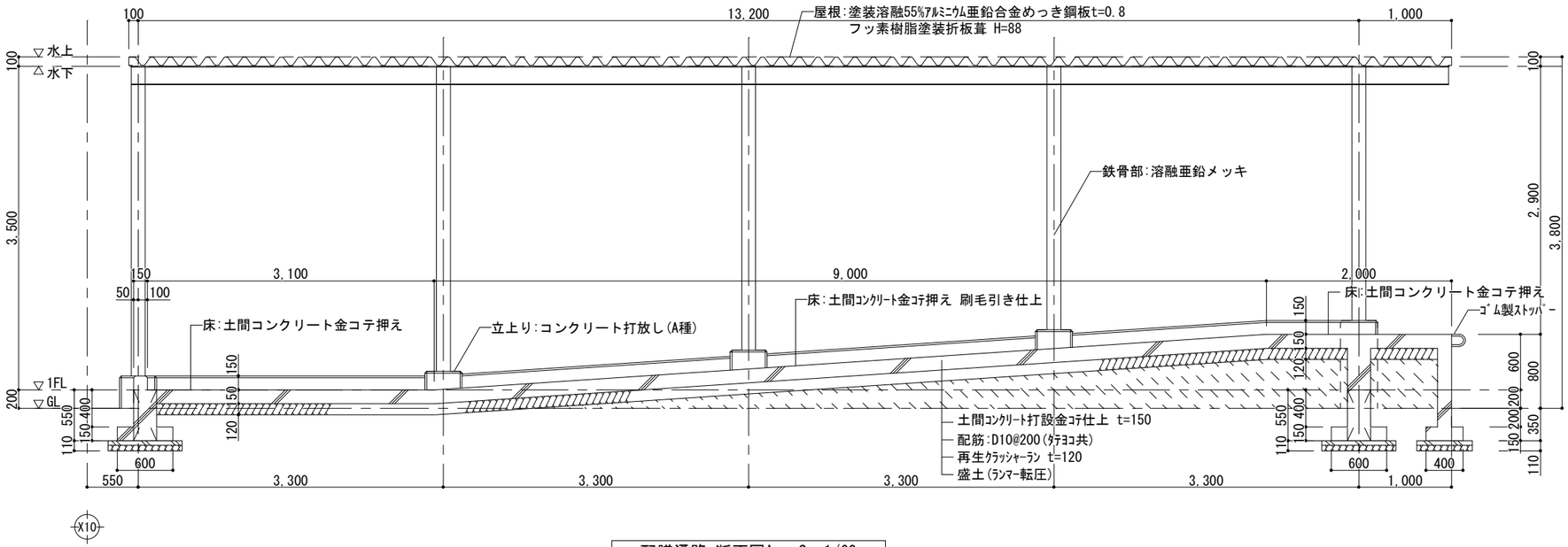
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	エレベーター詳細図(4)	A1：1/10 A3：1/20	A－７８
	鹿児島市建設局建築部建築課		



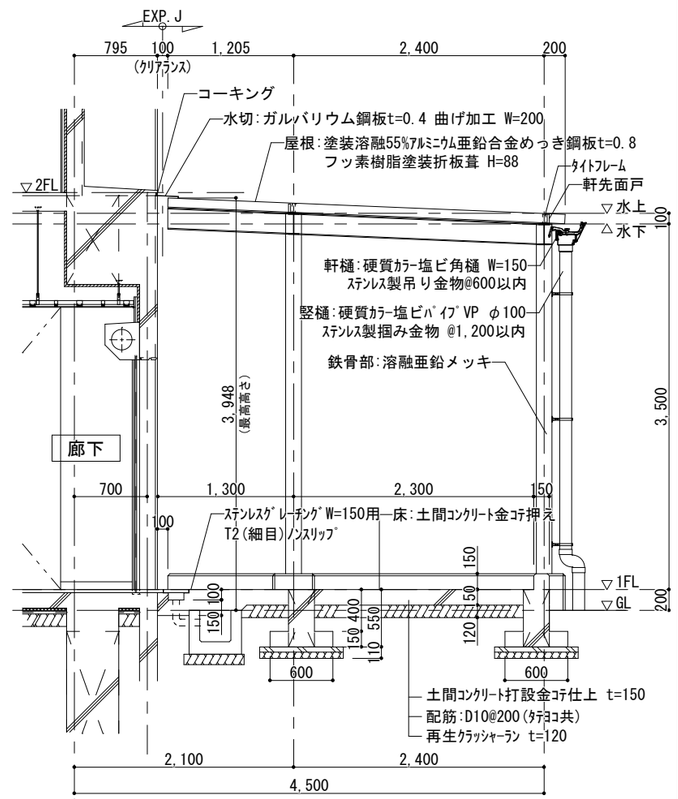
配膳通路 平面詳細図　S＝1/60



配膳通路 断面図C　S＝1/60

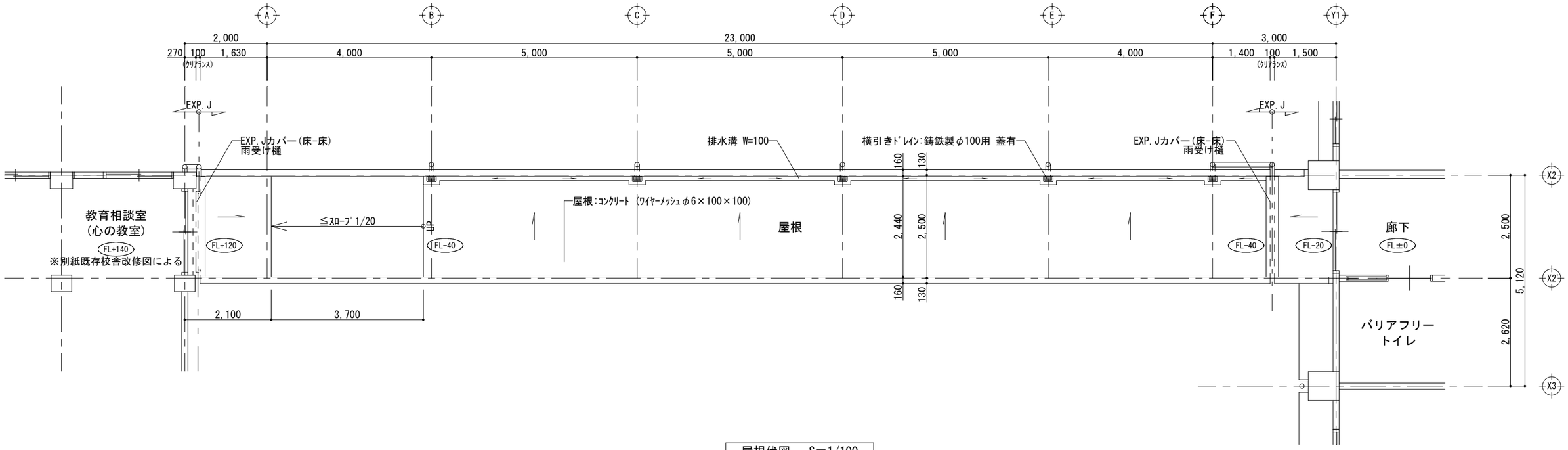


配膳通路 断面図A　S＝1/60

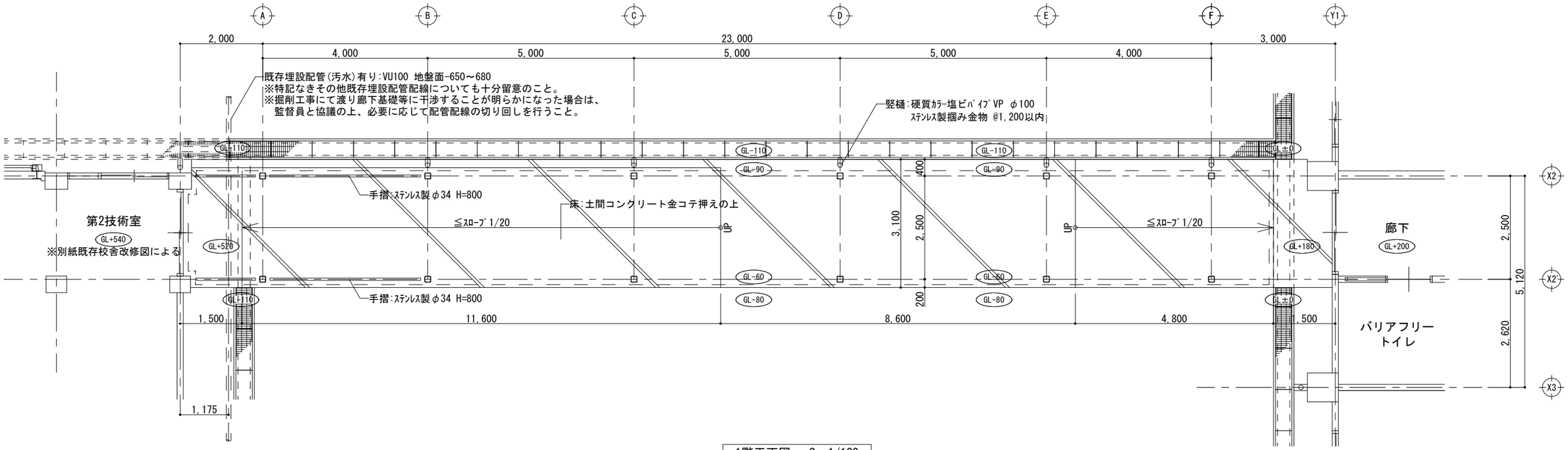


配膳通路 断面図B　S＝1/60

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	配膳通路詳細図	A1：1/30 A3：1/60	A－79
	鹿児島市建設局建築部建築課		

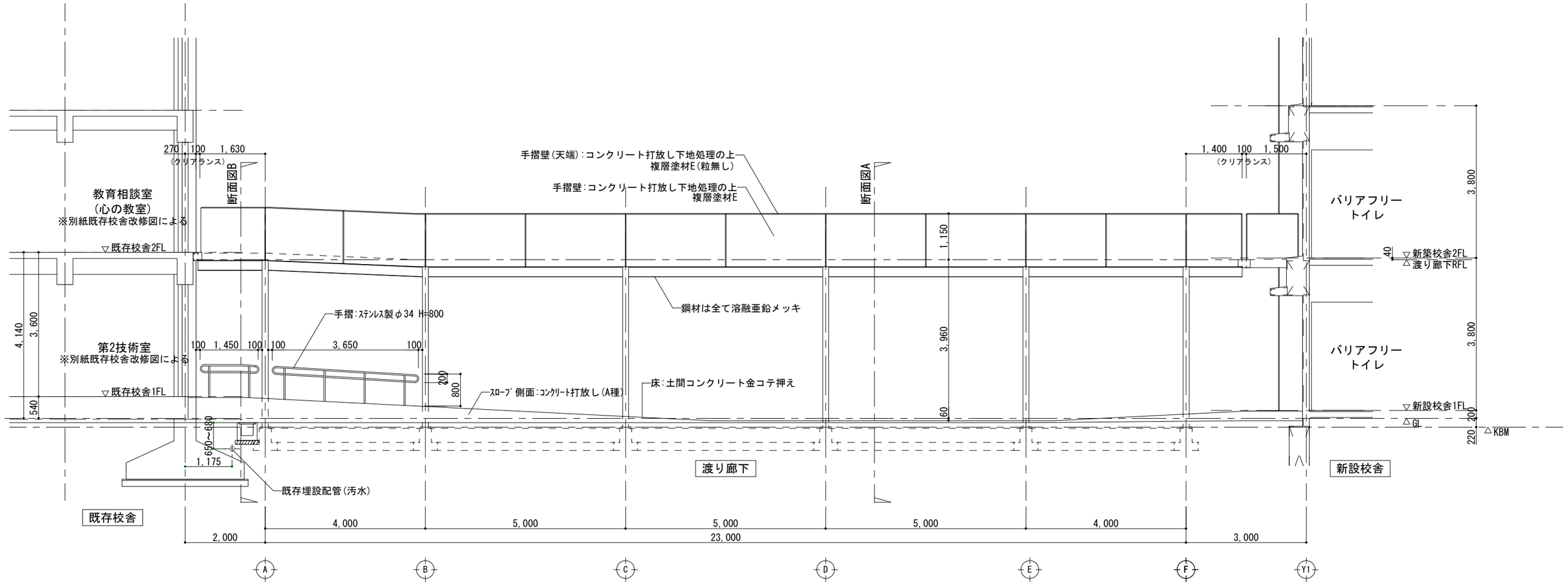


屋根伏図　S=1/100

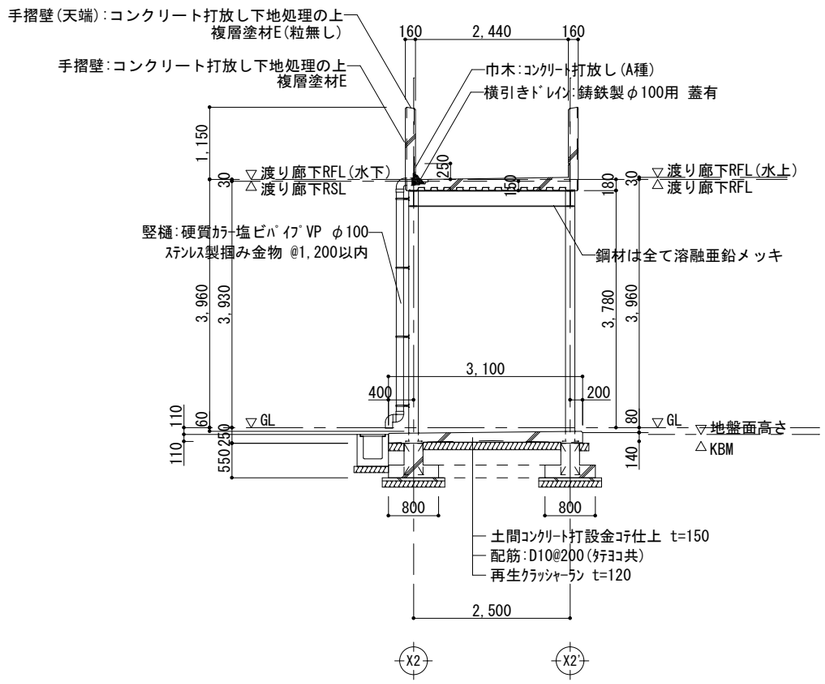


1階平面図　S=1/100

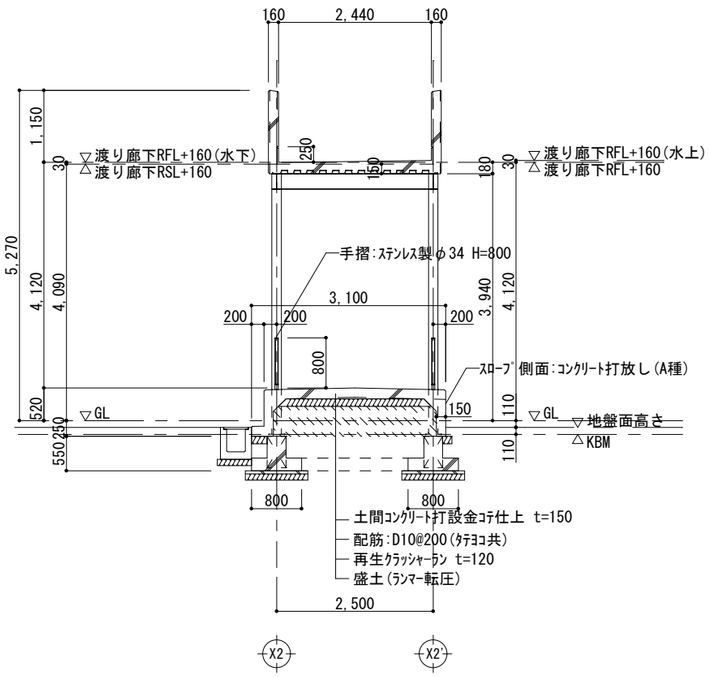
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	渡り廊下平面図	A1:1/50 A3:1/100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－80



立面図　S=1/100

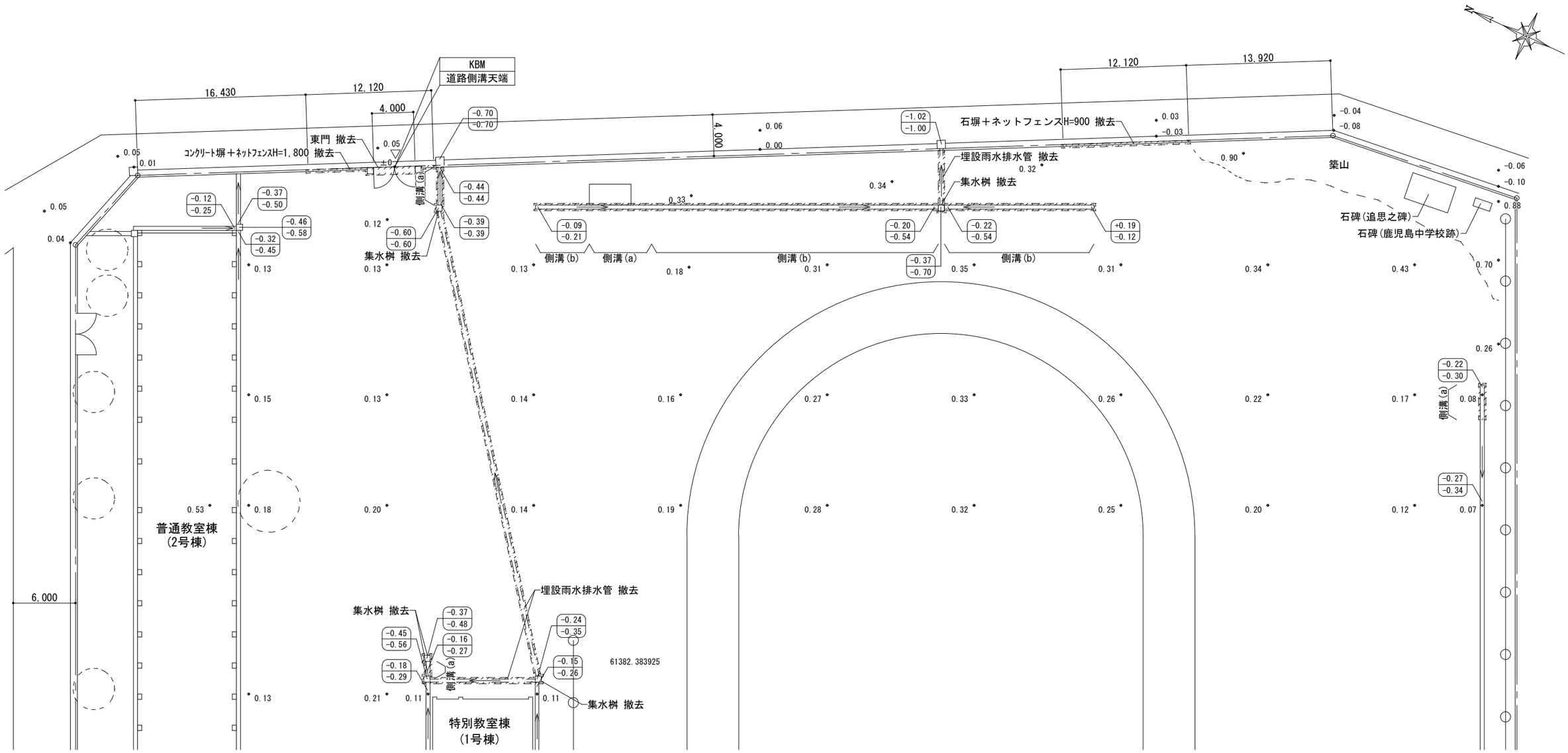


断面図A　S=1/100



断面図B　S=1/100

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	渡り廊下立面図・断面図	A1:1/50 A3:1/100	A－81
	鹿児島市建設局建築部建築課		



撤去対象リスト

名称		仕様	数量
側溝	(a)	ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 W=300＋鋼製側溝蓋	14.3 m
	(b)	ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 W=300＋樹脂製側溝蓋	47.2 m
埋設雨水排水管		硬質塩ビ管VP φ300	61.4 m
集水桝		ｺﾝｸﾘｰﾄ集水桝 600角＋鋼製桝蓋	5 箇所
東門		※撤去新設 別紙詳細図による	1 箇所
コンクリート塀		※別紙詳細図による	
石塀		※別紙詳細図による	

特記事項

・東門は撤去後、工事期間中は仮設クロスゲートを設置の上、工事車両搬出入口とし、その後新設を行う。

・既存埋設雨水排水管の撤去にあたっては、埋設状況を調査の上図面と異なる場合は、監督員と協議の上その指示に従うこと。また、その他埋設配管配線に十分留意のこと。

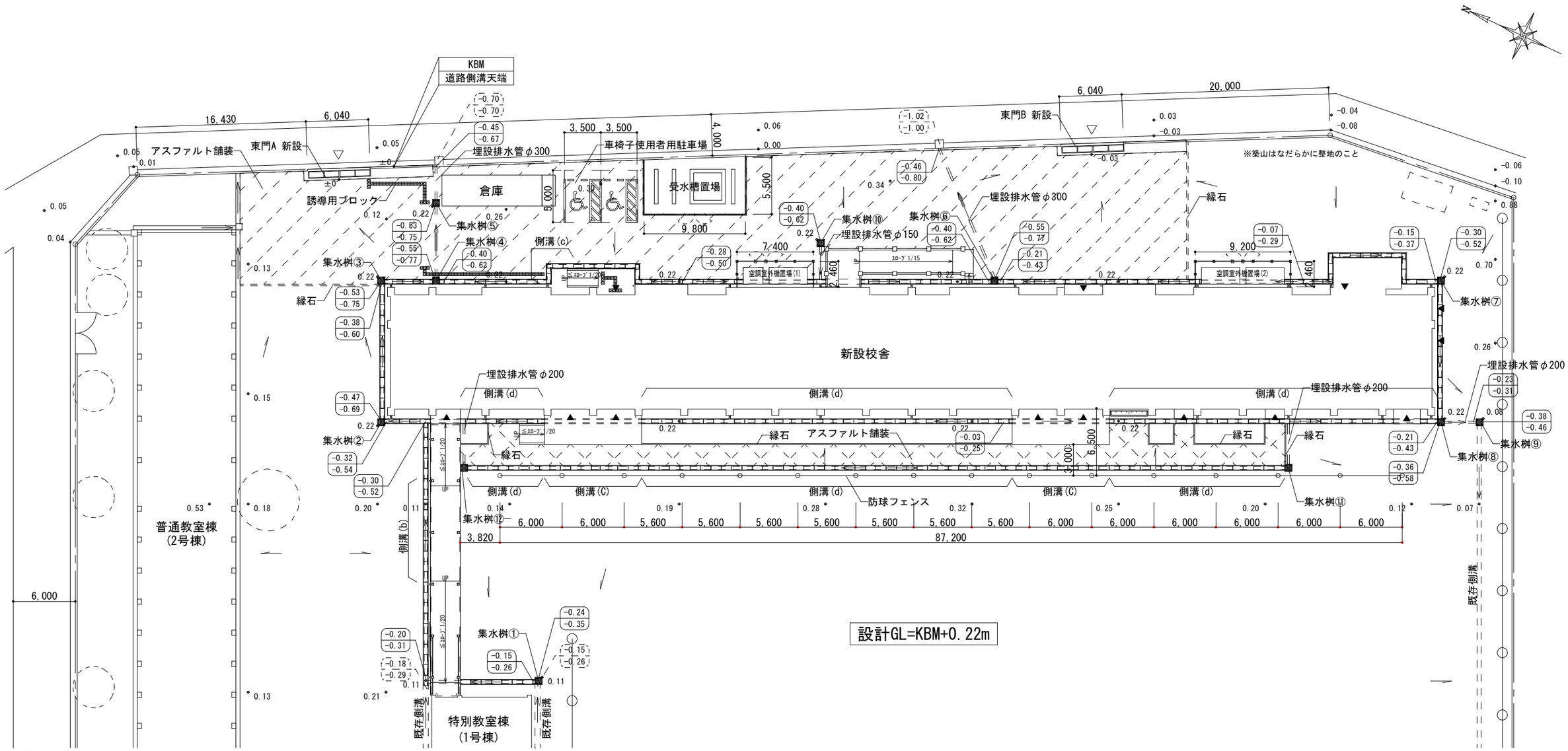
外構図(現況)　S＝1/400

・±0.00 ：KBMとの高低差(m)を示す

+0.00 / -0.60 ：(上段)KBMと側溝底盤高さとの高低差(m)を示す
(下段)側溝深さ(m)を示す

：撤去範囲を示す

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	外構図(現況)	A1:1/200 A3:1/400
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－82



外構計画図　S=1/400

凡　例

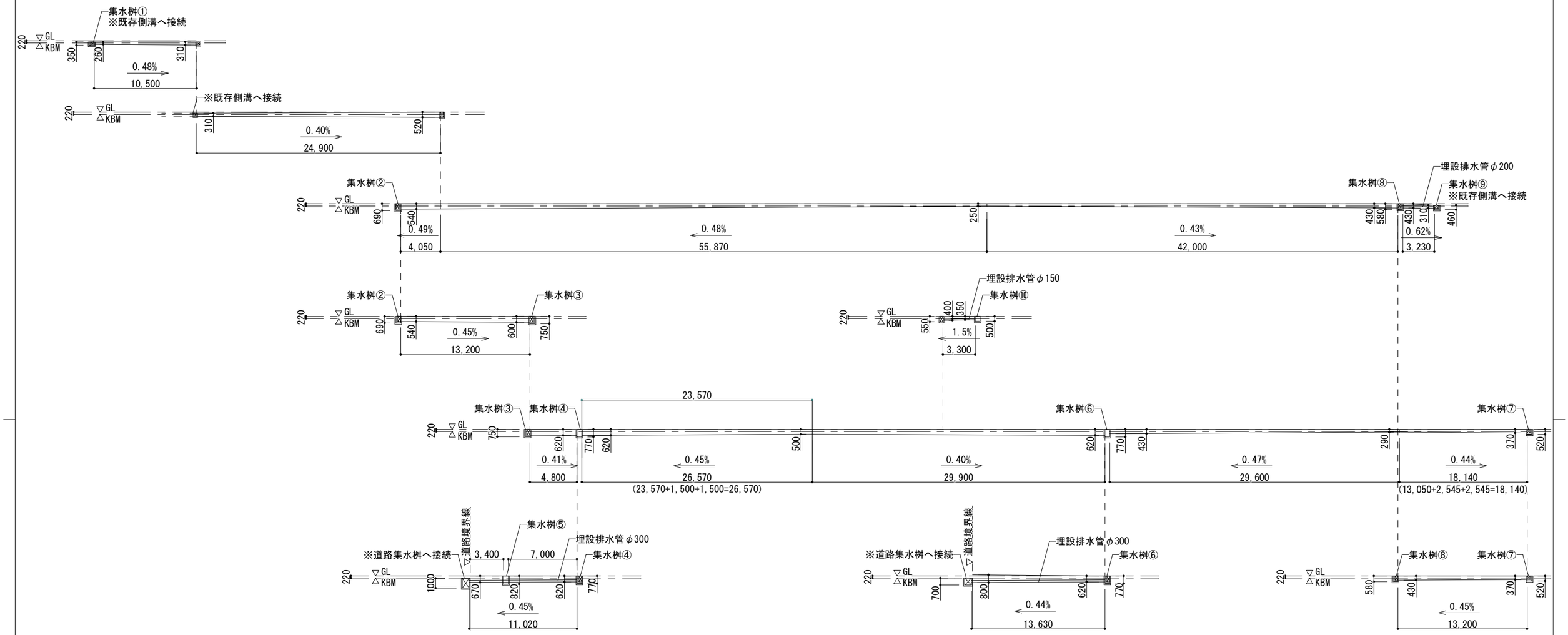
名称		仕様	数量
東門		別紙詳細図による	2 箇所
空調室外機置場		別紙詳細図による	2 箇所
車椅子使用者用駐車場		白線引き W=150(ゼブラ範囲共)	2 箇所
		車止め ｺﾝｸﾘｰﾄ製(反射板付)600×180×120	2 組
受水槽置場		別紙詳細図による	1 箇所
防球フェンス		別紙詳細図による	1 箇所
集水桝		ｺﾝｸﾘｰﾄ集水桝 500角 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT2(並目)	12 箇所
側溝	(a)	ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 W=300 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT2(並目)	139.00 m
	(b)	ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 W=300 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT25(並目) ﾎﾞﾙﾄ固定	10.00 m
	(c)	ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 W=300 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT2(細目)	21.00 m
	(d)	ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝 W=300 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ歩行(並目)	137.00 m
埋設排水管		排水パイプ VPφ300	24.00 m
		排水パイプ VPφ200	11.20 m
		排水パイプ VPφ150	3.30 m
アスファルト舗装		別紙詳細図による	921.30 ㎡
インターロッキング舗装		別紙詳細図による	180.20 ㎡
縁石		120×120×600	79.00 ㎡
誘導用ブロック		点状:ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ製 300角 t=17.0	2.52 ㎡
		線状:ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ製 300角 t=17.0	5.31 ㎡

特記事項
・特記なき側溝は側溝(a)とする
・グレーチングは全てノンスリップ仕様

・±0.00 ： KBMとの高低差(m)を示す

+0.00 / -0.60 ： (上段)KBMと側溝底盤高さとの高低差(m)を示す
(下段)側溝深さ(m)を示す

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	外構計画図	A1:1/200 A3:1/400	A－83
	鹿児島市建設局建築部建築課		

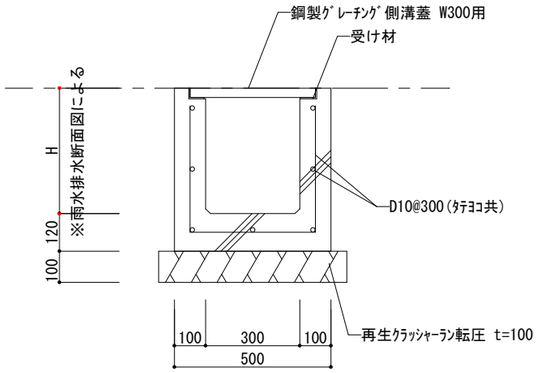


雨水排水断面図　S＝1/400

※集水桝底盤が校舎基礎天端と干渉する部分は、校舎基礎天端上に底盤を打設、
若しくは、校舎基礎天端上に防水モルタル塗りとする。

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	雨水排水断面図	A1:1/200 A3:1/400	A－８４
	鹿児島市建設局建築部建築課		

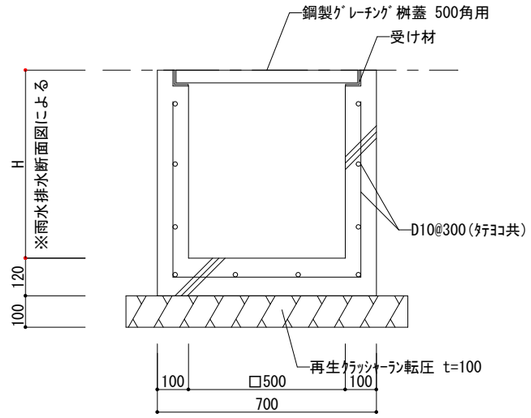
I-01 コンクリート側溝(現場打ち) 1/20



コンクリート強度:Fc=18 N/mm2

スランプ :15 cm

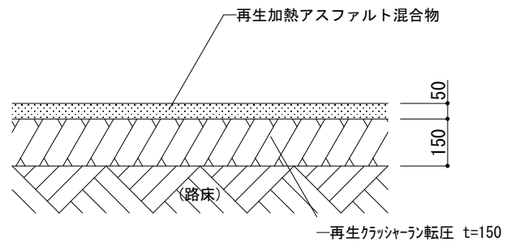
I-02 コンクリート集水桝(現場打ち) 1/20



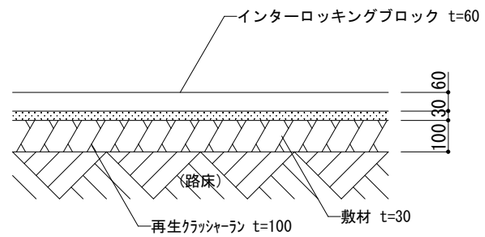
コンクリート強度:Fc=18 N/mm2

スランプ :15 cm

I-03 アスファルト舗装 1/20

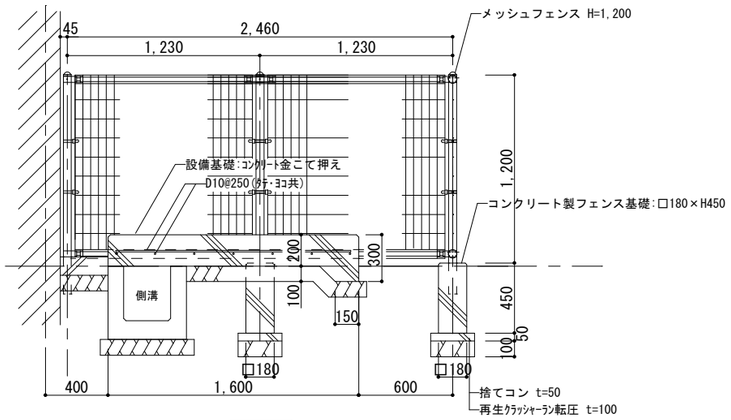


I-04 インターロッキング舗装 1/20

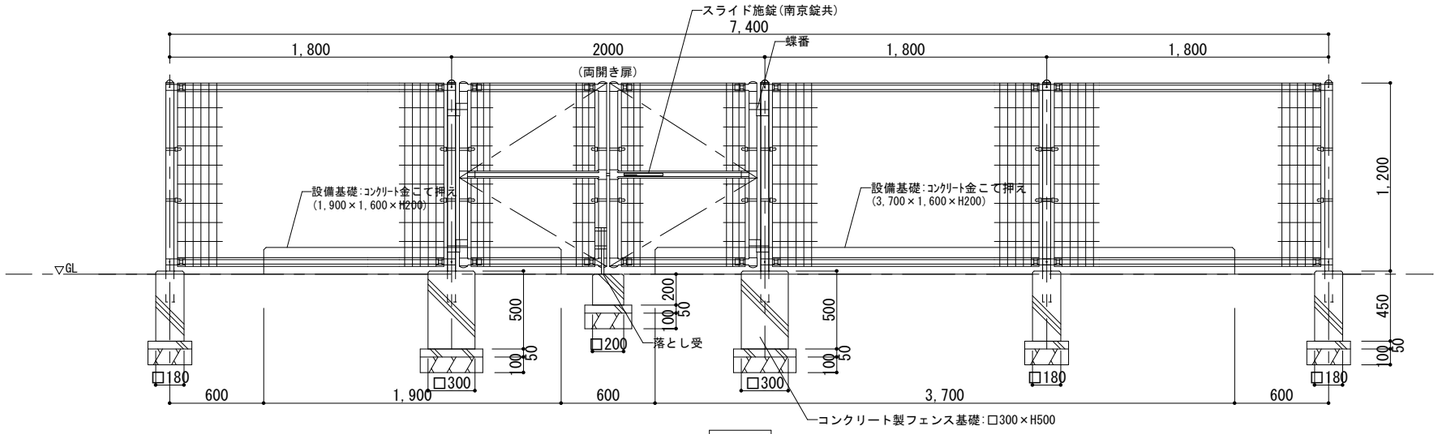


I-04 空調室外機置場 1/40

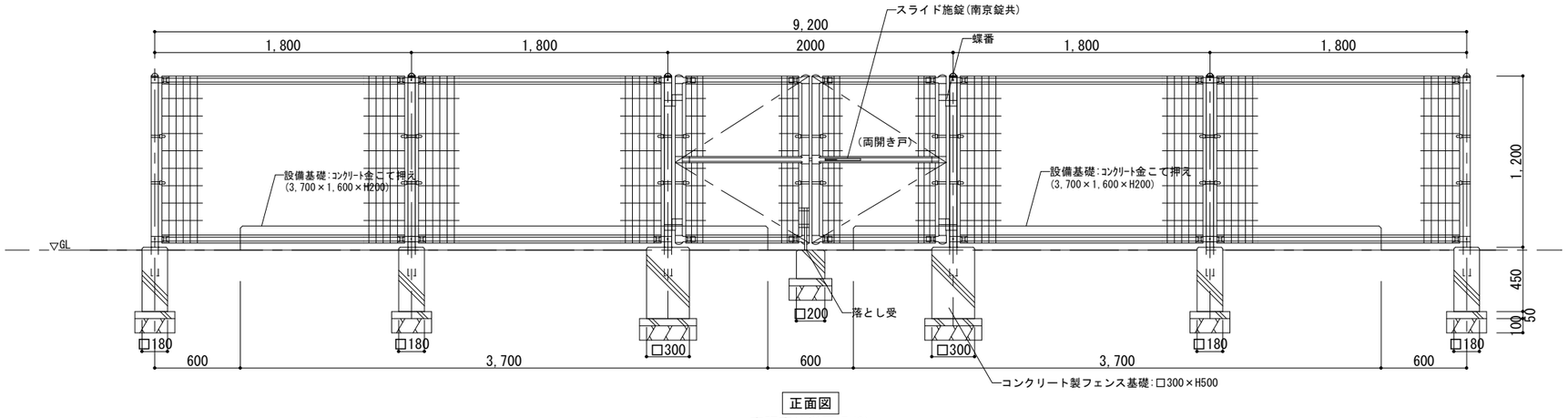
参考図



断面図
(共通)



正面図
空調室外機置場(1)



正面図
空調室外機置場(2)

【メッシュフェンス仕様】

1．外装

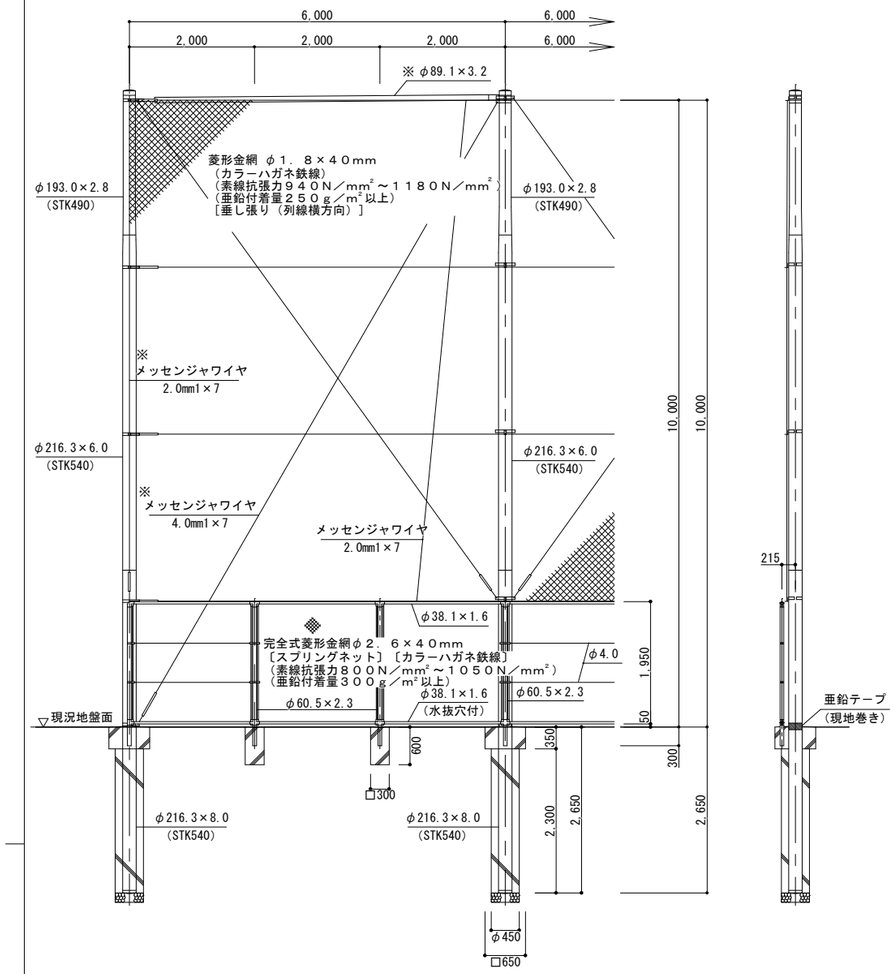
・門 柱、枠 体 ジョイント 押え金具 ワイヤメッシュ	・	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・バ ン ド	・	亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・U 型 金 具	・	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット	・	溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
・施錠装置、落し	・	溶融亜鉛めっきのみ

2．本図門扉は片側１８０°開きとする。

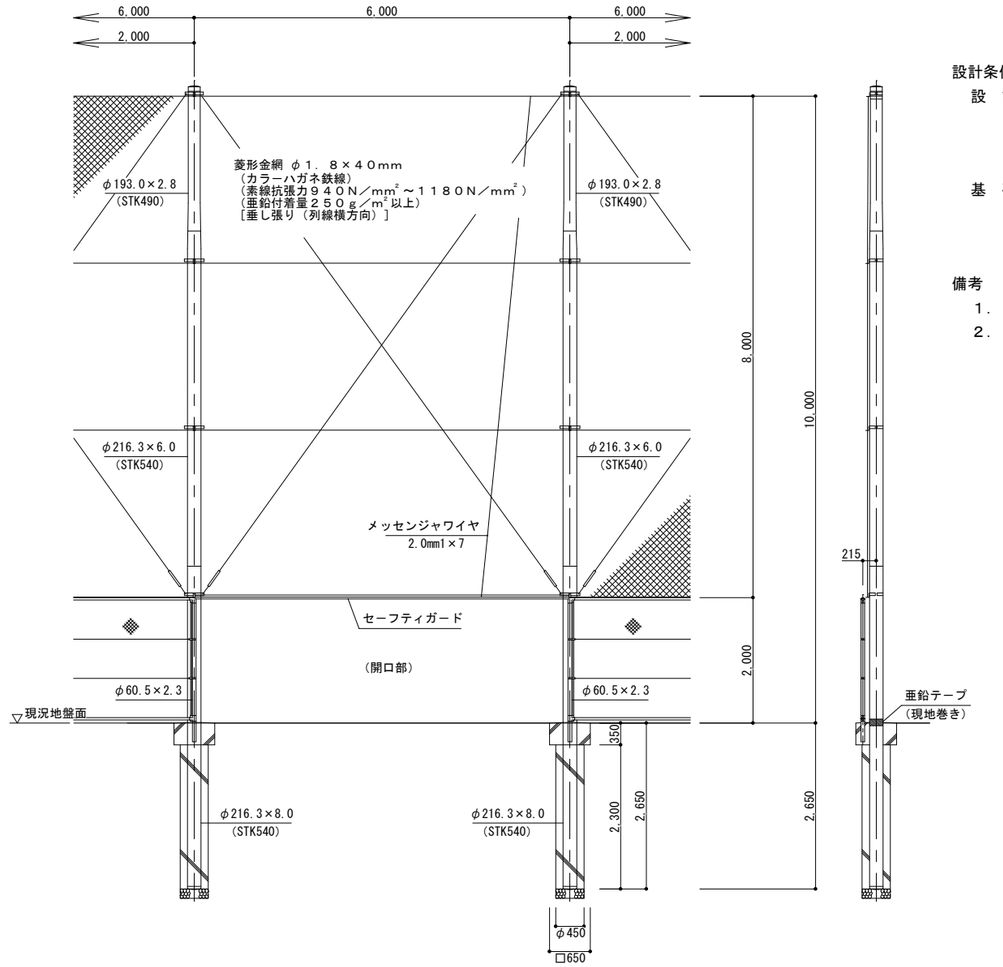
コンクリート強度:Fc=18 N/mm2

スランプ :15 cm

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	外構詳細図	A1:1/10,20 A3:1/20,40
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－８５



防球フェンス（下部２．０ｍネットフェンス張り）詳細図　S=1/100



防球フェンス(開口部) 詳細図　S＝1/100

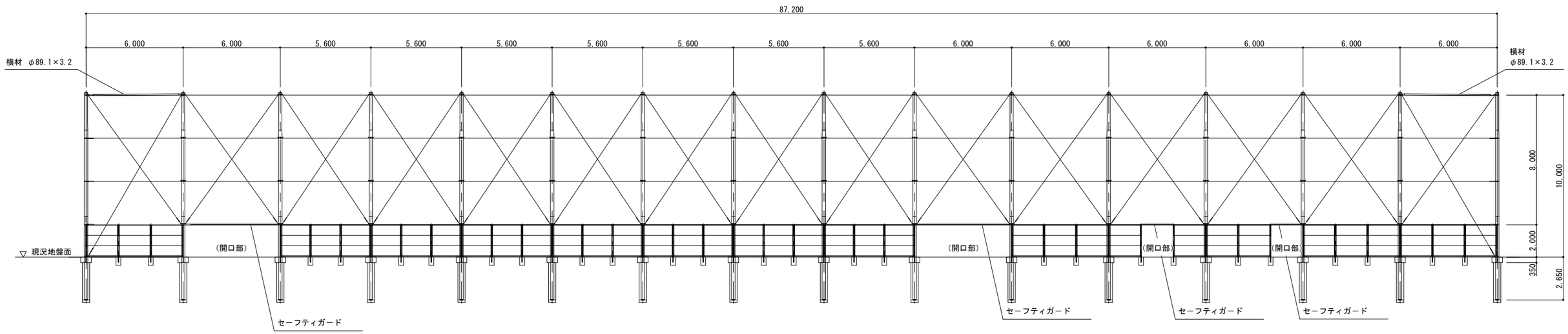
設計条件

設　計　荷　重　　建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３８ｍ／ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・Ⅲ

基　礎　条　件　　(防球フェンス)配電規程（ＪＥＡＣ７００１）
土質係数・軟弱土質（Ｃ）に依る。
(ネットフェンス)長期許容地耐力　１００ｋＮ／㎡

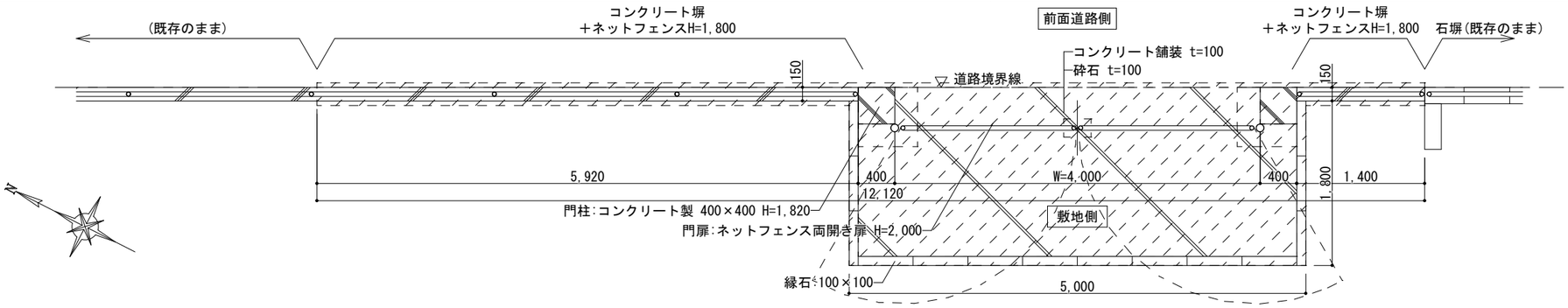
備考

１．外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
２．※印部材は端末、所定コーナーに本図の如く設けること。

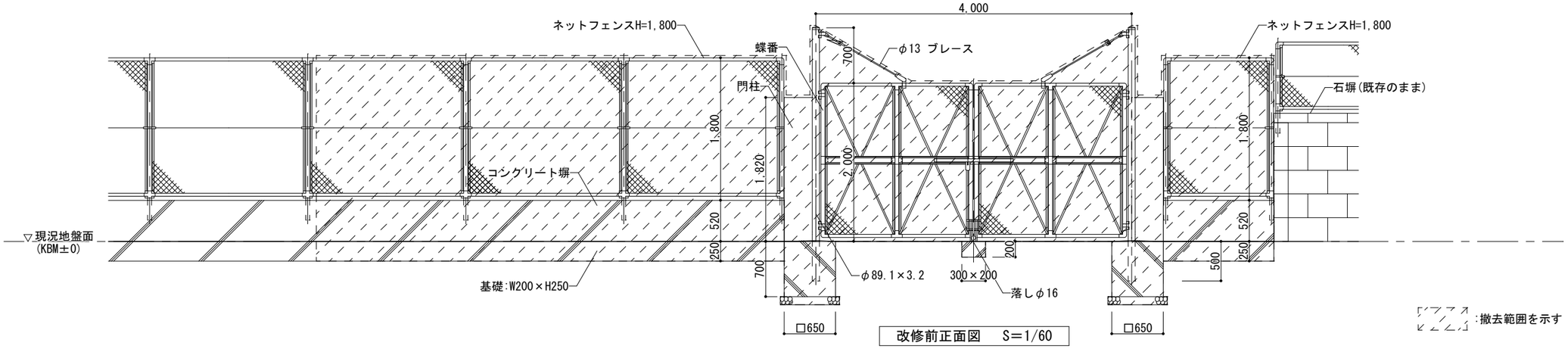


正面図　S＝1/250

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	防球フェンス詳細図	A1:1/50 A3:1/100	Ａ－８６
	鹿児島市建設局建築部建築課		



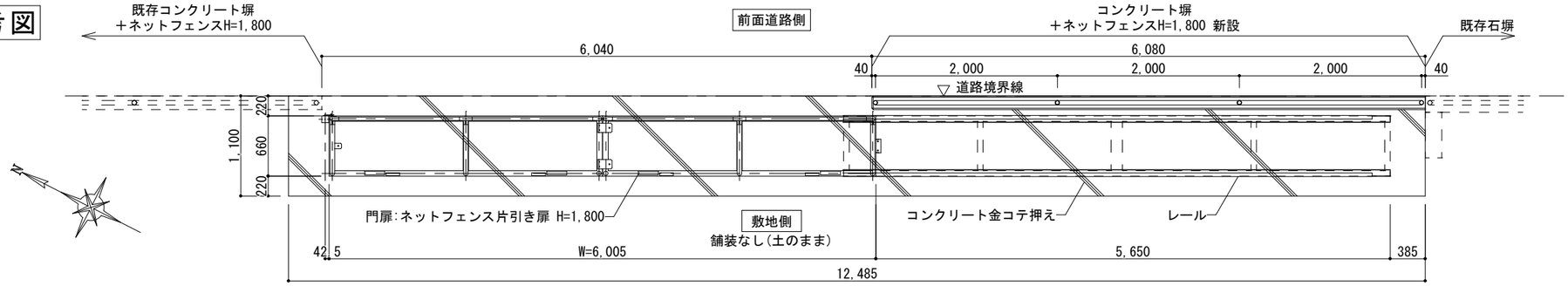
改修前平面図　S＝1/60



改修前正面図　S＝1/60

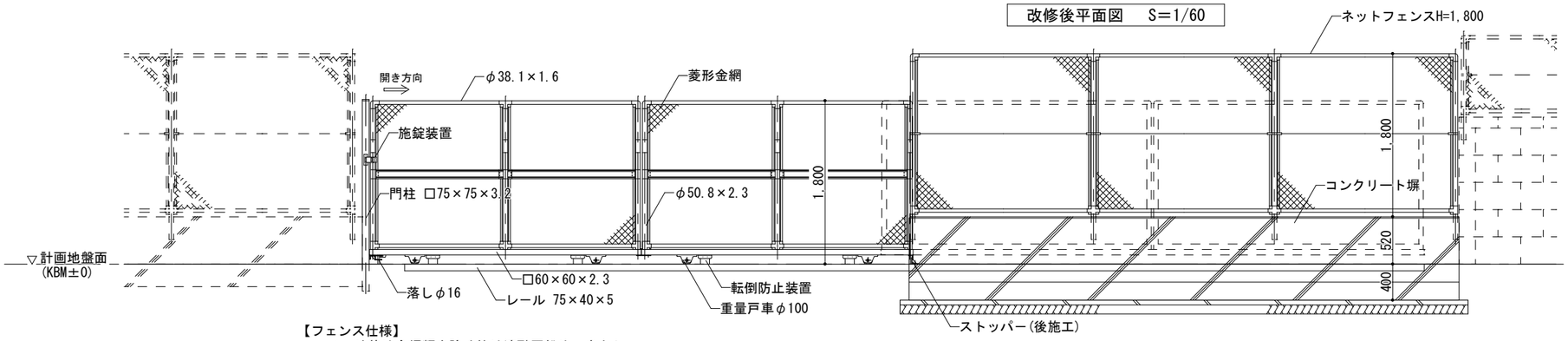
:撤去範囲を示す

参考図



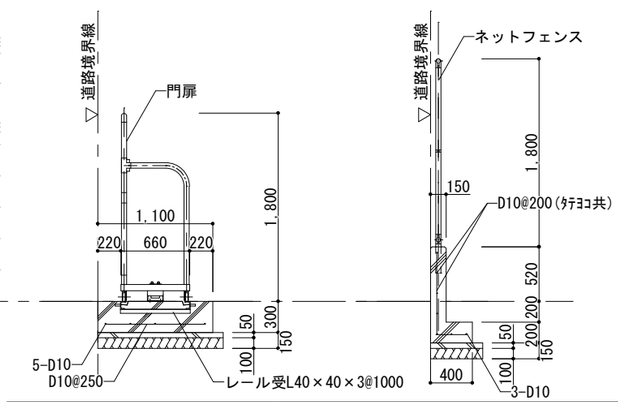
改修後平面図　S＝1/60

部材リスト	
コンクリート	設計基準強度　Fc=18N/mm2
鉄筋	SD295
地業	再生クラッシャーラン



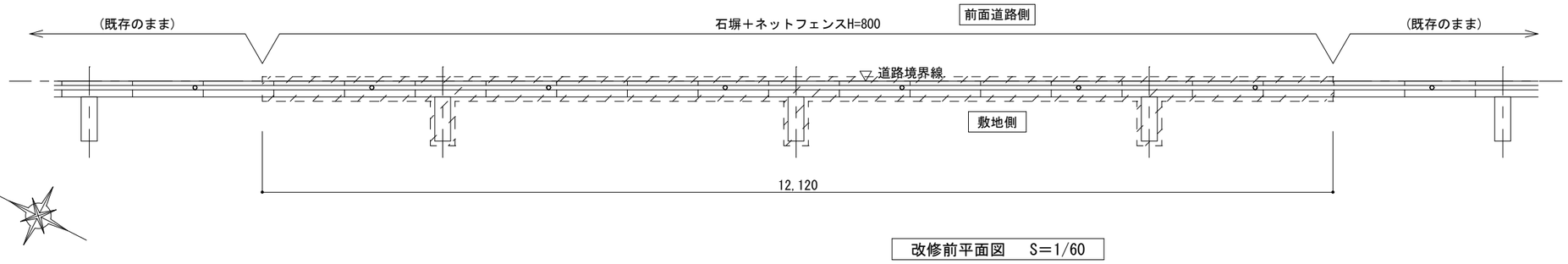
改修後正面図　S＝1/60

改修後断面図　S＝1/60

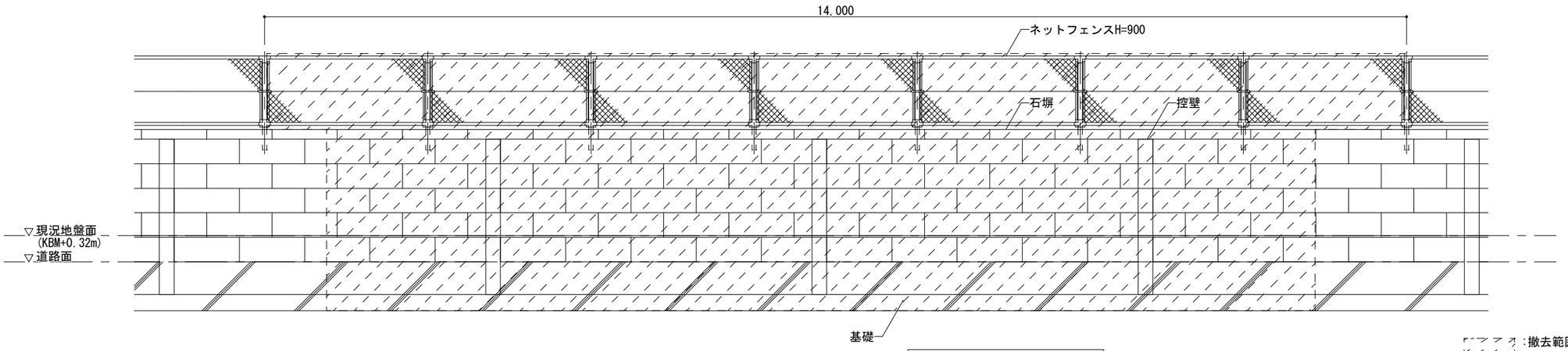


【フェンス仕様】
1．外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとし、
　レールは錆止め１回塗りとする。
2．金網は既存フェンス同等とし下記の規格による。
　300g亜鉛めっき鉄線
　（φ２．６×４０mm、φ２．６×５６mm
　　φ３．２×５０mm、φ３．２×５６mm）

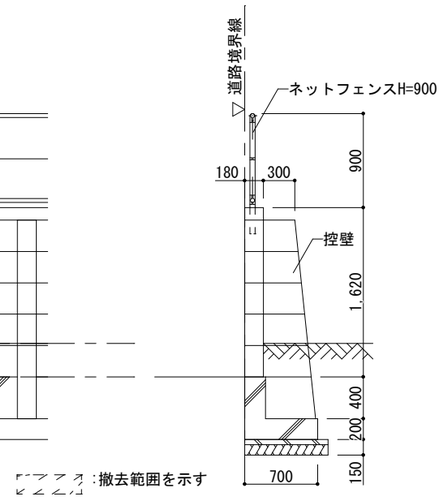
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 東門A 詳細図 鹿児島市建設局建築部建築課	A1:1/30 A3:1/60 A－８７



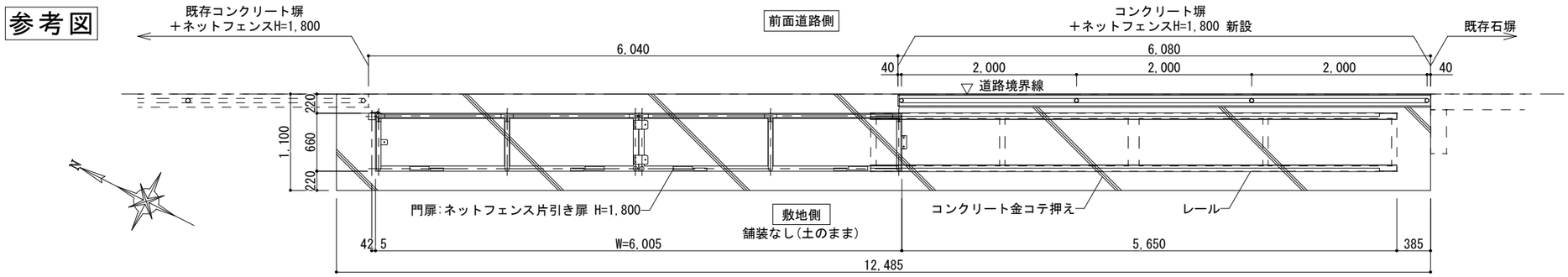
改修前平面図　S＝1/60



改修前正面図　S＝1/60

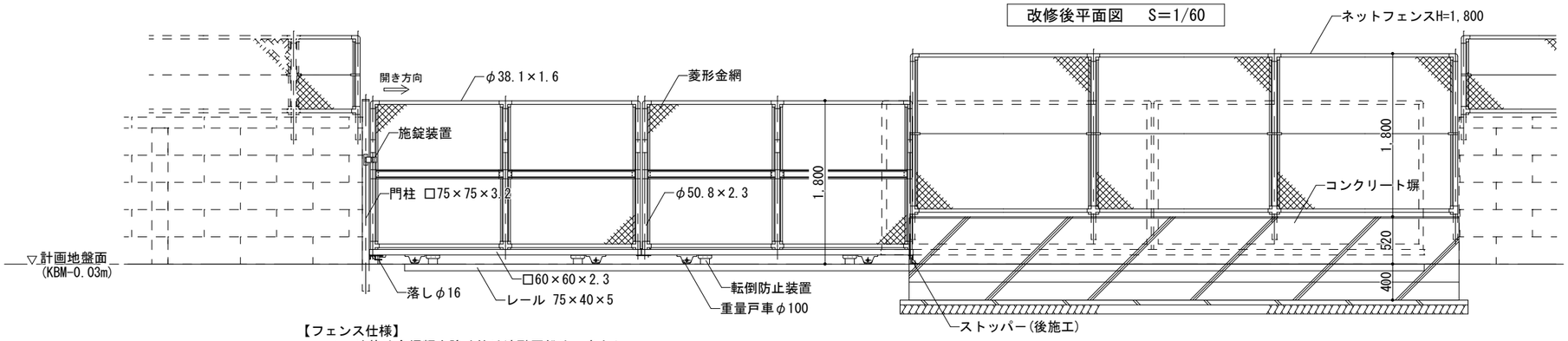


参考図



改修後平面図　S＝1/60

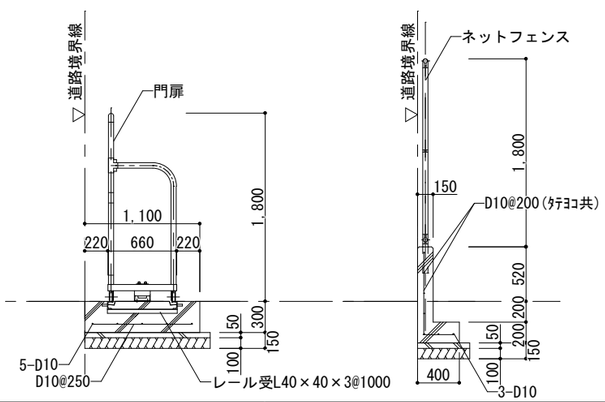
部材リスト	
コンクリート	設計基準強度　Fc=18N/mm2
鉄筋	SD295
地業	再生クラッシャーラン



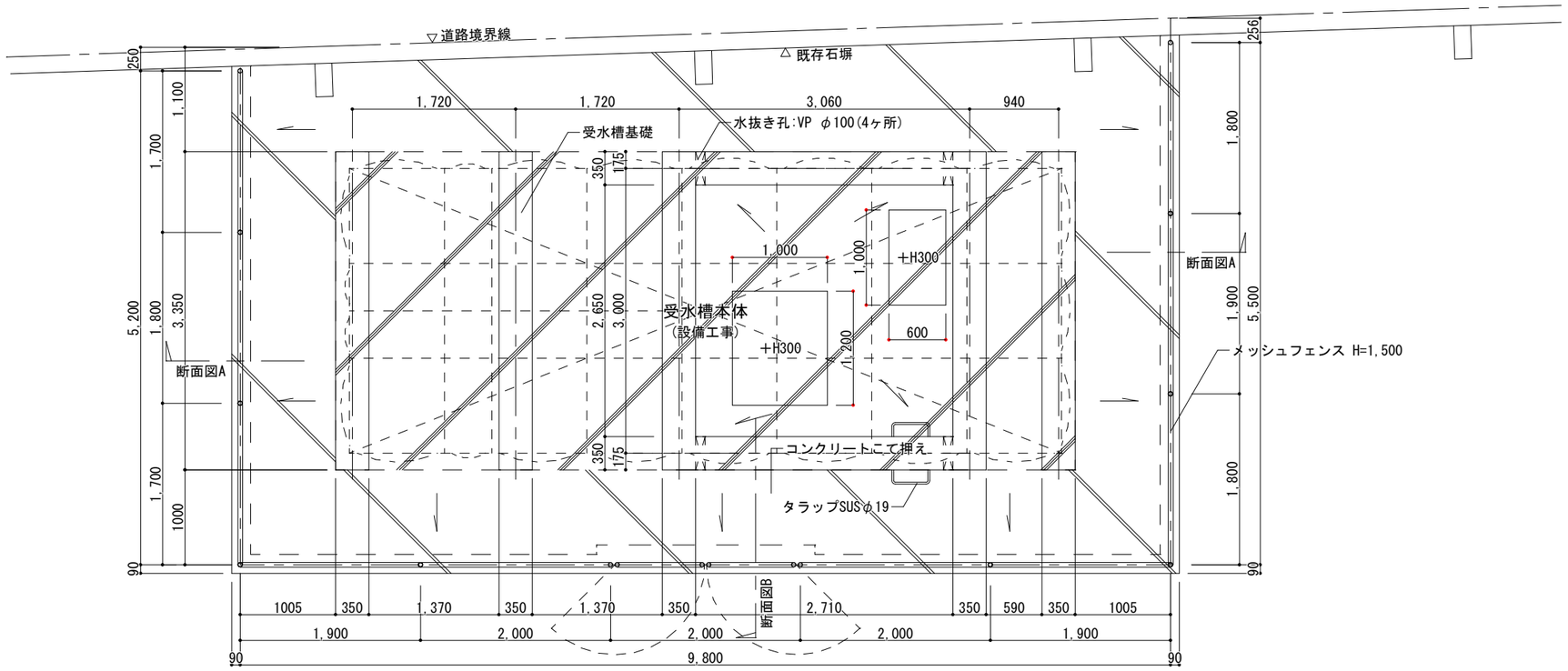
改修後正面図　S＝1/60

【フェンス仕様】
1．外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとし、
　レールは錆止め１回塗りとする。
2．金網は既存フェンス同等とし下記の規格による。
　300g亜鉛めっき鉄線
　（φ２．６×４０mm、φ２．６×５６mm
　　φ３．２×５０mm、φ３．２×５６mm）

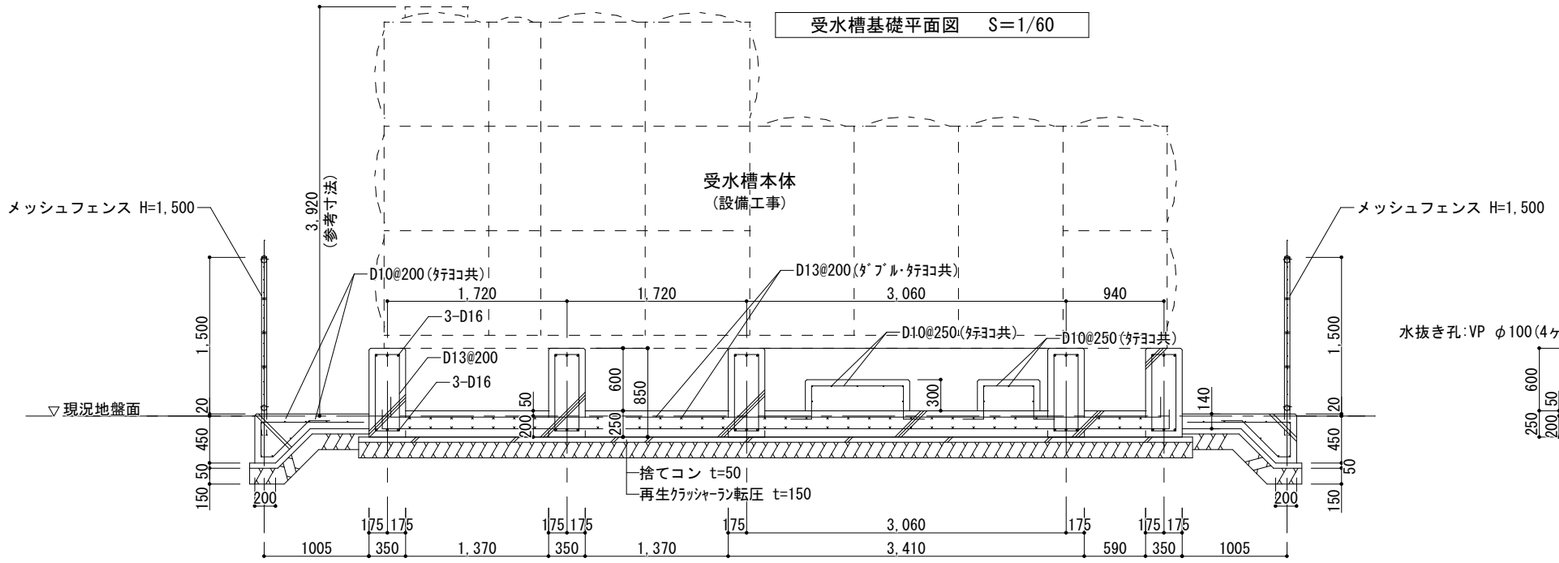
改修後断面図　S＝1/60



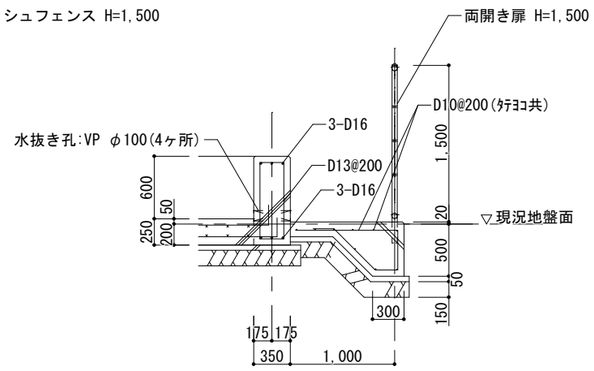
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 東門B 詳細図　A1:1/30　A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	A－８８



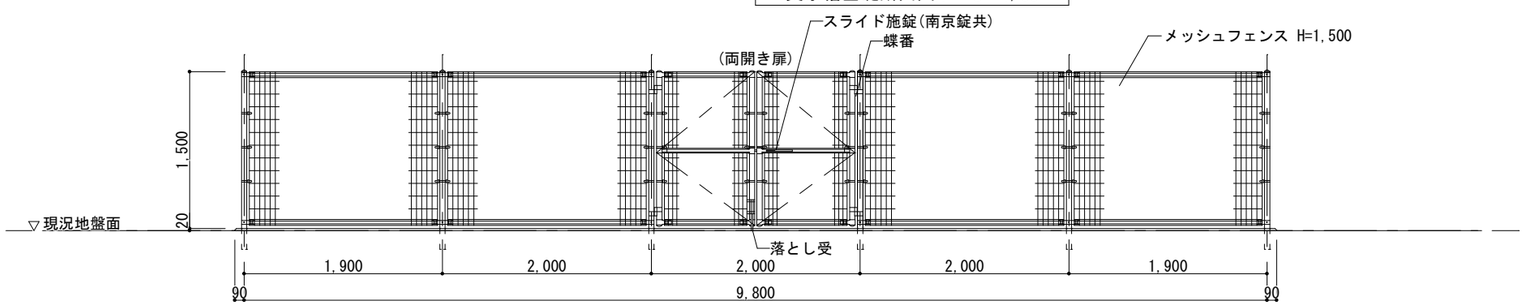
受水槽基礎平面図　S=1/60



受水槽基礎断面図A　S=1/60



受水槽基礎断面図B　S=1/60

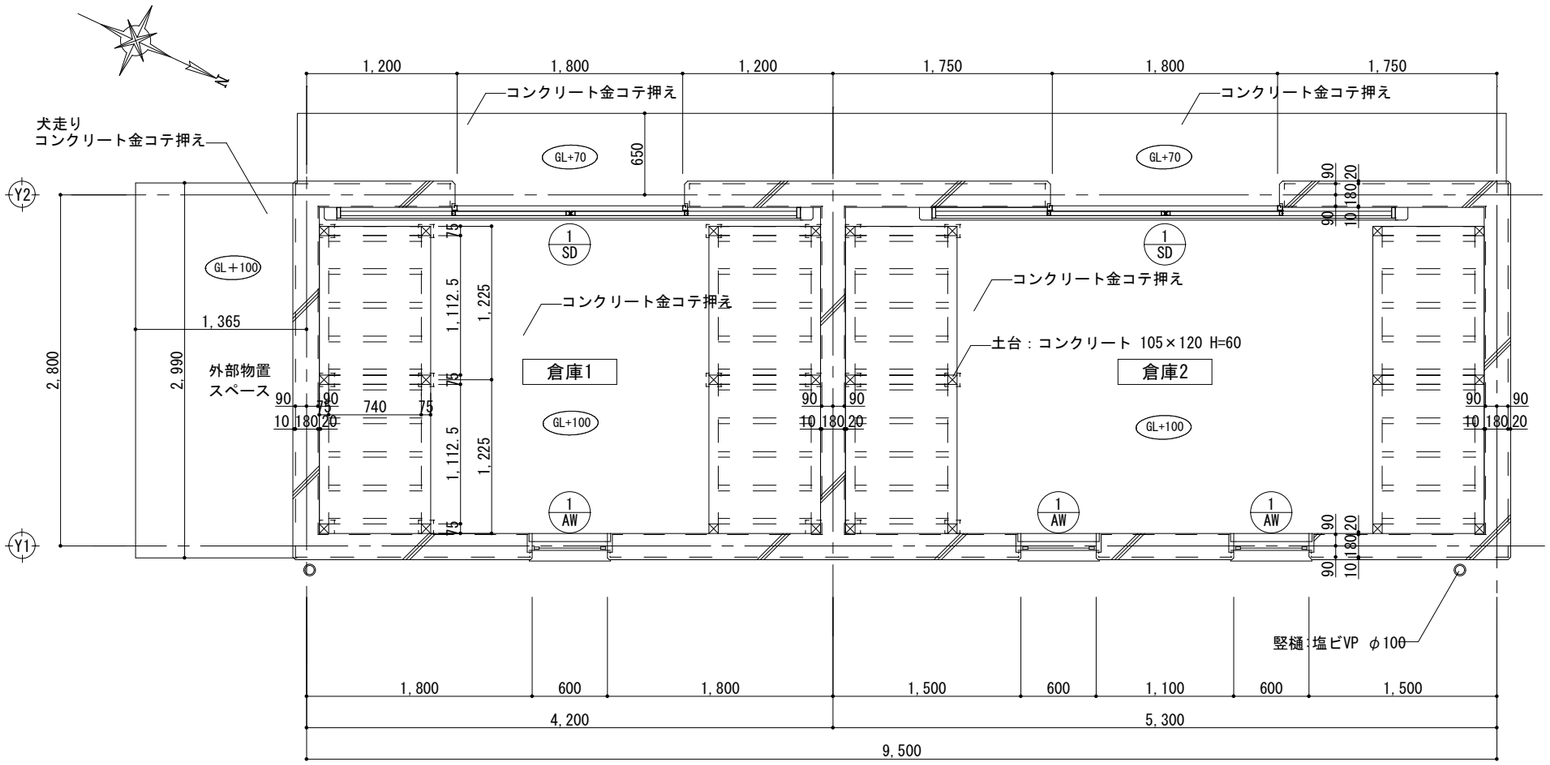


フェンス正面図　S=1/60

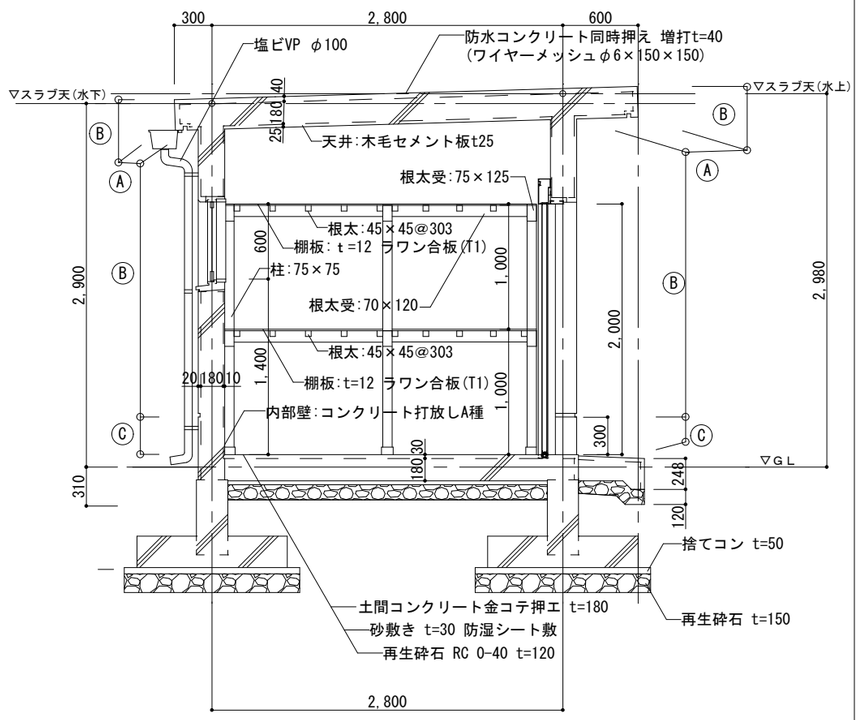
【フェンス仕様】

1. 外装
   - ・門　柱、枠　体 / ジョイント / 押え金具 / ワイヤメッシュ　・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
   - ・バ　ン　ド　・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
   - ・U　型　金　具　・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
   - ・ボルト、ナット　・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
   - ・施錠装置、落し　・・溶融亜鉛めっきのみ
2. 本図門扉は片側１８０°開きとする。

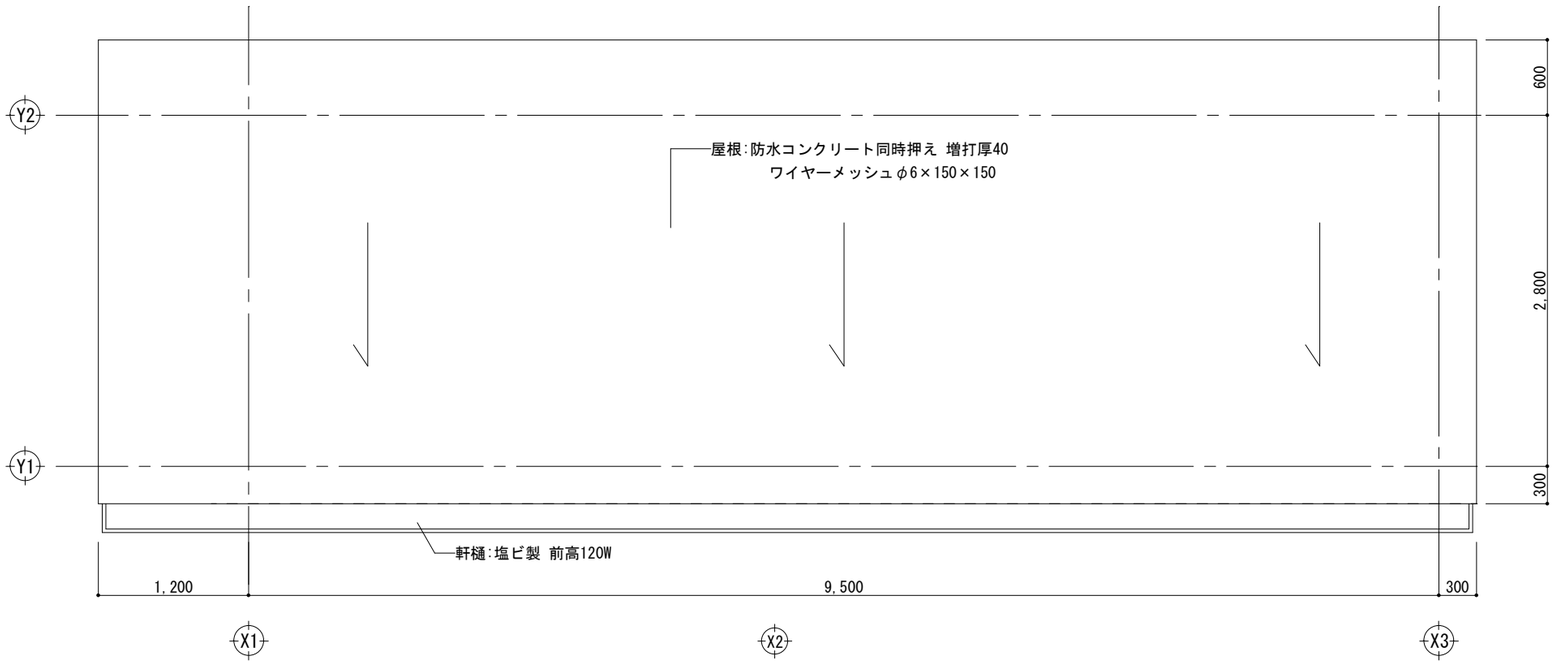
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	受水槽基礎詳細図	A1:1/30 A3:1/60
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－８９



平面詳細図



矩計図



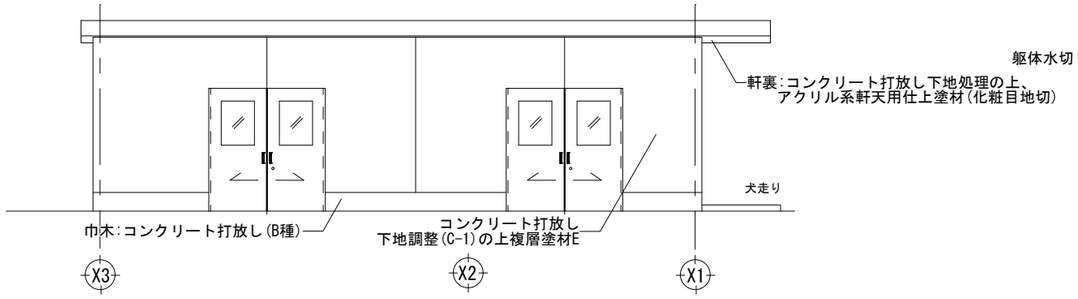
屋根伏図

凡　例
Ⓐ コンクリート打放し下地処理の上アクリル系軒天用仕上塗材(化粧目地切)
Ⓑ コンクリート打放し下地調整(C-1)の上複層塗材E
Ⓒ 巾木:コンクリート打放し(B種)

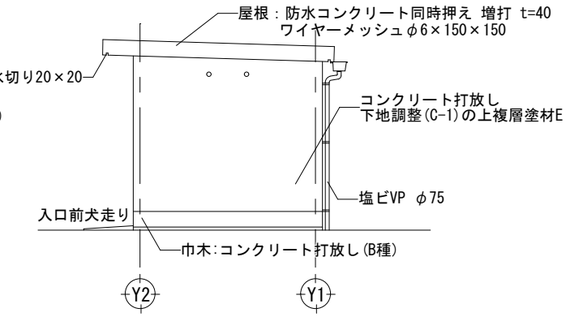
面　積　算　定　表			
床面積（建築基準法）	単位:㎡	2.80×9.50＋1.20×2.99＝30.188	30.18㎡
建築面積（建築基準法）	単位:㎡	2.80×9.50＋1.20×2.99＝30.188	30.18㎡

特　記　事　項
※内部の棚は薬剤加圧注入による防腐・防蟻処理を行うこと。

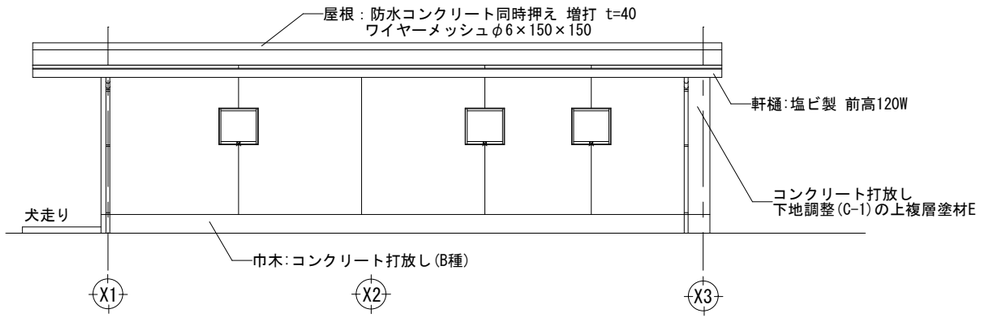
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	【倉庫】平面詳細図・矩計図	A1:1/25 A3:1/50	倉－０１
	鹿児島市建設局建築部建築課		



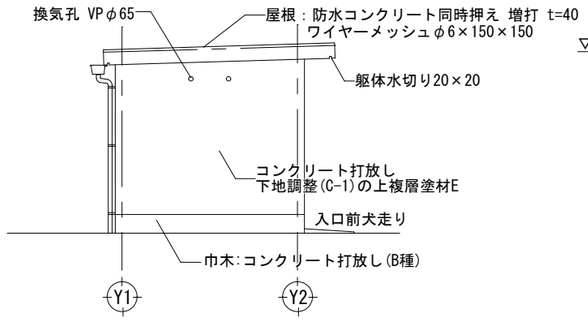
西立面図



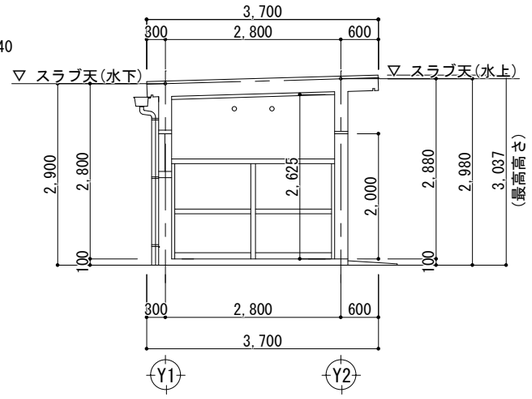
南立面図



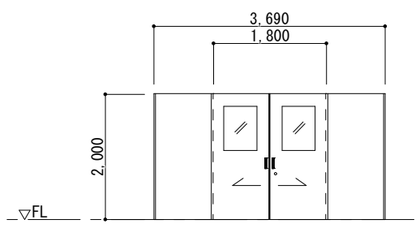
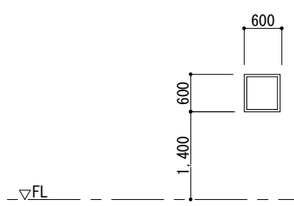
東立面図



北立面図



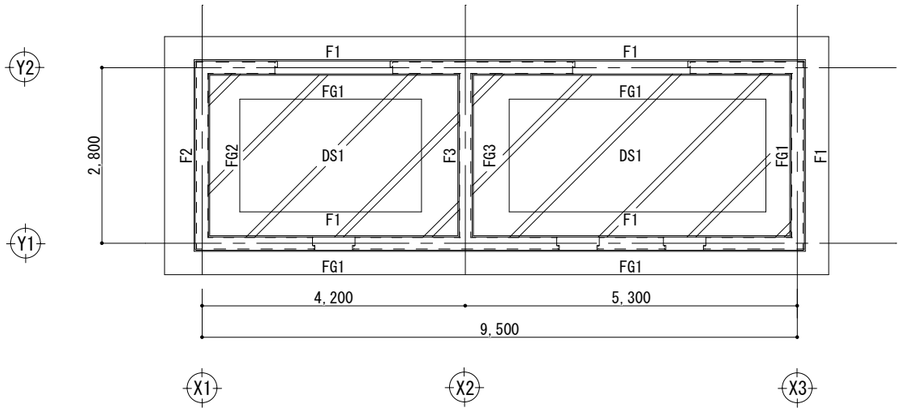
断面図

記　号	1/SD	2 ヶ所	1/AW	3 ヶ所
姿　図				
室　名	倉庫1,2		倉庫1,2	
方式･見込	両引分けハンガーフラッシュ戸	枠:100 扉:40	FIX窓	70
材質･仕上	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6　DP		アルミ合金押出型材	
硝　子	強化透明 t4		強化透明 t4	
金　物	SUS引手、サムターン付シリンダー錠、ガイドローラー、ブレーキ装置 ストップ装置、スチール額縁(DP)、他附属金物一式		アルミ水切、アルミ額縁 他附属金物一式	
備　考			アルミ水切	

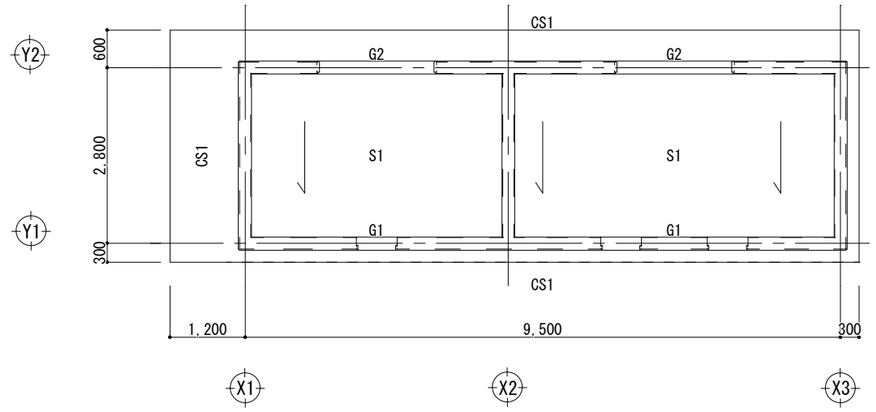
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	【倉庫】立面図･建具表	A1:1/50 A3:1/100	倉－０２
	鹿児島市建設局建築部建築課		

使用材料

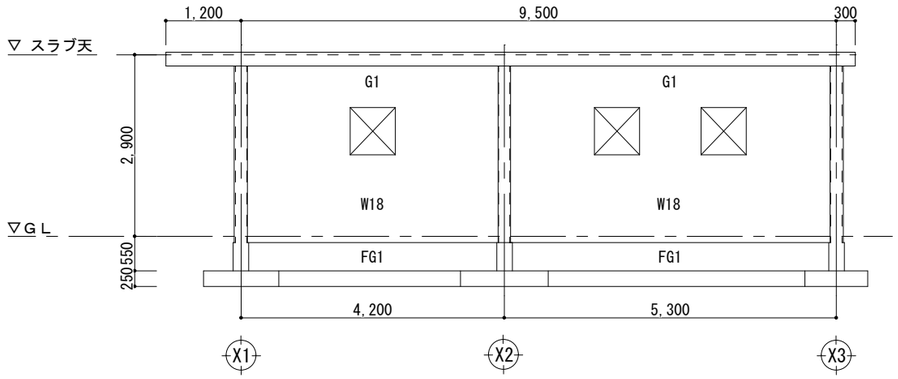
躯体コンクリート:Fc=21N/mm² （スランプ 18cm）
土間、捨てコンクリート:Fc=18N/mm² （スランプ 15cm）
※躯体コンクリートの配合強度には構造体強度補正値（S）を考慮すること。
鉄筋　SD295 （重ね継ぎ手）



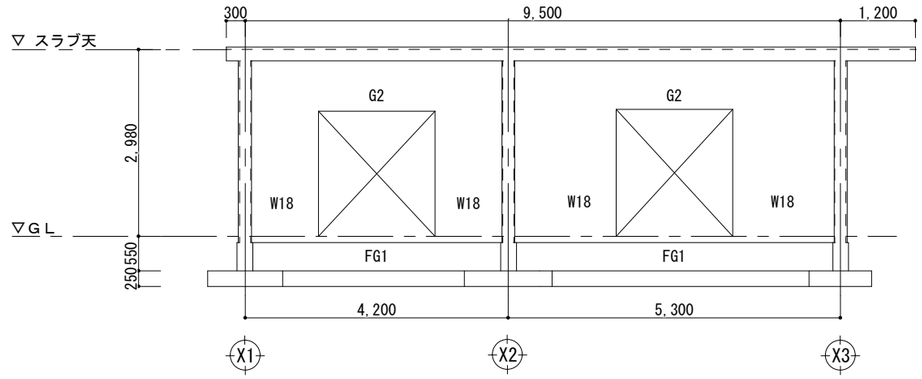
基礎伏図　S=1/100



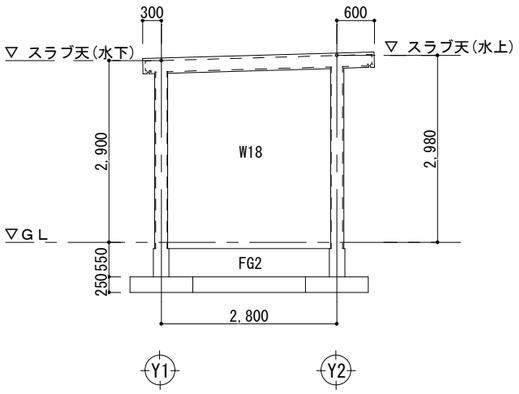
屋根伏図　S=1/100



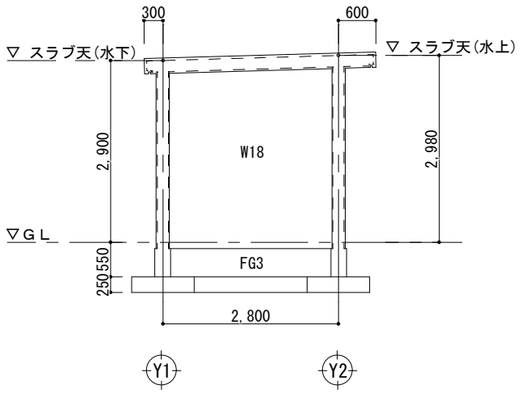
Y1通軸組図　S=1/100



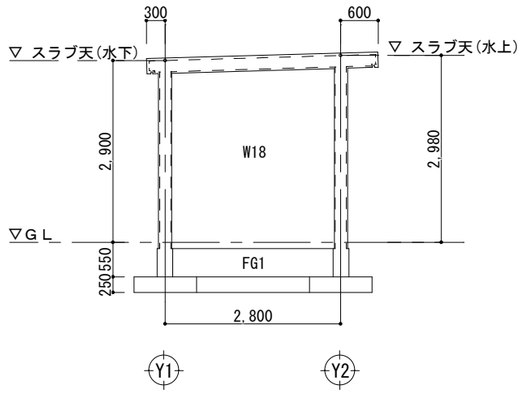
Y2通軸組図　S=1/100



X1通軸組図　S=1/100



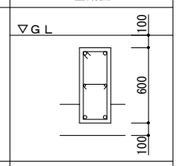
X2通軸組図　S=1/100



X3通軸組図　S=1/100

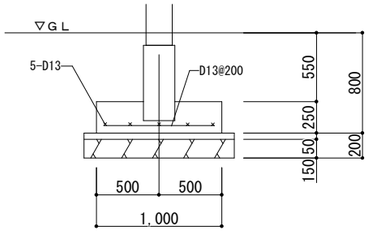
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	【倉庫】基礎伏図・屋根伏図・軸組図	A1:1/50 A3:1/100	倉－０３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

地中梁リスト S=1/50

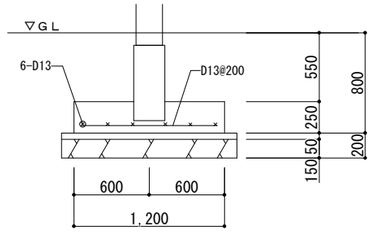
符号	FG1、FG2、FG3
位置	全断面
断面	
B x D	250×600
上端筋	2−D16
下端筋	2−D16
S.T.P	D10@200
腹　筋	2−D10

特記なき限り，巾止筋:D10@1000

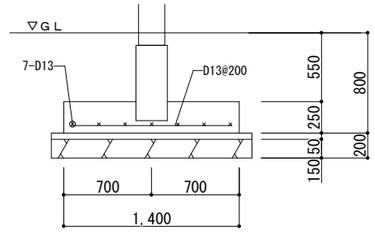
F1 S=1/50



F2 S=1/50

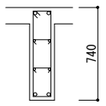
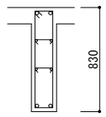


F3 S=1/50

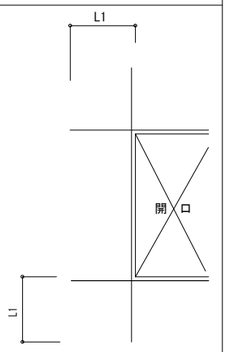


大梁リスト S=1/50

特記なき限り、巾止筋:D10@1000

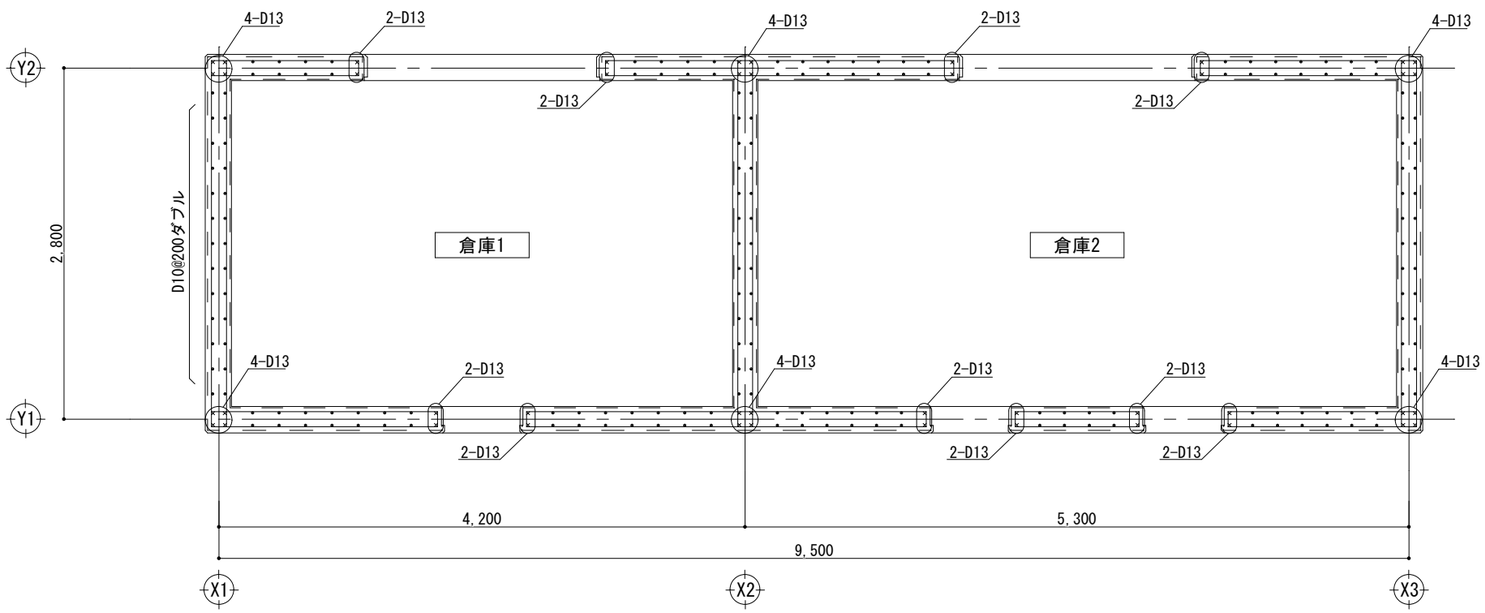
符号		G1	G2
位置		全 断 面	全 断 面
R階	断面		
	B x D	180×740	180×830
	上端筋	2-D13	2-D13
	下端筋	2-D13	2-D13
	S.T.P	□ D10@200	□ D10@200
	腹　筋	4-D10	4-D10

壁 リ ス ト S=1/50

符　号		W18	開口補強筋要領
断　面			
縦　筋		D10@200ダブル	
横　筋		D10@200ダブル	
開口補強筋	縦　筋	2−D13	
	横　筋	2−D13	
	斜　筋	—	

スラブリスト

符号	スラブ厚	位置	短 辺 方 向			長 辺 方 向			備　考
			端　部	中　央	周辺部	端　部	中　央	周辺部	
S1	150+40	上　端　筋	D10D13@200	〃	〃	D10@200	〃	〃	屋　根
		下　端　筋	D10D13@200	〃	〃	D10@200	〃	〃	
CS1	150+40	上　端　筋	D10D13@200	〃	〃	D10@200	〃	〃	
		下　端　筋	D10D13@200	〃	〃	D10@200	〃	〃	
DS1	180+30	上　端　筋	D10D13@200	〃	〃	D10@200	〃	〃	土　間
		下　端　筋	D10D13@200	〃	〃	D10@200	〃	〃	

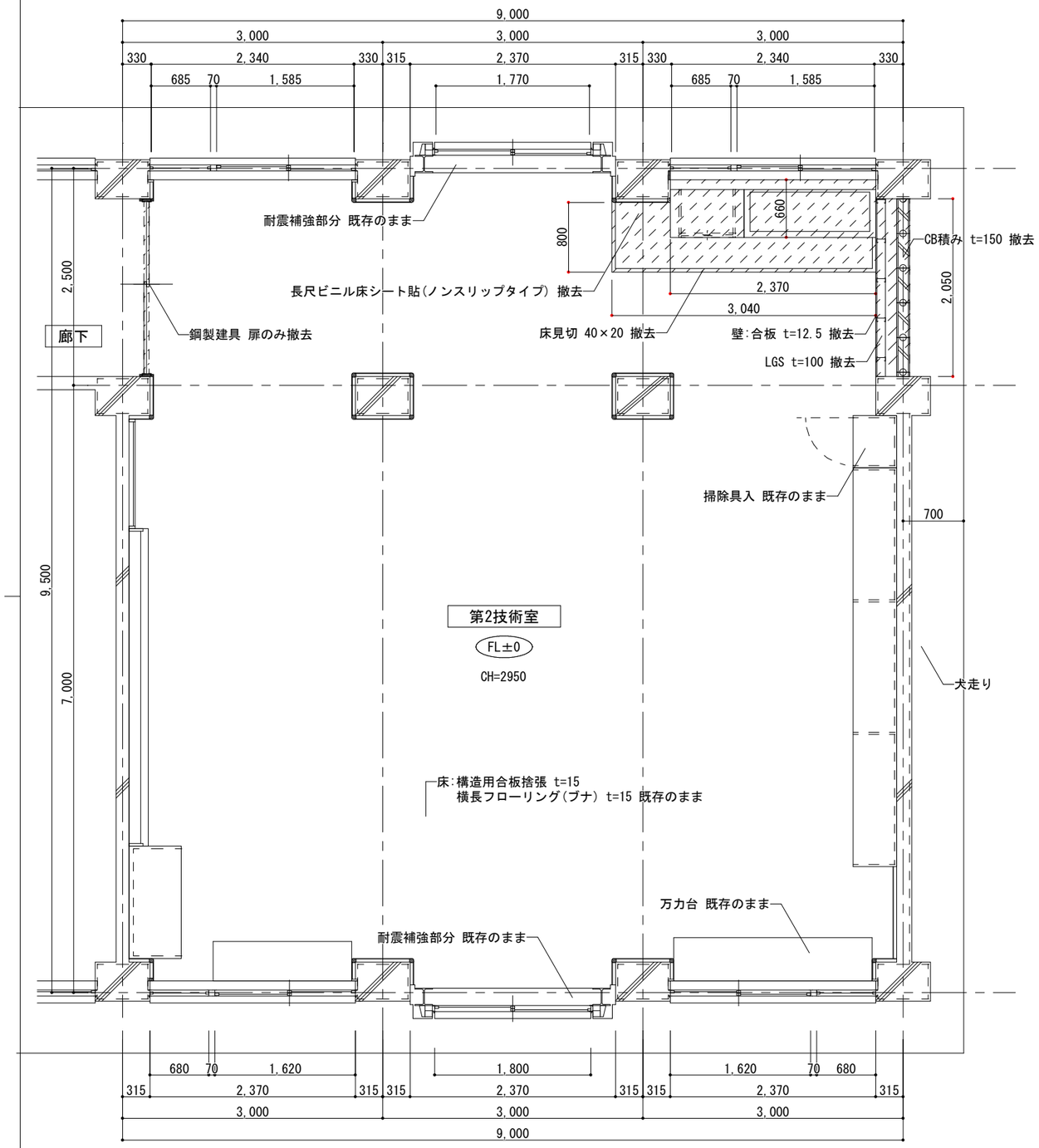


特記なき壁	:W18
壁筋	:縦筋　D10@200（ダブル）
	:横筋　D10@200（ダブル）
開口補強筋	:タテ 2-D13　ヨコ 2-D13
外部増打	:厚20
内部増打	:厚10

壁配筋伏図 S=1/50

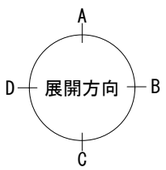
一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事	
	【倉庫】部材リスト配筋詳細図	A1:1/25 A3:1/50
	鹿児島市建設局建築部建築課	倉−０４

改修前

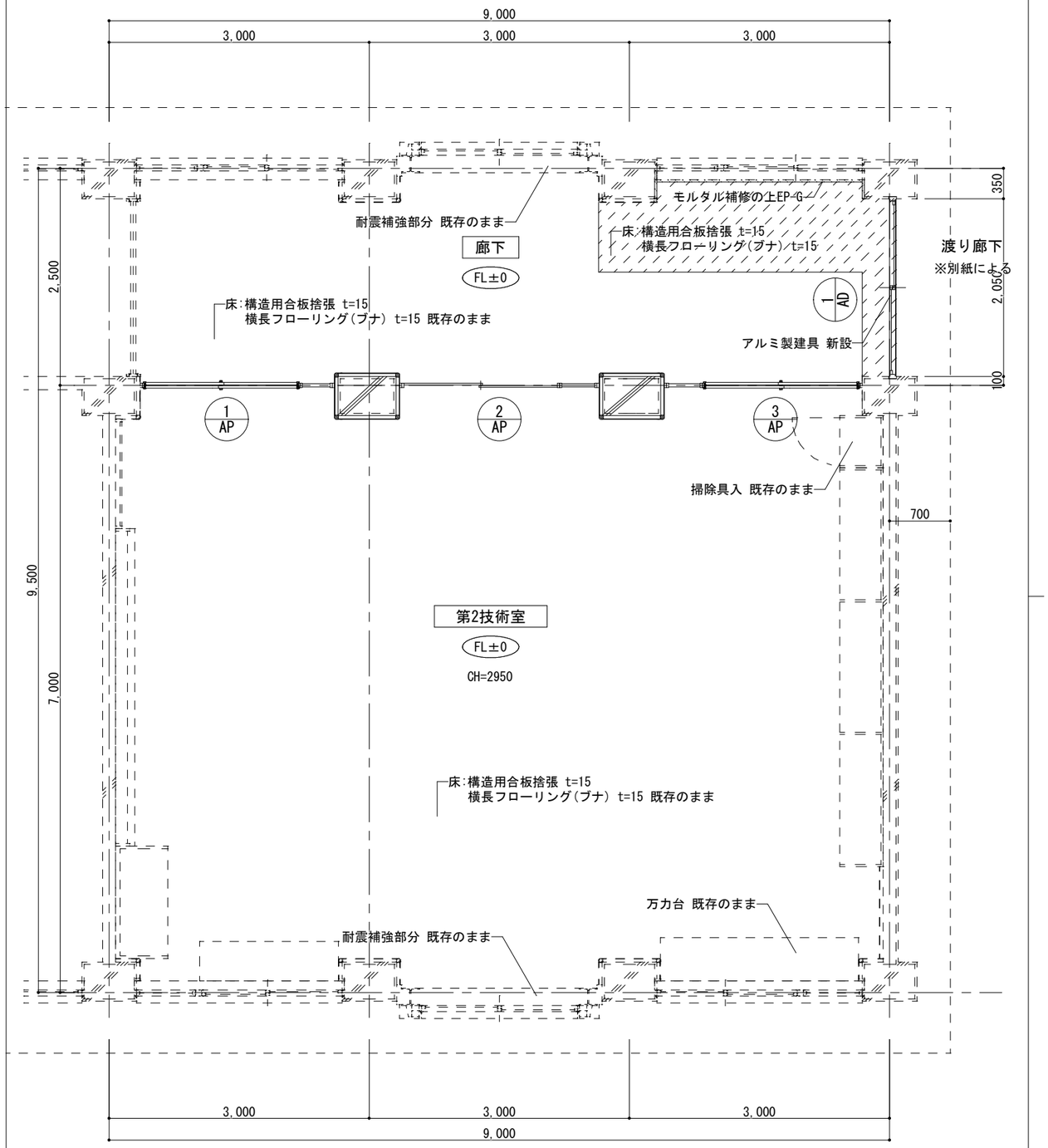


1階 第2技術室 平面詳細図(改修前) S=1/60

: 撤去範囲を示す

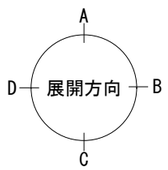


改修後



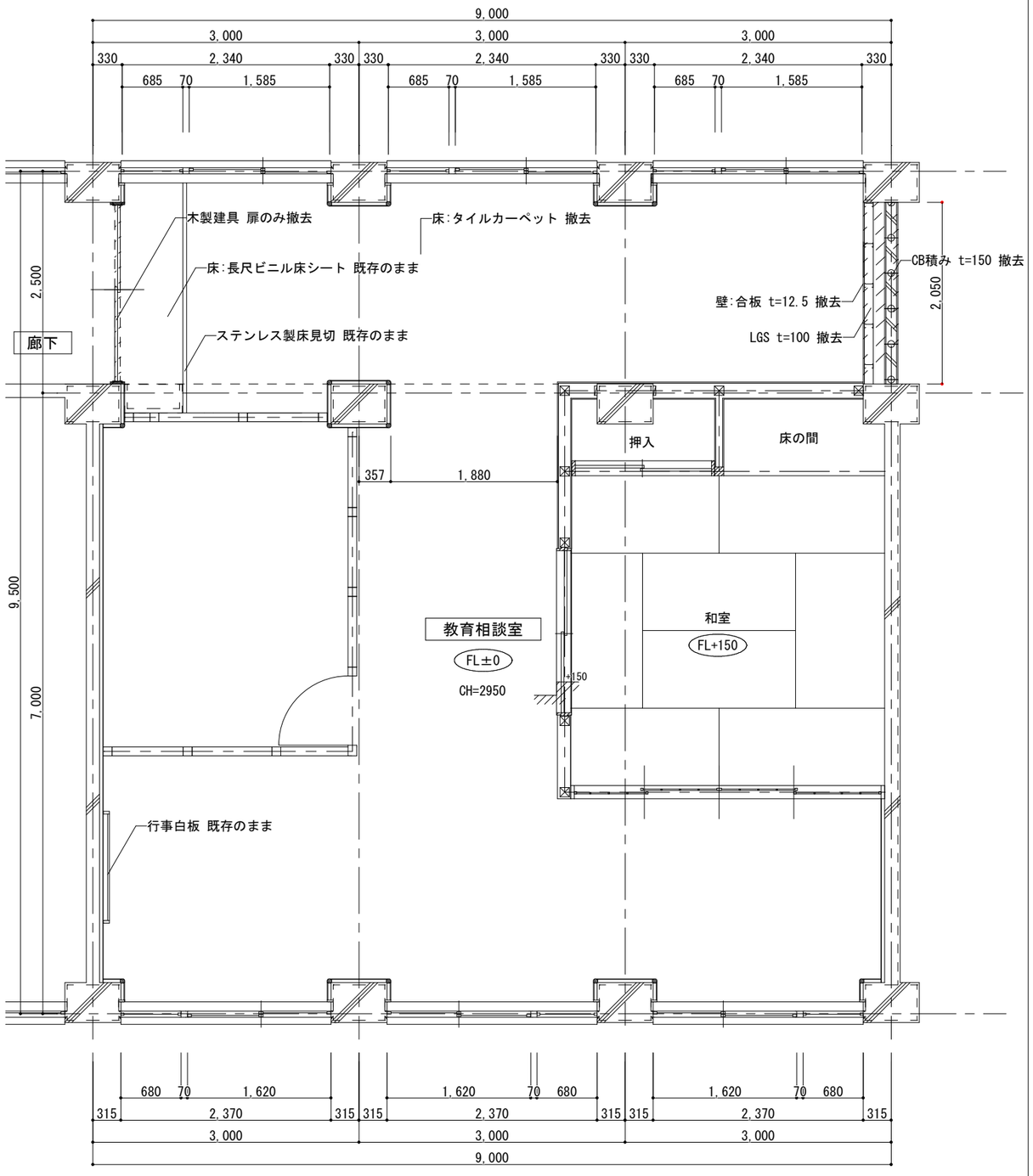
1階 第2技術室 平面詳細図(改修後) S=1/60

:床仕上げ復旧範囲を示す



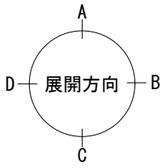
一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 【既存1号棟校舎改修】 1階 第2技術室 平面詳細図 A1:1/30 A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	改－０１

改修前

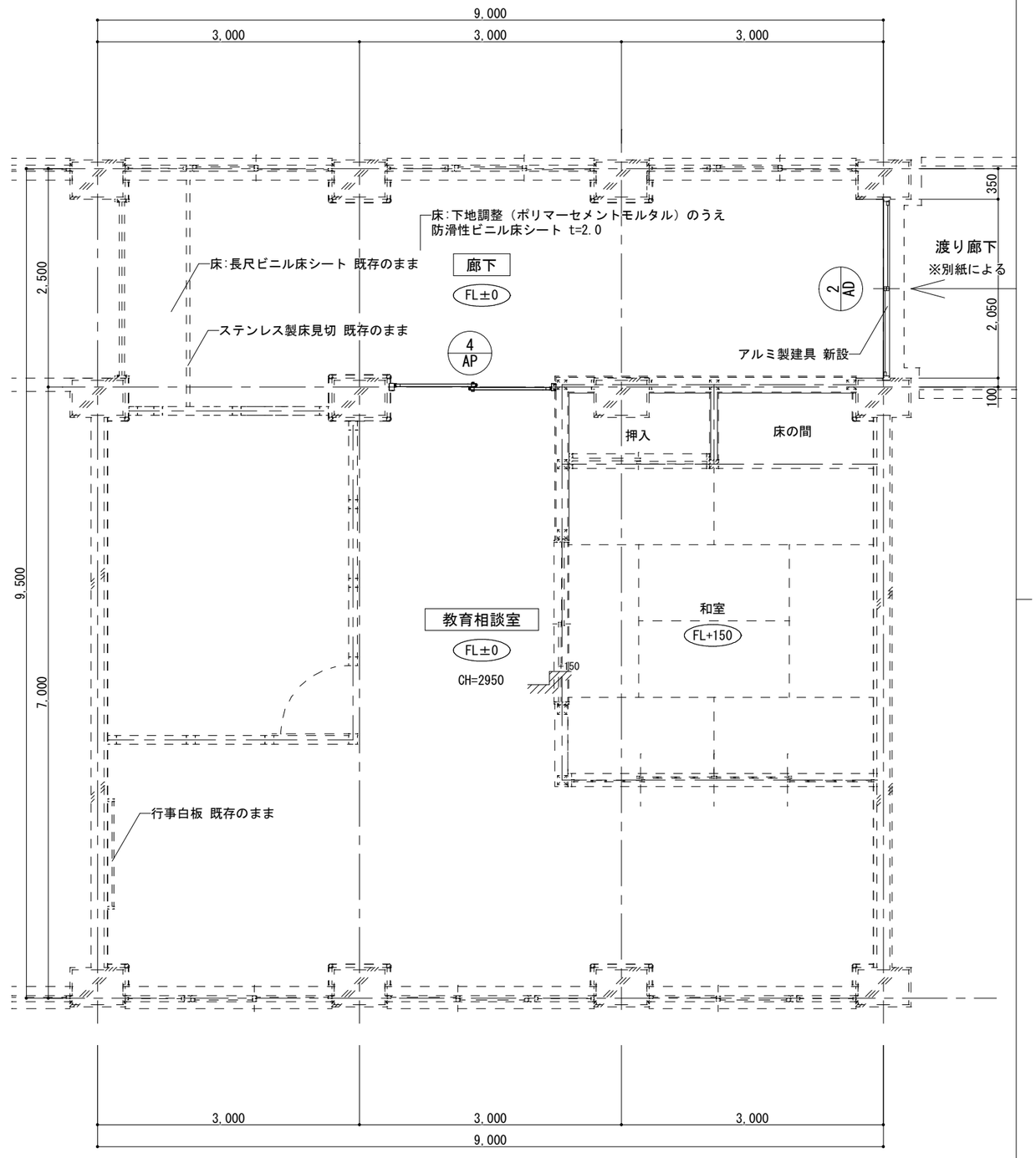


2階 教育相談室 平面詳細図(改修前) S=1/60

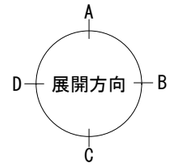
：撤去範囲を示す



改修後

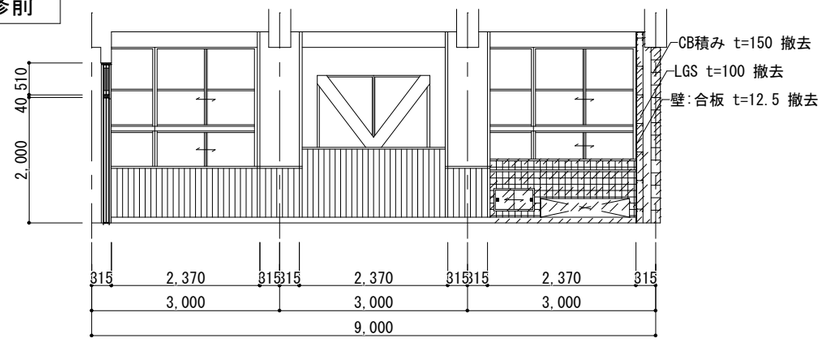


2階 教育相談室 平面詳細図(改修後) S=1/60

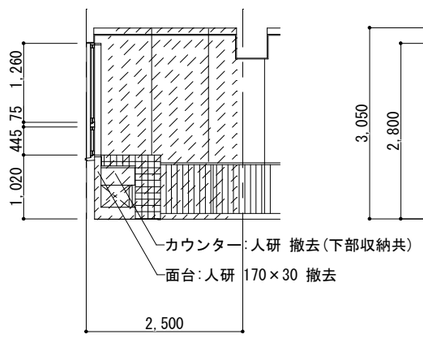


一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 【既存1号棟校舎改修】 2階 教育相談室 平面詳細図 A1:1/30 A3:1/60 鹿児島市建設局建築部建築課	改－０２

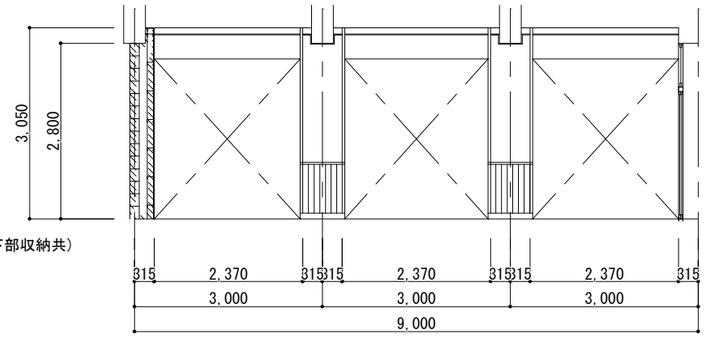
第2技術室 改修前



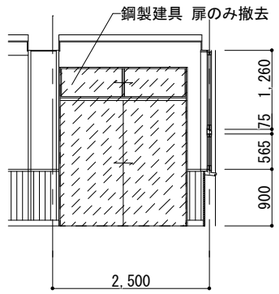
A面



B面

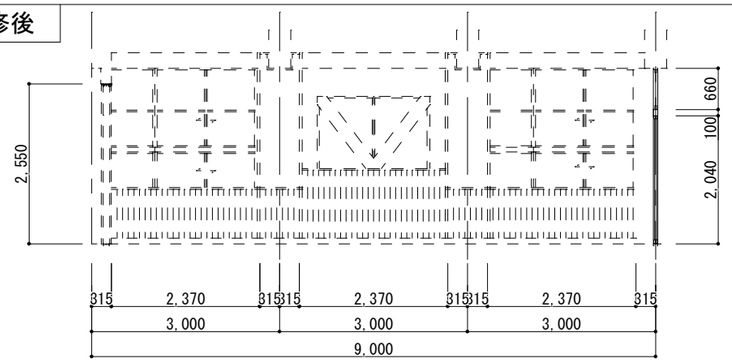


C面

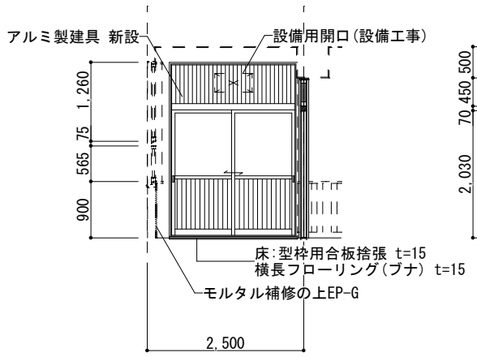


D面

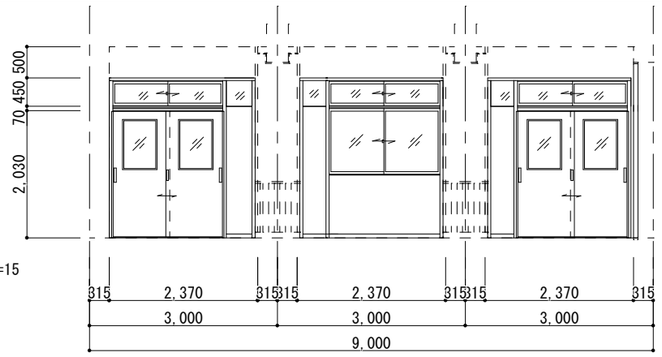
第2技術室 改修後



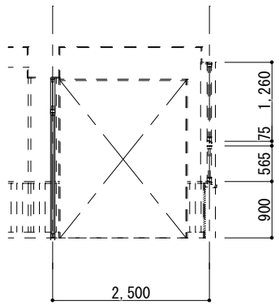
A面



B面

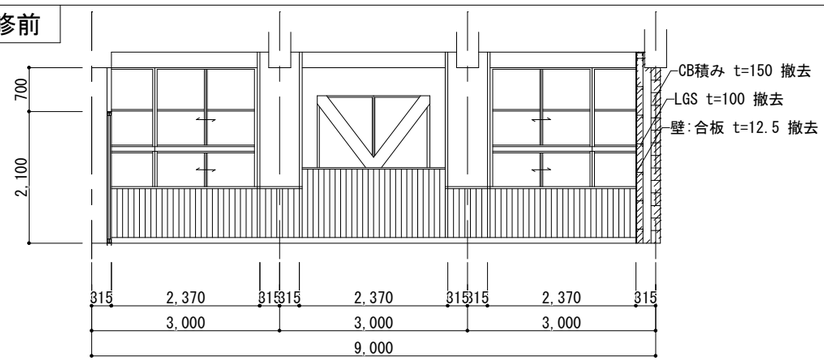


C面

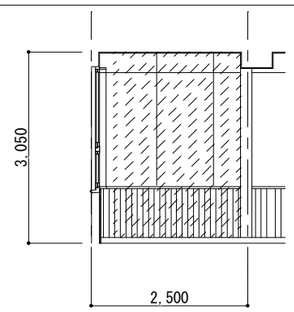


D面

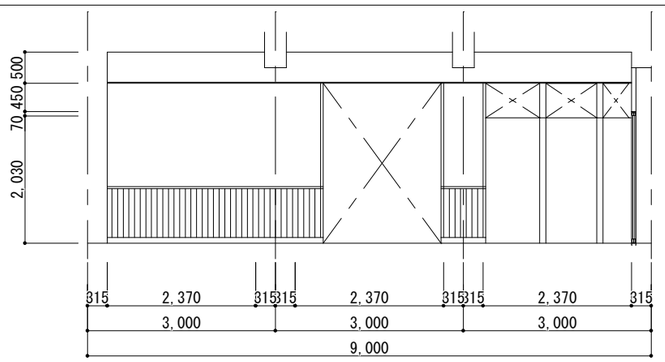
教育相談室 改修前



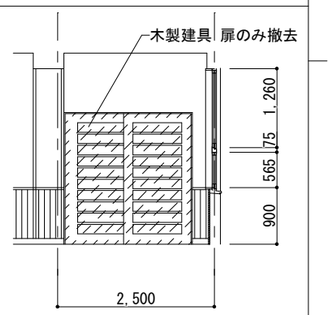
A面



B面

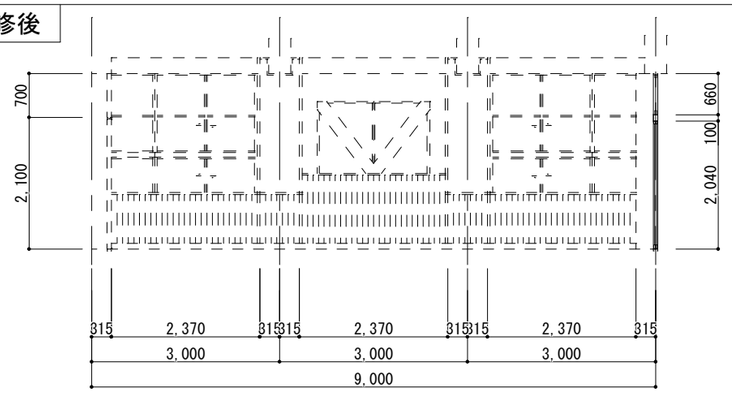


C面

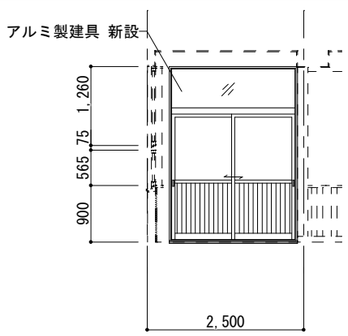


D面

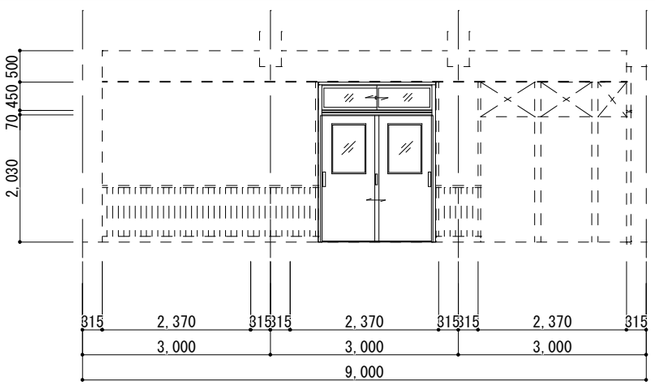
教育相談室 改修後



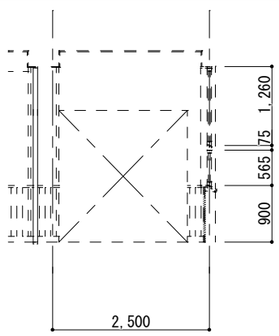
A面



B面

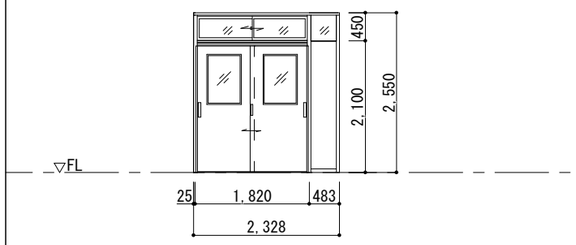
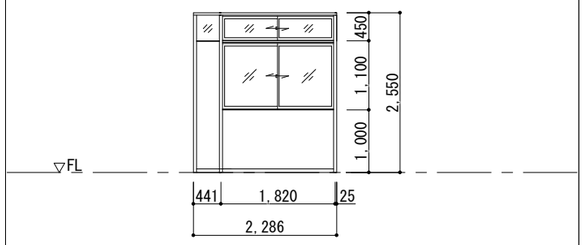
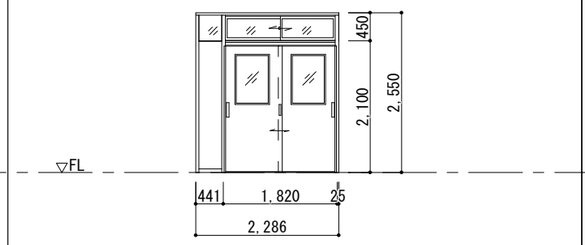
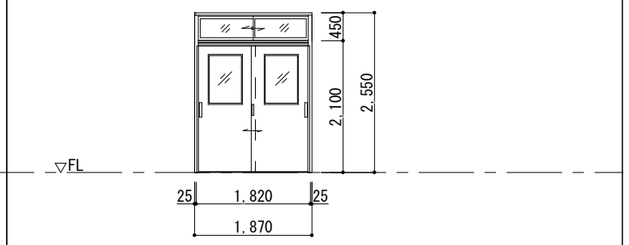


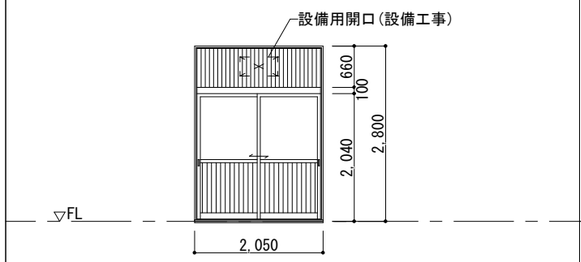
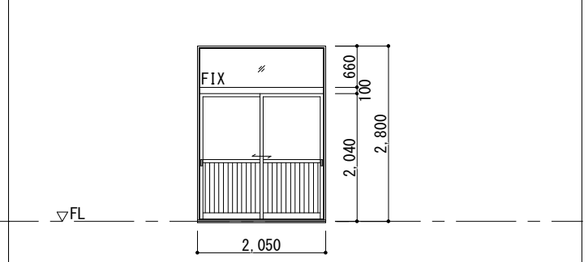
C面



D面

一級建築士事務所 知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士 第 123948 号 小原 正信	城西中学校校舎新築その他本体工事 【既存1号棟校舎改修】 第2技術室・教育相談室 展開図 A1:1/50 A3:1/100 鹿児島市建設局建築部建築課	改－０３

記　号	1/AP	1ヶ所	2/AP	1ヶ所	3/AP	1ヶ所	4/AP	1ヶ所
姿　図								
室　名	第2技術室		第2技術室		第2技術室		教育相談室	
方式･見込	引違い戸ランマ引違い窓付アルミパーティション	50	引違い窓ランマ引違い窓付アルミパーティション	50	引違い戸ランマ引違い窓付アルミパーティション	50	引違い戸ランマ引違い窓付アルミパーティション	50
材質･仕上	フレーム:アルミ合金押出型材　表面材:カラー鋼板 t=0.4		フレーム:アルミ合金押出型材　表面材:カラー鋼板 t=0.4		フレーム:アルミ合金押出型材　表面材:カラー鋼板 t=0.4		フレーム:アルミ合金押出型材　表面材:カラー鋼板 t=0.4	
	充填材:ペーパーコア		充填材:ペーパーコア		充填材:ペーパーコア		充填材:ペーパーコア	
硝　子	透明 t3		透明 t3		透明 t3		透明 t3	
金　物	引違戸錠、引手、クレセント、戸車、他附属金物一式		クレセント、戸車、他附属金物一式		引違戸錠、引手、クレセント、戸車、他附属金物一式		引違戸錠、引手、クレセント、戸車、他附属金物一式	
備　考								

記　号	1/AD	1ヶ所	2/AD	1ヶ所
姿　図				
室　名	第2技術室・教育相談室		第2技術室・教育相談室	
方式･見込	引違い戸ランマアルミパネル付	70	引違い戸ランマFIX付	70
材質･仕上	アルミ合金押出型材		アルミ合金押出型材	
	ランマ･腰パネル:アルミ複合パネル		腰パネル:アルミ複合パネル	
硝　子	強化透明 t4		強化透明 t4	
金　物	引違戸錠、引手、戸車、他附属金物一式		引違戸錠、引手、戸車、他附属金物一式	
備　考				

一級建築士事務所　知事登録　第1-5-18号 永園設計株式会社 一級建築士　第　123948　号 小原　正信	城西中学校校舎新築その他本体工事		
	【既存1号棟校舎改修】 第2技術室･教育相談室 建具表	A1:1/50 A3:1/100	改－０４
	鹿児島市建設局建築部建築課		